

気仙沼市文化財調査報告書第24集

台の下貝塚

防災集団移転促進事業・災害公営住宅整備事業

（大沢 A 地区）に伴う発掘調査報告書 2

2 0 2 1

気仙沼市教育委員会

台の下貝塚

防災集団移転促進事業・災害公営住宅整備事業

（大沢 A 地区）に伴う発掘調査報告書 2

序 文

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震が引き起こした巨大津波は、東日本の沿岸部を襲い、本市においても沿岸部を中心に壊滅的な被害をもたらしました。被災家屋約 16,000 棟、被災世帯約 9,500 世帯、1,200 人を超える尊い命が犠牲となりました。

未曾有の大震災からの一日も早い復旧・復興を目指し、個人での住宅再建をはじめ、高台への集団移転、各種産業施設やインフラ関係等で大規模な復興事業に伴い、埋蔵文化財とのかかわりが急増いたしました。

本市には、縄文時代の貝塚や集落跡、中世の城館跡など 180 か所以上の遺跡が知られていますが、これらの多くは沿岸部の丘陵地帯に立地しているため、津波の浸水域を避けた土地を求める場合、必然的に埋蔵文化財とのかかわりが発生する可能性が増大するという地理的な状況にあります。

気仙沼市教育委員会では、復旧・復興事業の円滑な推進と埋蔵文化財の適切な保護との両立を図るため、専門職員の新規採用や再任用、任期付職員の採用に加え、宮城県や他の自治体へ派遣要請を行い、埋蔵文化財に対応する専門職員を確保するほか、宮城県教育委員会ははじめ関係機関に調査支援を要請するなど調査体制を整備してまいりました。

本書は、平成 25・26 年度に実施した大沢 A 地区の防災集団移転促進事業・災害公営住宅整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査成果を集成した報告書であります。収録した考古学的成果は、これまであまり知られていなかった当地域の歴史を解明する貴重な資料となるものです。太古から幾多の大津波や自然災害を克服しながら、手強い海と深くかかわる一方、豊かな海の恩恵を受け、この地に根差した文化を育んできた人びとの営みの一端を記録し伝えることが地域の再発見につながるとともに、大震災後の本市の復旧・復興に向けたまちづくりの一助となれば幸甚に存じます。

最後になりましたが、発掘調査から報告書刊行まで御協力頂きました宮城県教育委員会、本市の埋蔵文化財発掘調査のため支援を頂いた派遣職員の皆様並びに派遣元自治体の皆様、発掘作業・整理作業に従事された方々など、多くの関係者・関係機関の皆様に厚く御礼申し上げます。

令和 3 年 3 月

気仙沼市教育委員会

教育長 小山 淳

例 言

1. 本書は、東日本大震災の復興事業である防災集団移転促進事業・災害公営住宅整備事業（大沢 A 地区）に伴う台の下貝塚の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は、気仙沼市教育委員会が宮城県教育庁文化財保護課（平成 30 年度から文化財課に名称変更）の支援を受けて実施した。
3. 整理・報告書作成作業は、平成 26 年度から開始し、平成 29 ～ 31 年度にかけて本格的に実施した。遺物の整理作業は、鈴木實夫、須藤好直、原田享二、平木場秀男、藤本愛、西村力・古田和誠・高橋透（宮城県教育庁文化財保護課）が行った。遺構は、各調査担当者の作成した記録に基づいて、古田がまとめた。
4. 本書で使用した測量原点の座標値は、世界測地系に基づく平面直角座標第 X 系による。なお、方位 N は座標北を表している。使用した測量基準点の座標は以下のとおりである。
H24D - 1301 : X = -114987.929 Y = 68712.183 Z = 19.757
D1A - 014 : X = -114914.726 Y = 68778.507 Z = 34.089
5. 本書の第 4 図は、国土交通省国土地理院発行の 1 / 25,000 地形図「鹿折」「陸前広田」「今泉」「大船渡」を複製して作成した。
6. 本書の第 5 図は、国土交通省国土地理院の地理院タイル（色別標高図）を加工して作成した。
7. 本書の写真図版 1 - 1 は国土交通省国土地理院の空中写真（CTO20139-C41-25）を使用した。
8. 使用した遺構略号は以下の通りである。
SI : 竪穴建物跡 ST : 土坑墓 SK : 土坑 SD : 溝跡 P : 柱穴・ピット
SX : 土器埋設遺構・焼土遺構・性格不明遺構・遺物包含層・貝層・自然流路跡
9. 土色の記述にあたっては、『新版標準土色帖』（小山・竹原 1996）を用いている。
10. 発掘作業における実測図作成及び写真撮影は、調査担当者が行った。
11. 遺構図及び遺物図の縮尺は、それぞれスケールを付して示しているが、原則として以下のとおりである。
遺構 竪穴建物跡・土坑・溝跡・焼土遺構 : 1 / 60、土坑墓 : 1/10、土器埋設遺構 : 1/20
遺物包含層・貝層 : 1 / 100
遺物 土器・円盤状土製品 : 1 / 3、石斧・石棒類・円盤状石製品 : 1 / 2、礫石器 : 1 / 3・1 / 4、
土製品・剥片石器・その他の石製品・骨角牙貝製品 : 2 / 3
12. 遺物図において、赤色顔料の付着が顕著な部分は赤色、アスファルトまたはタール状の黒色の付着物は灰色、石器・石製品の一部にみられる磨面の範囲は灰色のスクリーントーンで示している。
13. 遺物の法量は、一部から復元したものや破損により正確な数値ではないものに（ ）を付けた。また、遺物の製作過程が分かる場合は、その順序を→で示した。
14. 土器・土製品の接合及び補強は株式会社イビソク、写真撮影は株式会社アートプロフィールに業務委託して行った。

15. 石器・石製品、骨角貝製品の実測図作成・写真撮影は株式会社三協技術に業務委託して行った。
16. 石器・石製品の石材鑑定は、一部を東北大学東北アジア研究センターの宮本毅氏に依頼した。
17. 骨角貝製品の素材同定は、独立行政法人奈良文化財研究所に依頼し、山崎健氏・松崎哲也氏（奈良文化財研究所）、山田凜太郎氏（京都大学）が行った。
18. 自然科学分析について、それぞれ以下の個人・研究機関に依頼し、その成果を第4章に収録した（敬称略）。
 - 埋葬人骨の鑑定・形質学的分析：鈴木敏彦・波田野悠夏（東北大学）
 - 埋葬人骨の DNA 分析：安達 登（山梨大学）
 - 放射性炭素年代測定・炭素・窒素同位体比測定：米田譲（東京大学）、奈良貴史（新潟医療福祉大学）
 - 真珠様物質：田村朋美・村田泰輔・松崎哲也・山崎健（独立行政法人奈良文化財研究所）、
山田凜太郎（京都大学）
 - 動物遺存体の同定・分析：山田凜太郎（京都大学）、松崎哲也・山崎健（独立行政法人奈良文化財研究所）
19. 本書の執筆は、第4章以外を古田が執筆し、編集を古田が行った。
20. 本遺跡の調査成果については、現地説明会や気仙沼市文化財調査報告書第11集「台の下遺跡」及び第12集「台の下遺跡9区」などでその内容の一部を公表しているが、これらと本書の内容が異なる場合には、本書がこれらに優先する。
21. 出土遺物及び実測図・写真等の記録類は、気仙沼市教育委員会が保管している。

目次

序文

例言

目次

第1章 経緯と経過	1
第1節 調査の経緯	1
第2節 発掘調査の方針	2
第3節 調査の経過	2
第4節 整理作業・報告書作成の経過	4
第2章 遺跡の概要	5
第1節 遺跡の位置と地理的環境	5
第2節 周辺の遺跡	6
1. 台の下貝塚周辺の縄文時代の遺跡	6
2. 気仙沼市内の縄文時代の貝塚	9
第3節 台の下遺跡の調査	11
1. 平成25年度調査(1～5区)	11
2. 平成28年度調査(9区)	11
第3章 調査の成果	13
第1節 方法	13
1. 調査の方法	13
2. 整理の方法	13
3. 報告書の記載について	14
第2節 検出状況と基本層序	14
第3節 発見された遺構と遺物	17
1. 6・8区	17
2. 7区	205
第4章 自然科学分析	242
第1節 はじめに	242
第2節 台の下貝塚出土人骨について	243
1. はじめに	243
2. 人骨の遺存状態と形態学的特徴	243
3. 年齢・性別の推定	250
4. 人骨の計測値	251

5. 推定身長	253
6. 復顔	253
第3節 台の下貝塚出土人骨の放射性炭素年代測定と炭素・窒素安定同位体分析	259
第4節 台の下貝塚出土人骨についてのミトコンドリア DNA 解析	263
1. 序言	263
2. 試料および方法	263
3. 結果	264
4. 考察	264
第5節 真珠様物質の理化学分析	266
1. はじめに	266
2. 分析資料	266
3. 理化学分析	268
4. 総合考察	277
第6節 動物遺存体	282
1. 分析資料	282
2. 分析の方法	282
3. 6区・8区の同定結果	284
4. 7区の同定結果	299
5. 他遺跡との比較	300
第5章 総括	337
第1節 遺物	337
1. 土器	337
2. 土製品	349
3. 石器・石製品	351
4. 骨角牙貝製品	358
第2節 遺構	366
1. 遺構の年代と特徴	366
2. 遺構の変遷	368
第3節 まとめ	372
引用文献	373
写真図版	375
報告書抄録	

図 目 次

第1図	事業概略図	1	第50図	SX120遺物包含層出土土器 (15) 3層⑥	59
第2図	確認調査トレンチ配置図	3	第51図	SX120遺物包含層出土土器 (16) 3層⑦	60
第3図	台の下貝塚の位置	5	第52図	SX120遺物包含層出土土器 (17) 3層⑧	61
第4図	台の下貝塚の位置と周辺の遺跡	7	第53図	SX120遺物包含層出土土器 (18) 3層⑨	62
第5図	気仙沼市内の縄文時代の貝塚	10	第54図	SX120遺物包含層出土土器 (19) 3層⑩	63
第6図	台の下遺跡で発見された主な遺構	12	第55図	SX120遺物包含層出土土器 (20) 3層⑪	64
第7図	基本層序	15	第56図	SX120遺物包含層出土土器 (21) 3層⑫	65
第8図	6・8区遺構配置図	16	第57図	SX120遺物包含層出土土器 (22) 3層⑬	66
第9図	6区SI149竪穴建物跡	17	第58図	SX120遺物包含層出土土器 (23) 3層⑭	67
第10図	6区SI149竪穴建物跡出土遺物1	18	第59図	SX120遺物包含層出土土器 (24) 4層①	68
第11図	6区SI149竪穴建物跡出土遺物2	19	第60図	SX120遺物包含層出土土器 (25) 4層②	69
第12図	6区SI251竪穴建物跡	20	第61図	SX120遺物包含層出土土器 (26) 4層③	70
第13図	6区SI252竪穴建物跡	21	第62図	SX120遺物包含層出土土器 (27) 4層④	71
第14図	6区SX122土器埋設遺構	22	第63図	SX120遺物包含層出土土器 (28) 4層⑤	72
第15図	SX122土器埋設遺構出土遺物	23	第64図	SX120遺物包含層出土土器 (29) 4層⑥	73
第16図	6区SX136土器埋設遺構と出土遺物	24	第65図	SX120遺物包含層出土土器 (30) 4層⑦	74
第17図	6区SX137土器埋設遺構	25	第66図	SX120遺物包含層出土土器 (31) 5層①	75
第18図	土坑墓と埋葬人骨の配置	26	第67図	SX120遺物包含層出土土器 (32) 5層②	76
第19図	6区ST126土坑墓と出土遺物	27	第68図	SX120遺物包含層出土土器 (33) 5層③	77
第20図	6区ST128土坑墓	28	第69図	SX120遺物包含層出土土器 (34) 5層④	78
第21図	6区ST132土坑墓と出土遺物	29	第70図	SX120遺物包含層出土土器 (35) 5層⑤	79
第22図	6区ST135土坑墓と出土遺物	30	第71図	SX120遺物包含層出土土器 (36) 5層⑥	80
第23図	6区ST282土坑墓	31	第72図	SX120遺物包含層出土土器 (37) 5層⑦	81
第24図	6区ST282土坑墓と出土遺物	32	第73図	SX120遺物包含層出土土器 (38) 5層⑧	82
第25図	6区ST282土坑墓出土遺物	33	第74図	SX120遺物包含層出土土器 (39) 5層⑨	83
第26図	6区ST121土坑墓	34	第75図	SX120遺物包含層出土土器 (40) 5層⑩	84
第27図	6区SX140人骨	34	第76図	SX120遺物包含層出土土器 (41) 5層⑪	85
第28図	6区SK125土坑	35	第77図	SX120遺物包含層出土土器 (42) 5層⑫	86
第29図	その他の土坑出土遺物	35	第78図	SX120遺物包含層出土土器 (43) 5層⑬	87
第30図	6区SD129溝跡と出土遺物	36	第79図	SX120遺物包含層出土土器 (44) 5層⑭	88
第31図	6区SX139焼土遺構	37	第80図	SX120遺物包含層出土土器 (45) 5層⑮	89
第32図	SX120遺物包含層・貝層平面図	39	第81図	SX120遺物包含層出土土器 (46) 5層⑯	90
第33図	SX120遺物包含層・貝層の層序模式図	40	第82図	SX120遺物包含層出土土器 (47) 5層⑰	91
第34図	SX120遺物包含層・貝層断面図1	42	第83図	SX120遺物包含層出土土器 (48) 5層⑱	92
第35図	SX120遺物包含層・貝層断面図2	43	第84図	SX120遺物包含層出土土器 (49) 5層⑲	93
第36図	SX120遺物包含層出土土器 (1) 1層①	45	第85図	SX120遺物包含層出土土器 (50) 5層⑳	94
第37図	SX120遺物包含層出土土器 (2) 1層②	46	第86図	SX120遺物包含層出土土器 (51) 5層㉑	95
第38図	SX120遺物包含層出土土器 (3) 2層①	47	第87図	SX120遺物包含層出土土器 (52) 6層①	96
第39図	SX120遺物包含層出土土器 (4) 2層②	48	第88図	SX120遺物包含層出土土器 (53) 6層②	97
第40図	SX120遺物包含層出土土器 (5) 2層③	49	第89図	SX120遺物包含層出土土器 (54) 6層③	98
第41図	SX120遺物包含層出土土器 (6) 2層④	50	第90図	SX120遺物包含層出土土器 (55) 6層④	99
第42図	SX120遺物包含層出土土器 (7) 2層⑤	51	第91図	SX120遺物包含層出土土器 (56) 6層⑤	100
第43図	SX120遺物包含層出土土器 (8) 2層⑥	52	第92図	SX120遺物包含層出土土器 (57) 6層⑥	101
第44図	SX120遺物包含層出土土器 (9) 2層⑦	53	第93図	SX120遺物包含層出土土器 (58) 6層⑦	102
第45図	SX120遺物包含層出土土器 (10) 3層①	54	第94図	SX120遺物包含層出土土器 (59) 6層⑧	103
第46図	SX120遺物包含層出土土器 (11) 3層②	55	第95図	SX120遺物包含層出土土器 (60) 6層⑨	104
第47図	SX120遺物包含層出土土器 (12) 3層③	56	第96図	SX120遺物包含層出土土器 (61) 6層⑩	105
第48図	SX120遺物包含層出土土器 (13) 3層④	57	第97図	SX120遺物包含層出土土器 (62) 6層⑪	106
第49図	SX120遺物包含層出土土器 (14) 3層⑤	58	第98図	SX120遺物包含層出土土器 (63) 6層⑫	107

第99図	SX120遺物包含層出土土器 (64) 6層⑬-----	108
第100図	SX120遺物包含層出土土器 (65) 6層⑭-----	109
第101図	SX120遺物包含層出土土器 (66) 6層⑮-----	110
第102図	SX120遺物包含層出土土器 (67) 6層⑯-----	111
第103図	SX120遺物包含層出土土器 (68) 6層⑰-----	112
第104図	SX120遺物包含層出土土器 (69) 7層①-----	113
第105図	SX120遺物包含層出土土器 (70) 7層②-----	114
第106図	SX120遺物包含層出土土器 (71) 7層③-----	115
第107図	SX120遺物包含層出土土器 (72) 7層④-----	116
第108図	SX120遺物包含層出土土器 (73) 7層⑤-----	117
第109図	SX120遺物包含層出土土器 (74) 7層⑥-----	118
第110図	SX120遺物包含層出土土器 (75) 7層⑦・8層----	119
第111図	SX120遺物包含層出土土器 (76) 8層・9層-----	120
第112図	SX120遺物包含層出土土製品(1) -----	121
第113図	SX120遺物包含層出土土製品(2) -----	122
第114図	SX120遺物包含層出土土製品(3) -----	123
第115図	SX120遺物包含層出土土製品(4) -----	124
第116図	SX120遺物包含層出土土製品(5) -----	125
第117図	SX120遺物包含層出土土製品(6) -----	126
第118図	SX120遺物包含層1層出土土器・石製品 (1) -----	130
第119図	SX120遺物包含層1層出土土器・石製品 (2) -----	131
第120図	SX120遺物包含層2層出土土器・石製品 (1) -----	132
第121図	SX120遺物包含層2層出土土器・石製品 (2) -----	133
第122図	SX120遺物包含層2層出土土器・石製品 (3) -----	134
第123図	SX120遺物包含層2層出土土器・石製品 (4) -----	135
第124図	SX120遺物包含層3層出土土器・石製品 (1) -----	136
第125図	SX120遺物包含層3層出土土器・石製品 (2) -----	137
第126図	SX120遺物包含層3層出土土器・石製品 (3) -----	138
第127図	SX120遺物包含層3層出土土器・石製品 (4) -----	139
第128図	SX120遺物包含層3層出土土器・石製品 (5) -----	140
第129図	SX120遺物包含層4層出土土器・石製品 (1) -----	141
第130図	SX120遺物包含層4層出土土器・石製品 (2) -----	142
第131図	SX120遺物包含層4層出土土器・石製品 (3) -----	143
第132図	SX120遺物包含層4層出土土器・石製品 (4) -----	144
第133図	SX120遺物包含層5層出土土器・石製品 (1) -----	145
第134図	SX120遺物包含層5層出土土器・石製品 (2) -----	146
第135図	SX120遺物包含層5層出土土器・石製品 (3) -----	147
第136図	SX120遺物包含層5層出土土器・石製品 (4) -----	148
第137図	SX120遺物包含層5層出土土器・石製品 (5) -----	149
第138図	SX120遺物包含層5層出土土器・石製品 (6) -----	150
第139図	SX120遺物包含層5層出土土器・石製品 (7) -----	151
第140図	SX120遺物包含層5層出土土器・石製品 (8) -----	152
第141図	SX120遺物包含層5層出土土器・石製品 (9) -----	153
第142図	SX120遺物包含層6層出土土器・石製品 (1) -----	154
第143図	SX120遺物包含層6層出土土器・石製品 (2) -----	155
第144図	SX120遺物包含層6層出土土器・石製品 (3) -----	156
第145図	SX120遺物包含層6層出土土器・石製品 (4) -----	157
第146図	SX120遺物包含層6層出土土器・石製品 (5) -----	158
第147図	SX120遺物包含層6層出土土器・石製品 (6) -----	159
第148図	SX120遺物包含層6層出土土器・石製品 (7) -----	160
第149図	SX120遺物包含層7層出土土器・石製品 (1) -----	161

第150図	SX120遺物包含層7層出土土器・石製品 (2) -----	162
第151図	SX120遺物包含層7層出土土器・石製品 (3) -----	163
第152図	SX120遺物包含層7層出土土器・石製品 (4) -----	164
第153図	SX120遺物包含層7層出土土器・石製品 (5) -----	165
第154図	SX120遺物包含層7層出土土器・石製品 (6) -----	166
第155図	SX120遺物包含層7層出土土器・石製品 (7) -----	167
第156図	SX120遺物包含層7層出土土器・石製品 (8) -----	168
第157図	SX120遺物包含層7層出土土器・石製品 (9) -----	169
第158図	SX120遺物包含層8層出土土器・石製品 (1) -----	170
第159図	SX120遺物包含層8・9層出土土器・石製品-----	171
第160図	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (1) -----	173
第161図	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (2) -----	174
第162図	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (3) -----	175
第163図	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (4) -----	176
第164図	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (5) -----	177
第165図	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (6) -----	178
第166図	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (7) -----	179
第167図	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (8) -----	180
第168図	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (9) -----	181
第169図	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (10) -----	182
第170図	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (11) -----	184
第171図	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (12) -----	185
第172図	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (13) -----	186
第173図	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (14) -----	187
第174図	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (15) -----	188
第175図	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (16) -----	189
第176図	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (17) -----	190
第177図	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (18) -----	191
第178図	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (19) -----	192
第179図	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (20) -----	193
第180図	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (21) -----	194
第181図	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (22) -----	195
第182図	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (23) -----	196
第183図	6・8区遺構外出土遺物 (1)-----	198
第184図	6・8区遺構外出土遺物 (2)-----	199
第185図	6・8区遺構外出土遺物 (3)-----	200
第186図	6・8区遺構外出土遺物 (4)-----	201
第187図	6・8区遺構外出土遺物 (5)-----	202
第188図	6・8区遺構外出土遺物 (6)-----	203
第189図	6・8区遺構外出土遺物 (7)-----	204
第190図	7区トレンチ配置図-----	205
第191図	7区T106-----	207
第192図	7区T107-----	208
第193図	7区T108-----	210
第194図	7区SK272土坑出土遺物-----	211
第195図	7区SX271自然流路跡-----	212
第196図	7区SX271自然流路跡出土遺物-----	213
第197図	7区T101・T105出土土器・石製品-----	214
第198図	7区T101～T105出土土器・土製品-----	215
第199図	7区T106出土土器 (1) -----	217
第200図	7区T106出土土器 (2) -----	218

第201図	7区T106出土土器 (3) -----	219
第202図	7区T106出土土器 (1) -----	220
第203図	7区T106出土土器 (2) -----	221
第204図	7区T107出土土器 (1) -----	223
第205図	7区T107出土土器 (2) -----	224
第206図	7区T107出土土器 (3) -----	225
第207図	7区T107出土土器 (4) -----	226
第208図	7区T107出土土器 (5) -----	227
第209図	7区T107出土土器 (6) -----	228
第210図	7区T107出土土器 (7) -----	229
第211図	7区T107出土土器 (8) -----	230
第212図	7区T107出土土器 (9) -----	231
第213図	7区T107出土土製品 (1) -----	232
第214図	7区T107出土土製品 (2) -----	233
第215図	7区T107出土土器・石製品 (1) -----	234
第216図	7区T107出土土器・石製品 (2) -----	235
第217図	7区T107出土土器・石製品 (3) -----	236
第218図	7区T107出土土器・石製品・骨角製品 -----	237
第219図	7区T108出土土器 (1) -----	238
第220図	7区T108出土土器 (2) -----	239
第221図	7区T108出土土器 (3) -----	240
第222図	7区T108出土土製品 -----	241
第223図	ST126人骨の遺存部位 -----	244
第224図	ST135人骨の遺存部位 -----	245
第225図	ST282人骨の遺存部位 -----	249
第226図	台の下貝塚出土人骨のコラーゲンにおける炭素・ 窒素同位体比 -----	262
第227図	APLP分析の結果 -----	264
第228図	台の下貝塚出土の分析対象とした真珠様物質の 一覧 -----	267
第229図	真珠様物質の穿孔品の二次電子像 -----	269
第230図	X線回折スペクトル -----	270
第231図	蛍光X線スペクトル -----	271
第232図	No.1のX線CT立体画像と任意断面像 -----	273

第233図	No.2の任意断面像 -----	274
第234図	No.3の任意断面像 -----	275
第235図	No.4の任意断面像 -----	275
第236図	No.5の任意断面像 -----	276
第237図	No.6の任意断面像 -----	276
第238図	No.7の任意断面像 -----	276
第239図	No.8の任意断面像 -----	278
第240図	アコヤガイにより生成された真珠 (宝石加工品) の任意断面像 -----	278
第241図	中国産の淡水性貝類より生成された真珠 (宝石加 工品) の任意断面像 -----	278
第242図	台の下貝塚の貝類組成 (MNI) -----	288
第243図	台の下貝塚の魚類組成 (NISP) -----	293
第244図	ニホンジカ肋骨にみられた貫入痕跡 -----	296
第245図	台の下貝塚の哺乳類組成 (NISP) -----	297
第246図	2・3群土器 -----	339
第247図	4群土器 (1) -----	341
第248図	4群土器 (2) -----	342
第249図	4群土器 (3) -----	343
第250図	5群土器 -----	345
第251図	6～9群土器 -----	347
第252図	10・11群土器ほか -----	348
第253図	土偶・三角壺形土製品 -----	350
第254図	石器・石製品分類図 (1) -----	353
第255図	石器・石製品分類図 (2) -----	354
第256図	石器・石製品分類図 (3) -----	355
第257図	骨角牙貝製品分類図 (1) -----	359
第258図	骨角牙貝製品分類図 (2) -----	362
第259図	骨角牙貝製品分類図 (3) -----	363
第260図	骨角牙貝製品分類図 (4) -----	364
第261図	遺構変遷図 (1) -----	370
第262図	遺構変遷図 (2) -----	371

図 版 目 次

図版1	ST135人骨 (四肢骨) -----	255
図版2	ST135人骨 (頭蓋) -----	256
図版3	ST282人骨 (頭蓋) -----	256
図版4	ST282人骨 (上肢骨) -----	257
図版5	ST282人骨 (下肢骨) -----	258
図版6	ST282人骨の復顔像 (右側貌、右斜位、正貌) -----	258

表 目 次

第1表	発掘調査と整理事業の経過 -----	2
第2表	遺跡地名表 -----	8
第3表	気仙沼市内の縄文時代の貝塚 -----	9
第4表	台の下遺跡の調査 -----	11
第5表	台の下遺跡の主な遺構の変遷 -----	11
第6表	6・8区土坑一覧表 -----	34
第7表	SX120遺物包含層土器点数表 -----	38
第8表	SX120遺物包含層土層観察表 -----	41
第9表	SX120遺物包含層土製品点数表 -----	120
第10表	SX120遺物包含層石器・石製品点数表 -----	127
第11表	SX120遺物包含層骨角牙貝製品点数表 -----	171
第12表	7区T107土層観察表 -----	209
第13表	7区出土土器点数表 -----	214
第14表	7区出土石器点数表 -----	214
第15表	7区T106出土土器点数表 -----	214
第16表	7区T107出土土器点数表 -----	216
第17表	7区T108出土土器点数表 -----	222
第18表	台の下貝塚出土人骨の四肢骨計測値 (1) -----	251
第19表	台の下貝塚出土人骨の四肢骨計測値 (2) -----	251
第20表	台の下貝塚出土人骨の頭蓋計測値および示数 -----	252

第21表	歯冠計測値 (mm) -----	252
第22表	ST282人骨の復顔に用いた基準点 (ランドマーク) 毎の軟組織厚 -----	254
第23表	元素および安定同位体比の分析結果 -----	261
第24表	放射性炭素年代測定の結果 -----	261
第25表	校正放射性炭素年代 -----	261
第26表	分析対象資料一覧表 -----	266
第27表	蛍光X線分析結果 -----	270
第28表	資料撮像条件 -----	272
第29表	台の下貝塚6区・8区で分析した動物遺存体のサン プル数・重量一覧 -----	283
第30表	台の下貝塚から出土した動物遺存体の種名表 ----	304
第31表	台の下貝塚6区・8区の貝類同定結果 (1/5) -----	305
第32表	台の下貝塚6区・8区の貝類同定結果 (2/5) -----	306
第33表	台の下貝塚6区・8区の貝類同定結果 (3/5) -----	307
第34表	台の下貝塚6区・8区の貝類同定結果 (4/5) -----	308
第35表	台の下貝塚6区・8区の貝類同定結果 (5/5) -----	309
第36表	台の下貝塚6区・8区の魚類同定結果 (1/9) -----	310
第37表	台の下貝塚6区・8区の魚類同定結果 (2/9) -----	311
第38表	台の下貝塚6区・8区の魚類同定結果 (3/9) -----	312
第39表	台の下貝塚6区・8区の魚類同定結果 (4/9) -----	313
第40表	台の下貝塚6区・8区の魚類同定結果 (5/9) -----	314
第41表	台の下貝塚6区・8区の魚類同定結果 (6/9) -----	315
第42表	台の下貝塚6区・8区の魚類同定結果 (7/9) -----	316
第43表	台の下貝塚6区・8区の魚類同定結果 (8/9) -----	317
第44表	台の下貝塚6区・8区の魚類同定結果 (9/9) -----	318
第45表	台の下貝塚6区・8区の哺乳類同定結果 (1/12) ---	319

第46表	台の下貝塚6区・8区の哺乳類同定結果 (2/12) ---	320
第47表	台の下貝塚6区・8区の哺乳類同定結果 (3/12) ---	321
第48表	台の下貝塚6区・8区の哺乳類同定結果 (4/12) ---	322
第49表	台の下貝塚6区・8区の哺乳類同定結果 (5/12) ---	323
第50表	台の下貝塚6区・8区の哺乳類同定結果 (6/12) ---	324
第51表	台の下貝塚6区・8区の哺乳類同定結果 (7/12) ---	325
第52表	台の下貝塚6区・8区の哺乳類同定結果 (8/12) ---	326
第53表	台の下貝塚6区・8区の哺乳類同定結果 (9/12) ---	327
第54表	台の下貝塚6区・8区の哺乳類同定結果 (10/12) --	328
第55表	台の下貝塚6区・8区の哺乳類同定結果 (11/12) --	329
第56表	台の下貝塚6区・8区の哺乳類同定結果 (12/12) --	330
第57表	台の下貝塚6区・8区から出土したニホンジカ・イ ノシシにおける歯の萌出・交換状況 -----	331
第58表	台の下貝塚6区・8区の鳥類同定結果 (1/2) -----	332
第59表	台の下貝塚6区・8区の鳥類同定結果 (2/2) -----	333
第60表	台の下貝塚6区・8区の両生類・爬虫類同定結果 -	334
第61表	台の下貝塚6区・8区のフジツボ亜目・ウニ綱・十 脚目計量結果 -----	335
第62表	台の下貝塚7区の同定結果 -----	336
第63表	6～8区土器点数表 -----	337
第64表	6～8区土製品点数表 -----	349
第65表	6～8区石器・石製品点数表 -----	351
第66表	器種ごとの石材別点数表 -----	357
第67表	6～8区骨角牙貝製品点数表 -----	358
第68表	土坑墓一覧表 -----	367
第69表	台の下遺跡・台の下貝塚における縄文時代の主な 遺構の時期と重複関係 -----	369

写真図版目次

図版1	台の下貝塚遠景 -----	376
図版2	6・8区SX120遺物包含層 (1) -----	377
図版3	6・8区SX120遺物包含層 (2) -----	378
図版4	SX120遺物包含層遺物出土状況 (1) -----	379
図版5	SX120遺物包含層遺物出土状況 (2) -----	380
図版6	SX120遺物包含層遺物出土状況 (3) -----	381
図版7	ST126・128・135土坑墓 -----	382
図版8	ST282土坑墓 -----	383
図版9	ST121・132土坑墓, 6・8区土坑・溝跡 -----	384
図版10	6区土器埋設遺構・焼土遺構 -----	385
図版11	6区SI149竪穴建物跡 -----	386
図版12	6区SI251・252竪穴建物跡 -----	387
図版13	7区T101～106調査状況 -----	388
図版14	7区T107・108調査状況 -----	389
図版15	6・8区調査風景 -----	390
図版16	7・8区調査風景 -----	391
図版17	SX120遺物包含層出土土器 -----	392
図版18	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 -----	393
図版19	SI149竪穴建物跡出土遺物 -----	394
図版20	SX122・136土器埋設遺構, ST126・132・135土坑墓 出土遺物 -----	395

図版21	SX137土器埋設遺構, SD129溝跡, SK134・285土坑出 土遺物 -----	396
図版22	ST282土坑墓出土遺物 -----	397
図版23	SX120遺物包含層出土土器 (1) 1層① -----	398
図版24	SX120遺物包含層出土土器 (2) 1層②・2層① ----	399
図版25	SX120遺物包含層出土土器 (3) 2層② -----	400
図版26	SX120遺物包含層出土土器 (4) 2層③ -----	401
図版27	SX120遺物包含層出土土器 (5) 2層④ -----	402
図版28	SX120遺物包含層出土土器 (6) 2層⑤ -----	403
図版29	SX120遺物包含層出土土器 (7) 2層⑥ -----	404
図版30	SX120遺物包含層出土土器 (8) 3層① -----	405
図版31	SX120遺物包含層出土土器 (9) 3層② -----	406
図版32	SX120遺物包含層出土土器 (10) 3層③ -----	407
図版33	SX120遺物包含層出土土器 (11) 3層④ -----	408
図版34	SX120遺物包含層出土土器 (12) 3層⑤ -----	409
図版35	SX120遺物包含層出土土器 (13) 3層⑥ -----	410
図版36	SX120遺物包含層出土土器 (14) 3層⑦ -----	411
図版37	SX120遺物包含層出土土器 (15) 3層⑧ -----	412
図版38	SX120遺物包含層出土土器 (16) 3層⑨ -----	413
図版39	SX120遺物包含層出土土器 (17) 3層⑩ -----	414
図版40	SX120遺物包含層出土土器 (18) 3層⑪ -----	415

図版41	SX120遺物包含層出土土器 (19) 3層⑫	-----416
図版42	SX120遺物包含層出土土器 (20) 3層⑬	-----417
図版43	SX120遺物包含層出土土器 (21) 3層⑭	-----418
図版44	SX120遺物包含層出土土器 (22) 4層①	-----419
図版45	SX120遺物包含層出土土器 (23) 4層②	-----420
図版46	SX120遺物包含層出土土器 (24) 4層③	-----421
図版47	SX120遺物包含層出土土器 (25) 4層④	-----422
図版48	SX120遺物包含層出土土器 (26) 4層⑤	-----423
図版49	SX120遺物包含層出土土器 (27) 4層⑥	-----424
図版50	SX120遺物包含層出土土器 (28) 5層①	-----425
図版51	SX120遺物包含層出土土器 (29) 5層②	-----426
図版52	SX120遺物包含層出土土器 (30) 5層③	-----427
図版53	SX120遺物包含層出土土器 (31) 5層④	-----428
図版54	SX120遺物包含層出土土器 (32) 5層⑤	-----429
図版55	SX120遺物包含層出土土器 (33) 5層⑥	-----430
図版56	SX120遺物包含層出土土器 (34) 5層⑦	-----431
図版57	SX120遺物包含層出土土器 (35) 5層⑧	-----432
図版58	SX120遺物包含層出土土器 (36) 5層⑨	-----433
図版59	SX120遺物包含層出土土器 (37) 5層⑩	-----434
図版60	SX120遺物包含層出土土器 (38) 5層⑪	-----435
図版61	SX120遺物包含層出土土器 (39) 5層⑫	-----436
図版62	SX120遺物包含層出土土器 (40) 5層⑬	-----437
図版63	SX120遺物包含層出土土器 (41) 5層⑭	-----438
図版64	SX120遺物包含層出土土器 (42) 5層⑮	-----439
図版65	SX120遺物包含層出土土器 (43) 5層⑯	-----440
図版66	SX120遺物包含層出土土器 (44) 5層⑰	-----441
図版67	SX120遺物包含層出土土器 (45) 5層⑱	-----442
図版68	SX120遺物包含層出土土器 (46) 5層⑲	-----443
図版69	SX120遺物包含層出土土器 (47) 6層①	-----444
図版70	SX120遺物包含層出土土器 (48) 6層②	-----445
図版71	SX120遺物包含層出土土器 (49) 6層③	-----446
図版72	SX120遺物包含層出土土器 (50) 6層④	-----447
図版73	SX120遺物包含層出土土器 (51) 6層⑤	-----448
図版74	SX120遺物包含層出土土器 (52) 6層⑥	-----449
図版75	SX120遺物包含層出土土器 (53) 6層⑦	-----450
図版76	SX120遺物包含層出土土器 (54) 6層⑧	-----451
図版77	SX120遺物包含層出土土器 (55) 6層⑨	-----452
図版78	SX120遺物包含層出土土器 (56) 6層⑩	-----453
図版79	SX120遺物包含層出土土器 (57) 6層⑪	-----454
図版80	SX120遺物包含層出土土器 (58) 6層⑫	-----455
図版81	SX120遺物包含層出土土器 (59) 6層⑬	-----456
図版82	SX120遺物包含層出土土器 (60) 6層⑭	-----457
図版83	SX120遺物包含層出土土器 (61) 6層⑮	-----458
図版84	SX120遺物包含層出土土器 (62) 6層⑯	-----459
図版85	SX120遺物包含層出土土器 (63) 6層⑰	-----460
図版86	SX120遺物包含層出土土器 (64) 7層①	-----461
図版87	SX120遺物包含層出土土器 (65) 7層②	-----462
図版88	SX120遺物包含層出土土器 (66) 7層③	-----463
図版89	SX120遺物包含層出土土器 (67) 7層④	-----464
図版90	SX120遺物包含層出土土器 (68) 7層⑤	-----465
図版91	SX120遺物包含層出土土器 (69) 7層⑥・8・9層	--466

図版92	SX120遺物包含層出土土製品 (1)	-----467
図版93	SX120遺物包含層出土土製品 (2)	-----468
図版94	SX120遺物包含層出土土製品 (3)	-----469
図版95	SX120遺物包含層出土土製品 (4)	-----470
図版96	SX120遺物包含層出土土製品 (5)	-----471
図版97	SX120遺物包含層出土石器・石製品 (1) 1層	-----472
図版98	SX120遺物包含層出土石器・石製品 (2) 2層①	---473
図版99	SX120遺物包含層出土石器・石製品 (3) 2層②	---474
図版100	SX120遺物包含層出土石器・石製品 (4) 2層③	--475
図版101	SX120遺物包含層出土石器・石製品 (5) 3層①	--476
図版102	SX120遺物包含層出土石器・石製品 (6) 3層②	--477
図版103	SX120遺物包含層出土石器・石製品 (7) 3層③	--478
図版104	SX120遺物包含層出土石器・石製品 (8) 4層①	--479
図版105	SX120遺物包含層出土石器・石製品 (9) 4層②	--480
図版106	SX120遺物包含層出土石器・石製品 (10) 5層①	481
図版107	SX120遺物包含層出土石器・石製品 (11) 5層②	482
図版108	SX120遺物包含層出土石器・石製品 (12) 5層③	483
図版109	SX120遺物包含層出土石器・石製品 (13) 5層④	484
図版110	SX120遺物包含層出土石器・石製品 (14) 5層⑤	485
図版111	SX120遺物包含層出土石器・石製品 (15) 6層①	486
図版112	SX120遺物包含層出土石器・石製品 (16) 6層②	487
図版113	SX120遺物包含層出土石器・石製品 (17) 6層③	488
図版114	SX120遺物包含層出土石器・石製品 (18) 6層④	489
図版115	SX120遺物包含層出土石器・石製品 (19) 7層①	490
図版116	SX120遺物包含層出土石器・石製品 (20) 7層②	491
図版117	SX120遺物包含層出土石器・石製品 (21) 7層③	492
図版118	SX120遺物包含層出土石器・石製品 (22) 7層④	493
図版119	SX120遺物包含層出土石器・石製品 (23) 7層⑤	494
図版120	SX120遺物包含層出土石器・石製品 (24) 8層	---495
図版121	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (1)	-----496
図版122	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (2)	-----497
図版123	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (3)	-----498
図版124	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (4)	-----499
図版125	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (5)	-----500
図版126	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (6)	-----501
図版127	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (7)	-----502
図版128	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (8)	-----503
図版129	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (9)	-----504
図版130	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (10)	-----505
図版131	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (11)	-----506
図版132	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (12)	-----507
図版133	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (13)	-----508
図版134	SX120遺物包含層出土骨角牙貝製品 (14)	-----509
図版135	SX120遺物包含層出土骨角器素材ほか (1)	-----510
図版136	SX120遺物包含層出土骨角器素材ほか (2)	-----511
図版137	SX120遺物包含層出土穿孔ある貝類	-----512
図版138	SX120遺物包含層出土動物遺存体 (1) 貝類①	--513
図版139	SX120遺物包含層出土動物遺存体 (2) 貝類②	--514
図版140	SX120遺物包含層出土動物遺存体 (3) 哺乳類 ニホンジカ	-----515
図版141	SX120遺物包含層出土動物遺存体 (4) 哺乳類	

イノシシ-----516	図版154	7区T107出土土器(2) -----529
図版142 SX120遺物包含層出土動物遺存体(5) 哺乳類 その他・鳥類・両生類・爬虫類 -----517	図版155	7区T107出土土器(3) -----530
図版143 SX120遺物包含層出土動物遺存体(6) 魚類① --518	図版156	7区T107出土土器(4) -----531
図版144 SX120遺物包含層出土動物遺存体(7) 魚類② --519	図版157	7区T107出土土器(5) -----532
図版145 6・8区遺構外出土遺物(1)-----520	図版158	7区T107出土土器(6) -----533
図版146 6・8区遺構外出土遺物(2)-----521	図版159	7区T107出土土器(7) -----534
図版147 6・8区遺構外出土遺物(3)-----522	図版160	7区T107出土土器(8) -----535
図版148 6・8区遺構外出土遺物(4)-----523	図版161	7区T107出土土製品(1)-----536
図版149 6・8区遺構外出土遺物(5)-----524	図版162	7区T107出土土製品(2)・骨角製品 -----537
図版150 7区T101～106出土遺物-----525	図版163	7区T107出土土器・石製品(1) -----538
図版151 7区T106出土土器・土製品 -----526	図版164	7区T107出土土器・石製品(2) -----539
図版152 7区T106出土土器-----527	図版165	7区T108出土土器(1) -----540
図版153 7区T107出土土器(1) -----528	図版166	7区T108出土土器(2) -----541
	図版167	7区T108出土土器(3)・土製品 -----542

調査要項(6～8区)

遺 跡 名 : 台の下貝塚(宮城県遺跡地名表登録番号 63002)

所 在 地 : 宮城県気仙沼市唐桑町台の下

調査原因: 気仙沼市防災集団移転促進事業(大沢A地区)、災害公営住宅整備事業(大沢A地区)

調査担当: 気仙沼市教育委員会生涯学習課

調査協力: 宮城県教育庁文化財保護課、気仙沼市防災集団移転促進課、大成建設株式会社

調 査 員 : 気仙沼市教育委員会生涯学習課

原田享二

宮城県教育庁文化財保護課

平成25年度 古田和誠、西村 力、濱中一道、池田征弘(兵庫県派遣)、大庭俊次(島根県派遣)、加藤勝仁(神奈川県派遣)

平成26年度 西村 力、小山 朗、佐藤則之、潮田憲幸(新潟市派遣)、和田理啓(宮崎県派遣)

調査期間: 平成25年8月2日～8月26日(7区)、平成26年1月27日～7月24日(6・8区)

調査面積: 約454㎡(6・8区: 197㎡、7区: 257㎡)

整理作業・報告書作成(6～8区)

整理担当: 気仙沼市教育委員会生涯学習課

原田享二(平成26・27年度)、平木場秀男(平成29年度)、須藤好直(平成29～31・令和元年度)

整理協力: 宮城県教育庁文化財保護課

西村力・大友邦彦(平成26年度)、潮田憲幸(新潟市派遣、平成26年度)、古田和誠(平成29～31・令和元年度)

業務委託

土器・土製品: 株式会社イビスク(接合及び補強、平成29年度)、株式会社アートプロフィール(写真撮影、平成30年度)

石器・石製品: 株式会社三協技術(実測図作成・写真撮影、平成29年度)

骨角牙貝製品: 株式会社三協技術(実測図作成・写真撮影、平成30年度)

動物遺存体: 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所(同定～分析、平成28～令和元年度)

第1章 経緯と経過

第1節 調査の経緯

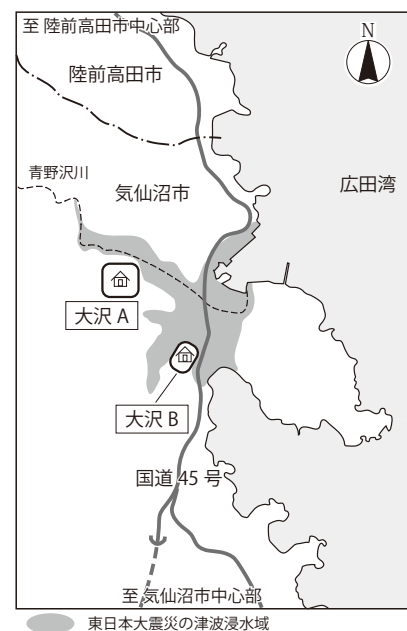
平成23年3月11日に発生した東日本大震災の巨大津波により、三陸海岸の中央部に位置する気仙沼市は甚大な被害を受けた。約9,500世帯が被災し、住家約16,000戸が全半壊するなど、新たな居住地確保が必要となった。本市では平成23年10月7日に「気仙沼市震災復興計画」を策定し、いかなる規模の津波からも市民の生命及び財産を守ることができる安全なまちづくりを実現するため、高台や内陸部への防災集団移転や災害公営住宅整備を推進することとした。

台の下貝塚・台の下遺跡が所在する大沢地区は沿岸の平坦地に漁業集落が形成されていたが、浸水高7m以上の津波に襲われ、住家114戸が全壊した。本市は安心・安全な居住環境の整備を図るため地元の協議会と協議し、津波被害の恐れがない高台で既存集落、幹線道路や大沢漁港に近い大沢地区の台の下（大沢A地区）と荒谷前（大沢B地区）への集団移転が計画された（第1図）。

平成24年2月14日、宮城県教育庁文化財保護課（以下、県文化財保護課〔現、文化財課〕）、気仙沼市教育委員会（以下、市教育委員会）、気仙沼市用地課の三者で集団移転候補地を踏査し、大沢A地区の候補地内に周知の遺跡である台の下貝塚・台の下遺跡が所在することを確認した。市教育委員会・県文化財保護課は遺跡への影響が軽微となるような計画変更を要望した。

平成24年4月19日付けで、大沢地区防災集団移転事業計画と埋蔵文化財のかかわりについての協議書が提出された。埋蔵文化財発掘通知は平成24年6月11日付けで提出された。6月25日に県文化財保護課、市教育委員会、気仙沼市防災集団移転推進課（以下、市防災集団移転推進課〔現、住宅課〕）の三者で現地協議し、大沢A地区については雑木等の伐採作業終了後に市教育委員会主体で確認調査を実施することとした。平成24年5月22日に防災集団移転促進事業（大沢地区）が正式決定され、住宅用地30区画と公営住宅用地を造成することとなり、測量、用地買収等に着手した。また、11月20日には災害公営住宅整備事業（大沢地区）が正式決定され、防災集団移転事業地に災害公営住宅28戸が併せて建設されることとなった。

確認調査は条件が整った平成25年7月1日から市教育委員会が主体で実施し、県文化財保護課が協力した。取付け道路部分からトレンチを設定し調査したところ、台の下遺跡が所在する丘陵東側の平坦面（T1～7・11～13・19）で縄文時代の土坑や縄文土器・石器が確認された。この結果を受けて、平成25年7月16日に県文化財保護課、市教育委員会、市防災集団移転推進課の三者で協議・調整したが、復興事業を迅速に進めるため計画変更は困難と判断されたことから、遺構が検出された範囲について、市教育委員会が主体となり記録保存を目的とした本発



第1図 事業概略図

掘調査を実施することとなった。また、調査期間を短縮するため、確認調査で遺構・遺物の分布が確認された範囲を随時本発掘調査区に設定し、確認調査と併行して本発掘調査を実施することとした。

確認調査では台の下貝塚・台の下遺跡の両遺跡で最終的に 131 本のトレンチを設定し、約 3,500㎡を調査した。本発掘調査が必要と判断された範囲は 8 地点(台の下遺跡 1～5 区、台の下貝塚 6～8 区)である(第 2 図)。

第 2 節 発掘調査の方針

復興事業に伴う発掘調査の方法等については、宮城県教育委員会通知の平成 23 年 6 月 3 日付け文第 268 号「東日本大震災の復興事業に伴う埋蔵文化財の取扱いについて」において、「復興事業を円滑に推進するため、復興事業に伴う発掘調査等の実施にあたっては、宮城県発掘調査基準を弾力的に運用するものとする。」との基本方針が示された上、「本発掘調査は、工事による掘削が遺構を破壊する場合に限って行うものとする。」との取扱いが示されている。台の下貝塚については、取付け道路南東部の 7 区は盛土施工となるため部分的な断割り調査にとどめ、その他は切土施工となることから全て完掘した。

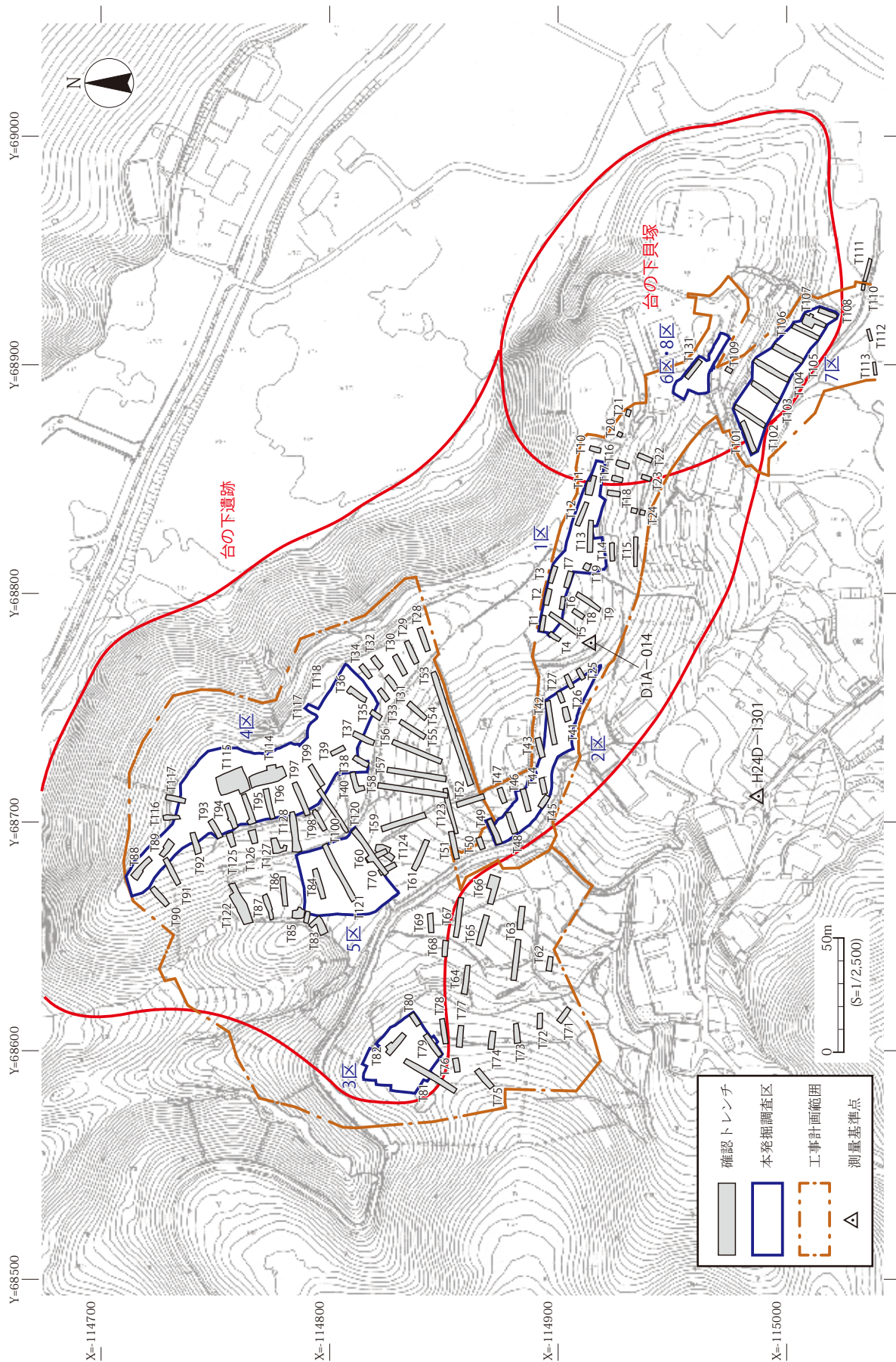
第 3 節 調査の経過

本発掘調査は平成 25 年 7 月 22 日に開始した。復興事業を早期に完了させるため、本発掘調査と工事を並行して実施できるよう市防災集団移転推進課と協議し、取付け道路部分から調査することとした。調査が完了した調査区から工事側に引渡し、10 月 1 日からは調査対象範囲でも本格的に工事が着手された。調査区は本発掘調査に着手した順に 1 区、2 区、3 区…と設定した(第 2 図)。以下調査区ごとに調査経過を記述するが、台の下遺跡分(1～5 区)については、既刊の発掘調査報告書(気仙沼市教育委員会 2018a)を参照されたい。

7 区は計画地の南東部の丘陵南緩斜面に位置する。13 本(T101～113)のトレンチを設置し確認調査を実施したところ、T101～T108 で縄文時代中期～弥生時代前期の土器・石器を含む遺物包含層を発見した。遺物包含層の深さや他の遺構の分布の有無を確認するため、特に遺物の出土量が多かった T106～T108 で遺物包含層の部分的な断割り調査、T107 では調査区を一部拡張して遺構検出

第 1 表 発掘調査と整理作業の経過

		平成 25 年度									平成 26 年度					平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
		7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8～3 月					
確認調査		(1～5 区)																		
		■(7 区)																		
本発掘調査	1 区																			
	2 区																			
	3 区																			
	4 区																			
	5 区																			
	6 区																			
	7 区																			
	8 区																			
整理作業(1～5 区)																				
整理作業(6～8 区)																				



第2図 確認調査トレンチ配置図

することとした。7区の調査は平成25年8月2日に開始した。7区では土坑、縄文時代晩期後葉を主体とする遺物包含層、自然流路跡を発見した。8月26日に調査が完了した。調査面積は257㎡である。

6区は南東方向に延びる丘陵東部の東斜面に位置する。当初は重機が作業できるスペースが確保できなかったため、調査着手を延期していた。12月13日に6区の北側（計画地外）で電柱設置の工事立会を実施した際に縄文時代の貝層・遺物包含層が分布していることが確認された。調査可能となった平成26年1月8日から試掘調査を実施した。その結果、遺構面の上部に盛土が厚く堆積していたことがわかり、東緩斜面の約140㎡（6区）で遺構の分布を確認し、さらに東側の現道部分に遺構の分布が広がることが想定された。市防災集団移転推進課と協議した結果、現道部分（8区）については迂回路の設置後に調査することとなり、調査可能な6区の精査を先行した。6区の調査は1月27日に開始した。6区では縄文時代の竪穴建物跡3棟、土坑墓6基、土器埋設遺構3基、遺物包含層・貝層1ヶ所等を発見した。6区の調査は4月14日に完了した。調査面積は141㎡である。

8区の調査は平成26年6月2日に開始した。8区では縄文時代の土坑墓1基のほか、6区で発見された遺物包含層・貝層の延長部分を確認した。調査は7月24日に完了した。調査面積は56㎡である。

第4節 整理作業・報告書作成の経過

台の下貝塚（6区～8区）の整理作業・報告書作成は、調査終了後の平成26年度～平成31・令和元年度にかけて実施した。人工遺物については県文化財保護課の支援を受けながら整理作業を進め、作業の一部を業務委託した。自然遺物（動物遺存体・人骨）については、専門家に分析を依頼または業務委託し、報告をまとめていただいた。報告書の原稿は県文化財保護課の支援を受け令和元・2年度に編集作業を行った。主な整理作業の概要は下記のとおりである。

〔平成26年度〕

- ・遺構図面、写真整理等の基礎整理作業、遺物の洗浄・注記

〔平成27年度〕

- ・遺物の注記、貝層土壌の水洗篩

〔平成28年度〕

- ・貝層土壌の水洗篩、水洗篩回収遺物の選別

〔平成29年度〕

- ・水洗篩回収遺物の選別
- ・土器接合及び補強、石器実測図作成・写真撮影を業者委託

〔平成30年度〕

- ・土器実測図作成・拓本、石器の計測・石材同定、遺構・遺物の図版作成、事実記載・総括執筆
- ・土器写真撮影、骨角貝製品実測図作成・写真撮影を業者委託

〔令和元～2年度〕

- ・総括執筆、報告書編集作業

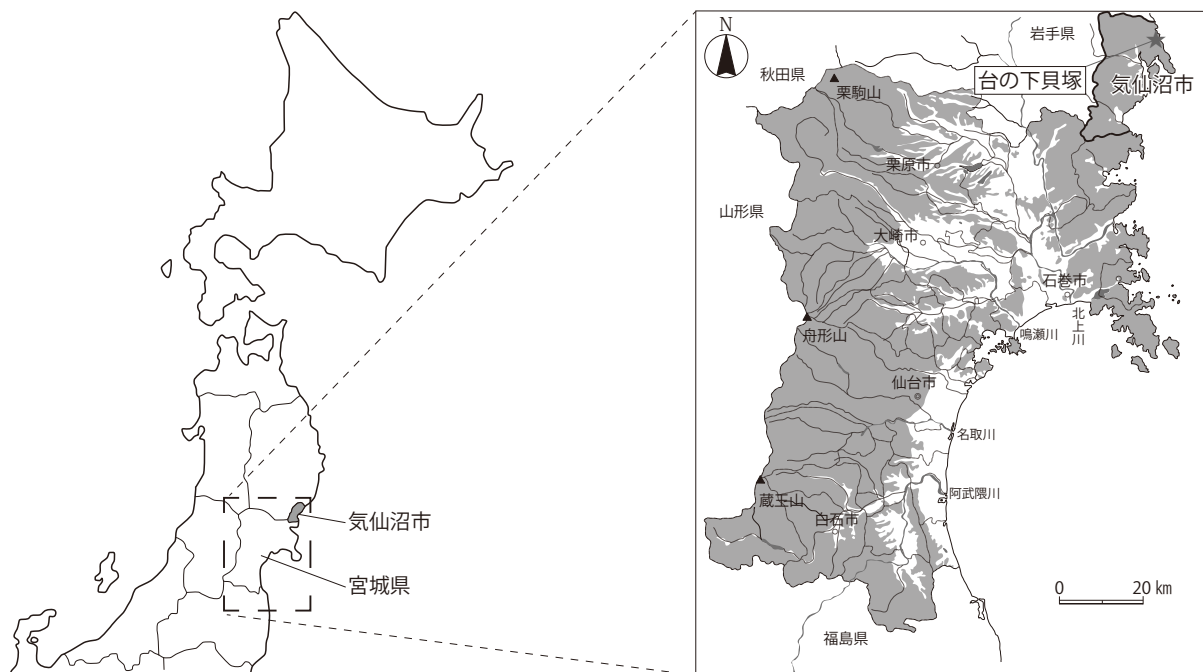
第2章 遺跡の概要

第1節 遺跡の位置と地理的環境

台の下貝塚は、宮城県気仙沼市唐桑町台の下に所在する。宮城県北東端に位置する気仙沼市は、岩手県の南東部に張り出すように位置している。北は笹長根山と松ノ坂峠の稜線によって岩手県陸前高田市と接し、南は南三陸町（旧志津川町）に接する。西は君ヶ鼻山塊と大森山系によって岩手県一関市（旧室根村、旧藤沢町）と宮城県登米市（旧東和町）と接し、東は太平洋に面している。市の北部と西部は北上山地の支脈である標高 500 ～ 700 m 級の山地が連なり、それに続いて南東方向に向かって緩やかな丘陵地から低地へと変化し、太平洋に接する地形となっている。

台の下貝塚が所在する唐桑町北部の大沢地区は、太平洋に張り出す唐桑半島と広田半島の間に広がる広田湾の西岸に位置しており、気仙沼市役所から北東に約 8km の距離にある。本遺跡は笹長根山（標高 519 m）から広田湾に向かって南東方向に延びる丘陵に立地しており、東側から谷が入り馬蹄状となる先端部の北側丘陵に立地している。大沢漁港のある現在の海岸線からは西に約 500 m 奥まった位置にあり、海岸から遺跡が立地する丘陵までの間には、丘陵の北側を流れる小河川である青野沢川によって形成された狭い沖積地が広がっている。

遺跡の範囲は、東西 150 m、南北 140 m ほどで、標高は 5 ～ 34 m である。調査前の遺跡の現況は、山林、畑地、宅地であった。台の下貝塚は、縄文時代と弥生時代の複合遺跡である。遺跡範囲は縄文時代、弥生時代、古代の複合遺跡である台の下遺跡と重複している。



第3図 台の下貝塚の位置

第2節 周辺の遺跡

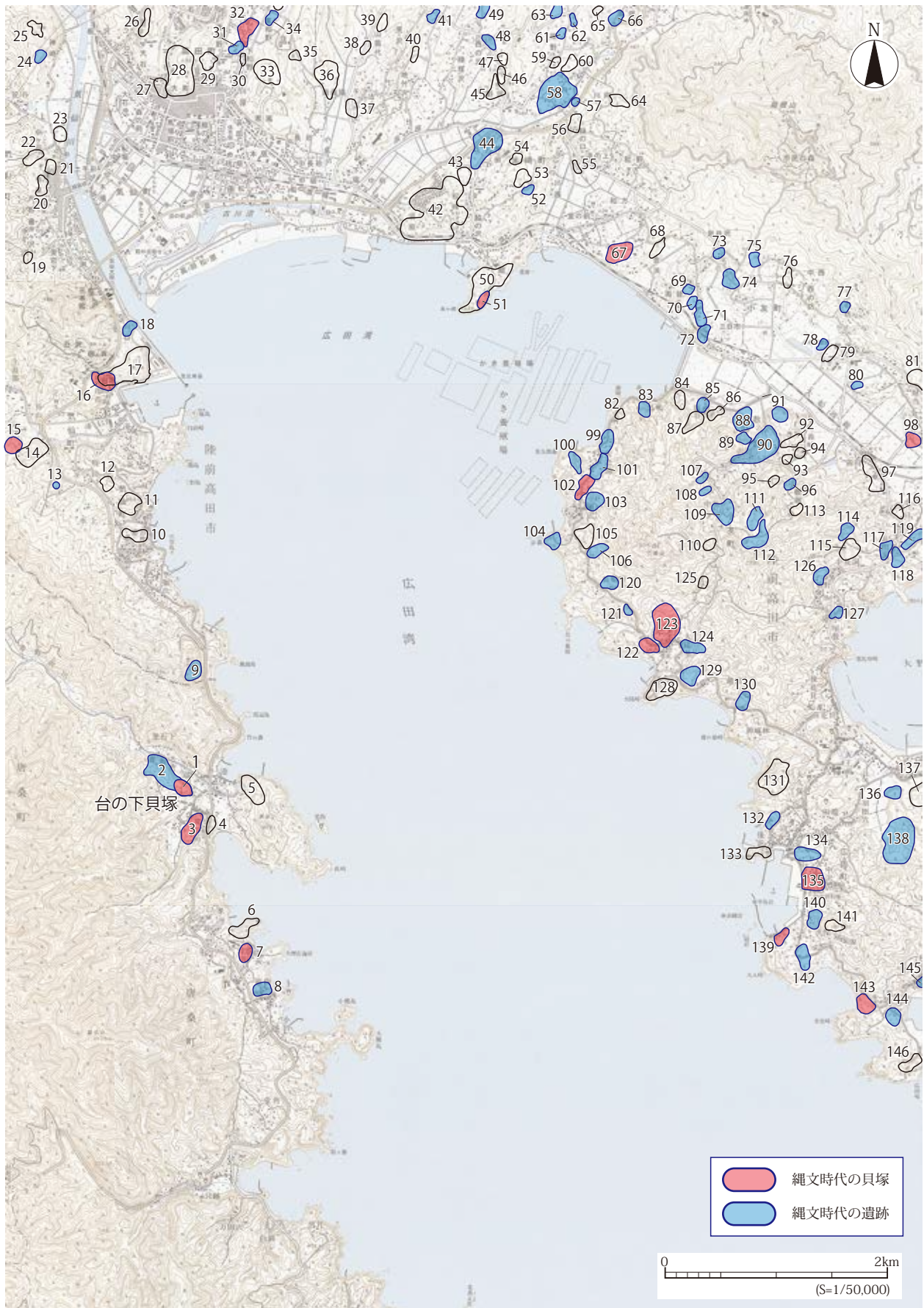
1. 台の下貝塚周辺の縄文時代の遺跡

台の下貝塚が立地する広田湾周辺には縄文時代から近世にかけての遺跡が多く分布しており（第4図）、特に陸前高田市では約270の遺跡が確認されている。ここでは、台の下貝塚に関連する縄文時代の遺跡について発掘調査成果を中心に概観する。

台の下貝塚の周辺には縄文時代の遺跡は80か所あり、時期がわかるものが44か所、そのうち貝塚は14か所ある。時期別にみると、草創期は0か所、早期の遺跡は5か所、前期の遺跡は17か所、中期の遺跡は23か所、後期の遺跡は26か所、晩期の遺跡は17か所ある。貝塚のうち発掘調査で貝層が確認されているものは8か所あり、前期が4か所、中期が5か所、後期が2か所、晩期が1か所ある。広田湾周辺では前期に小規模な貝塚・集落が形成され始め、中期になると集落の規模が広がり、後期まで継続する遺跡も多く、晩期になると遺跡数がやや減少する傾向がみられる。貝塚の立地をみると、広田湾西岸の台の下貝塚（第4図1）・波怒棄館遺跡（3）・陸前高田市二日市貝塚（16）、北岸の堂の前貝塚（67）、東岸の瀬沢貝塚（102）、大陽台貝塚（123）・史跡中沢浜貝塚（135）など、広田湾を見渡すことができる標高20～50mの丘陵上に立地するものが多くみられる。

発掘調査が行われた遺跡は、波怒棄館遺跡（気仙沼市教育委員会2013）、台の下遺跡（気仙沼市教育委員会2018a・b）、陸前高田市牧田貝塚（陸前高田市教育委員会1971、（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1996）、貝畑貝塚（陸前高田市教育委員会1985・1998）、川内遺跡（（財）岩手県埋蔵文化財センター1984、陸前高田市教育委員会2003）、堂の前貝塚（陸前高田市教育委員会1997・1999）、雲南遺跡（陸前高田市教育委員会2006）、門前貝塚（陸前高田市教育委員会1974・1992）、瀬沢貝塚（陸前高田市教育委員会2001・2007）、大陽台貝塚（陸前高田市教育委員会1979）、袖野I遺跡（陸前高田市教育委員会2010）、中沢遺跡（陸前高田市教育委員会2017）、史跡中沢浜貝塚（陸前高田市教育委員会1985・1986・1987・1988・1994・1999・2000・2001）などがある。

このうち、牧田貝塚（15）は広田湾周辺では最古にあたる前期初頭から末葉の集落遺跡で、竪穴建物跡3棟や4か所の小規模な貝層が確認されている。波怒棄館遺跡（3）は前期後葉～中期初頭を主体とする集落遺跡で、貝層から縄文土器・石器のほか、骨角器や動物遺存体が出土している。貝畑貝塚（32）は中期末を主体とする集落遺跡で、竪穴建物跡が22棟確認されており、12棟は複式炉を伴うものである。堂の前貝塚（67）は中期後葉～後期中葉の集落遺跡で、竪穴建物跡、掘立柱建物跡、埋設土器、フラスコ状土坑が確認されている。また、復興事業に伴う平成24・25年度調査では、複式炉を伴う竪穴建物跡や貝層が確認されている（曳地2014）。門前貝塚（98）は中期末葉～後期初頭の集落遺跡で、後期初頭の「門前式」の標識遺跡として知られており、7か所の貝層のほか、竪穴建物跡1棟、フラスコ状土坑、土器埋設遺構、土坑墓（埋葬人骨）、弓矢状配石などの配石遺構が確認されている。中沢遺跡（134）では後期中葉の竪穴建物跡が1棟確認されているほか、中期後葉の土坑に堆積した貝層から動物遺存体や骨角器が出土している。中沢浜貝塚（135）は前期～晩期の集落遺跡で、前期中葉・中期末葉を主体とする貝層や土坑墓（埋葬人骨）と甕棺墓（乳児骨）で構成される後期末葉～晩期の墓域が確認されている。甕棺墓の土器には底部に穿孔されたものがある。



第4図 台の下貝塚の位置と周辺の遺跡

第2表 遺跡地名表

No.	遺跡名	種別	時代	No.	遺跡名	種別	時代
1	台の下遺跡	集落	縄文・弥生・平安・近世	74	松山前遺跡	集落	縄文・古代
2	台の下貝塚	貝塚	縄文(中～晩)・弥生	75	西之坊遺跡	散布地	縄文(後)・古代
3	波怒棄館遺跡	貝塚	縄文(前～中・晩)	76	中西Ⅰ遺跡	散布地	
4	朝日館跡	城館	中世	77	中西Ⅱ遺跡・上の坊遺跡	散布地	縄文(早・後)
5	出山館跡	城館	中世	78	後谷地遺跡	散布地	縄文
6	八幡館跡	城館	中世	79	両替館跡	城館跡	中世
7	岩井沢貝塚	貝塚	縄文(晩)	80	財当遺跡	散布地	縄文
8	載鉤遺跡	散布地	縄文	81	内館跡	城館跡	中世
9	福伏遺跡	散布地	縄文	82	鳥嶋Ⅲ遺跡	散布地	
10	要害館跡	城館	近世	83	鳥嶋Ⅱ遺跡	散布地	縄文(後)・古代
11	双六塚遺跡			84	鳥嶋Ⅰ遺跡	散布地	古代
12	水上Ⅰ遺跡			85	塩谷Ⅰ遺跡	散布地	縄文(後)
13	水上Ⅱ遺跡		縄文	86	塩谷Ⅲ遺跡	散布地	古代
14	上長部館跡	城館	中世	87	塩谷Ⅱ遺跡	散布地	古代
15	牧田貝塚	貝塚	縄文(前)・平安	88	小屋敷遺跡	散布地	縄文(前・中)
16	二日市貝塚	貝塚	縄文(前～晩)	89	沢辺Ⅱ遺跡	散布地	縄文
17	二日市館跡(八幡館・鶴飼館)	城館	中世	90	雲南遺跡	集落	縄文(早～中)・弥生
18	川口遺跡		縄文	91	浦の前遺跡	散布地	縄文
19	愛宕下Ⅱ遺跡		奈良・平安	92	森崎Ⅰ遺跡	散布地	古代
20	館ヶ脇館跡	城館跡	中世	93	森崎Ⅲ遺跡	散布地	古代
21	東館跡(今泉古館)	城館跡	中世	94	森崎Ⅱ遺跡	散布地	古代
22	廻館跡	城館跡		95	腰廻Ⅰ遺跡	散布地	古代
23	中井遺跡	散布地		96	腰廻Ⅱ遺跡	散布地	縄文・古代
24	神崎遺跡	散布地	縄文	97	新田遺跡	散布地	古代
25	陣ヶ森遺跡	散布地・城館跡	中世	98	門前貝塚	貝塚	縄文(中・後)
26	栃ヶ沢遺跡			99	矢の浦Ⅰ遺跡	散布地	縄文(前・中・後)
27	西館遺跡	散布地	奈良・平安	100	矢の浦Ⅱ遺跡	散布地	縄文(中)
28	高田城跡(八幡館跡)	城館跡	中世	101	矢の浦Ⅲ遺跡	散布地	縄文(中～晩)
29	洞の沢遺跡	散布地		102	瀬沢貝塚	貝塚	縄文(前～晩)・弥生
30	下和野遺跡	集落跡		103	瀬沢Ⅰ遺跡	散布地	縄文(晩)
31	西和野遺跡	集落跡	縄文	104	瀬沢Ⅱ遺跡	散布地	縄文(後・晩)
32	貝畑貝塚	貝塚	縄文(中～晩)	105	瀬沢Ⅲ遺跡	散布地	古代
33	古泉館跡(東館)	城館	中世	106	長茂館跡(眺館)	散布地・城館跡	縄文・中世
34	中和野Ⅲ遺跡	散布地	縄文	107	沢辺Ⅰ遺跡	散布地	縄文
35	太田遺跡	散布地		108	中里Ⅰ遺跡	散布地	縄文
36	花館(飯森場遺跡)	城館跡・散布地	中世	109	中里Ⅱ遺跡	散布地	縄文
37	小泉遺跡	集落跡	平安	110	中里Ⅲ遺跡	散布地・集落跡	
38	山苗代遺跡	散布地		111	腰廻Ⅳ遺跡	散布地	縄文
39	豆の通遺跡	金吹跡		112	腰廻Ⅴ遺跡	散布地	縄文
40	地竹沢Ⅱ遺跡	散布地	奈良・平安	113	腰廻Ⅲ遺跡	散布地	古代
41	地竹沢Ⅰ遺跡	散布地	縄文・奈良・平安	114	長根洞Ⅰ遺跡	散布地	縄文
42	松峰Ⅰ遺跡	散布地	奈良・平安	115	袖野Ⅱ遺跡	散布地	
43	松峰Ⅱ遺跡	散布地		116	小ヶ口遺跡	散布地	古代
44	川崎遺跡	散布地	縄文・奈良・平安	117	長根洞Ⅱ遺跡	散布地	縄文
45	中山館跡	城館	中世	118	小長洞遺跡	散布地	縄文(晩期)・弥生・古代
46	野沢Ⅲ遺跡	散布地	奈良・平安	119	長洞遺跡	散布地	縄文・弥生
47	野沢Ⅲ遺跡	散布地	奈良・平安	120	船荒遺跡	散布地	縄文(後)
48	野沢Ⅱ遺跡	散布地	縄文・奈良・平安	121	柏崎遺跡	散布地	縄文(前・中)
49	野沢Ⅰ遺跡	散布地	縄文・奈良・平安	122	大陽貝塚	集落・貝塚	縄文(前・後)
50	米ヶ崎城跡(浜田城)	城館	中世	123	大陽台貝塚	貝塚	縄文(前・中)
51	米ヶ崎遺跡(館貝塚)	貝塚	弥生・縄文	124	大陽里Ⅱ遺跡	散布地	縄文
52	川西遺跡	散布地	縄文	125	大陽里Ⅰ遺跡	製鉄跡	中世・近世
53	脇沢館跡(鳥崎城)	城館	中世	126	袖野Ⅰ遺跡	散布地	縄文(前～晩)・古代
54	神田遺跡		奈良・平安	127	小屋敷遺跡	散布地	縄文・古代
55	中島Ⅱ遺跡	散布地		128	大陽崎遺跡	散布地	古代
56	中陣跡(高木城・日高城)	城館	中世	129	越田遺跡	散布地	縄文(中・後)
57	川向遺跡		縄文	130	赤沼遺跡	散布地	縄文(後)
58	川内遺跡	集落	縄文(中～晩)・奈良・平安	131	高館跡	城館跡	中世
59	佐野Ⅳ遺跡	散布地	奈良・平安	132	泊遺跡	散布地	縄文(後)
60	佐野Ⅴ遺跡	散布地	奈良・平安	133	小館跡	城館跡	中世
61	佐野Ⅲ遺跡	散布地	縄文(後・晩)	134	中沢遺跡	散布地	縄文(早・中・後)
62	佐野Ⅱ遺跡	散布地	縄文・弥生	135	史跡中沢浜貝塚	貝塚	縄文(早～晩)・弥生
63	佐野Ⅰ遺跡	散布地	縄文	136	平畑遺跡	散布地	縄文
64	一起館跡(一騎館)	城館	中世	137	花館跡	城館跡	中世
65	高畑Ⅰ遺跡	散布地	奈良・平安	138	谷地遺跡		縄文・弥生・奈良・平安
66	高畑Ⅱ遺跡	散布地	縄文(後)	139	久保貝塚	貝塚	縄文(晩)・古代
67	堂の前貝塚	集落・貝塚	縄文(中・後)	140	内田遺跡	散布地	縄文(中)
68	金浜遺跡	散布地	古代	141	八幡館跡	城館跡	中世
69	両替Ⅰ遺跡	散布地	縄文・古代	142	久保Ⅰ遺跡	散布地	縄文(後)
70	両替Ⅱ遺跡	散布地	縄文	143	金室遺跡	貝塚	縄文(前)
71	三日市Ⅱ遺跡		縄文	144	集遺跡	散布地	縄文(前)
72	三日市Ⅰ遺跡	集落	縄文(中)・古代	145	根岬遺跡	散布地	縄文(中)
73	岩井沢遺跡	集落	縄文(中)・古代	146	東館跡	城館跡	中世

* No.は第4図の遺跡番号に対応する。1～8が気仙沼市、9～146が岩手県陸前高田市、■は縄文時代の貝塚

2. 気仙沼市内の縄文時代の貝塚

気仙沼市には縄文時代から近世にかけての遺跡が多数分布しており、181 の遺跡が登録されている。縄文時代の遺跡は 76 か所あり、時期がわかるものが 38 か所ある。時期別にみると、草創期は 0 か所、早期の遺跡は 3 か所、前期の遺跡は 19 か所、中期の遺跡は 20 か所、後期の遺跡は 26 か所、晩期の遺跡は 26 か所ある。ここでは、気仙沼湾周辺に立地する縄文時代の貝塚について発掘調査成果を中心に概観する。

貝塚は 22 か所あり、時期がわかるものは 19 か所ある。貝塚の立地をみると(第 5 図)、気仙沼湾西岸、気仙沼湾北奥部、気仙沼大島西湾側、唐桑半島西湾側の段丘や丘陵上に分布するものが多い。発掘調査が行われている遺跡は、藤ヶ浜貝塚(宮城県鼎が浦高等学校社会班 1968)、磯草貝塚(宮城県鼎が浦高等学校社会班 1965、気仙沼市教育委員会 2017)、南最知貝塚(気仙沼市教育委員会 2017)、田柄貝塚(宮城県教育委員会 1986)、駒形貝塚(気仙沼市教育委員会 1980)、内の脇 2 号貝塚(気仙沼市教育委員会 1982)、前浜貝塚(本吉町教育委員会 1979) などがある。

早期は 2 か所あり、田柄貝塚(第 5 図 13)で早期末の土器が出土している。前期は 12 か所あり、藤ヶ浜貝塚(4)、磯草貝塚(7)、南最知貝塚(17)のように中期以降も連続する大きな遺跡があらわれる。内の脇 2 号貝塚(12)で前期後半の貝層、磯草貝塚で前期末～中期初頭の貝層、藤ヶ浜貝塚で前期末～中期中葉とみられる土器埋設炉が確認されている。中期は 11 か所あり、藤ヶ浜貝塚で大木 8a 式期のフラスコ状土坑が 3 基、田柄貝塚で大木 9 式期の竪穴建物跡 2 棟、南最知貝塚で大木 7a 式期の竪穴建物跡 1 棟、中期初頭の土坑墓 3 基(埋葬人骨 3 体)、が確認されている。埋葬人骨はすべて成人で、埋葬体位は屈葬である。後期は 12 か所あり、田柄貝塚で後期後葉～晩期前葉の貝層、駒形貝塚(9)で後期中葉～末葉の貝層、古館貝塚で後期前葉の貯蔵穴群が確認されている。晩期は 14 か所あり、浦島貝塚(11)で晩期前葉の貝層、前浜貝塚(20)で晩期中葉頃の土坑墓(埋葬人骨)・埋葬犬骨・甕棺墓(胎児骨)、田柄貝塚で土坑墓 8 基(埋葬人骨 8 体)、甕棺墓 5 基(胎児骨 4 体)、埋葬犬骨 22 体・猪骨 2 体で構成される後期後葉～晩期中葉の墓域が確認されている。

第 3 表 気仙沼市内の縄文時代の貝塚

No.	遺跡名	時代	貝層の時期	文献
1	台の下貝塚	縄文(中～晩)・弥生	中期末葉	本書
2	波怒棄館遺跡	縄文(早～中・晩)	前期後葉～中期初頭	気仙沼市 2013
3	岩井沢貝塚	縄文(晩)		
4	市史跡 藤ヶ浜貝塚	縄文(前・中・晩)・弥生		宮城県鼎が浦高等学校社会班 1968, 宮城県教育委員会 1982, 気仙沼市 2020b
5	古館貝塚	縄文(前～後)		宮城県鼎が浦高等学校社会班 1968, 気仙沼市 2017
6	長浜貝塚(鮎立遺跡)	縄文(前・後・晩)		
7	市史跡 磯草貝塚	縄文(前～晩)	前期末～中期初頭	宮城県鼎が浦高等学校社会班 1965, 伊東玄三 1967, 気仙沼市 2017, 気仙沼市 2020a
8	裏方 A 貝塚	縄文(前・中・晩)		
9	駒形貝塚	縄文(後・晩)	後期中葉～末葉	気仙沼市 1986
10	西中才貝塚	縄文(後・晩)	晩期中葉	気仙沼市史編さん委員会 1988
11	市史跡 浦島貝塚	縄文(前～晩)	晩期前葉	宮城県鼎が浦高等学校社会班 1965
12	市史跡 内の脇 1 号貝塚	縄文(中・後)	後期	
12	市史跡 内の脇 2 号貝塚	縄文(前)	前期後半	気仙沼市 1982
13	田柄貝塚	縄文(早～晩)・弥生(中)	後期後葉～晩期前葉	宮城県教育委員会 1986
14	境貝塚	縄文		
15	松岩貝塚	縄文(後・晩)		
16	高谷貝塚	縄文		
17	市史跡 南最知貝塚	縄文(前・中)・古墳後		宮城県鼎が浦高等学校社会班 1970, 宮城県教育委員会 1979, 気仙沼市 1980・2017
18	杉の下貝塚	縄文・古代		
19	沼尻遺跡	縄文・弥生・平安		
20	市史跡 前浜貝塚	縄文(後・晩)		本吉町教育委員会 1979
21	卵名沢貝塚	縄文(前～後)・弥生		

* No. は第 5 図の遺跡番号に対応する



第 5 図 気仙沼市内の縄文時代の貝塚

第3節 台の下遺跡の調査

台の下貝塚に隣接する台の下遺跡のこれまでの主な調査成果を第4表・第5表にまとめた。

1. 平成25年度調査（1～5区）

竪穴建物跡、掘立柱建物跡、貯蔵穴と考えられる土坑、捨て場などで構成される縄文時代中期後葉～後期中葉の集落が確認された。集落の最盛期は中期末葉で、丘陵平坦部北西奥に位置する4区では、複式炉・土器埋設炉を伴う竪穴建物跡が13棟（建替え含む）検出された（第6図）。また、4区北西斜面際に分布する遺物包含層では中期後葉の小規模な貝層が検出された。縄文時代以外では、谷部に近い緩斜面に位置する2区で平安時代の竪穴建物跡1棟が検出された。

2. 平成28年度調査（9区）

集会所施設用地整備に伴い本発掘調査が行われ、1区と4区の間に位置する丘陵頂部の平坦部で縄文時代後期前葉頃とみられる掘立柱建物跡2棟、フラスコ状土坑2基、南西斜面部で後期前葉～中葉を主体とする遺物包含層が発見された（第6図）。また、2区北東部に隣接する南西斜面の裾部では平安時代の竪穴建物跡6棟（建替え含む）が発見され、そのうち2棟からは鍛冶炉が検出された。出土した製鉄・鍛冶関連遺物の自然科学分析では、遺跡内で砂鉄を製鉄材料とした鉄生産、精錬鍛冶や鍛錬鍛冶が行われていたと推定している。

第4表 台の下遺跡の調査

調査年度	調査原因	調査内容	調査区	調査面積	主な遺構	報告
2013 (平成25)	防災集団移転・災害公営住宅整備	本発掘調査	1区	840㎡	【縄文】土坑23基（フラスコ状土坑11基）	気仙沼市 2018a
			2区	886㎡	【縄文】後期中葉の竪穴建物跡1棟 【平安】竪穴建物跡1棟、土坑1基、【その他】自然流路跡1	
			3区	747㎡	【縄文】掘立柱建物跡1棟、竪穴状遺構2基、土坑10基、柱穴・ビット	
			4区	3,267㎡	【縄文】中期後葉～未葉の竪穴建物跡15棟（建替え含む、複式炉13基）、掘立柱建物跡3、竪穴状遺構2基、土坑42基（フラスコ状土坑8基）、遺物包含層（貝層含む）1か所 【その他】江戸時代以降の墓跡38基、近世以降の炭窯跡1基	
			5区	1,105㎡	【縄文】落とし穴状の土坑4、土坑2基	
2016 (平成28)	漁業集落防災機能強化（集会所施設用地整備）	本発掘調査	9区	2,500㎡	【縄文】掘立柱建物跡2棟、晩期の土器埋設遺構1基、フラスコ状土坑2基を含む土坑32基、後期初頭～中葉の遺物包含層1か所、ビット 【平安】竪穴建物跡6棟（鍛冶炉2基）、土坑9基、ビット	気仙沼市 2018b

第5表 台の下遺跡の主な遺構の変遷

	1区	2区	3区	4区	9区
中期後葉	フラスコ状土坑			竪穴建物跡 遺物包含層	
中期末葉	フラスコ状土坑			竪穴建物跡	
後期初頭	フラスコ状土坑		掘立柱建物跡	フラスコ状土坑 掘立柱建物跡	フラスコ状土坑 掘立柱建物跡
後期前葉	フラスコ状土坑			フラスコ状土坑	遺物包含層 掘立柱建物跡
後期中葉		竪穴建物跡		土坑	
晩期中葉					
晩期後葉～未葉			土坑		土器埋設遺構
平安時代		竪穴建物跡			竪穴建物跡

第3章 調査の成果

第1節 方法

1. 調査の方法

【表土除去】バックホーを使用した。生じた排土についてはダンプカーにより搬出し、工事範囲内に仮置きした。

【遺構検出・精査】遺構の検出と精査については人力で行った。

【遺構の登録】遺構番号については、台の下貝塚・台の下遺跡で遺構の種類を問わず1から通し番号で登録した。台の下貝塚の6区は120～150、251～270、7区は271～280、8区は281～291を使用した。遺構記号については例言に示したとおりである。

【遺物の取上げ】竪穴建物跡や遺物包含層・貝層からはまとまった量の遺物が出土した。これらのうち特徴的な遺物や良好な状態で出土した遺物については、遺構ごとに1から通し番号で遺物取上げ番号を設定し、写真撮影、レベリングの後に取上げた。

【人骨の取上げ】骨の遺存状況が良好なものは、人骨ごとに1から通し番号で取上げ番号を設定し、写真撮影、レベリングの後に取上げた。骨の遺存状況が悪く強度が不足しているものは、補強剤を浸透させて強化し、土ごと切り取って取上げた。

【記録作成】精査した遺構については、平面図・断面図作成、写真撮影を行った。平面図については、東日本大震災後に工事に設定された3級基準点（H24D-1301）と4級基準点（D-1A014）を基準とし、株式会社CUBIC製発掘調査関連測量専用ソフト「電子平板 遺構くん」と株式会社ソキア・トプコン製の自動追尾トータルステーションを用いて作成した。基準点の国家座標は例言に示したとおりである。ただし、土器埋設遺構の平面図は縮尺1/10の手実測で作成し、土坑墓（埋葬人骨）の平面図は「電子平板 遺構くん」で多点画像補正した写真を下図に利用して作成した。断面図については、遺物包含層は「電子平板 遺構くん」で多点画像補正した写真を下図に利用して作成し、その他の遺構は縮尺1/10・1/20の手実測で作成した。写真撮影には35mm一眼レフデジタルカメラ（NIKON D3200：2,416万画素）を使用した。

2. 整理の方法

【遺物】洗浄、注記、接合を行い、特徴的なものについて抽出した。この際、土器、土製品、石器、石製品、骨角牙貝製品、動物遺存体については、遺物取上げ番号とは別に、遺物番号を設定した。6・8区のSX120遺物包含層・貝層及び7区T107の26層で回収した貝層土壌サンプルについては、4mm、1mmの篩を用いて水洗により遺物を回収した。作成した実測図については、スキャナーで取り込み、その画像をAdobe社のIllustrator CCでトレースした。拓本図については、スキャナーで取り込み、その画像をAdobe社のPhotoshop CCで色調や濃度を加工した。報告書に掲載する遺物の写真撮影・写真加工作業の大半は業者に委託して行った。

【遺構】「電子平板 遺構くん」で測量した平面図を Adobe 社の Illustrator CC に変換して作成し、断面図については実測図をスキャナーで取り込み、同じく Illustrator CC でトレースした。

3. 報告書の記載について

本事業に伴う発掘調査は、平成 25 年 7 月から平成 26 年 1 月に台の下遺跡(1～5 区)と台の下貝塚(7 区)、平成 26 年 1 月から 7 月に台の下貝塚(6・8 区)の調査が実施された。このうち、本報告書の内容は台の下貝塚(6～8 区)にあたり、台の下遺跡(1～5 区)の報告書は既に刊行されている(気仙沼市教育委員会 2018a)。

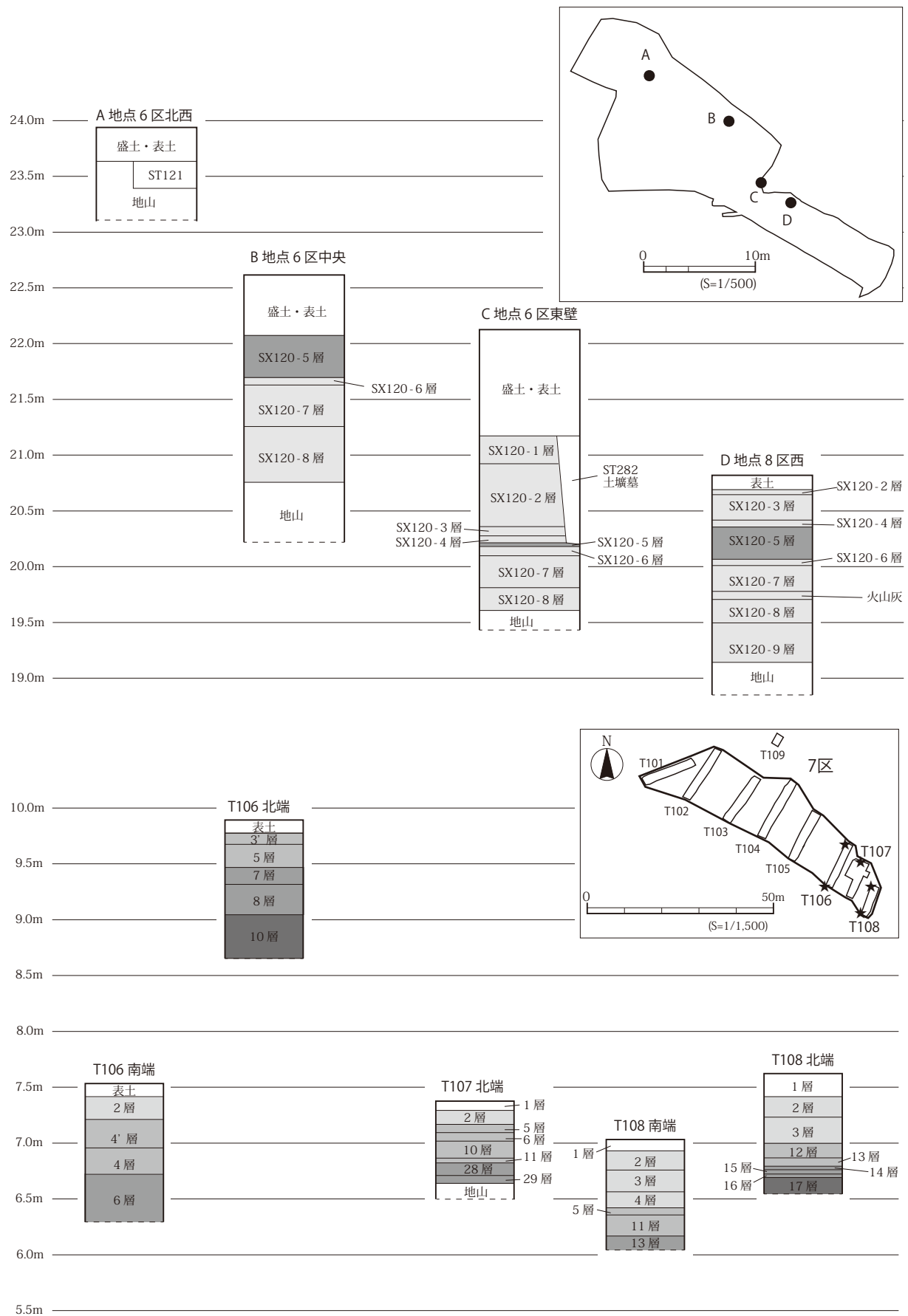
報告書の記載方法としては、精査した遺構について 6・8 区と 7 区に分けて項立てし、竪穴建物跡、土器埋設遺構、土坑墓(埋葬人骨)、土坑、溝跡、焼土遺構、遺物包含層の順で行う。また、遺構確認面や遺構に伴うカクラン、または表面採集遺物の中で特徴的なものについては、遺構外出土遺物として補足的に掲載する。

第 2 節 検出状況と基本層序

台の下貝塚が立地する丘陵先端部は東から谷が入り馬蹄状となっている。調査区は遺跡範囲の南西にあたり、丘陵先端部の南西斜面に位置する。調査区の標高は、北側の 6 区が標高 20～24 m、8 区が標高 19～21 m、南側の 7 区が標高 6～13 m である。

6・8 区では、表土・盛土の直下に遺物包含層・貝層(SX120)が厚く堆積しており、その下層に遺物をほとんど含まない地山漸移層があり、地山となる。地山面における地形は、6・8 区の接続部付近を通り北東から南西に延びる緩やかな谷地形と推定され、この谷を埋めるように遺物包含層が形成されている。遺構は、遺物包含層が分布しない 6 区北西部で地山、遺物包含層の分布範囲では遺物包含層の上面や層中で検出している。また、8 区の遺物包含層最下層上面では灰白色の火山灰ブロックや、火山灰ブロックを含む土の落ち込みが検出されており、これらの火山灰は十和田中楯火山灰の可能性がある。

7 区では、西側の T101～T105 では部分的に流れ込みとみられる遺物をわずかに含む旧表土が残存しているものの、大半は表土直下に遺物をほとんど含まない地山漸移層があり、地山または岩盤となる。東側の T106～T108 では、表土直下に土器・石器を含む遺物包含層が堆積しており、その下層に遺物をほとんど含まない地山漸移層があり、地山となる。遺構は、東側の T106～T108 の遺物包含層の上面や層中で検出している。また、T107 では遺物包含層の下層で破碎貝類を多く含む混貝土層が部分的に分布する状況を確認している。



第7図 基本層序



第 8 図 6・8 区遺構配置図

第3節 発見された遺構と遺物

1. 6・8区

検出された遺構には、竪穴建物跡3棟（建替え含む）、土器埋設溝3基、土坑墓6基、土坑10基、溝跡1条、貝層を伴う遺物包含層1か所があり（第8図）、出土遺物には縄文土器・土製品、石器・石製品、骨角貝牙製品、動物遺存体、人骨などがある。以下、主要なものについて説明する。

(1) 竪穴建物跡

SX120－8層及び地山で3棟の竪穴建物跡を検出している。

【SI149 竪穴建物跡】（遺構：第9図、遺物：第10図）

6区北の南緩斜面に位置する。支柱穴、炉跡、周溝・床面の一部を検出しており、南側は残存状況が悪い。検出面はSX120－8層及び地山である。

〔平面形・規模〕斜面上方にあたる北側の一部が残存しており、周溝から推定すると平面形は最大径4.3m程度の不整円形とみられる。

〔壁〕北側で残存している。地山（SX120－8層～地山）を壁としており、床面からなだらかに立ち上がる。壁高は最も残りのよい北壁で床面から45cmである。

〔床面〕地山（SX120-8層～地山）を床面としており、床面は南側が低くなるようにやや傾斜している。

〔炉〕中央で焼面を確認しており、地床炉と考えられる。焼面は南側をP258に壊されているが、平面形は直径約70cmの不整円形とみられる。



遺構	層	土色	土性	特徴	解釈
SI149	1	にぶい黄褐色(10YR4/3)	粘土質シルト	岩盤の小礫・炭化物を含む。	住居内堆積土
	2	暗褐色(10YR3/3)	粘土	岩盤の小礫・炭化物粒を少量含む。	周溝内堆積土

第9図 6区 SI149 竪穴建物跡

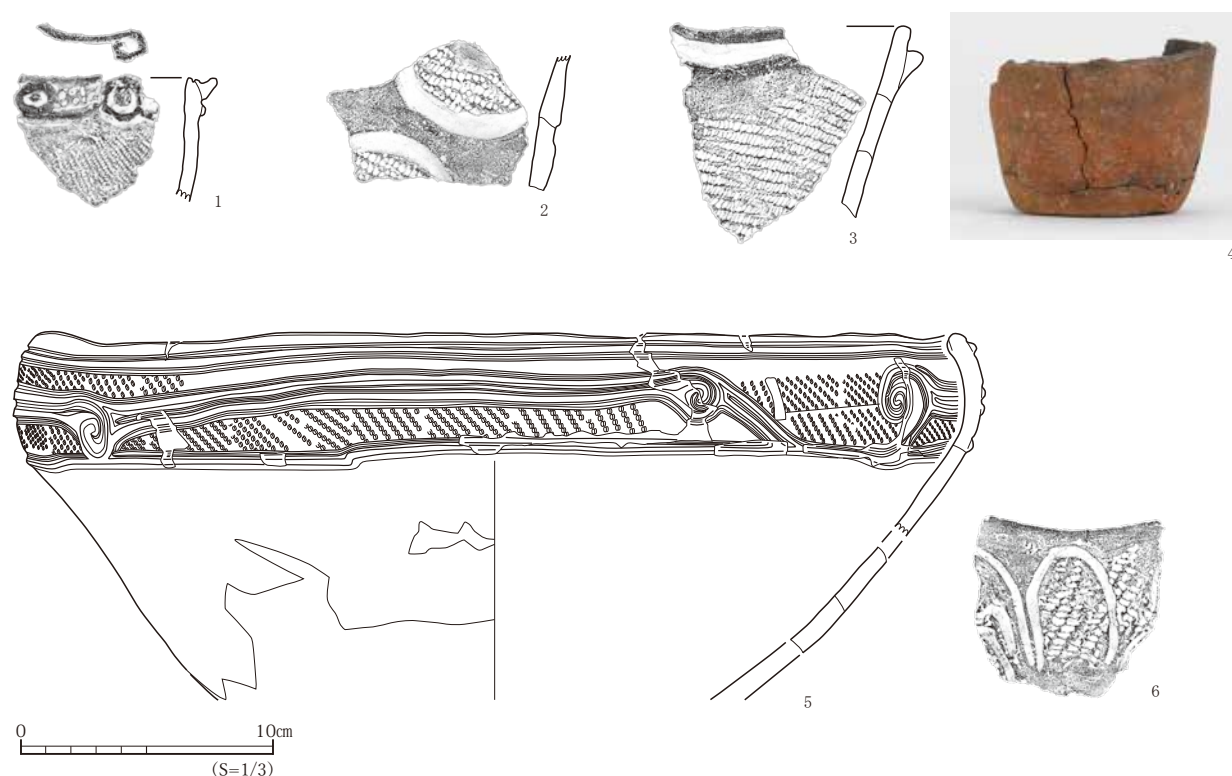
〔支柱穴〕建物の範囲内で 15 個のピットを検出しており、このうち中央付近で炉を囲むような配置となる P1～P12 が支柱穴となる可能性がある。P1～P12 の平面形はいずれも楕円形で、掘方の規模は長軸 15～36cm、短軸 12～29cm である。深さは 8～36cm である。P2 で柱痕跡を確認しており、平面形は長軸 21cm、短軸 14cm の楕円形である。

〔周溝〕西側から北側で 1 条検出している。上幅 5～19cm、下幅 2～13cm、深さ 4～34cm である。断面形は U 字状である。堆積土は岩盤由来の小礫や炭化物粒を少量含む暗褐色粘土で、人為堆積とみられる。

〔壁柱穴〕周溝上面・底面もしくは周溝の延長線上で壁柱穴と考えられるピットを 22 個検出している。ピットの平面形は長軸 6～23cm の不整円形もしくは楕円形で、深さは 4～16cm である。

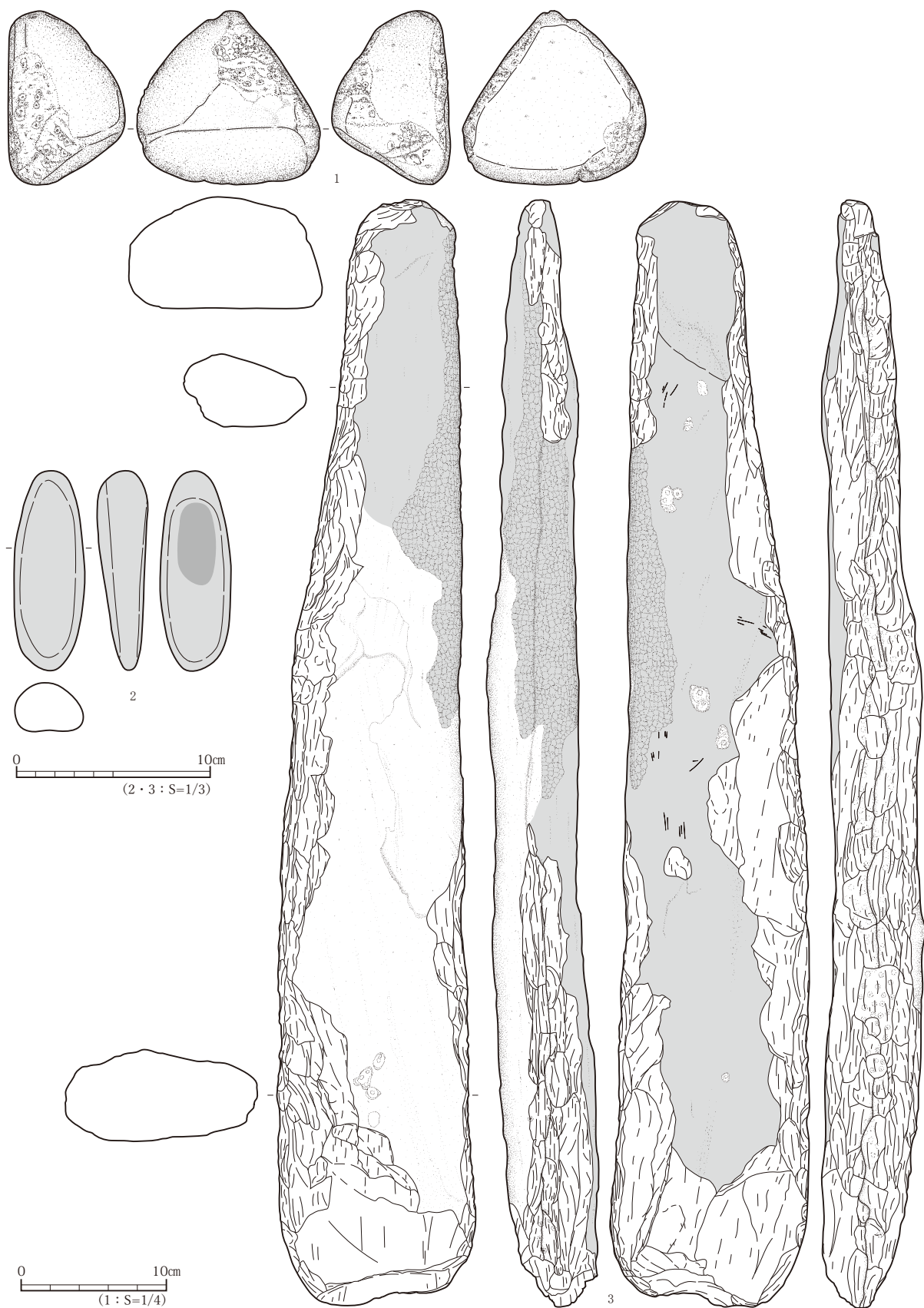
〔堆積土〕堆積土は岩盤由来の小礫や炭化物粒を含むにぶい黄褐色粘土質シルトで、自然堆積である。

〔出土遺物〕建物に伴う遺物として床面直上で縄文土器深鉢（第 10 図 3・4）、浅鉢（第 10 図 5）、石皿（第 11 図 3）があるほか、堆積土から縄文土器深鉢（第 10 図 1・2）、磨凹敲石類（第 11 図 1・2）、剥片、石核が出土している。



図番号	遺構・層	器種・器形	分類	特徴	写真	登録番号
10-1	SI149・1層	深鉢	2群	波状縁, 【口】突起に渦巻文, 区画降線文, 刺突文 (区画内) 【体】縄文 (LR)	19-3	RP1
10-2	SI149・9層	深鉢	3群	区画沈線文, 縄文 (LR), 充填縄文	19-5	RP2
10-3	SI149・床直	深鉢		波状縁, 【口】隆沈線 (凹線) 【頸】ミガキ 【体】縄文 (LR 直前段多条)	19-4	RP3
10-4	SI149・床直	深鉢		底径 6.6cm, 【体】縄文 (LR か), 下端～底面はナデ	19-6	RP4
10-5	SI149・床面	浅鉢	2群	最大径 38.5cm, 残存高 14.5cm, 平縁, 隆沈線文 (渦巻文・5単位), 縄文 (RLR)	19-1	RP5
10-6	SI149・1層	ミニチュア土器	3群	口径 (9.5) cm, 波状縁, 沈線文 (口字状文), 縄文 (RL), 縄文→沈線, 体部下端はミガキ	19-2	RP6

第 10 図 6 区 SI149 竪穴建物跡出土遺物 1



図番号	遺構・層	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
11-1	SI149・堆積土	磨凹敲石類	敲石	89.52	94.23	57.33	637.7	閃緑岩		19-7	RS286
11-2	SI149・堆積土	磨凹敲石類	磨石	102.69	36.95	25.62	160.2	砂岩		19-8	RS221
11-3	SI149・床直	石皿		761.4	134.41	66.02	8729	片岩		19-9	RS347

第 11 図 6 区 SI149 竪穴建物跡出土遺物 2

【SI251 竪穴建物跡】（第 12 図）

6 区南の南緩斜面に位置する。主柱穴、炉跡、周溝・床面の一部を検出しており、南側は残存状況が悪い。検出面は SX120 - 8 層及び地山である。

〔重複関係〕 SI252 竪穴建物跡より新しく、ST132 土坑墓より古い。

〔平面形・規模〕 斜面上方にあたる北側の一部が残存しており、周溝から推定すると平面形は最大径 4.1m 程度の不整円形とみられる。

〔壁〕 北側で残存している。地山（SX120 - 8 層～地山）を壁としており、床面からなだらかに立ち上がる。壁高は最も残りのよい北西部で床面から 49cm である。

〔床面〕 地山（SX120 - 8 層～地山）を床面としており、床面は南側が低くなるようにやや傾斜している。

〔炉〕 中央やや東寄りで焼け面を確認しており、地床炉と考えられる。焼け面の平面形は長軸 43cm、短軸 29cm の楕円形である。

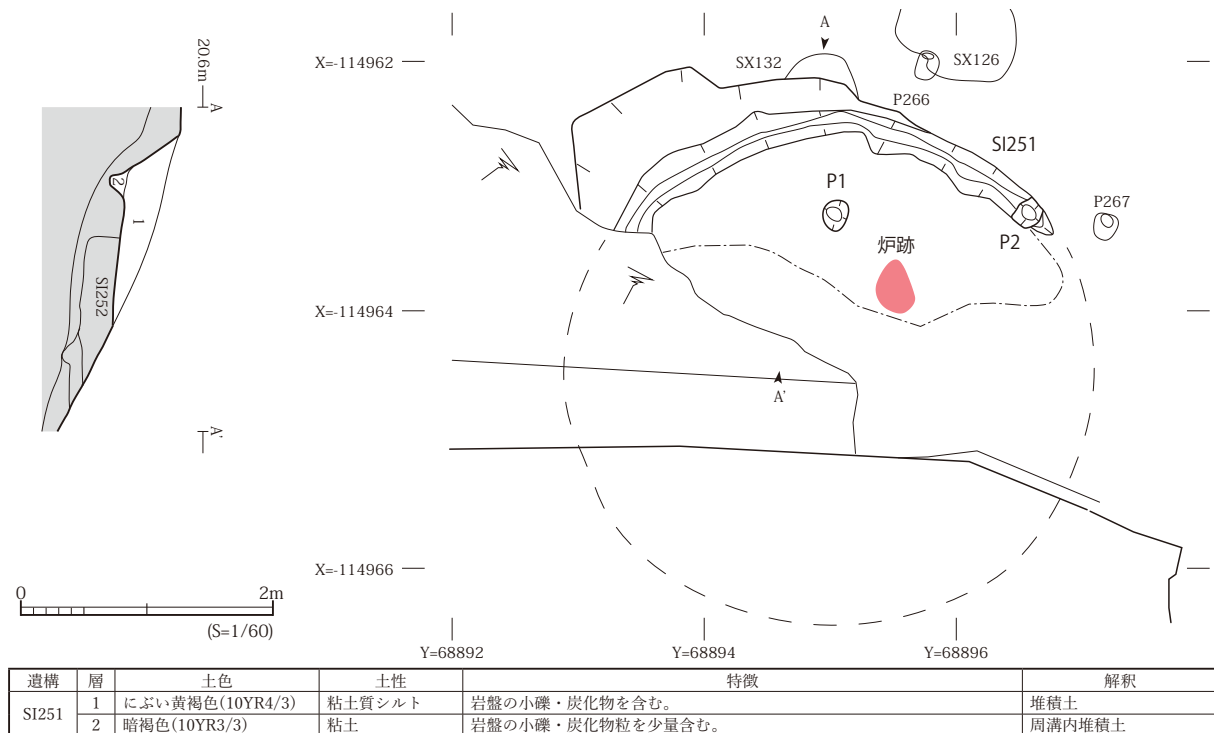
〔主柱穴〕 中央やや北寄りで 1 個ピットを検出しており、主柱穴となる可能性がある。P1 の平面形は楕円形で、堀方の規模は長軸 25cm、短軸 20cm である。深さは 28cm である。柱痕跡は確認していない。

〔周溝〕 北側で検出している。上幅 15 ～ 36cm、下幅 4 ～ 10cm、深さ 5 ～ 24cm である。断面形は U 字状である。堆積土は岩盤由来の小礫や炭化物粒を少量含む暗褐色粘土で、人為堆積とみられる。

〔壁柱穴〕 北東部の周溝上面でピットを 1 個検出しており、壁柱穴の可能性はある。P2 の平面形は楕円形で、堀方の規模は長軸 23cm、短軸 19cm、深さは 11cm である。柱痕跡は確認していない。

〔堆積土〕 堆積土は岩盤由来の小礫や炭化物粒を含むにぶい黄褐色粘土質シルトで、自然堆積である。

〔出土遺物〕 建物に伴う遺物は出土していない。堆積土から縄文土器深鉢、不定形石器が出土している。



第 12 図 6 区 SI251 竪穴建物跡

【SI252 竪穴建物跡】（第 13 図）

6 区南の南緩斜面に位置する。主柱穴、炉跡、床面の一部を検出しており、南側は残存状況が悪い。検出面は SX120 - 8 層及び地山である。

〔重複関係〕 SI251 竪穴建物跡より古い。

〔平面形・規模〕 斜面上方にあたる北側の一部が残存しており、残存範囲から推定すると平面形は直径 3.3m 程度の不整円形とみられる。

〔壁〕 北側で残存している。地山（SX120 - 8 層～地山）を壁としており、床面からほぼ垂直に立ち上がる。壁高は最も残りのよい北壁で床面から 26cm である。

〔床面〕 地山（SX120 - 8 層～地山）を床面としている。床面は南側に向かって低くなるようにやや傾斜している。

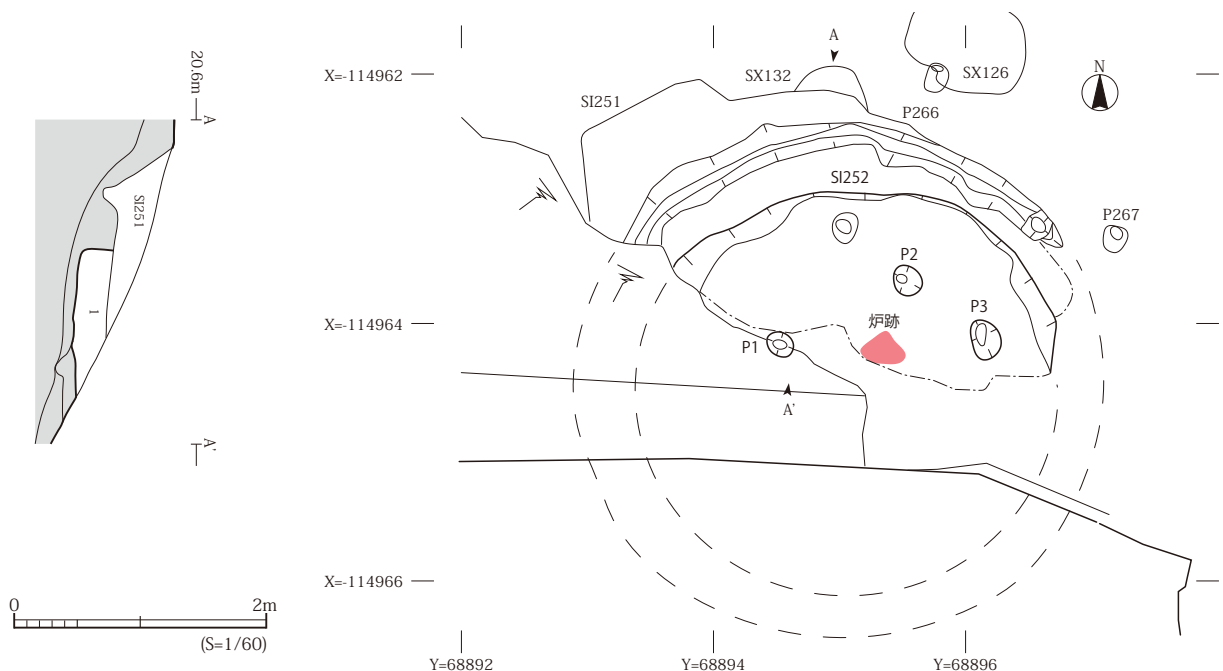
〔炉〕 中央やや東寄りで焼け面を確認しており、地床炉と考えられる。焼け面の平面形は直径約 56cm の不整円形である。

〔主柱穴〕 建物の範囲内でピットを 3 個検出しており、炉を囲むような配置であることから、主柱穴と考えられる。P1 ～ P3 の平面形は楕円形で、掘方の規模は長軸 22 ～ 32cm、短軸 18 ～ 23cm である。深さは 33 ～ 63cm である。

〔周溝〕 検出していない。

〔堆積土〕 堆積土は岩盤由来の小礫や炭化物粒を含むにぶい黄褐色粘土質シルトで、自然堆積である。

〔出土遺物〕 建物に伴う遺物は出土していない。堆積土から縄文土器片、不定形石器が出土している。



遺構	層	土色	土性	特徴	解釈
SI252	1	にぶい黄褐色(10YR4/3)	粘土質シルト	岩盤の小礫・炭化物を含む。	堆積土

第 13 図 6 区 SI252 竪穴建物跡

(2) 土器埋設遺構

SX120 - 1層で検出したものが1基 (SX122)、SX120 - 2層で検出したものが2基 (SX136・137) ある。SX122 は正位、SX136・137 は逆位 (倒立) に土器が設置されている。

【SX122 土器埋設遺構】 (遺構：第 14 図、遺物：第 15 図)

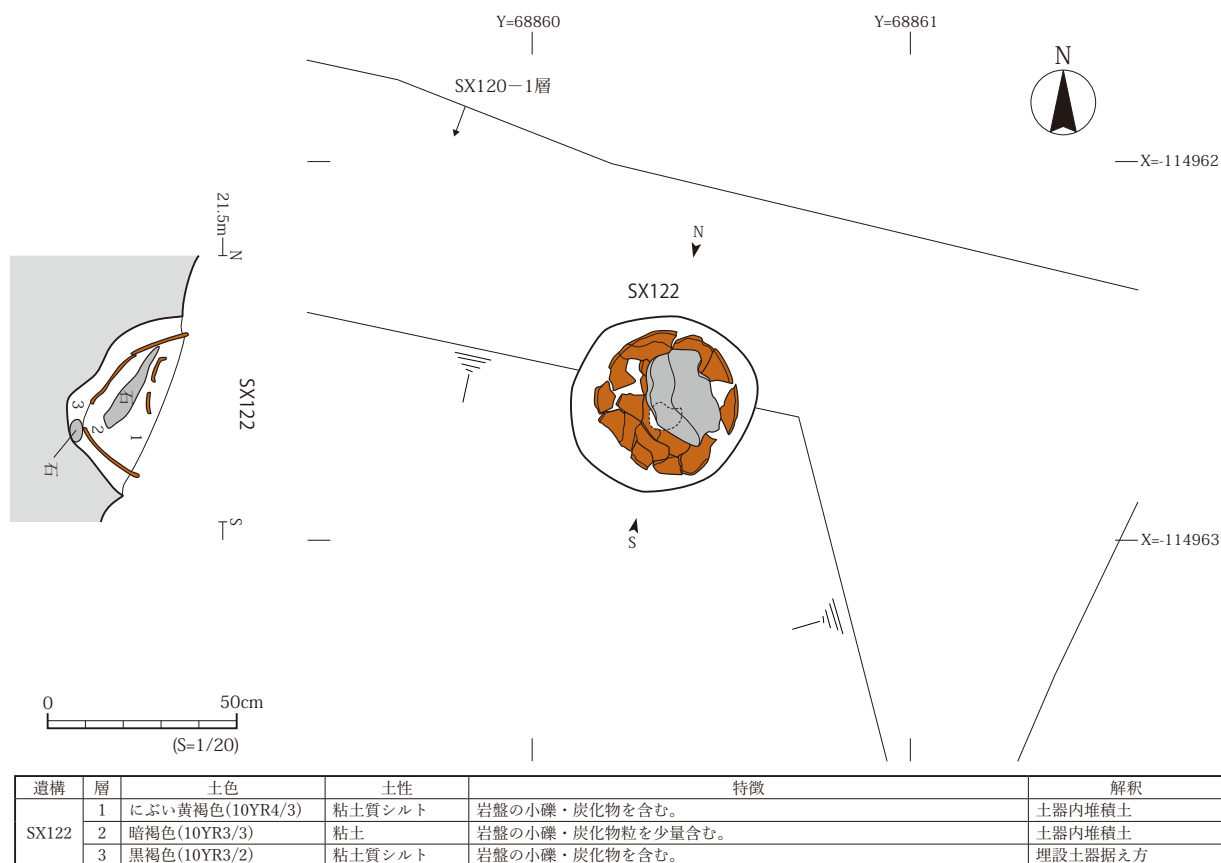
6区北東に位置する。SX120 - 1層を掘り込んで構築されている。

〔規模・形態〕 据え方は直径 48cm の不整円形である。深さは確認面から約 30cm で、断面形は逆台形である。中央に土器の体部下半～底部付近を正位に埋設しており、底部は据え方の底面から 6cm 上にある。

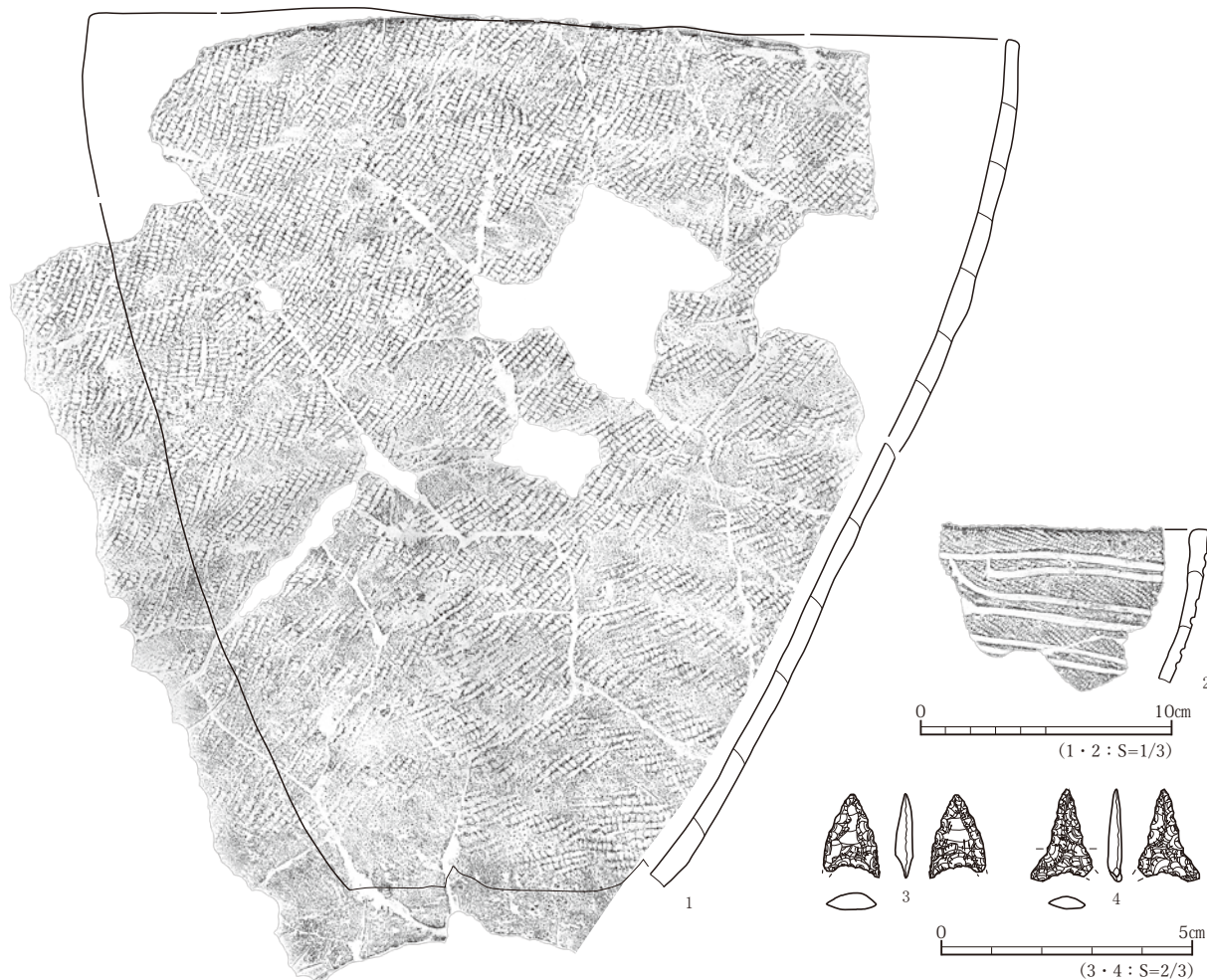
〔堆積土〕 土器内の堆積土は 2 層に分けられ、いずれも人為堆積とみられる。

〔遺物〕 埋設土器は縄文土器の体部下半～底部付近である (第 15 図 1)。最大径は約 40cm である。外面は底部付近まで縄文が施文されている。堆積土から縄文土器深鉢 (第 15 図 2)、石鏃 (第 15 図 3・4)、剥片が出土している。

〈備考〉 土器内から人骨は出土していない。埋設土器内に長さ 27cm の扁平な礫が落ち込んでいる (写真図版 10 - 1)。



第 14 図 6 区 SX122 土器埋設遺構



図番号	遺構・層	器種・器形	分類	特徴					写真	登録番号
15-1	SX122・埋設土器	深鉢		口径 36.2cm, 残存高 35.0cm, 平縁, 縄文 (LR), 底部は打ち欠く					20-1	RP8
15-2	SX122・1層	深鉢	8群	平縁, 沈線文 (入組文), 縄文 (LR) → 沈線					20-2	RP9

図番号	遺構・層	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
15-3	SX122・堆積土	石鏃	鏃A2	16.96	11.39	3.73	0.55	頁岩		20-3	RS76
15-4	SX122・堆積土	石鏃	鏃A3	18.63	12.46	2.65	0.35	頁岩		20-4	RS77

第 15 図 SX122 土器埋設遺構出土遺物

【SX136 土器埋設遺構】(第 16 図)

6 区北東に位置する。SX120 - 2 層を掘り込んで構築されている。

〔規模・形態〕 据え方は長軸 43cm、短軸 35cm の楕円形である。深さは確認面から 16cm で、断面形は逆台形である。東側に土器の体部下半～底部を逆位に埋設しており、下端は据え方の底面に接している。

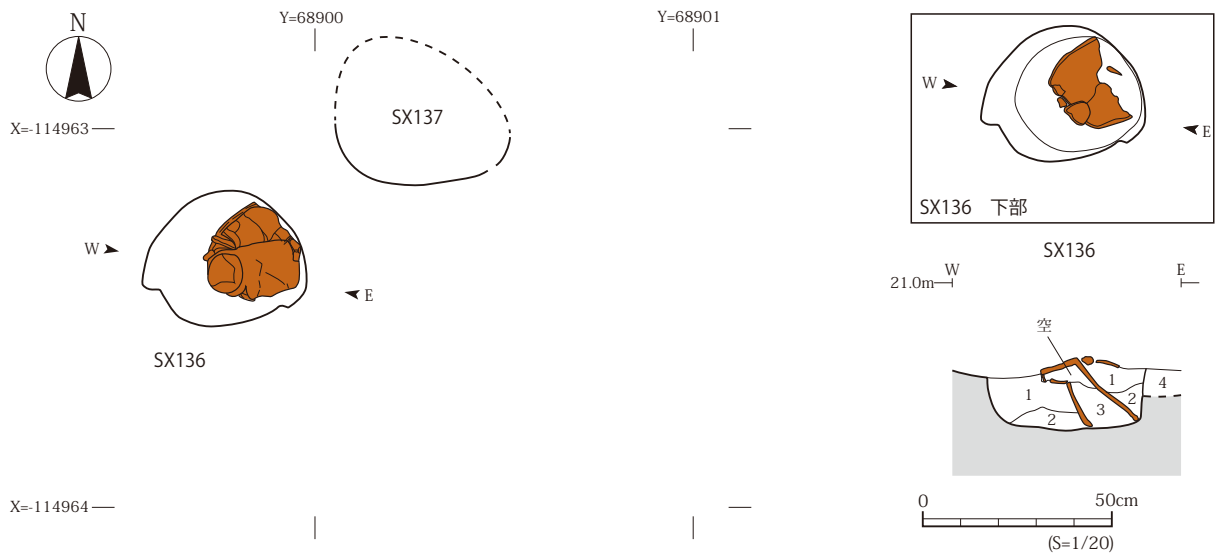
〔堆積土〕 堆積土は 3 層に分けられ、いずれも人為堆積である。

〔遺物〕 埋設土器は縄文土器の体部下半～底部付近である (第 16 図 1)。残存高は約 23cm、最大径は約 19cm である。外面は沈線文が施文されている。堆積土から縄文土器小片、剥片が出土している。

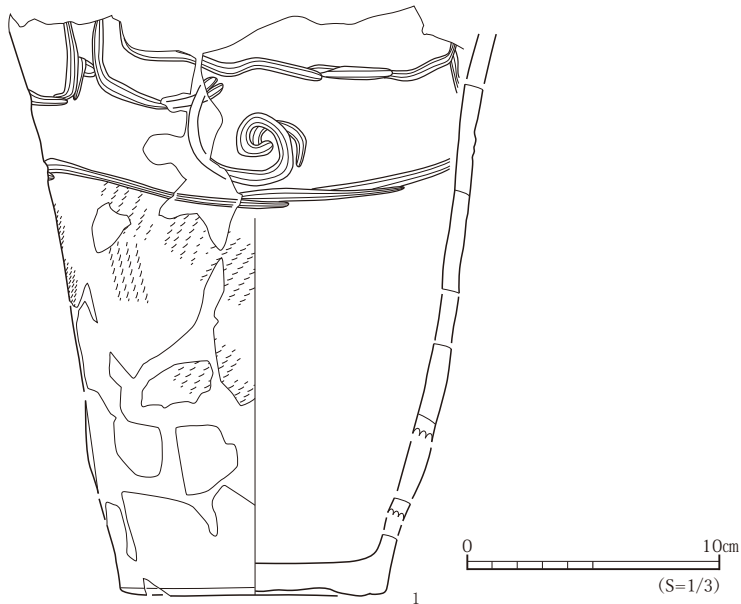
〈備考〉 土器内から人骨は出土していない。

【SX137 土器埋設遺構】(第 17 図)

6 区北東に位置する。SX120 - 2 層を掘り込んで構築されている。埋設土器の上で長さ約 50cm の礫を確認しており (写真図 10 - 3)、置かれていた可能性も考えられる。



遺構	層	土色	土性	特徴	解釈
SX136	1	暗灰黄色(2.5Y4/2)	シルト質極細砂	φ5mm以下の黄色地山礫を含む。	SX136掘方埋土
	2	黒褐色(2.5Y3/2)	シルト質極細砂	炭を少量含む。	SX136掘方埋土
	3	暗オリーブ褐色(2.5Y3/3)	シルト質極細砂	φ1cm以下の黄色地山礫を含む。包含層。黄色層。	土器内流入土
地山	4	暗灰黄色(2.5Y4/2)	シルト質極細砂	φ5mm以下の黄色地山礫を含む。炭を含む。	地山 (SX120-2層)



図番号	遺構・層	器種・器形	分類	特徴	写真	登録番号
16-1	SX136・埋設土器	深鉢	6群	底径 10.5cm, 沈線文 (区画文・渦卷文), 縄文 (R), 【底】木葉痕	20-5	RP10

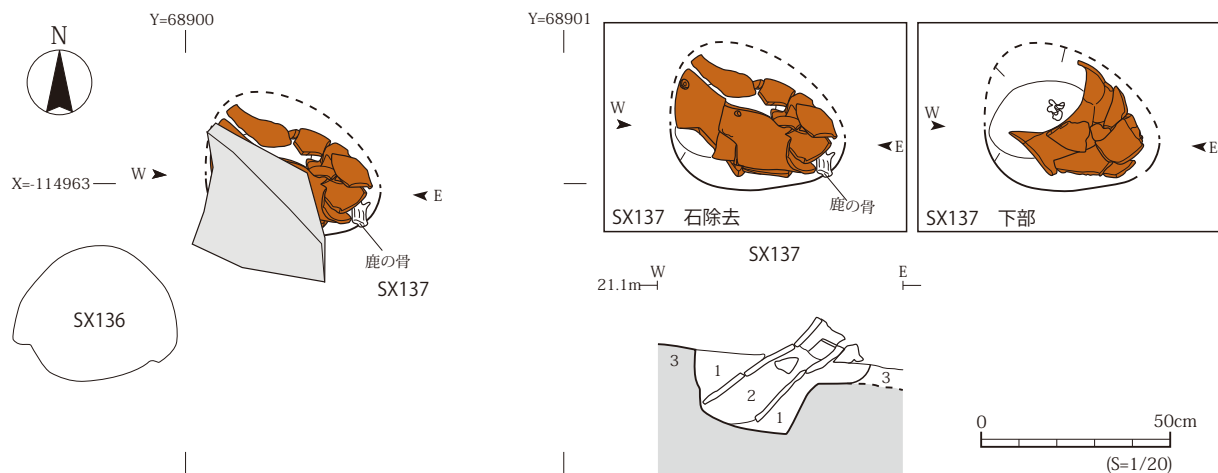
第 16 図 6 区 SX136 土器埋設遺構と出土遺物

〔規模・形態〕 据え方は長軸 49cm、短軸 38cmの楕円形である。深さは確認面から 22cmで、断面形は逆台形である。中央に完形の土器を逆位に埋設しており、下端は据え方の底面に接している。

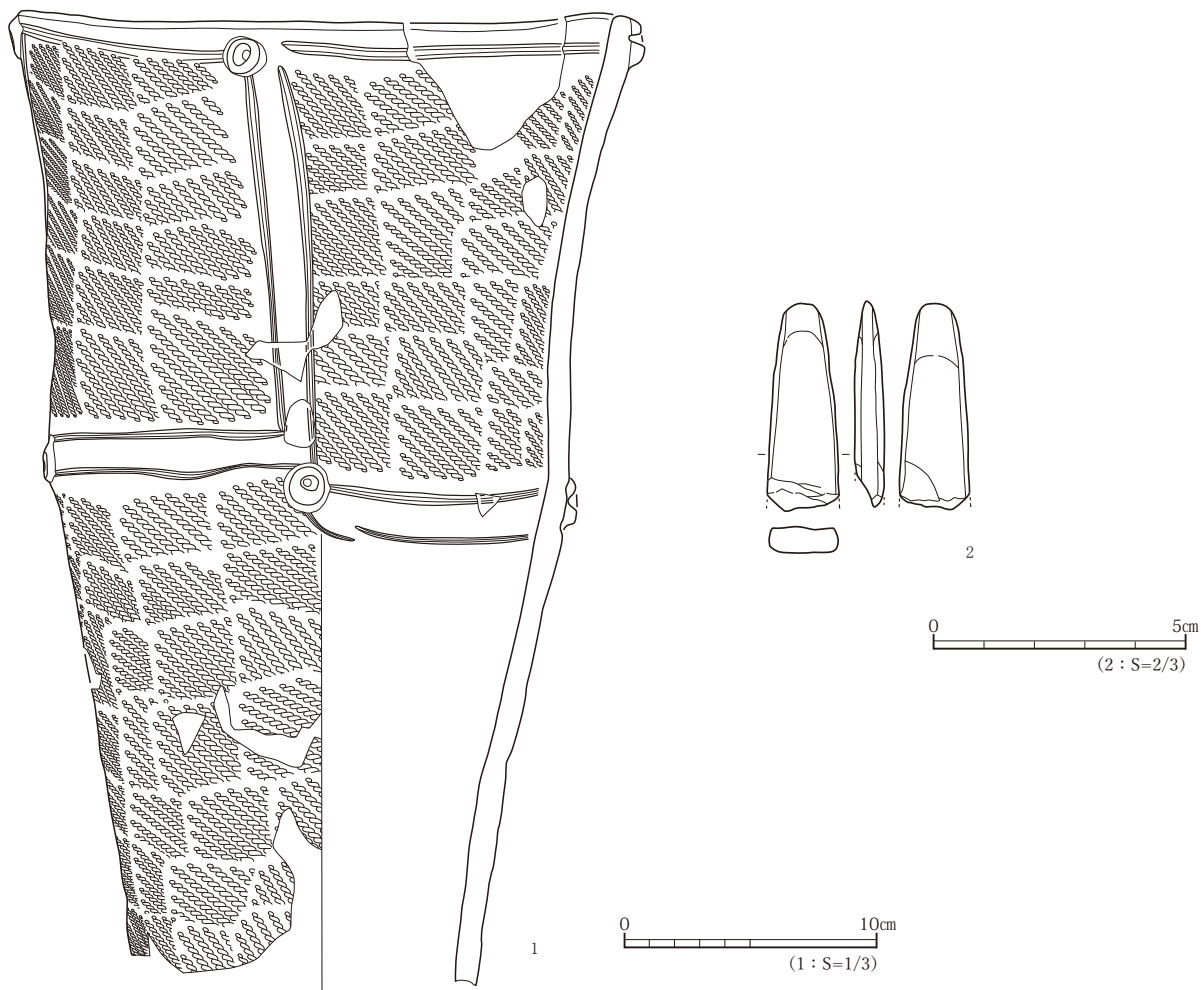
〔堆積土〕 堆積土は 2 層に分けられ、いずれも人為堆積である。

〔遺物〕 埋設土器は縄文土器深鉢で、底部付近を除いてほぼ残存している（第 17 図 1）。口径 25.2cm、残存高 35.6cmである。外面は沈線文、ボタン状貼付文が施文されている。堆積土から縄文土器小片、磨製石斧（第 17 図 2）、剥片が出土している。

〈備考〉 土器内から人骨は出土していない。



遺構	層	土色	土性	特徴	解釈
SX136	1	黒褐色(2.5Y3/2)	シルト質極細砂	炭を少量含む。φ2cm以下の礫を含む。	堀方埋土
	2	黒褐色(2.5Y3/2)	シルト質極細砂	炭を含む。φ2cm以下の地山礫を含む。	堀方埋土
地山	3	暗オリーブ色(5Y4/3)	シルト質	地山礫が溶けたもの。礫を少量含む。	地山 (SX120-2層)



図番号	遺構・層	器種・器形	分類	特徴					写真	登録番号
17-1	SX137・埋設土器	深鉢	6群A類	口径 25.2cm, 残存高 35.6cm, 平縁, 区画沈線文(クランク状文・4単位) + ボタン状貼付, 縄文(LR), 充填縄文					21-1	RP11

図番号	遺構・層	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
17-2	SX137・堆積土	磨製石斧	小型	41.09	14.59	5.07	5.84	流紋岩か		21-2	RS187

第17図 6区 SX137 土器埋設遺構

(3) 土坑墓・埋葬人骨

6区でヒトを埋葬した土坑墓を6基、土坑を伴わない人骨を2体確認している(第18図)。

【ST126 土坑墓】(第19図)

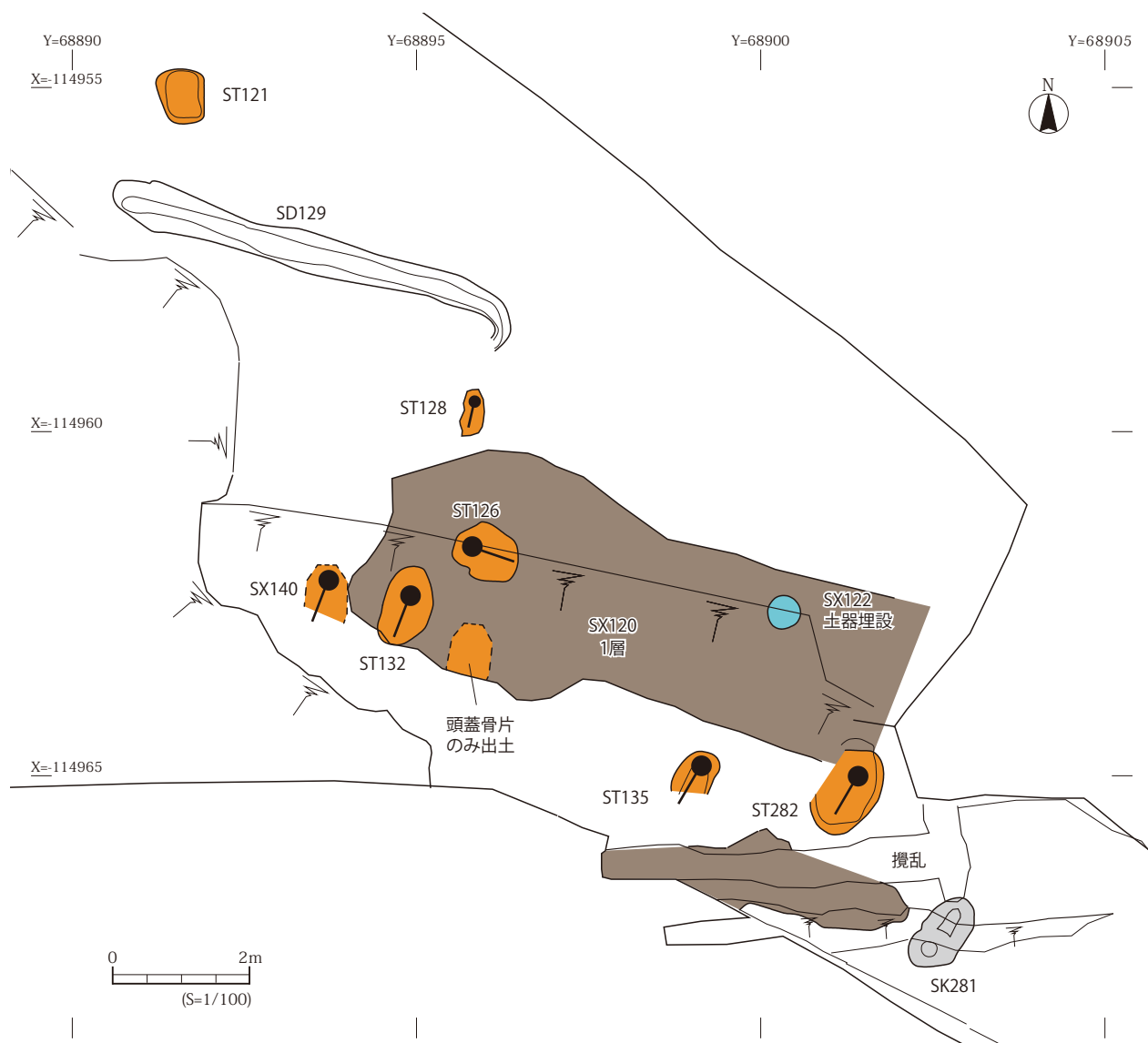
6区中央に位置する。SX120-1層を掘り込んで構築されている。

〔規模・形態〕平面形は長軸98cm、短軸81cmの楕円形である。深さは確認面から28cmで、断面形は逆台形である。土坑の長軸方向はN-64°-Wである。

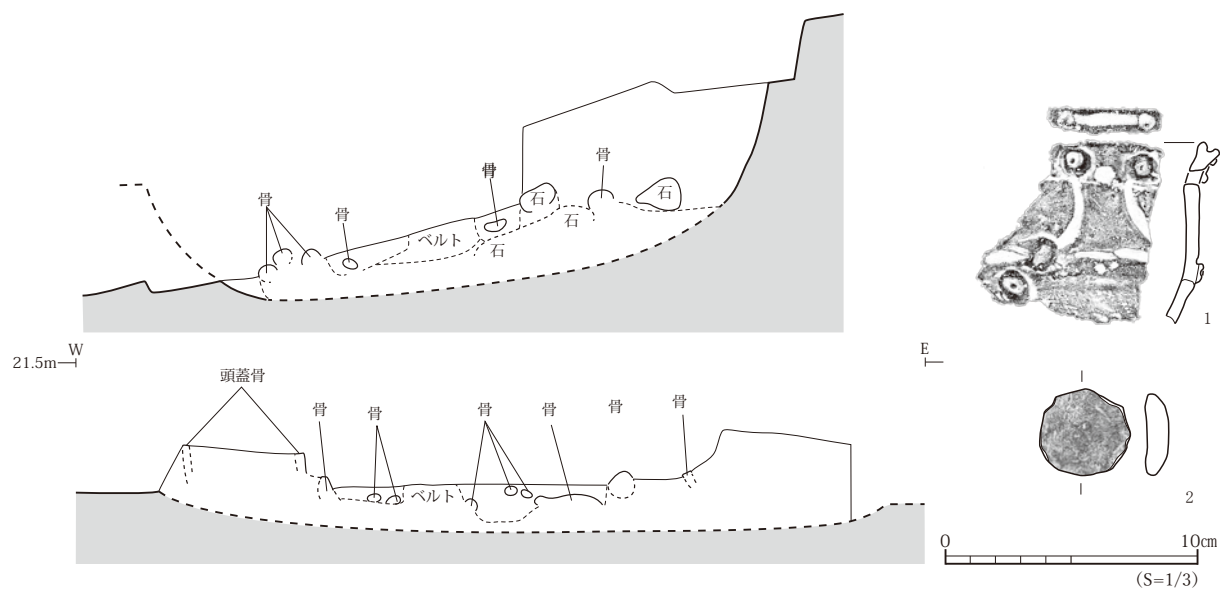
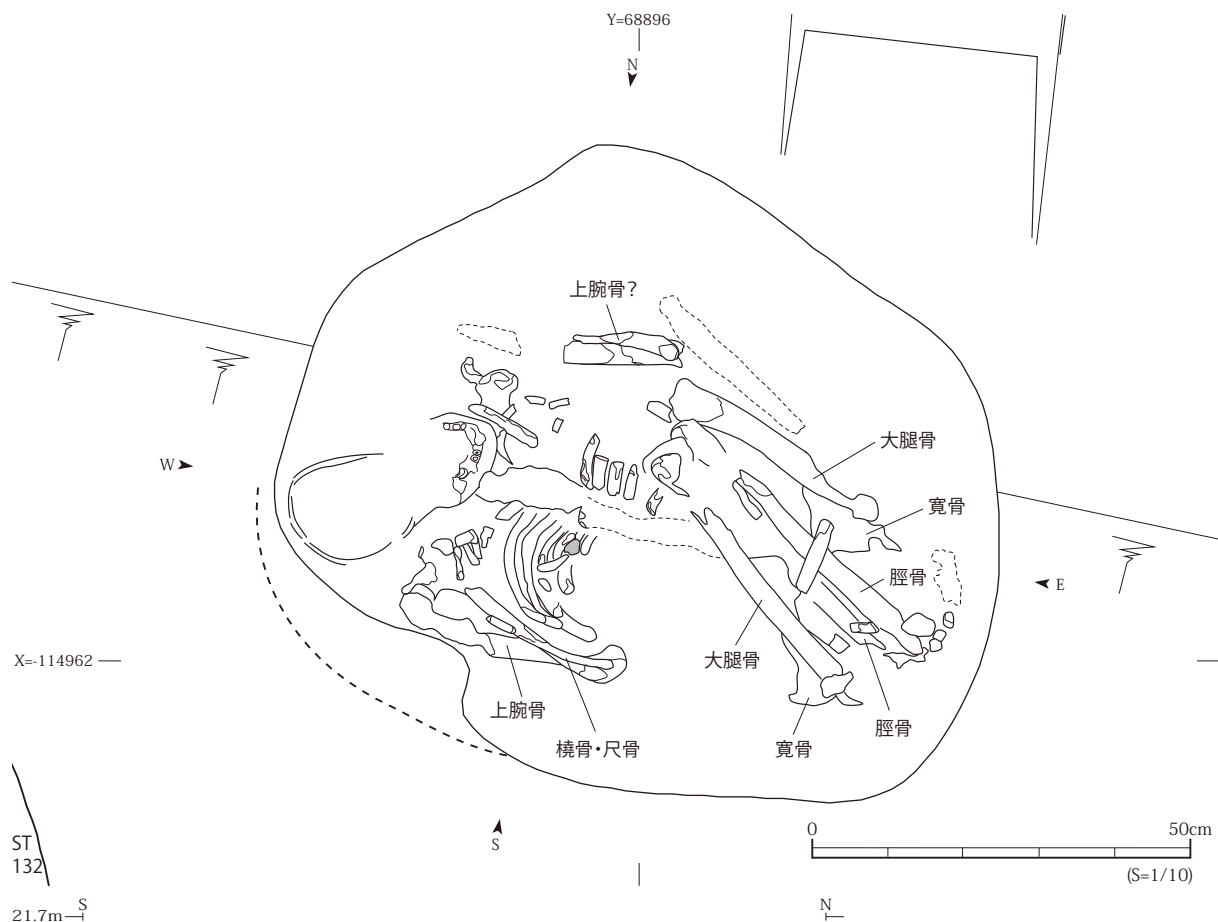
〔埋葬遺体〕成人?が1体埋葬されている。人骨の遺存状態は良好ではない。土坑長軸に沿ってその中央に体幹が横たわっており、頭部は西壁に接している。埋葬状態は仰臥屈葬位で、上肢は右上肢が強く屈曲しており、左上肢は体軸に沿って伸展していたとみられる。下肢は左右両肢が体幹の左(北)側に強く屈曲している。顔は上を向いていたとみられ、頭位方向はN-114°-Wである。

〔堆積土〕堆積土は炭化物・焼土粒を極少量含む黒褐色シルトで、人為堆積である。

〔遺物〕堆積土から縄文土器深鉢(第19図1)、円盤状土製品(第19図2)、剥片が出土している。



第18図 土坑墓と埋葬人骨の配置



遺構	層	土色	土性	特徴	解釈
ST126	1	黒褐色(10YR3/2)	シルト質	φ5mm以下の地山粒を7～10%含む。炭・焼土粒を微量含む。	人為堆積

図番号	遺構・層	器種・器形	分類	特徴	写真	登録番号
19-1	ST126・堆積土	深鉢B	6群か	平縁, 【口唇】沈線+盲孔【口頸】貫通孔, 沈線文(ハ字状文か), ボタン状貼付, 区画隆線+隆線に沿う刺突列	20-6	RP12
19-2	ST126・堆積土	円盤状土製品	-	最大径3.5cm, 厚さ0.8cm, 重量9.76g, 体部破片利用, 打ち欠き	20-7	RP13

第19図 6区 ST126 土坑墓と出土遺物

【ST128 土坑墓】（第 20 図）

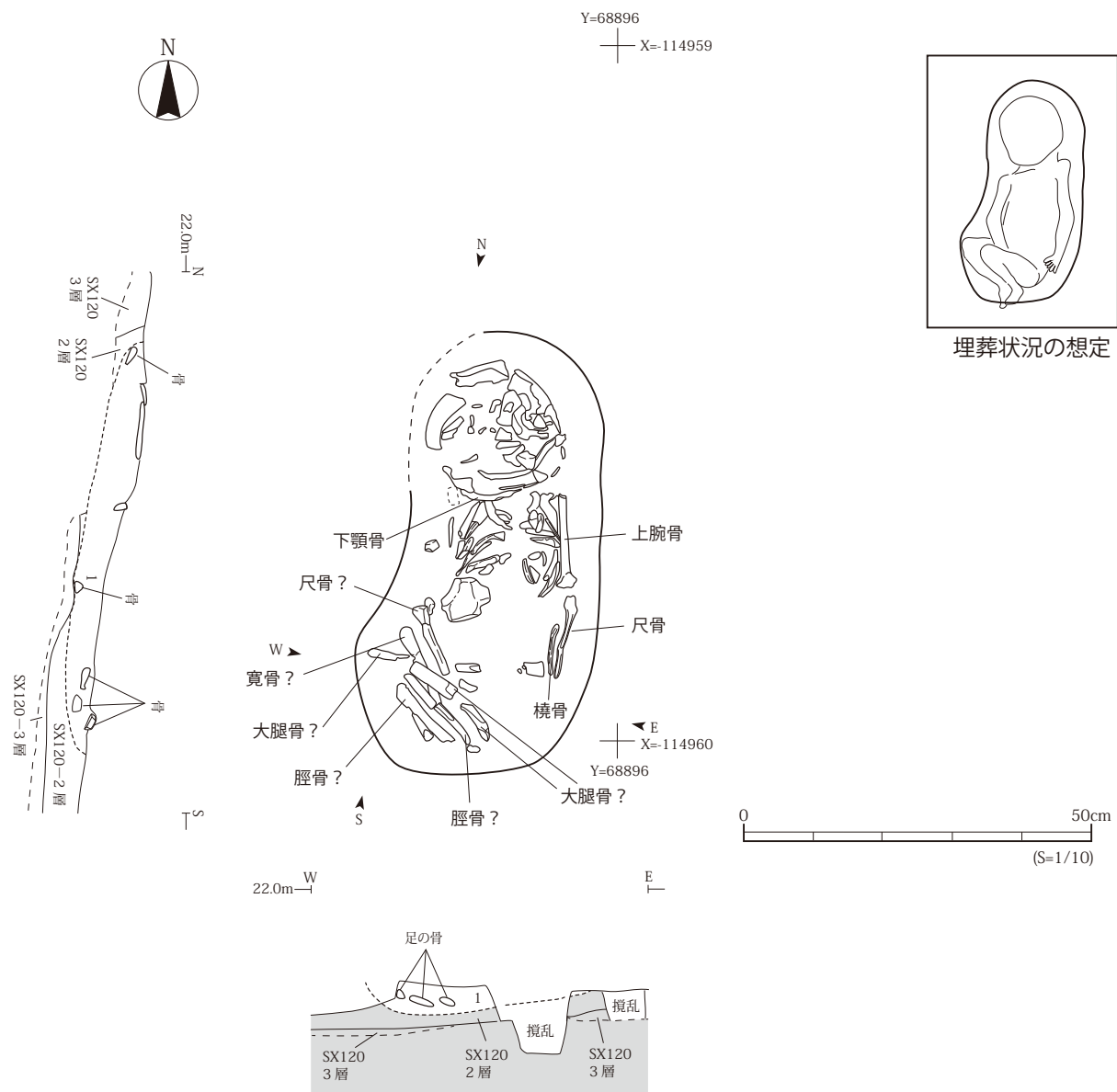
6 区中央に位置する。地山を掘り込んで構築されている。

〔規模・形態〕平面形は長軸 65cm、短軸 34cmの楕円形である。深さは確認面から 11cmで、断面形は皿状である。土坑の長軸方向は $N - 15^{\circ} - E$ である。

〔埋葬遺体〕小児？が 1 体埋葬されている。人骨の遺存状態は良好ではない。土坑長軸に沿ってその中央に体幹が横たわっていたとみられ、頭部は北壁に接している。埋葬状態は仰臥屈葬位で、上肢は左右両肢が体軸に沿って伸展していたとみられる。下肢は左右両肢が体幹の右（西）側に強く屈曲している。顔は右（西）を向いていたとみられ、頭位方向は $N - 10^{\circ} - E$ である。

〔堆積土〕堆積土は地山細礫を含む暗オリーブ褐色砂質シルトで、人為堆積である。

〔遺物〕堆積土から縄文土器小片が出土している。

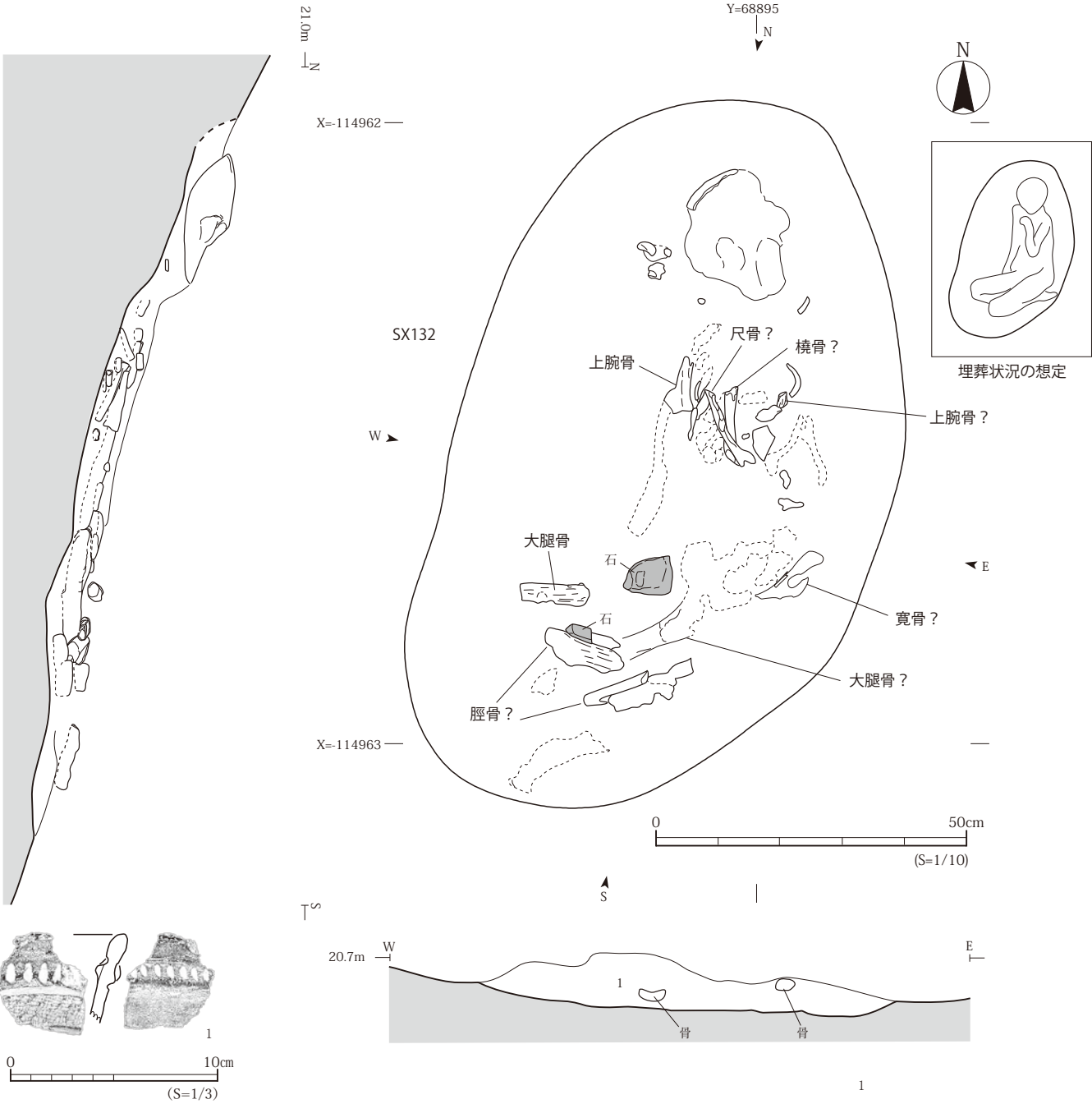


遺構	層	土色	土性	特徴	解釈
ST128	1	暗オリーブ褐色(2.5Y3/3)	シルト質極細砂	$\phi 5\text{mm}$ 以下の黄色地山礫を含む。	人為堆積

第 20 図 6 区 ST128 土坑墓

【ST132 土坑墓】（第 21 図）

6 区中央に位置する。SX120－1 層を掘り込んで構築されている。
〔規模・形態〕平面形は長軸 120cm、短軸 70cmの楕円形である。深さは確認面から 30cmで、断面形は皿状である。土坑の長軸方向は N－20°－W である。
〔埋葬遺体〕成人？が 1 体埋葬されている。人骨の遺存状態は良好ではない。土坑長軸に沿ってその東半に体幹が横たわっていたとみられ、頭部は土坑の北端にある。埋葬状態は仰臥屈葬位で、上



遺構	層	土色		土性	特徴	解釈	
ST132	1	暗灰黄色(2.5Y4/2)		シルト質極細砂	φ1cm以下の黄色地山礫を多く含む。	人為堆積	
図番号	遺構・層		器種・器形	分類	特徴	写真	登録番号
21-1	ST132・堆積土		深鉢		平縁,【頸】内外面に刻みのある区画隆縁【体】沈線文,縄文(RLRか)	20-8	RP14

第 21 図 6 区 ST132 土坑墓と出土遺物

肢は右上肢が体軸に沿って伸展していたとみられ、左上肢が強く屈曲している。下肢は左右両肢が体幹の右（西）側に強く屈曲している。顔は右（西）を向いていたとみられ、頭位方向は $N - 30^{\circ} - W$ である。

〔堆積土〕堆積土は地山細礫を含む暗灰黄色砂質シルトで、人為堆積である。

〔遺物〕堆積土から縄文土器深鉢（第 21 図 1）が出土している。

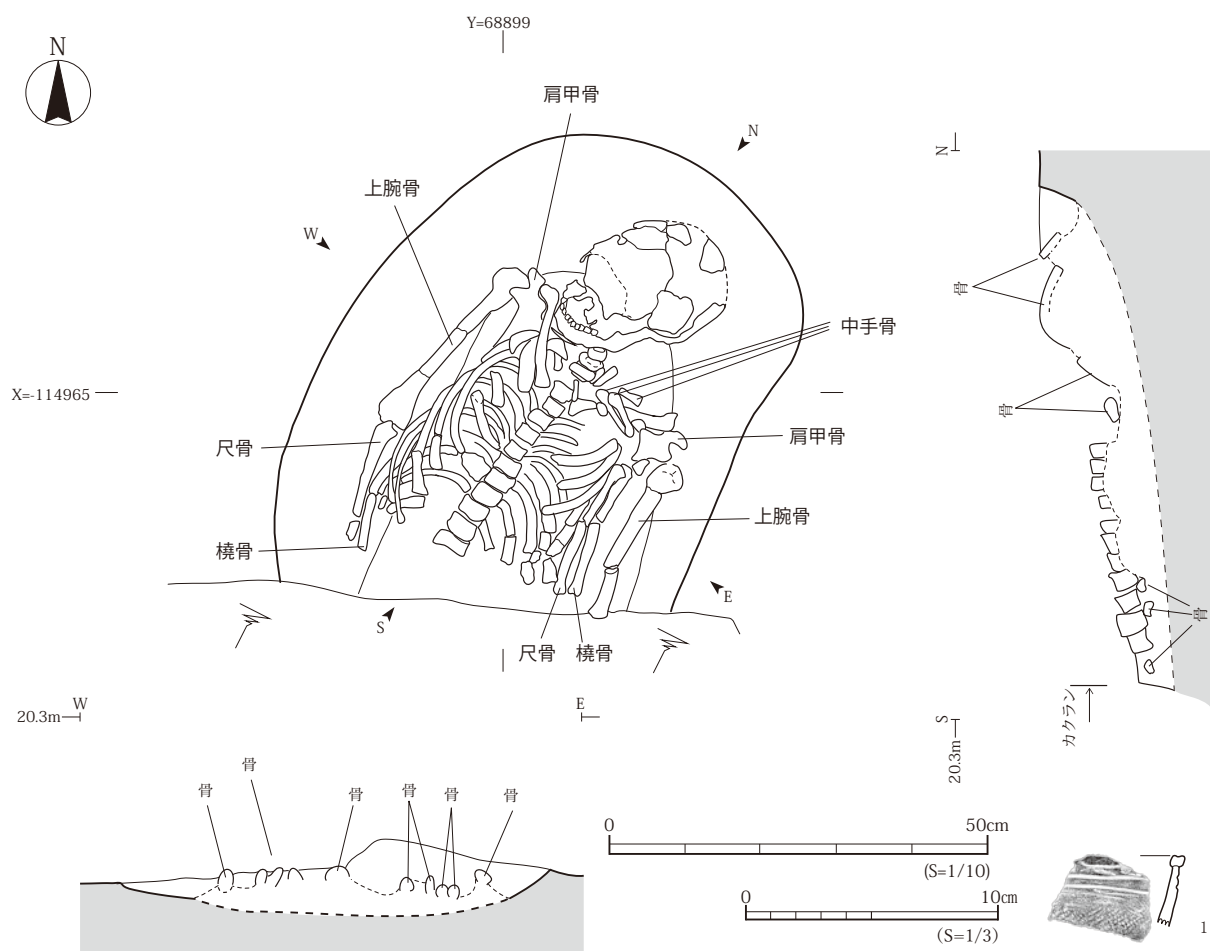
【ST135 土坑墓】（第 22 図）

6 区南東に位置する。SX120 - 1 層を掘り込んで構築されている。

〔規模・形態〕南半部が攪乱で壊されているが、平面形は長軸 76cm 以上、短軸 55cm の楕円形とみられる。

深さは確認面から 17cm で、断面形は皿状である。土坑の長軸方向は $N - 29^{\circ} - E$ である。

〔埋葬遺体〕成人が 1 体埋葬されている。攪乱で壊されており下肢を欠くが、残存部の人骨の遺存状態は良好である。土坑長軸に沿って中央に体幹が横たわっており、頭部は土坑の北端にある。埋葬状態は仰臥で、上肢は右上肢が体軸に沿って伸展しており、左上肢は屈曲しており左手が左肩甲骨の上にある。顔はやや右（西）向きで、頭位方向は $N - 65^{\circ} - E$ である。



遺構	層	土色	土性	特徴	解釈
ST135	1	黒褐色土(10YR3/2)	シルト質	φ 5mm以下の地山粒を15%含む。炭・焼土粒を微量含む。	人為堆積

図番号	遺構・層	器種・器形	分類	特徴	写真	登録番号
22-1	ST135・堆積土	鉢	10 群か	山形突起 (2 個 1 対か) 【口頸】平行沈線 (2 条) 【体】縄文 (LR)	20-9	RP15

第 22 図 6 区 ST135 土坑墓と出土遺物

〔堆積土〕 堆積土は地山細礫を含む暗灰黄色砂質シルトで、人為堆積である。

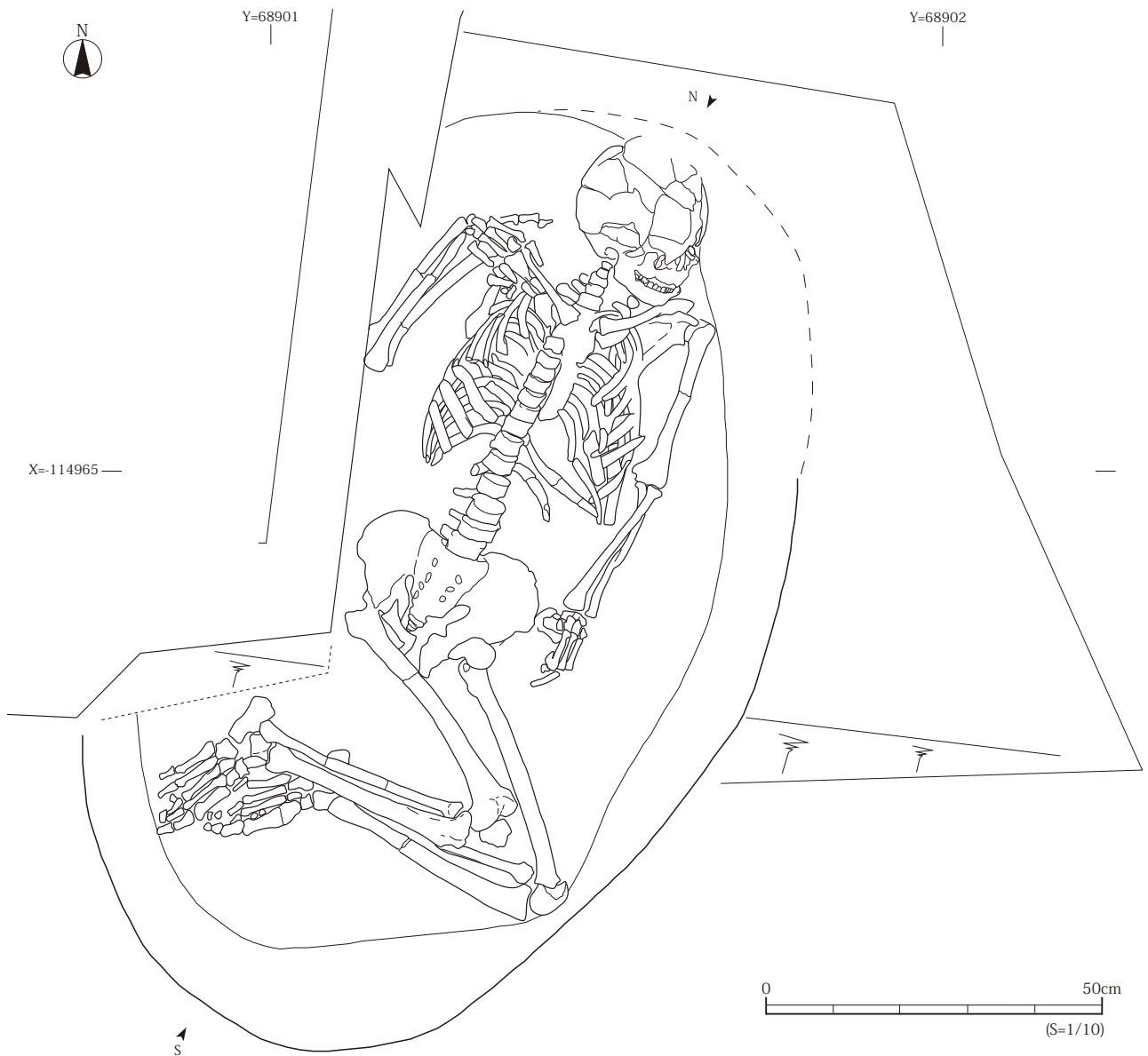
〔遺物〕 堆積土から縄文土器深鉢（第 22 図 1）が出土している。

【ST282 土坑墓】（遺構：第 23・24 図、遺物：第 24・25 図）

6 区南東端から 8 区北東隅に位置する。SX120 - 1 層を掘り込んで構築されている。

〔規模・形態〕 西側が残存していないが、平面形は長軸 146cm、短軸 85cm以上の楕円形とみられる。深さは確認面から約 70cmで、断面形はフラスコ状である。土坑の長軸方向は $N - 29^{\circ} - E$ である。

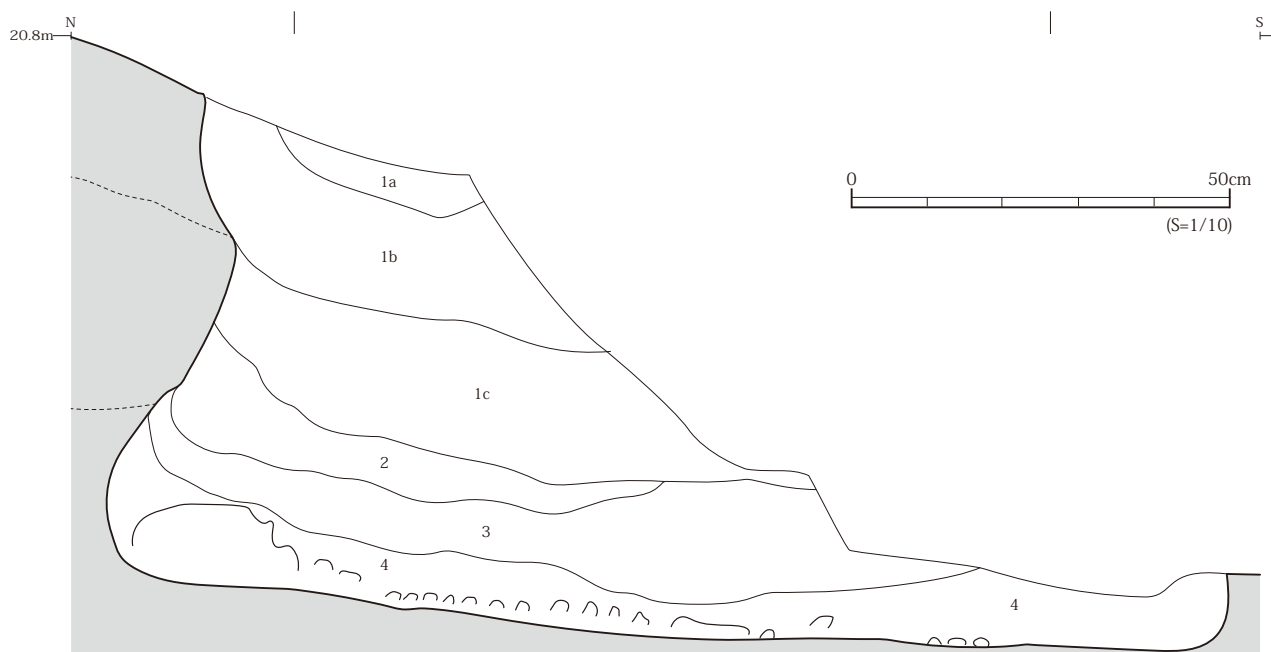
〔埋葬遺体〕 成人が 1 体埋葬されている。人骨の遺存状態は良好である。土坑長軸に沿って中央に体幹が横たわっており、頭部は土坑の北端にある。埋葬状態は仰臥屈葬位で、上肢は右上肢が屈曲して右手が右肩の上にあり、左上肢は体軸に沿って伸展している。顔は左（東）を向いており、頭位方向は $N - 8^{\circ} - W$ である。



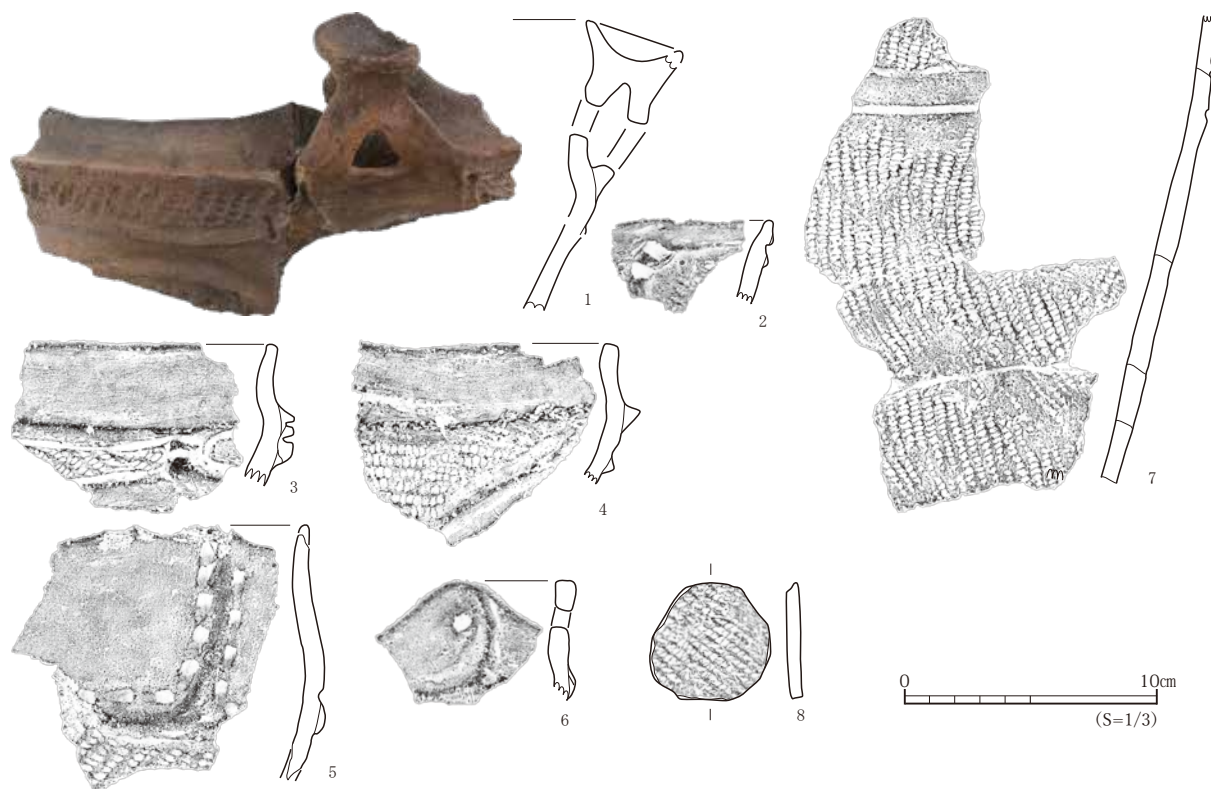
第 23 図 6 区 ST282 土坑墓

〔堆積土〕 堆積土は地山細礫を含む暗灰黄色砂質シルトで、人為堆積である。

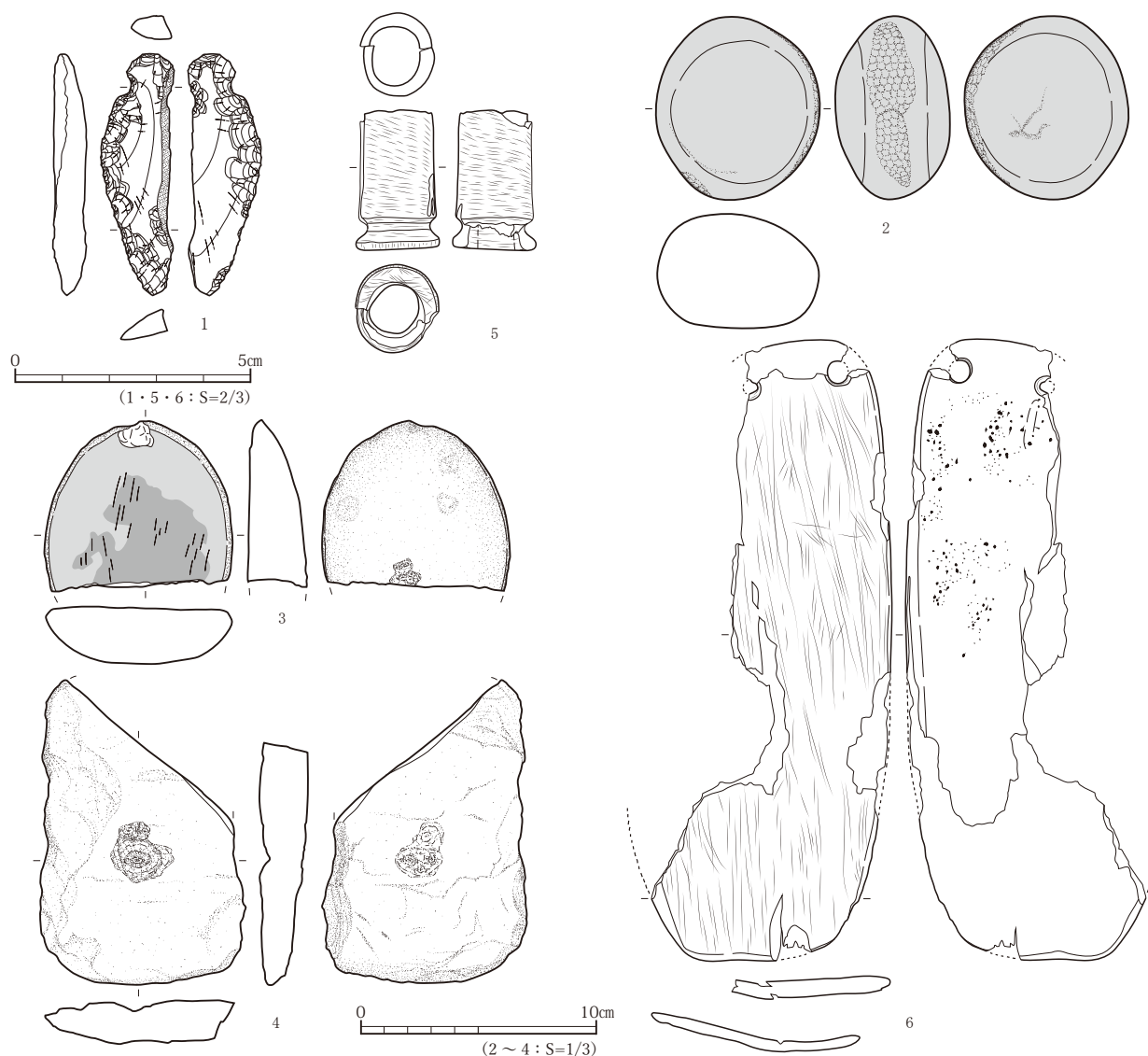
〔遺物〕 堆積土から縄文土器深鉢（第 24 図 1～7）、円盤状土製品（第 24 図 8）、石匙（第 25 図 1）、磨凹敲石類（第 25 図 2・3）、石皿（第 25 図 4）、弭型角製品（第 25 図 5）、鯨骨製垂飾（第 25 図 6）が出土している。



遺構	層	土色	土性	特徴	解釈
ST282	1	黒褐色(10YR3/2)	粘土質シルト	φ 5～20mmの地山小礫15%含む。炭粒5%。	人為堆積
	2	暗褐色(10YR3/3)	粘土質シルト	φ 3～15mmの地山礫10%。炭粒3%。	人為堆積
	3	暗褐色(10YR3/3)	粘土質シルト	φ 3～15mmの地山礫10%。貝破片5%。炭粒3%。	人為堆積
	4	黒褐色(10YR3/2)	粘土質シルト	φ 2～10mm地山礫3%。貝破片・炭粒2%。	人為堆積



第 24 図 6 区 ST282 土坑墓と出土遺物



図番号	遺構・層	器種・器形	分類	特徴					写真	登録番号
24-1	ST282・1層	深鉢	5群	環状把手（頂部に凹面）、区画隆線・沈線文（横6字文か）＋2個1対の刻目文、縄文（RLR）					22-1	RP17
24-2	ST282・2層	深鉢	5群	平縁、区画隆線文＋2個1対の刻目文、縄文（LR）					22-2	RP34
24-3	ST282・1層	深鉢	5群	環状把手付きか（欠落）、区画隆線・沈線文（横6字文か）＋2個1対の刻目文、縄文（LR）					22-4	RP16
24-4	ST282・2・3層	深鉢	5群か	環状把手付きか（欠落）、区画隆線文、縄文（LR）、磨消縄文か					22-3	RP20
24-5	ST282・2・3層	深鉢	4群	深鉢、山形突起か（欠落）、【口頸】隆線文（ノ字状・区画）＋隆線に沿う刺突列【体】縄文（RL）					22-5	RP19
24-6	ST282・4層	深鉢	4群	環状把手（単純）、【口頸】内外面に隆線文（ノ字状・区画）					22-6	RP21
24-7	ST282・2～4層	深鉢	4群か	区画沈線文、縄文（RL）、磨消縄文か					22-7	RP18
24-8	ST282・1層	円盤状土製品		最大径4.6cm、厚さ0.6cm、重量20.1g、体部破片利用、打ち欠き、研磨、縄文（LR）					22-8	RP22

図番号	遺構・層	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
25-1	ST282・3層	石匙	匙A	51.44	15.7	6.91	5.1	頁岩		22-9	RS110
25-2	ST282・1層	磨凹敲石類	磨敲石	77.54	69.69	48.69	405.6	閃緑岩		22-10	RS246
25-3	ST282・堆積土	磨凹敲石類	磨石	128.76	87.34	20.11	249.5	片岩		22-11	RS277
25-4	ST282・4層	石皿		70.49	79.34	23.58	182.0	砂岩		22-12	RS342

図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	素材（部位）	特徴	写真	登録 番号
25-5	ST282-2・3層	8区・S3e	弭形製品		30.2	17.9	18.7	3.7	ニホンジカ・角	基部一部欠損、空洞、溝状の段が全周	22-13	弭型1
25-6	ST282-2・3層	8区・S3e	装飾・装身具		131.6	(47.9)	(4.7)	20.4	クジラ目・骨？	1側辺欠損、端部に貫通孔2	22-14	鯨骨製

第25図 6区 ST282 土坑墓出土遺物

【ST121 土坑墓】（遺構：第26図）

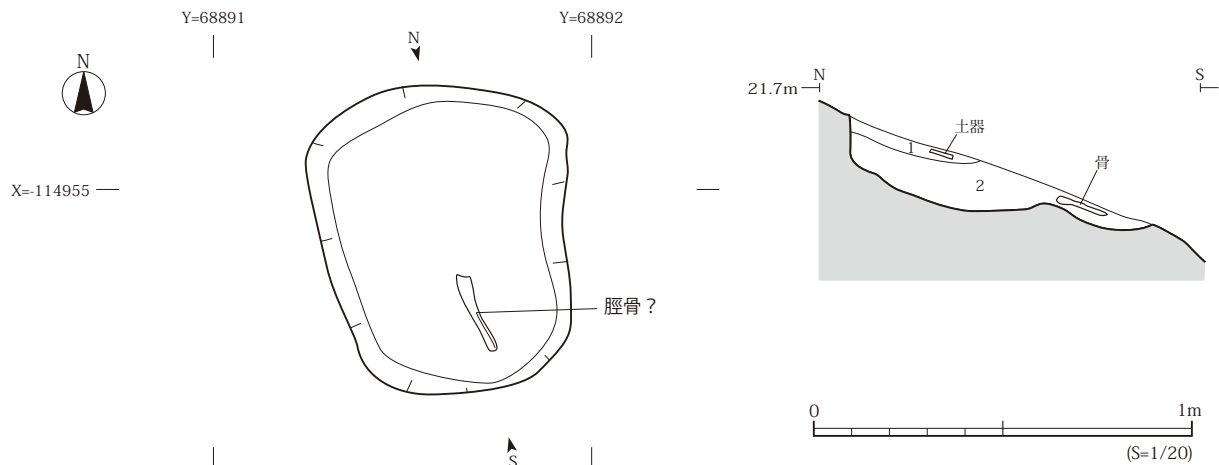
6区北東に位置する。地山を掘り込んで構築されている。

〔規模・形態〕平面形は長軸84cm、短軸70cmの楕円形である。深さは確認面から26cmで、断面形は逆台形である。土坑の長軸方向はN－14°－Wである。

〔埋葬遺体〕南半の中央でヒトの脛骨？が出土している。

〔堆積土〕堆積土は2層に分けられ、いずれも地山細礫を含む多く含む暗褐色～にぶい黄褐色粘土質シルトで、人為堆積である。

〔遺物〕堆積土から縄文土器深鉢が出土している。

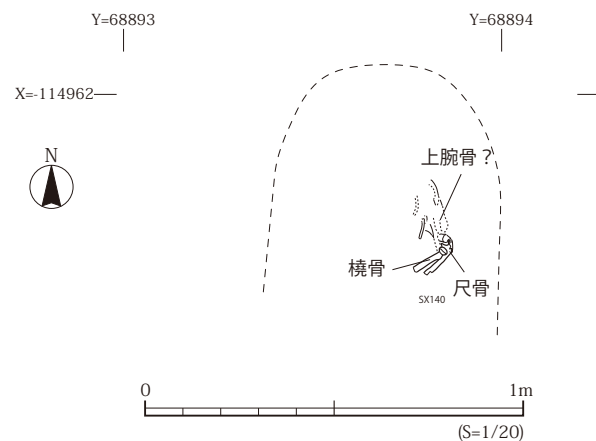


遺構	層	土色	土性	特徴	解釈
ST121	1	暗褐色(10YR3/3)	粘土質シルト	岩盤の小礫多く含む。	人為堆積
	2	にぶい黄褐色(10YR4/3)	粘土質シルト	岩盤の小礫・粒多く含む。	人為堆積

第26図 6区 ST121 土坑墓

【SX140 人骨】(遺構：第27図)

6区中央のSX120 - 6層上面で成人骨？を確認した。南北25cm、東西11cmの範囲で左橈骨・尺骨・上腕骨とみられる骨の一部が出土したが、土坑などの掘り込みは検出できなかった。人骨は左上肢が解剖学的な位置関係を保った状態で出土しており、周囲の土坑墓の埋葬人骨と長軸方向がおよそ共通することから、埋葬人骨の一部の可能性が高いと考えられる。



第27図 6区 SX140 人骨

(4) 土坑

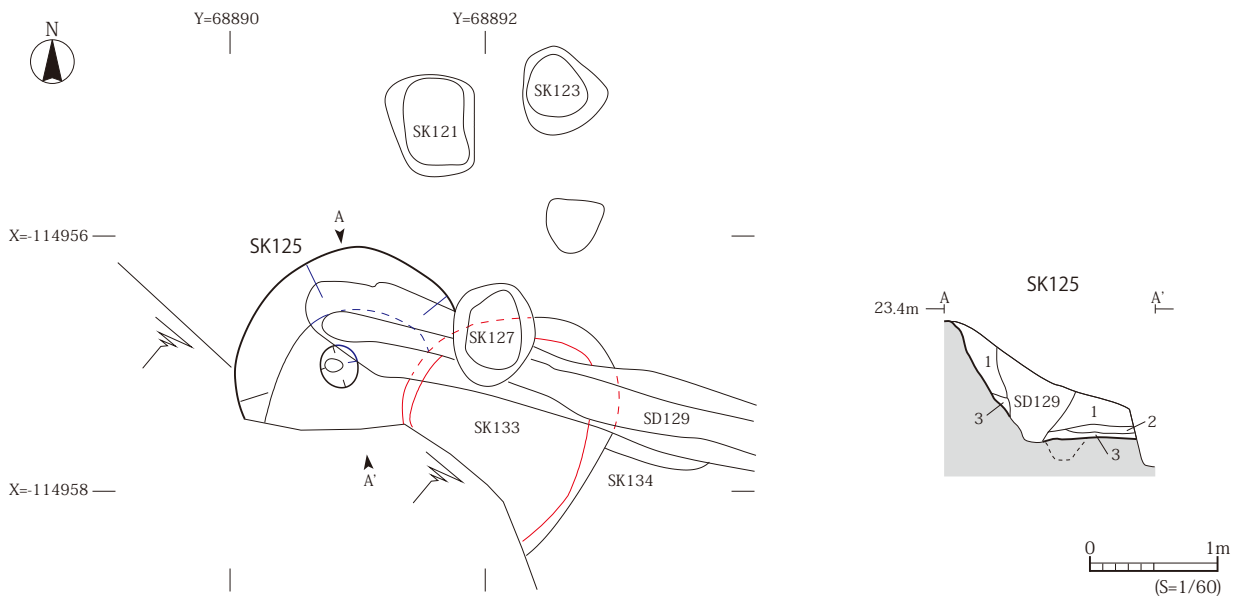
6区で6基、8区で4基の土坑を検出している。ここでは底面にピットをもつSK125について記述し、その他は第6表に特徴をまとめ、遺物の一部を掲載する。

第6表 6・8区土坑一覧表

遺構番号	位置	新旧関係	規模			平面形	断面形	特記事項	図番号	
			長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (cm)				遺構図	遺物図
SK123	6区北	-	0.7	0.7	30	不整形	皿状	円盤状土製品出土。	第28図	-
SK124	6区北	-	1.3	0.9	67	長楕円形	逆台形	縄文土器出土。	第8図	-
SK125	6区北	SK125 → SK133 → SD129 → SK127	1.5以上	1.3以上	97	円形か	逆台形	底面にピットあり。	第28図	-
SK127	6区北	SK125 → SK133 → SD129 → SK127	0.8	0.7	30	楕円形	皿状	縄文土器・石器出土。	第28図	-
SK133	6区北	SK125 → SK133 → SD129 → SK127	1.7以上	1.6	37	楕円形か	逆台形	縄文土器・石器出土。	第28図	-
SK134	6区北	SK134 → SD129	1.1	0.3以上	8	楕円形か	皿状		第28図	第29図
SK281	8区中央	-	1.2	0.7	63	楕円形	逆台形	縄文土器・石器出土。	第8図	-
SK285	8区中央	-	0.5	0.4	27	楕円形	逆台形	縄文土器出土。	第8図	-
SK289	8区中央	-	0.7	0.5	40	楕円形か	逆台形		第8図	-
SK291	8区中央	-	0.6	0.2	20	楕円形	皿状		第8図	-

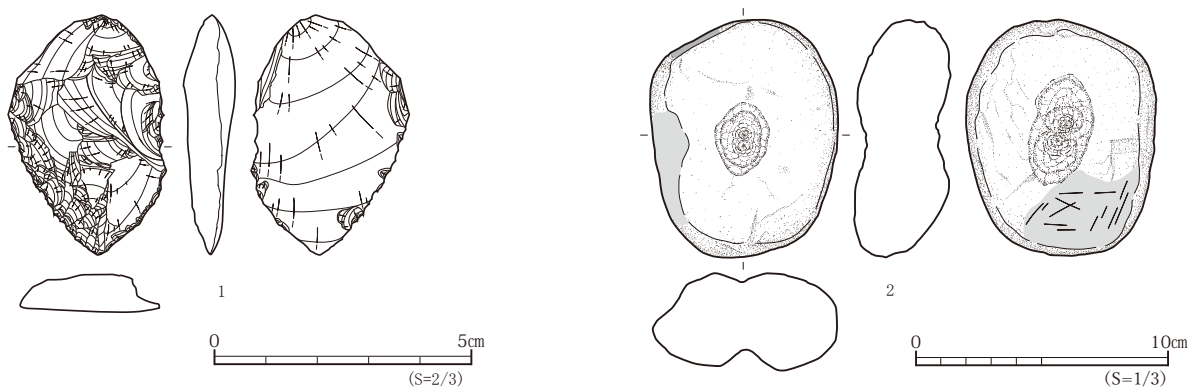
【SK125 土坑】（第 28 図）

6 区西に位置する。検出面は地山である。SK133 土坑、SD129 溝跡と重複しており、これらより古い。東側は SK133 土坑に壊されており、南側は削平されて残存していない。平面形は長軸 1.5m 以上、短軸 1.3m 以上の楕円形とみられる。深さは 97cm で、断面形は逆台形である。底面の中央にピットが認められる。ピットは直径 33cm の円形で、深さは 11cm である。堆積土は 3 層に分けられ、いずれも自然堆積である。堆積土から縄文土器小片が出土している。



遺構	層	土色	土性	特徴	解釈
SK125	1	暗褐色土(10YR3/3)	粘土質シルト	基盤岩の細礫・炭化物含む。	自然堆積
	2	暗褐色土(10YR3/4)	粘土質シルト	基盤岩の細礫多く含む。炭化物少量含む。	自然堆積
	3	にぶい黄褐色土(10YR4/3)	粘土質シルト	基盤岩の細礫多く含む。	自然堆積

第 28 図 6 区 SK125 土坑



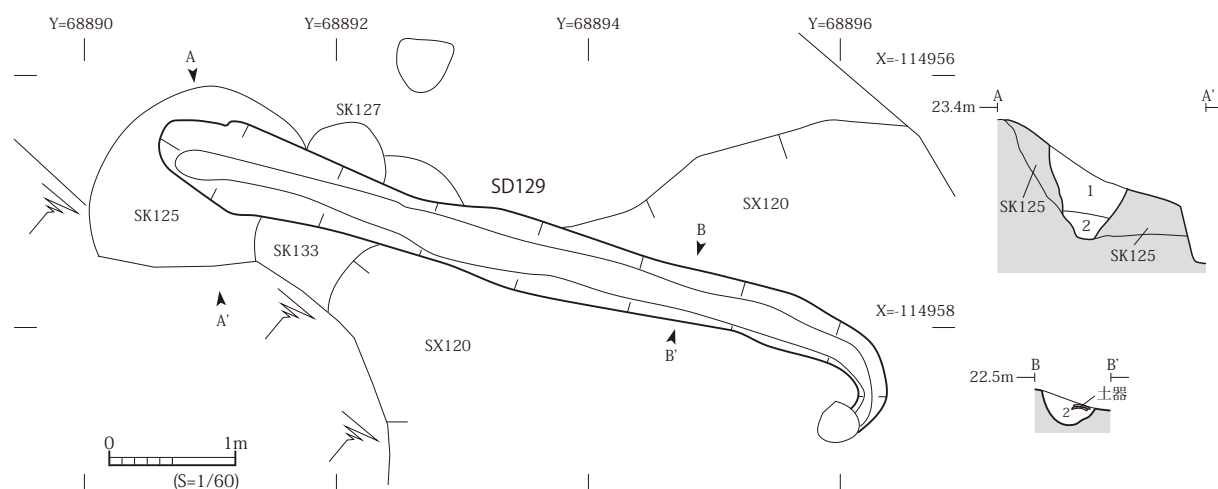
図番号	遺構・層	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真 番号	登録 番号
29-1	SK134・堆積土	不定形石器	不B	47.64	31.4	9.42	12.74	頁岩		21-3	RS141
29-2	SK134・堆積土	磨凹敲石類	磨凹石	93.82	74.22	37.91	384.5	泥岩		21-4	RS263

第 29 図 その他の土坑出土遺物

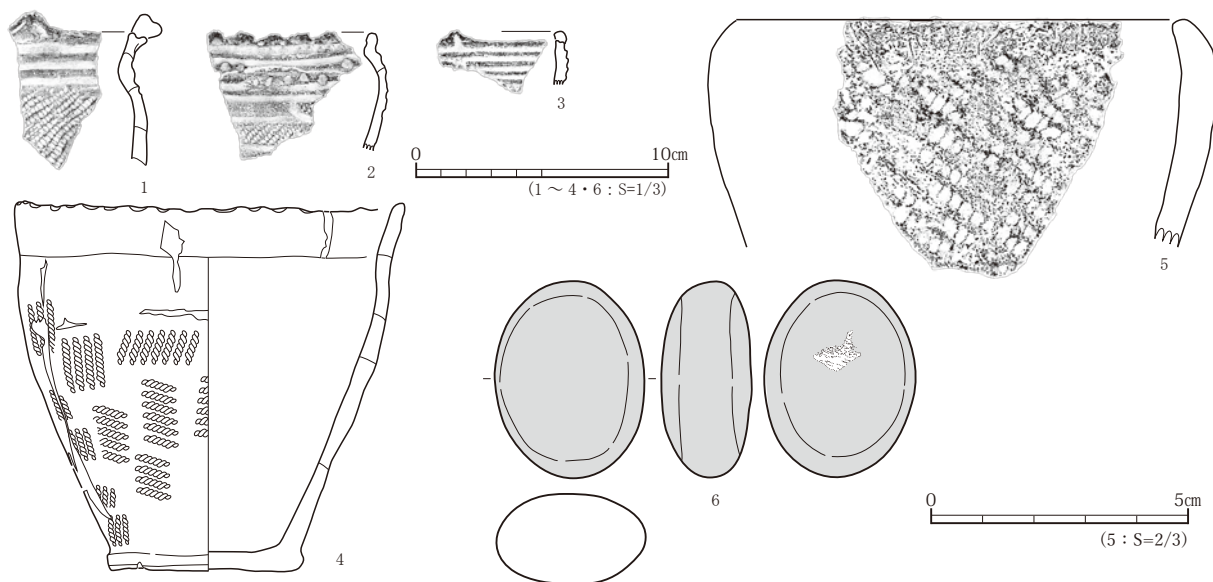
(5) 溝跡

【SD129 溝跡】(第 30 図)

6 区西に位置する東西方向の溝跡である。検出面は地山である。SI149 竪穴建物跡、SK125・133・134 土坑、SX120 遺物包含層より新しく、SK127 土坑より古い。検出総長は約 6.1m、上幅は 23～70cm、下幅は 6～30cm である。深さは 5～65cm で、断面形は U 字形である。底面は東側へ傾斜しており、東端は西端に比べ約 57cm 低い。方向は N-74° -W である。堆積土は 2 層に分けられ、いずれも自然堆積である。堆積土から縄文土器(第 30 図 1～4)、ミニチュア土器(第 30 図 5)、磨凹敲石類(第 30 図 6)が出土している。



遺構	層	土色	土性	特徴	解釈
SD129	1	暗褐色(10YR3/3)	粘土質シルト	岩盤の細礫多く含む。炭化物含む。	自然堆積
	2	にぶい黄褐色(10YR4/3)	粘土質シルト	岩盤の細礫多く含む。	自然堆積



図番号	遺構・層	器種・器形	分類	特徴	写真	登録番号
30-1	SD129・堆積土	深鉢		山形突起, 【口唇】沈線【口頸】平行沈線文(3条)【体】縄文(LR)	21-5	RP24
30-2	SD129・堆積土	鉢	9群	小波状縁(口唇部に突起), 【口頸】平行沈線+連続刺突文【体】沈線文(雲形文), 縄文(LR), 磨消縄文, 無文部はミガキ	21-6	RP25
30-3	SD129・堆積土	浅鉢か	10群	山形突起, 【口唇】沈線【口頸】平行沈線【体】沈線文(工字文か)【内】口縁に横位沈線	21-8	RP26
30-4	SD129・堆積土	深鉢		口径 15.5cm, 底径 7.3cm, 器高 14.7cm, 小波状縁(口唇部に刻み)【口頸】無文(ナデ)【体】縄文(LR)	21-9	RP27
30-5	SD129・堆積土	ミニチュア土器		口径(9.0)cm, 深鉢形, 縄文(LR)	21-7	RP31

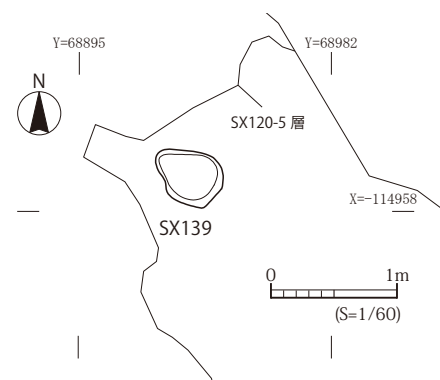
図番号	遺構・層	種別	分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石材	特徴	写真	登録番号
30-6	SD129・堆積土	磨凹敲石類	磨凹石	78.45	59.54	35.56	270.4	玄武岩		21-10	RS243

第 30 図 6 区 SD129 溝跡と出土遺物

(6) 焼土遺構

【SX139 焼土遺構】(第 31 図)

6 区中央北側に位置する。検出面は SX120 - 5 層上面である。長軸 0.8m、短軸 0.7m の楕円形の掘り込みの底面で焼面を確認した。焼面は長軸 0.9m、短軸 0.4m のいびつな楕円形である。焼面の上層には機能時堆積とみられる焼土層が堆積している。堆積土から縄文土器小片が出土している。周辺に柱穴等がみられないことから、単独の地床炉として利用された可能性が高いと考えられる。



遺構	層	土色	土性	特徴	解釈
SX139	1	暗オリーブ褐色(2.5Y3/3)	砂質シルト	岩盤中礫を少量含む。	自然堆積
	2	赤褐色(2.5YR4/8)	砂質シルト	被熱により赤変している。	機能時堆積

第 31 図 6 区 SX139 焼土遺構

(7) 遺物包含層・貝層

【SX120 遺物包含層・貝層】(遺構：第 32 ～ 36 図)

①概要と調査状況

6 区東から 8 区西に位置する。調査区外に延びるため平面規模は不明だが、幅は東西 20 m 以上、奥行きは南北 7 m 以上、厚さは全体で最大 1.8 m である。

遺物包含層底面である地山面における地形は 6 区と 8 区の接続部付近を通り北東から南西に延びる緩やかな谷地形と推定され、SX120 はこの谷を埋めるように形成されている。

表土・盛土直下から地山までの堆積層は堆積時期と層相により大きく 9 層に分けられ、調査時は上層から順に黒色層、黄色層、炭多層、混貝土層、貝層、貝層最下部、赤黒上層、赤黒下層、黄褐色層と呼称し、整理作業で 1 層（黒色層）、2 層（黄色層）、3 層（炭多層）、4 層（混貝土層）、5 層（貝層）、6 層（貝層最下部）、7 層（赤黒上層）、8 層（赤黒下層）、9 層（黄褐色層）に層名を振り替えた（第 33 図）。

1 層は地山小ブロックや炭化物粒を少量含む黒褐色粘土質シルトで、6 区南東から 8 区との接続部に分布する。1 層上面で土坑墓 3 基や SX122 土器埋設遺構を検出しており、遺構面となっている。

2 層は地山小ブロックや炭化物粒を少量含む褐色～にぶい黄褐色粘土質シルトで、2a ～ 2c に細別され、6 区南東から 8 区西端に分布する。2 層上面で土器埋設遺構 2 基(SX136・137)を検出しており、遺構面となっている。

3 層は地山小ブロック・炭化物・焼土を帯状に含む灰黄色～暗オリーブ褐色粘土質シルトで、3a ～ 3i 層に細別され、6 区北東部と 8 区西端に分布する。

4層は細片主体の貝類や炭化物を含む混貝土層で、4a・4b層に細別され、6区北東部と8区西端に分布する。

5層はマガキを主体とする貝層・混土貝層で、5a～5o層に細別される。6区北東部から8区中央部にかけて分布し、分布範囲は東西15.4m、南北13.9m、厚さは最大0.7mである。5層上面でSK291土坑、SX139焼土遺構を検出しており、遺構面になっていたとみられる。

6層は遺物が集中する貝層の最下部を大別したもので、6区東部から8区中央部にかけて分布する。西端には、小型の円礫や角礫を主体とし礫石器や土器などを含む礫集中のようなまとまり（写真図版5-8）が2か所認められるが、6層の遺物集中と一連のものと考えられる。

7層は地山小ブロックや炭化物粒を少量含む黒褐色粘土質シルトで、6区東部から8区中央部にかけて分布する。

8層は地山小ブロックや炭化物粒を少量含む黒褐色粘土質シルトで、6区東部から8区中央部にかけて分布する。8層上面で竪穴建物跡3棟（SI149・251・252）や土坑・ピットを検出しており、遺構面となっている。

9層は地山小ブロックを含む黄褐色粘土質シルトで、6区と8区の接続部から8区東部にかけて分布する。9層上面には灰白色の火山灰ブロックや、火山灰ブロックを含む土の落ち込みが見つかり、これらの火山灰は十和田中掇火山灰の可能性がある。

堆積層の掘り下げは人力で行い、遺物はベルト・サブトレンチや調査区壁面等で区画される範囲ごとに取り上げ、可能な限りベルトや調査区壁で確認した細別層に帰属させるように努めた。

貝層・混土貝層（4・5層）は悉皆サンプルし、3層の一部の土壌サンプルと合わせて土嚢袋で1,204袋採取した。

②土器（第37～111図）

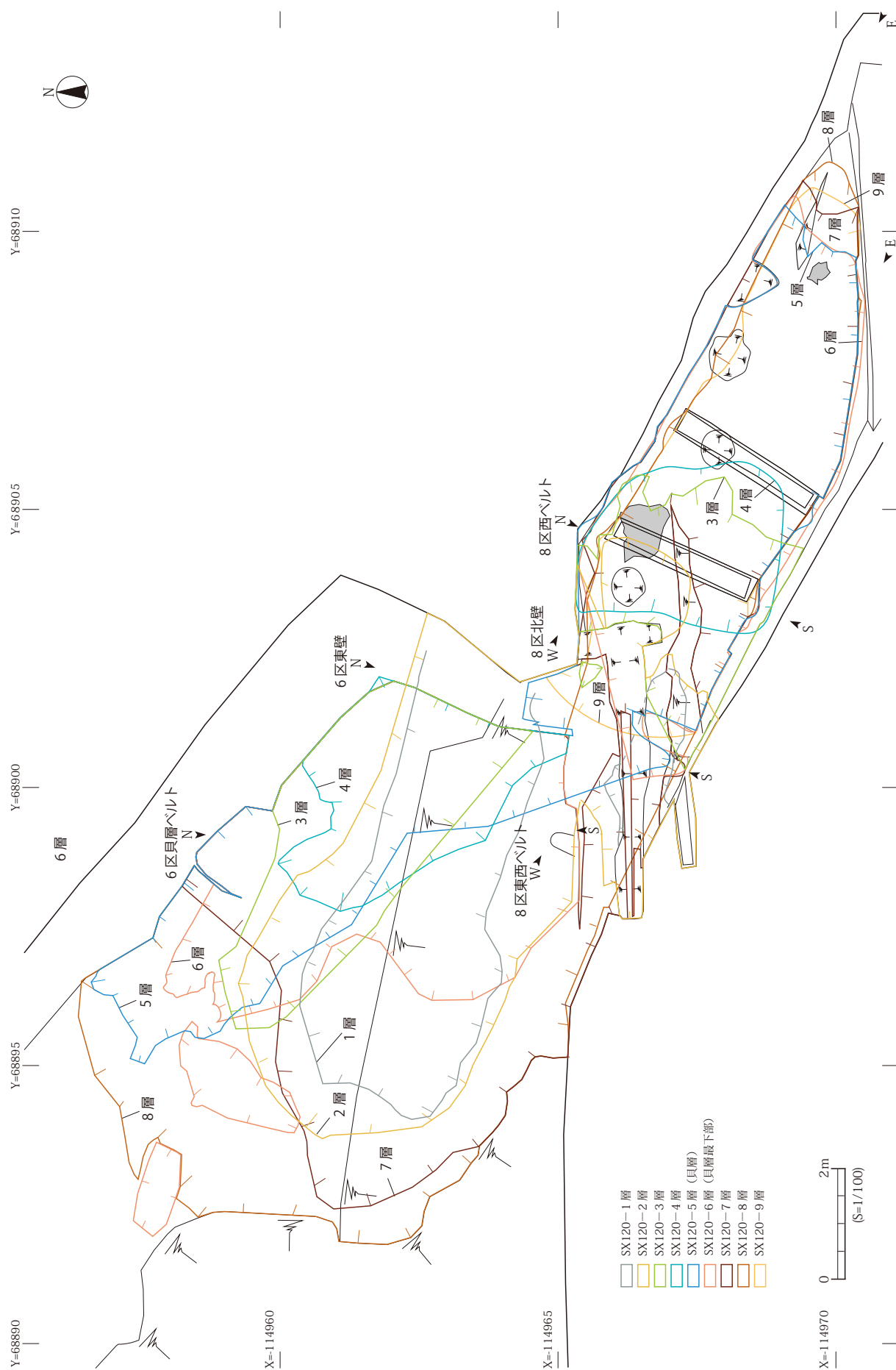
SX120遺物包含層から出土した土器は遺物収納箱で約220箱である。掲載する資料については、口縁部、底部、文様の施されたものなど土器の特徴が捉えられる個体を一次抽出し、その中から掲載資料を検討して、486点を掲載した（第7表）。

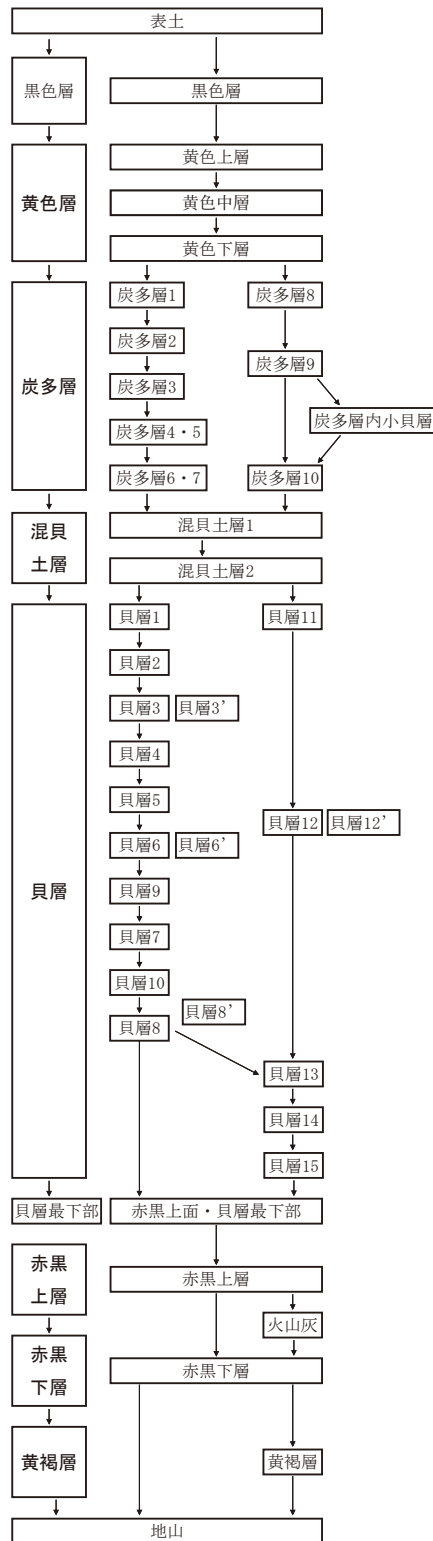
1層からは入組三叉文（第36図2）、入組文（第36図5）、楕円形区画文（第37図1・3）が施される土器などが出土している。

2層からは連弧文（第38図1）、口縁部に環状把手や立体的な突起が付くもの（第38図2・3）、沈線による懸垂文・渦巻文・蕨手文（第38図5・7）、方形区画文（第38図9～11、第39図1～3）、2個または3個1対の刻目文がつく隆線やボタン状貼付が施されるもの（第39図2・4、第40図1・2・4、第41図1～5・7、第42図）、環状突起の内外面にヒレ状隆線文を施すもの（第42図1）、指頭状圧痕文（第42図3・4）が施される土器などが出土している。

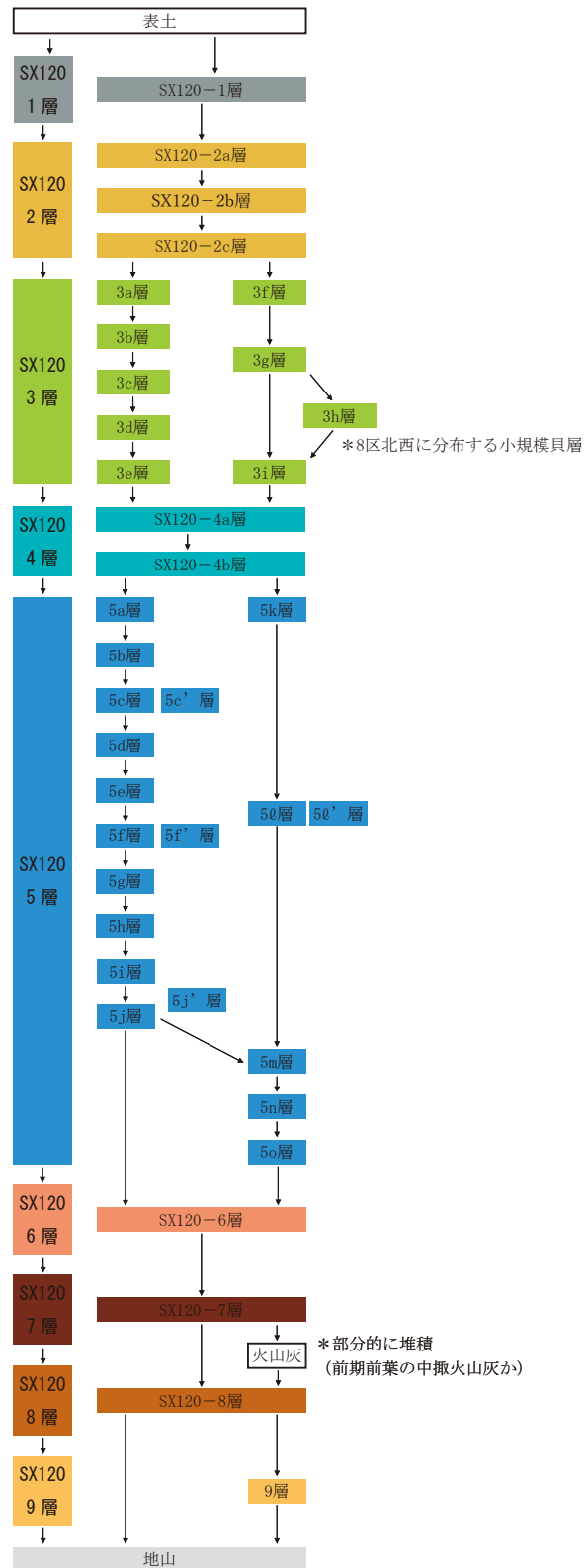
第7表 SX120遺物包含層土器点数表

遺構・層	総破片数	口縁部	底部	一次抽出	掲載
SX120-1層	1820	149	57	40	25
SX120-2層	5746	516	230	94	43
SX120-3層	6824	752	260	178	63
SX120-4層	3471	456	121	71	40
SX120-5層	17030	2190	599	380	136
SX120-6層	10640	1177	410	233	102
SX120-7層	8400	860	282	126	59
SX120-8層	778	56	12	21	15
SX120-9層	76	4	1	5	3
SX120-層不明	1372	150	51	31	0
計	56157	6310	2023	1179	486





遺物取上げ時の層番号



層番号の変更

第 33 図 SX120 遺物包含層・貝層の層序模式図

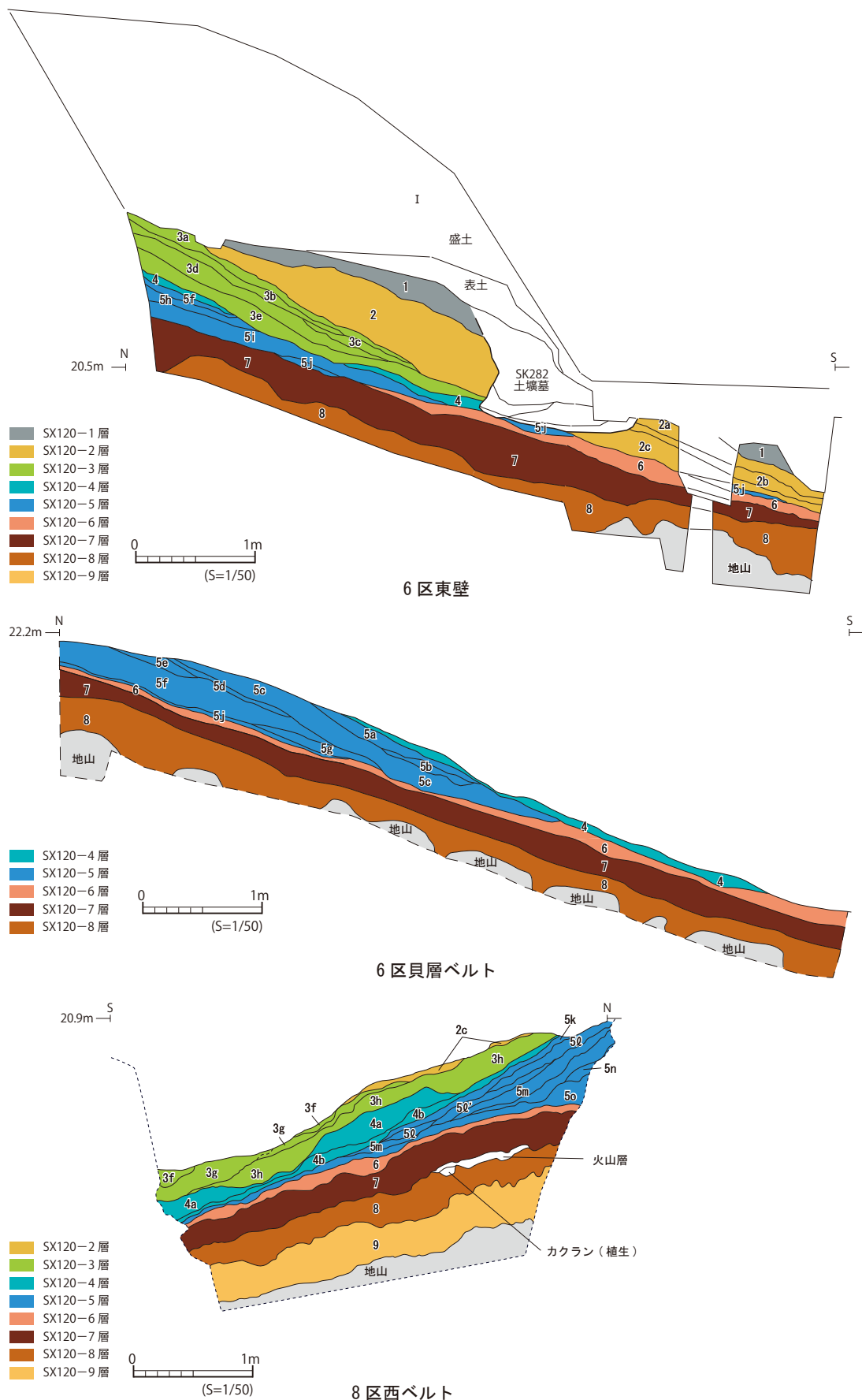
第 8 表 SX120 遺物包含層土層観察表

遺構	層	土色	土性	特徴	調査時点	
					大別	細別
SX120	1	黒褐色 (10YR3/2)	粘土質シルト	地山小ブロック 10%、炭化物粒 2%、地山小礫 2% 含む。	黒色層	-
	2a	にぶい黄褐色 (10YR4/3)	粘土質シルト	地山小ブロック 10%、炭化物粒 7%、地山小礫 2% 含む。	黄色層	上
	2b	褐色 (7.5Y4/3)	粘土質シルト	地山小ブロック 7%、焼土粒 7%、炭化物粒 3% 含む。	黄色層	中
	2c	にぶい黄褐色 (10YR5/4)	粘土質シルト		黄色層	下
	3a	黒褐色 (10YR3/1)	粘土質シルト	炭化物 10%、地山小ブロック 15%、焼土 2% 含む。	炭多層	1
	3b	暗灰黄色 (2.5Y5/2)	粘土質シルト	地山小・中ブロック 50% 含む。	炭多層	2
	3c	黒褐色 (10YR3/2)	粘土質シルト	炭化物 5%、地山小ブロック 10%、焼土 2% 含む。	炭多層	3
	3d	黒褐色 (10YR3/2)	粘土質シルト	炭化物 3%、地山小ブロック 40%、焼土 3% 含む。	炭多層	4・5
	3e	黒褐色 (10YR3/1)	粘土質シルト	炭化物 10%、地山小ブロック 10% 含む。	炭多層	6・7
	3f	灰オリーブ (5Y5/3)	粘土質シルト	炭化物・地山小礫・焼土を帯状に含む。	炭多層	8
	3g	暗灰黄 (2.5Y4/2)	粘土質シルト	炭化物を非常に多く含む。地山細礫・焼土を帯状に含む。	炭多層	9
	3h	暗オリーブ (5Y4/3)	粘土質シルト	炭化物・地山中～細礫・焼土を帯状に含む。	炭多層	10
	4	黒褐色 (10YR3/2)	混土貝層	貝類 15%、地山小ブロック 15%、炭化物 5% 含む。	混土貝層	-
	5a	黒褐色 (10YR3/1)	混土貝層	土量 15%、地山小ブロック 10% 含む。	貝層	1
	5b	黒褐色 (10YR3/1)	混炭貝層	炭化物を 20% 含む。	貝層	2
	5c	黒褐色 (10YR3/1)	貝層	炭化物を 3% 含む。	貝層	3
	5c'	黒褐色 (10YR3/1)	貝層	破砕貝主体。炭化物 3%、地山小ブロック 1% 含む。	貝層	3'
	5d	黒色 (10YR2/1)	混土貝層	土量 30%、炭化物 3% 含む。	貝層	4
	5d'	黒褐色 (10YR3/1)	混土貝層	炭化物 2% 含む。	貝層	4'
	5e	黒褐色 (10YR3/1)	混土貝層	土量 15%、炭化物 3% 含む。	貝層	5
	5f	黒褐色 (10YR3/1)	貝層	炭化物を 2% 含む。	貝層	6
	5f'	黒褐色 (10YR3/1)	貝層	破砕貝主体。Φ 5 ～ 10cm の円礫を少量含む。	貝層	6'
	5g	黒褐色 (10YR3/1)	混土貝層	土量 20%、炭化物 5%、地山小ブロック 1% 含む。	貝層	7
	5h	黒褐色 (10YR3/1)	貝層	破砕貝主体。炭化物 1%、地山小ブロック 1% 含む。	貝層	9
	5i	黒褐色 (10YR3/1)	混土貝層		貝層	10
	5i'	黒褐色 (10YR3/1)	混土貝層	炭化物 5%、地山小ブロック 3% 含む。	貝層	10'
	5j	黒褐色 (10YR3/2)	混土貝層	貝類 20%、地山小ブロック 15%、炭化物 5% 含む。	貝層	8
	5j'	黒褐色 (10YR3/1)	混土貝層	破砕貝 30%、地山小ブロック 15% 含む。	貝層	8'
	5k	にぶい黄色 (2.5Y6/4)	混土貝層		貝層	11
	5ℓ	暗オリーブ褐色 (2.5Y4/3)	混土貝層		貝層	12
	5m	灰白 (5Y7/2)	混土貝層	細片の貝を主体とする。	貝層	13
	5n	暗灰黄 (2.5Y5/2)	混土貝層	貝はやや小～中片が多いが、大片も定量含む。	貝層	14
	5o	にぶい黄橙 ((10YR7/2)	混土貝層	大片・完形の貝を多く含む。土量微量。	貝層	15
	6	黒褐色 (7.5YR2/2)	粘土質シルト	地山小ブロック 10%、炭化物粒 2% 含む。	貝層最下部	-
	7	オリーブ黒 (7.5Y2/2)	粘土質シルト	炭化物 2%、地山小ブロック 3% 含む。	赤黒上層	-
	8	オリーブ褐色 (2.5Y4/3)	粘土質シルト		赤黒下層	-
	9	黄褐色 (2.5Y5/3)	粘土質シルト		黄褐色層	-

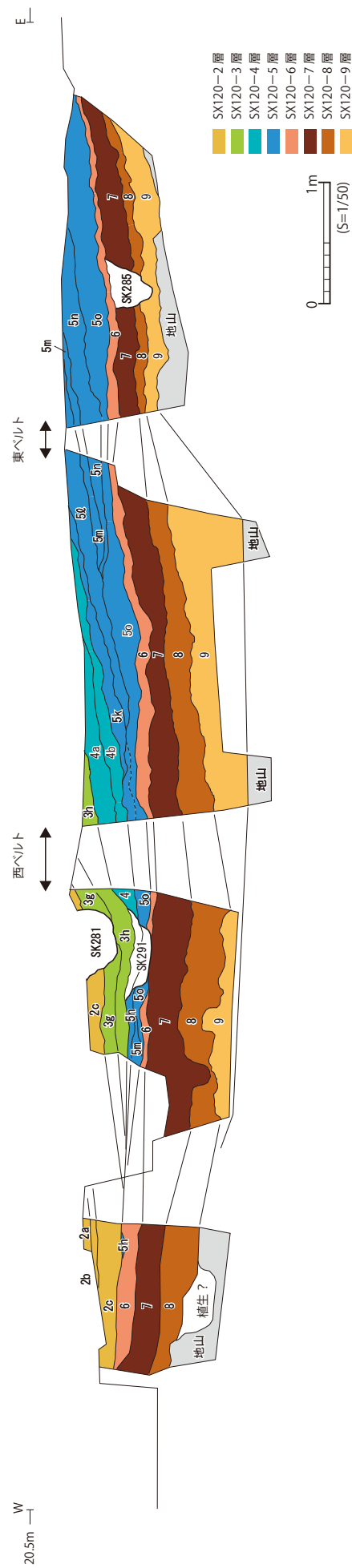
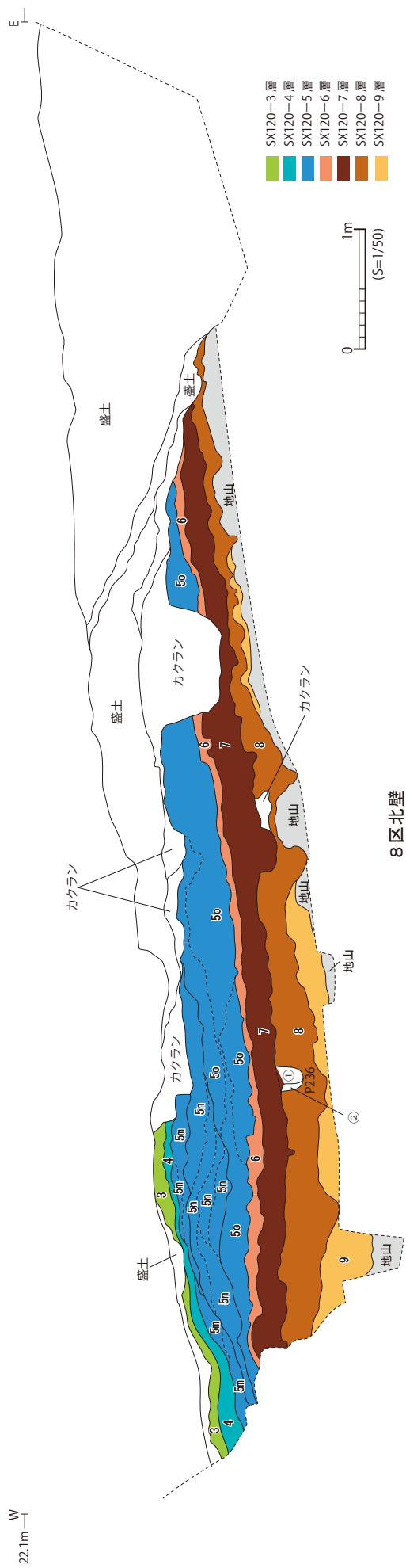
3 層からは鎖状刺突文（第 45 図 1）、2 個または 3 個 1 対の刻目文がつく隆線やボタン状貼付が施されるもの（第 45 図 3、第 46 図 1 ～ 3・6、第 47 図 1 ～ 3、第 48 図 1、第 49 図 1 ～ 4、第 50 図 1・2、第 51 図 1）、指頭状圧痕文（第 50 図 2、第 51 図 1・4 ～ 6）、刺突列が沿う隆線文（第 52 図 3、第 53 図 1・2・4・6）が施される土器などが出土している。

4 層からは鎖状隆線文（第 59 図 1）、指頭状圧痕文（第 59 図 5）、2 個 1 対の刻目文（第 59 図 6）、ヒレ状隆線文（第 61 図 7、第 62 図 1 ～ 4、第 63 図 1・2）、隆線文や沈線文が施される土器などが出土している。隆線文や沈線文のモチーフには横 6 字状（第 59 図 6、第 60 図 1・4）、横 d 字状（第 60 図 5、第 61 図 1）、コ字状（第 62 図 1 ～ 3）、逆 L 字状（第 62 図 4・5・7）、横 S 字状（第 63 図 1 ～ 3）、楕円状（第 63 図 4）、U 字状（第 64 図 1）、楕円文・∩ 字文（第 64 図 3）などがある。

5 層からは口縁部に注口部付きの環状把手が付くもの（第 66 図 1 ～ 5）、メビウスの帯状の把手が付くもの（第 67 図 1 ～ 5・7）、単純な環状把手が付くもの（第 68 図 1 ～ 4・8）が出土しているほか、2 個 1 対の刻目文（第 66 図 1・3）、ヒレ状隆線文（第 67 図 6、第 68 図 4・7、第 69 図 1 ～ 3・5・7）、隆線文や沈線文が施される土器が出土している。隆線文や沈線文のモチーフには横 6 字状（第 67 図 1）、横 d 字状（第 66 図 2・4、第 67 図 3、第 68 図 3、第 69 図 6）、O 字状（第 69 図 7・9 ～ 11、第 70 図 1）、コ字状（第 71 図 3 ～ 6、第 72 図 1・2・5）、逆 L 字状（第 67 図 6、第 68 図 2）、横 S 字状（第 66 図 1、第 68 図 7、第 69 図 3、第 76 図 1・2）、S



第 34 図 SX120 遺物包含層・貝層断面図 1



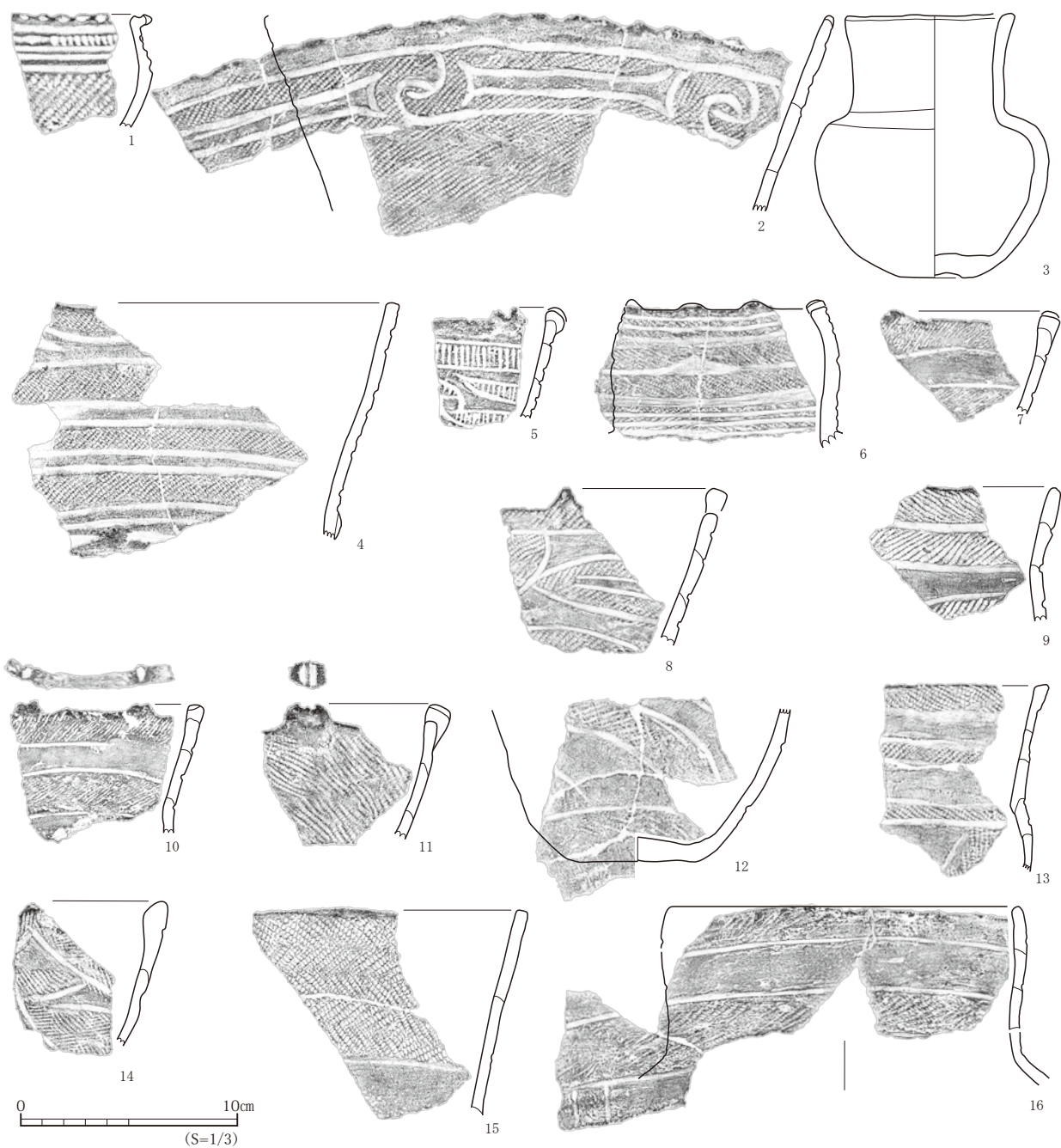
第35図 SX120 遺物包含層・貝層断面図2

字・逆S字状(第73図2～5、第74図1～5、第76図4、第77図4)、U字状(第79図4)、楕円文(第79図5、第80図1～3・5)などが出土している。

6層からは口縁部に注口部付きの把手が付くもの(第88図1)、メビウスの帯状の把手が付くもの(第87図1・4～6、第88図2)、単純な環状把手が付くもの(第89図2)が出土しているほか、2個1対の刻目文(第87図8)、ヒレ状隆線文(第87図7、第89図4、第90図4・5)、隆沈線文(第98図3～5・7～9、第99図2・4)、隆線文や沈線文が施されるもの、地文のみが施されるものがある。文様のモチーフは、隆線文や沈線文には横6字・d字状(第87図7・第88図1)、L字・逆L字状(第87図8、第88図2)、横S字状(第87図1、第89図3、第90図2、第91図1・4、第92図2・3・5、第93図1)、S字状(第90図4)、ノ字・逆ノ字状(第88図3・4、第89図1・2)、楕円文(第95図4)、楕円文・ \cap 字文(第97図2～8、第98図1～4)、渦巻文(第98図5・7～9)などがあり、隆沈線文には渦巻文(第98図3・4・7～10、第99図2・4)などがある。

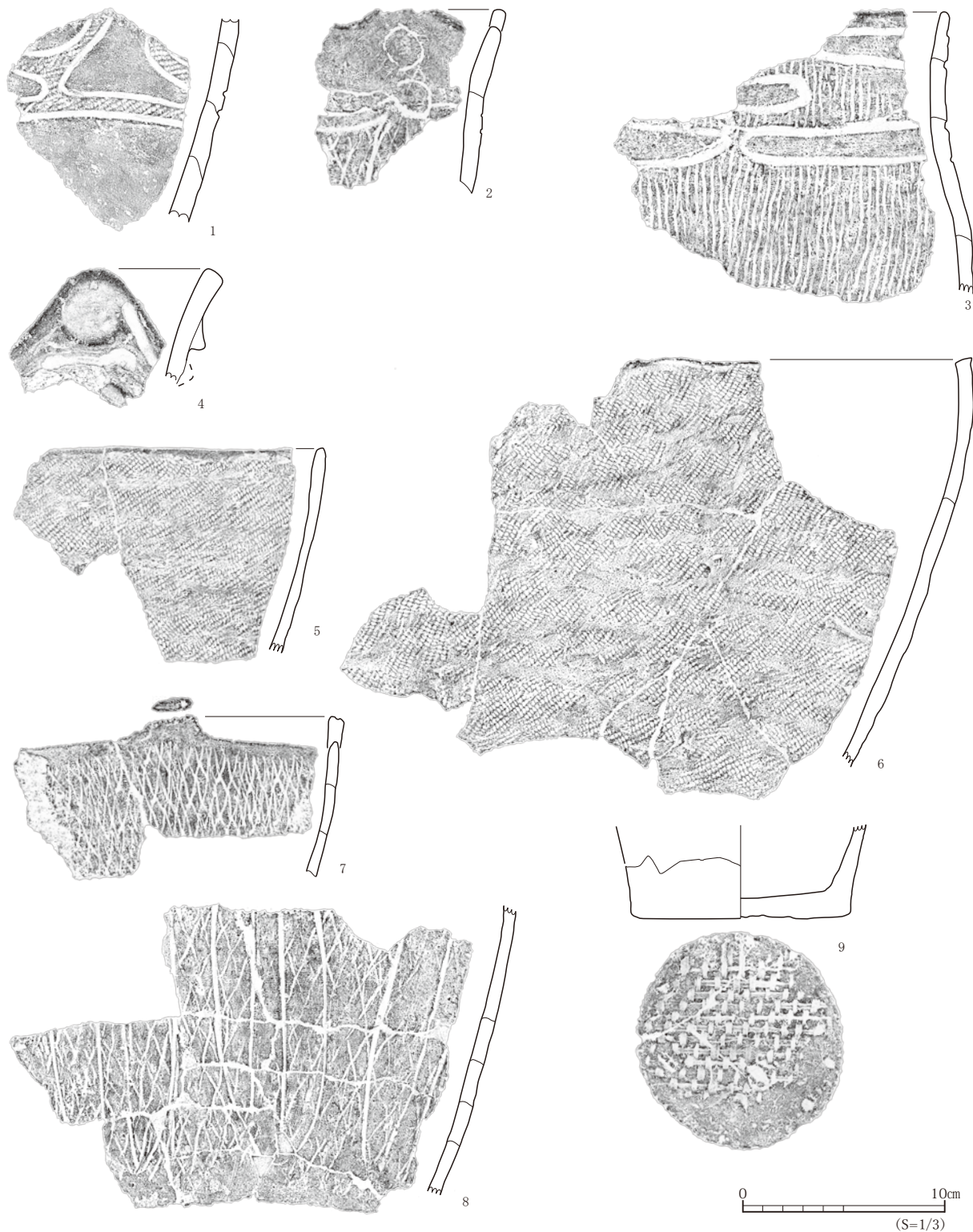
7層からは口縁部に注口部付きの把手が付くもの(第104図1)、メビウスの帯状の把手が付くもの(第104図2)が出土しているほか、ヒレ状隆線文(第104図1)、隆沈線文(第105図3、第107図4～6・8～10、第108図1・4・6・7、第109図2)、隆線文や沈線文が施されるもの、胎土に繊維を含むもの(第109図8～10・12・13、第110図1～11)が出土している。文様のモチーフは、隆線文や沈線文には横d字状(第104図1)、S字状(第104図6)、U字・逆U字状(第105図4・5)、楕円文・ \cap 字状文(第105図6、第107図1・2)、渦巻文(第106図4・5)などがあり、隆沈線文には渦巻文(第107図4・6・8・10、第108図1・4・6・7)がある。

8層からは胎土に繊維を含む土器が出土しており、ループ文(第110図12・13)、非結束羽状縄文(第110図16・17・22、第111図1)、底面に縄文が施されるもの(第110図14・18)などがある。



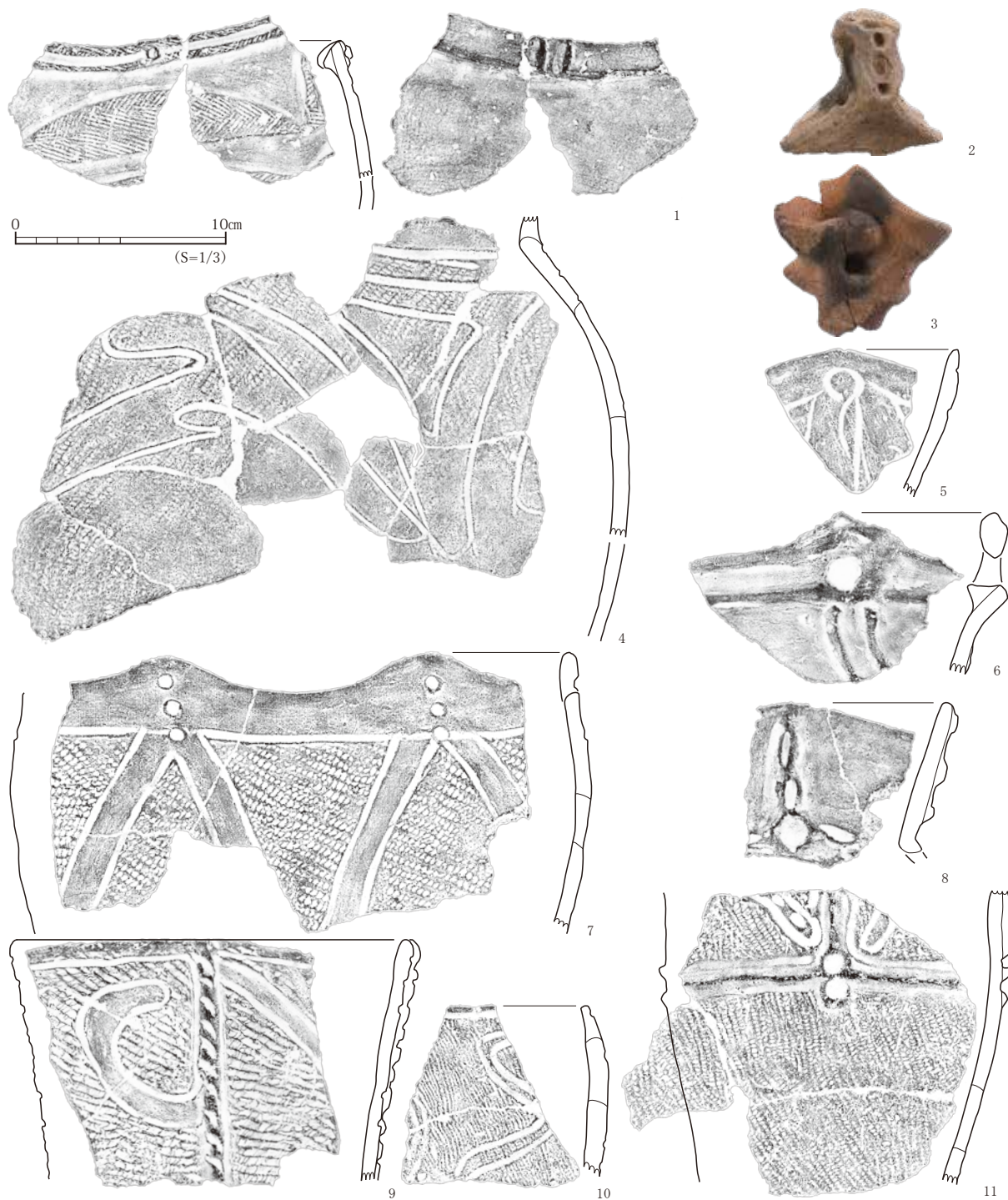
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
36-1	SX120-1層	6区・S1	深鉢		小波状縁(口唇部に刻み),【口頸】平行沈線・刻目文,【体部】縄文(LR)	23-1	RP35
36-2	SX120-1層	6区・S1	深鉢か	8群	口径(16.2)cm,小波状縁(口唇部に押圧),【口頸】人組三叉文(4単位),縄文(LR),磨消縄文	23-2	RP36
36-3	SX120-1層	8区	壺		口径7.7cm,底径3.6cm,器高12.2cm,外面はミガキ,内面はナデ	23-3	RP37
36-4	SX120-1層	6区・S3東壁	深鉢	8群	波状縁,【口〜体】带状文,磨消縄文(LR),屈曲部に平行沈線→小突起貼付	23-4	RP38
36-5	SX120-1層	6区・S1	深鉢	8群	山形突起,沈線(人組文),刻目文(充填)	23-5	RP39
36-6	SX120-1層	8区・S4	壺	8群	口径(9.2)cm,山形突起(頂部に縦位の刻み),【口頸】带状文(三叉文),縄文(RL),磨消縄文	23-6	RP40
36-7	SX120-1層	6区・S1	深鉢	8群	山形突起,【口頸】带状文,縄文(LR)	23-7	RP41
36-8	SX120-1層	8区・S4	深鉢	8群	山形突起,【口頸】沈線文(人組文か),縄文(LR)	23-10	RP42
36-9	SX120-1層	6区・S3東壁	深鉢	8群	平縁,沈線→非結束羽状縄文(LR・RL)→ミガキ	23-8	RP43
36-10	SX120-1層	6区・B1	深鉢	8群	山形突起(頂部に刻み),【口頸】带状文,縄文(LR)	23-9	RP44
36-11	SX120-1層	8区・S6	深鉢	8群か	山形突起(頂部に刻み),縄文(RL)	23-11	RP45
36-12	SX120-1層	8区・S4	深鉢か	7群か	底径5.6cm,【体】沈線文(弧状文),縄文(LR),充填縄文,無文部はミガキ,【底】ナデ	23-12	RP46
36-13	SX120-1層	8区・S4	深鉢	7群	平縁,【口頸】带状文,非結束羽状縄文(LR・RL),磨消縄文,【体】沈線文(弧状文か)	23-13	RP47
36-14	SX120-1層	6区・S3東壁	深鉢	7群	大波状縁,【口頸】沈線文(連弧文),羽状縄文(LR・RL)	23-14	RP48
36-15	SX120-1層	6区・B1	深鉢	7群	平縁,【口頸】沈線文(区画か),非結束羽状縄文(LR+RL),無文部はミガキ	23-15	RP49
36-16	SX120-1層	6区・S1	壺	7群	口径(16.2)cm,平縁,【口頸】带状文,縄文(LR),充填縄文か,【体】沈線文(方形区画文か),無文部はミガキ	23-16	RP50

第 36 図 SX120 遺物包含層出土土器 (1) 1 層①



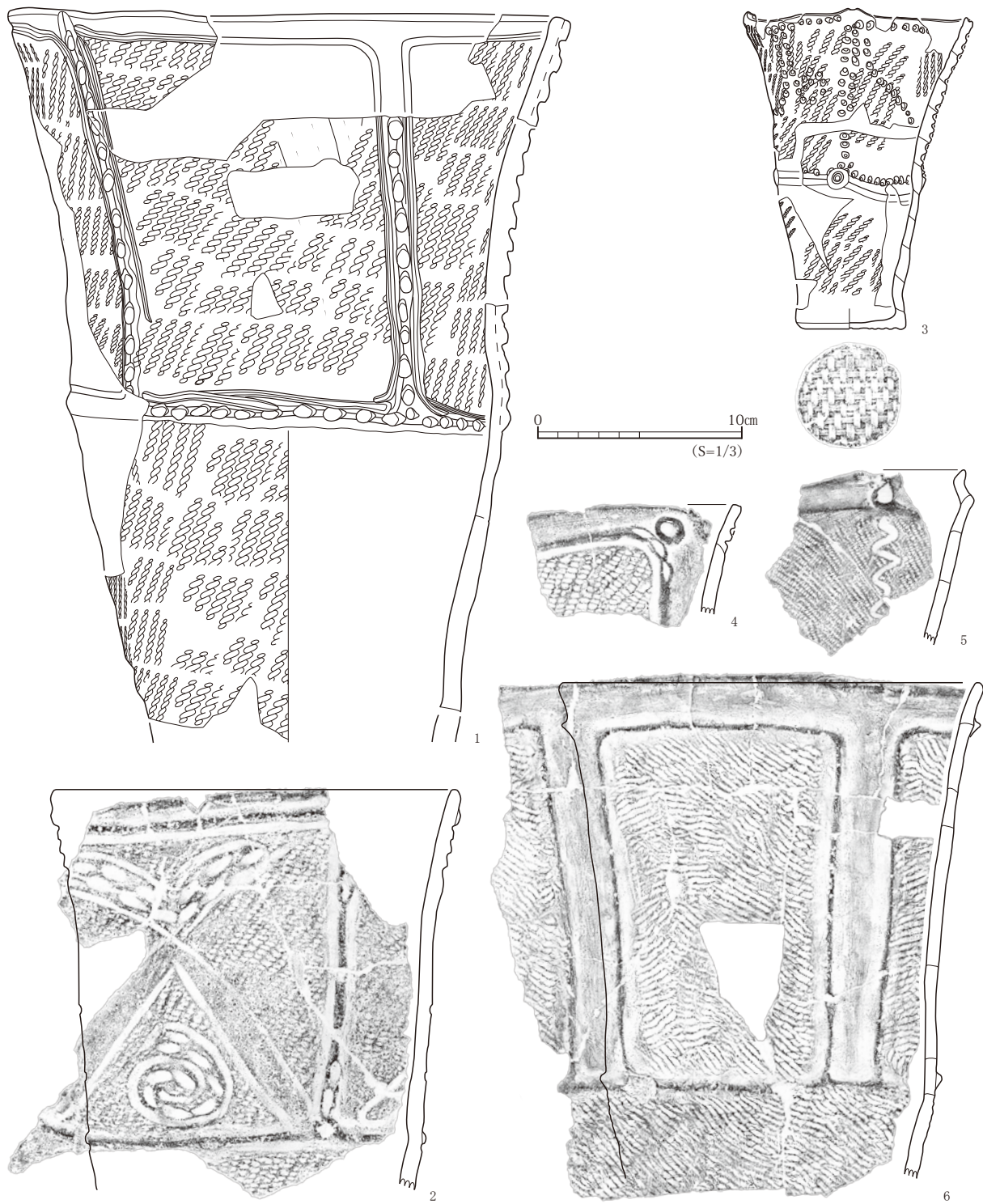
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
37-1	SX120-1層	6区・B1	深鉢	6群	沈線文(楕円形区画文), 縄文(LR), 充填縄文	23-17	RP51
37-2	SX120-1層	6区・Tr2	深鉢	6群B類	波状縁, 【口頸】沈線文(円形文, 区画文, 竹管状工具), 【体】網目状燃糸文(R)	23-18	RP52
37-3	SX120-1層	8区・S4	深鉢	6群	平縁, 【口頸】沈線文(楕円形区画文), 燃糸文(L), 磨消縄文,	23-19	RP53
37-4	SX120-1層	6区・S1	深鉢	3群	波状縁, 半円形突起+隆線, 【体】隆線, 沈線	23-20	RP54
37-5	SX120-1層	6区・S1	深鉢		口径(22.0)cm, 平縁, 縄文(LR)	23-21	RP55
37-6	SX120-1層	6区・Tr2	深鉢		平縁, 縄文(LR)	24-1	RP56
37-7	SX120-1層	8区・S4	深鉢		口径(13.9)cm, 台形突起(頂部に押圧, 4単位か), 網目状燃糸文(R)	24-2	RP57
37-8	SX120-1層	6区・S3東壁	深鉢		網目状燃糸文(R)→沈線文(懸垂文)	24-3	RP58
37-9	SX120-1層	6区・S3東壁	深鉢か		底径10.1cm, 【体】下端はミガキ【底】網代痕(2本越1本潜1本送)	24-4	RP59

第 37 図 SX120 遺物包含層出土土器 (2) 1 層②



図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
38-1	SX120-2層	6区・S1	深鉢	8群	大波状縁,【口】端部の内外面が肥厚,非結束羽状縄文(LR・RL)→沈線→貼瘤,貼瘤の内面に縦位2条の貼付け【体】沈線文(連弧文)	24-5	RP60
38-2	SX120-2層	6区・Tr2	深鉢	6群B類	方形突起,突起の外側・側面・内面に凹線・盲孔	24-6	RP61
38-3	SX120-2層	6区・S1	深鉢	6群B類	環状把手の一部,先端が8字状に開く(ひねり),凹線・盲孔	24-7	RP62
38-4	SX120-2層	6区・N2N3	深鉢	6群B類	縄文(LR)→沈線文(入組文か),無文部はミガキ	24-8	RP63
38-5	SX120-2層	6区・S1	深鉢	6群B類	波状縁,沈線文(渦巻文・懸垂文・鎖状文),燃糸文か	24-9	RP64
38-6	SX120-2層	6区・S1	深鉢	6群B類	環状把手(端部に凹み),【口頸】無文(ナデ),下端に稜,内面は肥厚【体】隆線文(2条1組)	24-10	RP65
38-7	SX120-2層	6区・Tr2	深鉢	6群B類	口径(26.4)cm,山形突起(8単位か),【口頸】突起下に盲孔(3個縦列),【体】沈線文(懸垂文),縄文(LR),磨消縄文	24-11	RP66
38-8	SX120-2層	6区・S2	深鉢	6群A類	波状縁,【口頸】鎖状隆線(縦位,横位区画)+ボタン状貼付,	24-12	RP67
38-9	SX120-2層	6区・南壁	深鉢	6群A類	口径(18.7)cm,平縁,【口~体】鎖状隆線文・沈線文(方形区画文),区画内に沈線文(弧状文),縄文(L),磨消縄文,	24-13	RP68
38-10	SX120-2層	6区・S2	深鉢	6群A類	平縁,【口~体】沈線文(方形区画文か),区画内に燃糸文(L)→沈線文(波状文か)	25-1	RP69
38-11	SX120-2層	6区・S1	深鉢	6群A類	隆線文(方形区画文)+ボタン状貼付(2個縦列),区画内鎖状刺突列(沈線文・刺突文),縄文(LR),磨消縄文	25-2	RP70

第 38 図 SX120 遺物包含層出土土器 (3) 2 層①



図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
39-1	SX120-2c層	8区・N4北壁	深鉢	6群A類	口径27.6cm,残存高36.0cm,平縁,【口〜体】鎖状隆線文・沈線文(方形区画文・5単位),縄文(RL),磨消縄文	25-3	RP71
39-2	SX120-2層	6区・S1	深鉢	6群A類	口径(20.0)cm,平縁,【口〜体】方形区画文(隆線文)+2個1対の刻目文(隆線方向)・ボタン状貼付,区画内に沈線文(三角形区画文)・鎖状刺突文(渦巻文・弧状文),縄文(RL)磨消縄文	25-6	RP72
39-3	SX120-2b層	8区・B5	深鉢	6群A類	口径11.2cm,底径5.1cm,器高15.7cm,山形突起(4単位,頂部に刺突),【口〜体】方形区画文(刺突列・隆線文)+ボタン状貼付,区画内に刺突列(幾何学文か),縄文(RL),【底】網代痕(1本越2本滑2本送)	25-7	RP73
39-4	SX120-2層	6区・S1	深鉢	6群A類か	平縁,【口〜体】隆沈線文(クランク状文か)+ボタン状貼付→3個1対の刻目文(隆線方向),縄文(RL),磨消縄文か	25-4	RP74
39-5	SX120-2c層	8区・S4	深鉢	6群A類	口縁に山形突起か(欠落),【口頸】ボタン状貼付,【体】縄文(LR)→沈線文(縦位の波状文)	25-5	RP75
39-6	SX120-2c層	8区・B5	深鉢	6群A類か	口径(20.6)cm,【口〜体】隆線文(方形区画文・4単位),縄文(L),区画内は充填縄文か	26-1	RP76

第 39 図 SX120 遺物包含層出土土器 (4) 2 層②



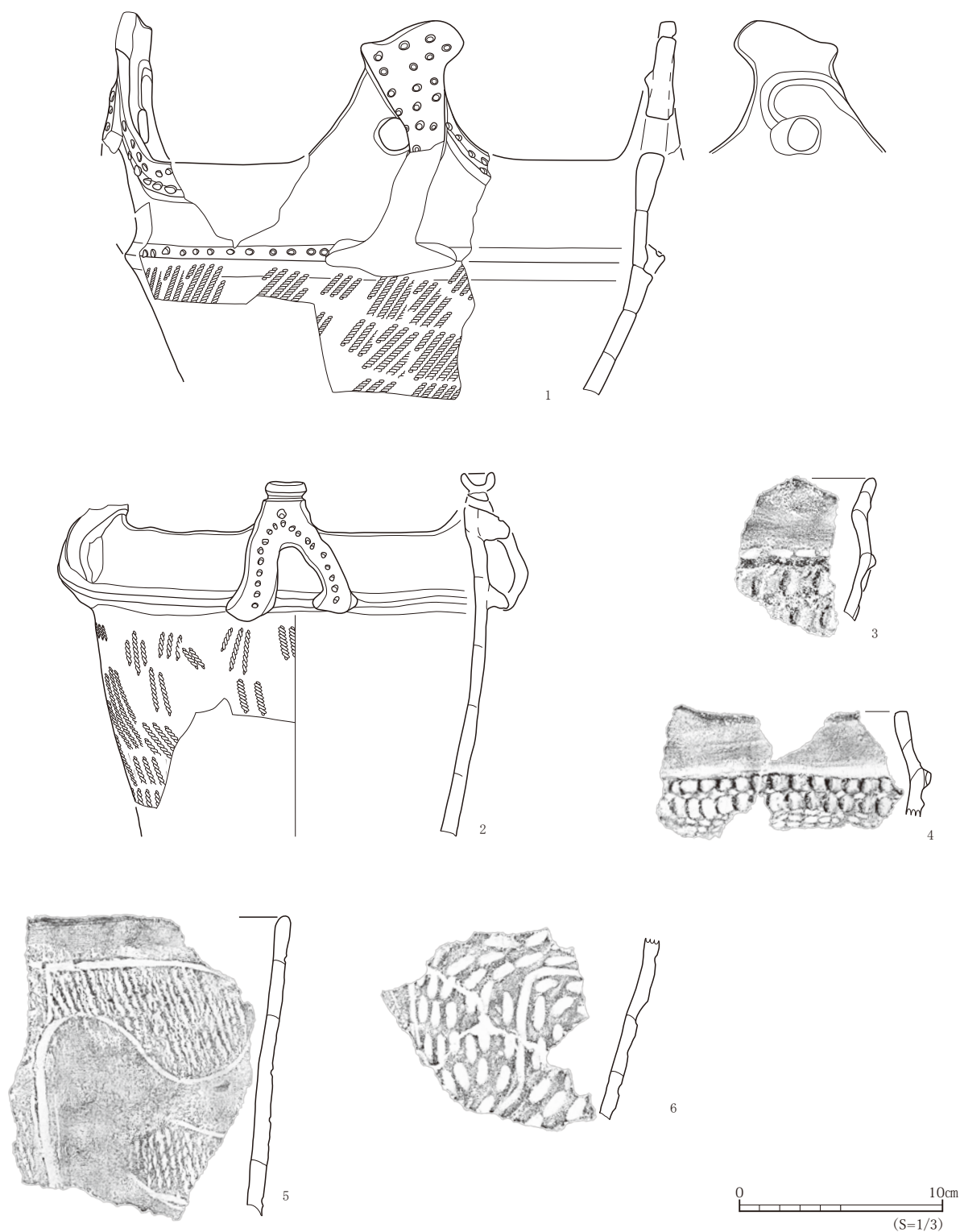
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
40-1	SX120-2c層	8区・S4	深鉢	6群A類	【口】大装飾：環状把手に注口部付（4単位か）、先端部に凹線・貫通孔2、沈線文（渦巻文）、小装飾：橋状把手、凹線+両端部に盲孔、【体】区画隆線文（横S字文・懸垂文）+2～3個1対の刻目文・ボタン状貼付文、縄文（RL）	26-2	RP77
40-2	SX120-2b層	8区・B5	深鉢	6群A類	【口】大装飾：環状把手（4単位）、沈線文（渦巻文）、小装飾：橋状把手（ひねり）、【体】隆線文（横S字文・懸垂文）+2個1対の刻目文・ボタン状貼付文、縄文（L）	26-3	RP78
40-3	SX120-2c層	8区・S4	深鉢	6群A類	【口】S字状突起（凹線・ひねり）、【体】区画隆線・沈線文（横S字文か）、充填縄文（LR）→沈線引き直し、無文部はミガキ	26-4	RP79
40-4	SX120-2c層	8区・S4	深鉢	6群A類か	【体】区画隆線文（懸垂文・横S字文か）+2個1対の刻目文（隆線方向）・ボタン状貼付文、縄文（L）、磨消縄文	26-5	RP80

第 40 図 SX120 遺物包含層出土土器（5）2 層③



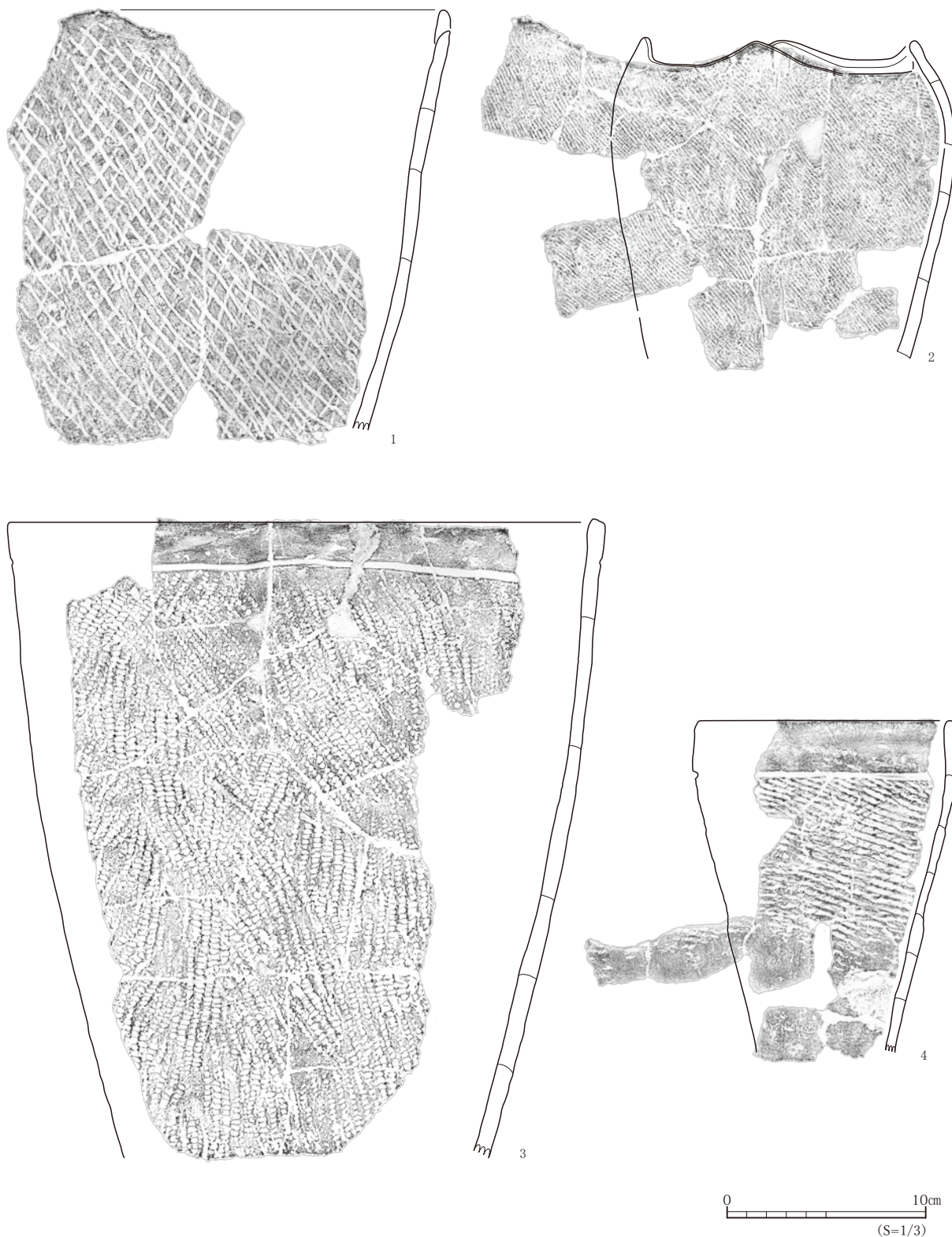
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
41-1	SX120-2a層	8区・S5	深鉢	5群	【口】大装飾：環状把手、沈線文（渦巻文）、ボタン状貼付、小装飾：渦巻状突起（隆線・沈線文）、【体】区画隆線文（横S字文・懸垂文）+2個1対の刻目文・ボタン状貼付文、縄文（LR）	27-1	RP81
41-2	SX120-2c層	8区・N4北壁	深鉢	5群	【体】下端まで区画隆線文（懸垂文・4単位）+2個1対の刻目文（隆線方向・直交）、縄文（LR）	27-2	RP82
41-3	SX120-2層	6区・S1	深鉢	5群	区画隆線文（懸垂文）+2個1対の刻目文か、区画内に沈線文、縄文（RL）、磨消縄文	27-3	RP83
41-4	SX120-2c層	8区・B5	深鉢	5群か	山形突起（4単位）、【口～体】区画沈線文（クランク状文）、突起下にボタン状貼付文、縄文（L）	27-4	RP84
41-5	SX120-2c層	8区・S4	深鉢	5群	環状把手、把手の内外面に凹線文（渦巻文）【体】区画隆線文+2個1対の刻目文（隆線方向）・ボタン状貼付文、縄文（LR）	27-5	RP85
41-6	SX120-2層	6区・Tr2e	深鉢	5群	環状把手、盲孔+凹線（渦巻文・S字状）、【体】区画隆線文+2個1刻目文か（斜位）、縄文（LR）	27-6	RP86
41-7	SX120-2層	6区・S1	深鉢	5群	【口】大装飾：環状把手（内外面に盲孔）小装飾：山形突起（区画隆線・刺突文）【体】区画隆線文・沈線文（横S字状文）+2個1対の刻目文（直交）、縄文（RL）	27-7	RP881

第 41 図 SX120 遺物包含層出土土器 (6) 2 層④



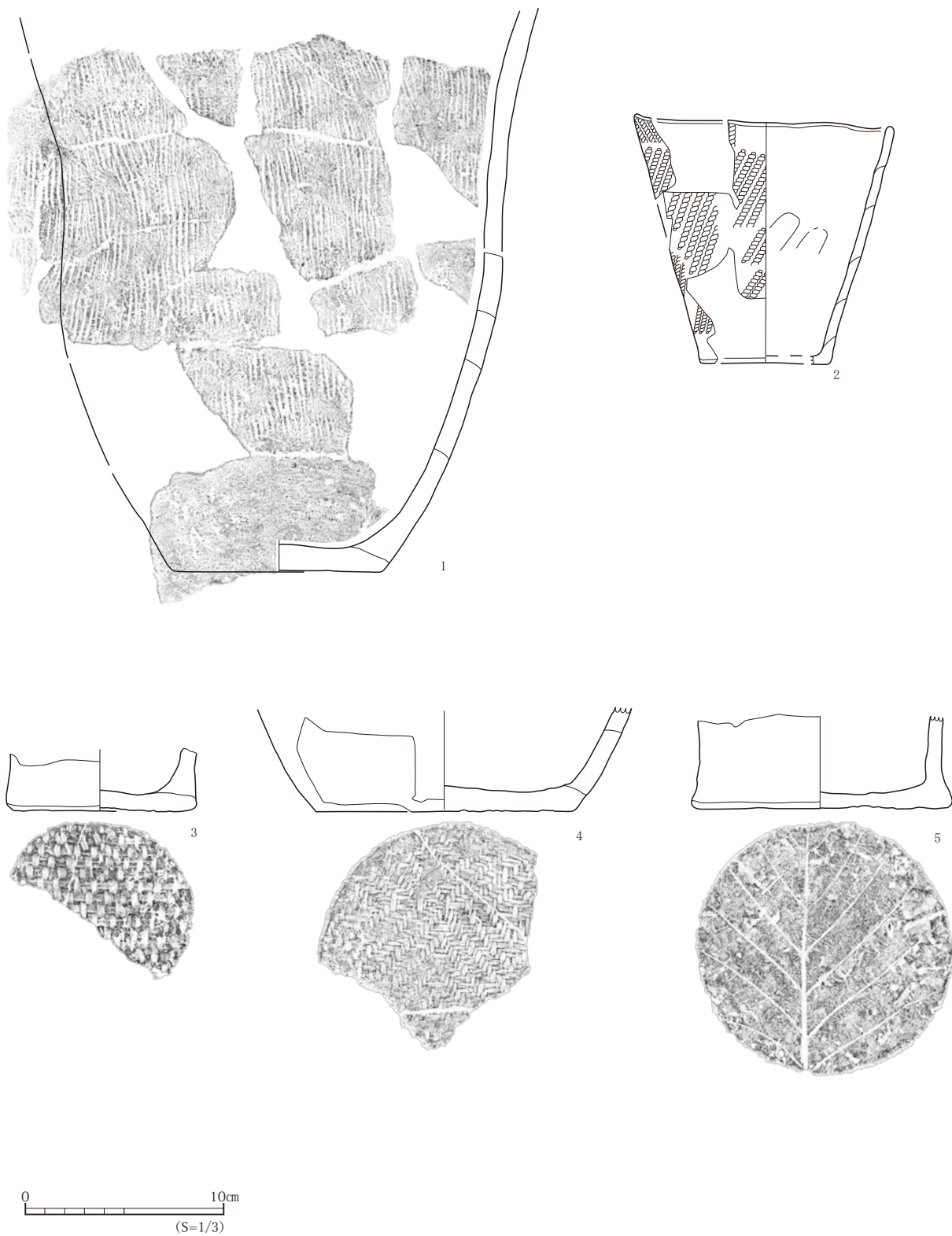
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
42-1	SX120-2層/1層	6区	深鉢	5～6群	口径 (27.1) cm, 【口】環状把手 (4単位・刺突文), 把手内面にヒレ状隆線, 波底部に区画隆線・刺突列, 【頸】区画隆線・刺突列 【体】縄文 (RL)	28-1	RP87
42-2	SX120-2層	6区・B1	深鉢	5～6群	口径 (19.5) cm, 【口】橋状把手 (4単位), 把手に刺突列・貫通孔・ボタン状貼付文 (頂部) 【頸】区画隆線, 【体】縄文 (LR)	28-2	RP88
42-3	SX120-2c層	8区・S4	深鉢	5～6群	山形突起, 【口】無文 (ミガキ), 【頸】刺突列の沿う隆線, 【体】指頭状圧痕文 (2列以上)	28-3	RP89
42-4	SX120-2c層	6区・B1	深鉢	5～6群	波状縁, 【口頸】無文 (ミガキ), 下端に稜, 【体】上端に指頭状圧痕文 (2列), 縄文 (RL)	28-4	RP90
42-5	SX120-2層	6区・N2N3	深鉢	4～5群	平縁, 【口～体】区画沈線文 (逆S字文) → 擦糸文 (L), 磨消縄文	28-5	RP91
42-6	SX120-2層	6区・S1	深鉢	4～5群	区画沈線文 (楕円形区画文か), 区画内に刺突列 (充填)	28-6	RP92

第 42 図 SX120 遺物包含層出土土器 (7) 2 層⑤



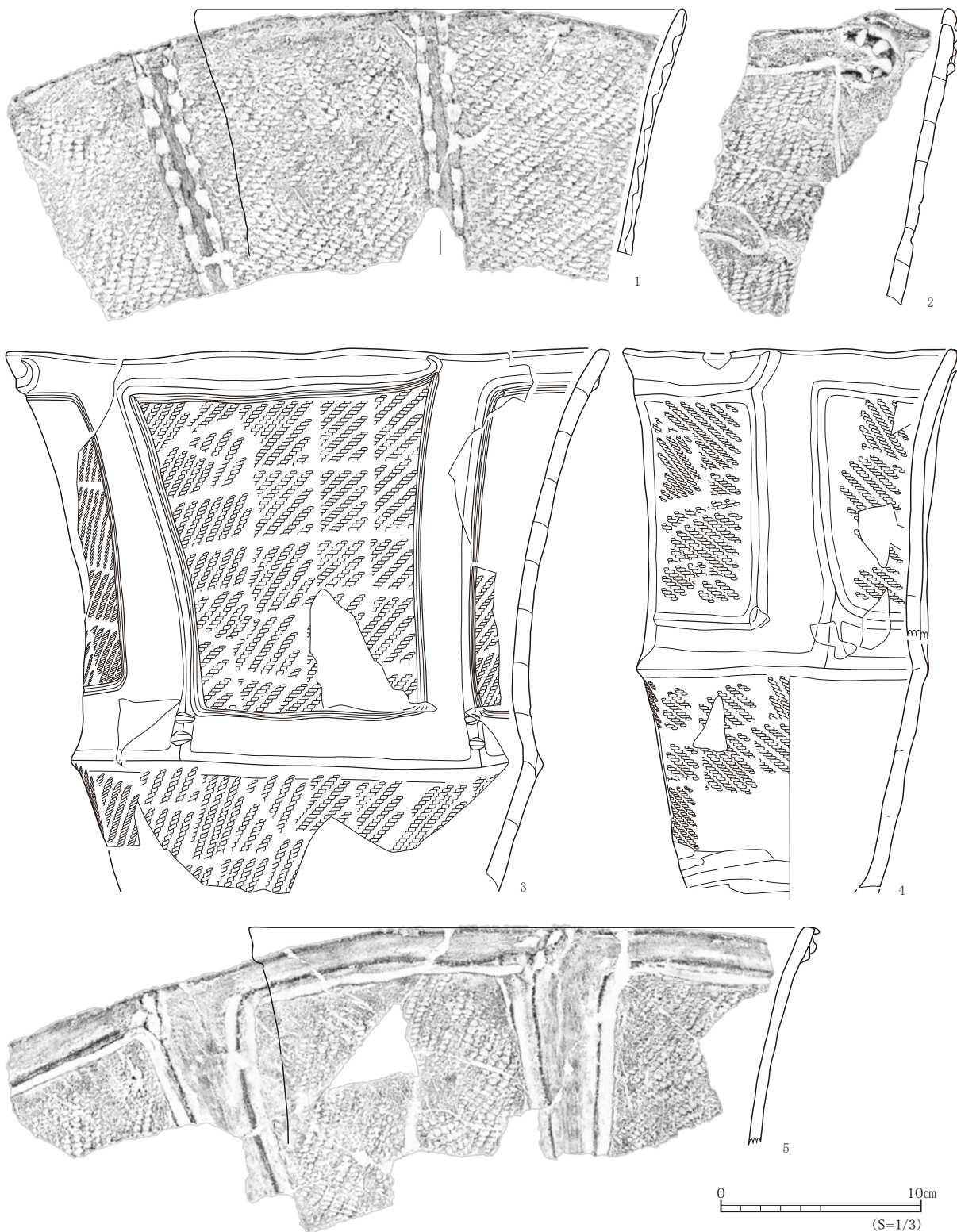
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
43-1	SX120-2層	6区・S1	深鉢		山形突起(4単位か),網目状撚糸文(R)	28-8	RP93
43-2	SX120-2層/1層	6区・Tr2e	深鉢		口径13.6cm,波状縁(4単位),縄文(LR)	28-7	RP94
43-3	SX120-2a層	8区・N4	深鉢		口径(30.0)cm,残存高16.7cm,平縁,【口】無文(ミガキ),【頸】区画沈線,【体】縄文(RL)	29-1	RP95
43-4	SX120-2層	6区・S2	深鉢		口径(13.0)cm,残存高31.9cm,平縁,【口】無文(ミガキ),【頸】区画沈線,【体】縄文(L),下端はミガキ	29-2	RP96

第43図 SX120 遺物包含層出土土器(8)2層⑥



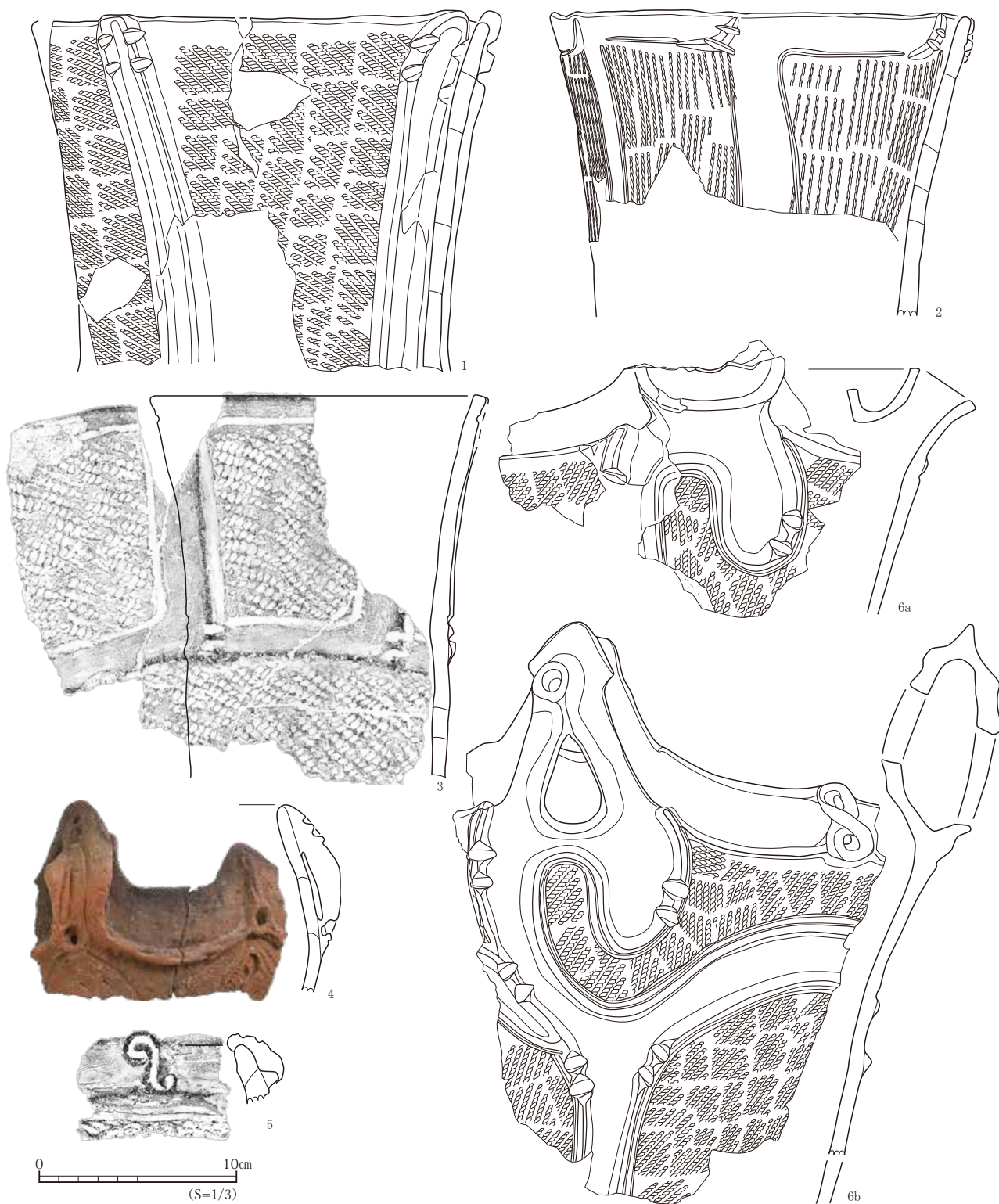
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
44-1	SX120-2c層	6区・B1	深鉢		底径10.3cm, 撚糸文 (R), 底面はナデ	29-3	RP97
44-2	SX120-2層	6区・B1	深鉢		口径12.9cm, 器高12.6cm, 底径 (6.4) cm, 平縁, 縄文 (RL), 底面に木葉痕か	29-4	RP98
44-3	SX120-2a層	8区・B5	深鉢か		底径9.2cm, 【体】 下端はミガキ, 【底】 網代痕 (1本越1本潜1本送)	29-5	RP99
44-4	SX120-2層	6区・S2	深鉢か		底径 (13.0) cm, 【体】 下端はナデ, 【底】 網代痕 (3本越3本潜1本送)	29-6	RP100
44-5	SX120-2層	6区・S1	深鉢		底径12.8cm, 【体】 下端はミガキ, 【底】 木葉痕 (網状葉脈)	29-7	RP101

第44図 SX120 遺物包含層出土土器 (9) 2層⑦



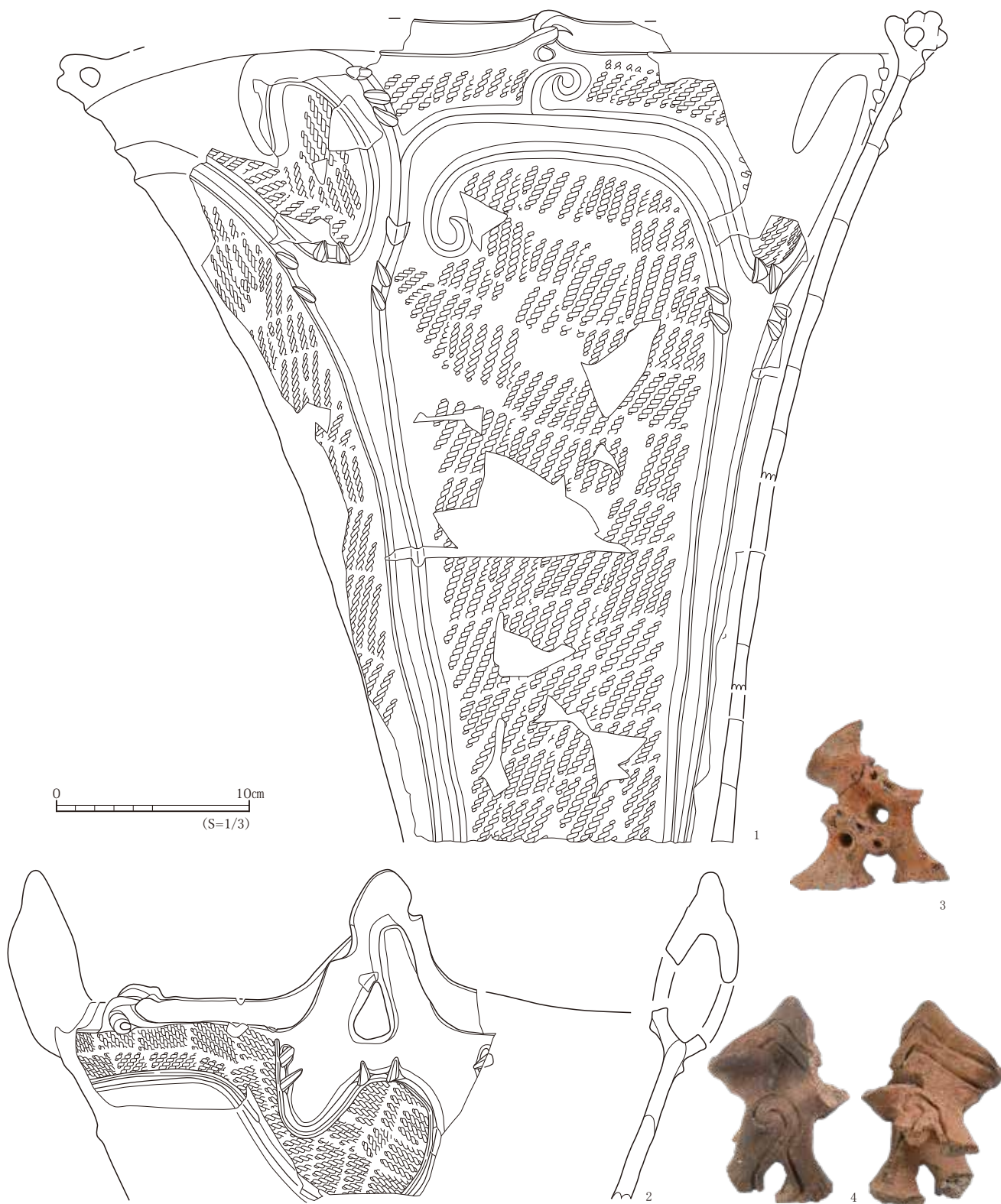
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
45-1	SX120-3層	8区・S6	深鉢	6群A類	口径(24.3)cm,平縁,【口〜体】鎖状刺突文(方形区画文・4単位か),縄文(RL)	30-1	RP102
45-2	SX120-3層	8区・B5	深鉢	6群A類	山形突起,【口】突起下に逆C字状の鎖状隆線(刻みは直交),【体】区画沈線文(方形区画文),縄文(RL),磨消縄文	30-6	RP103
45-3	SX120-3h層	8区・B6	深鉢	5群	口径(30.2)cm,平縁,【口〜体】区画隆線文(クランク状文・4単位)+2個1対の刻目文(直交),区画沈線文(方形文),縄文(RL),隆線→縄文→沈線→刻目文	30-3	RP104
45-4	SX120-3層	6区・N2N3	深鉢	5群か	口径16.8cm,残存高13.7cm,平縁,【口〜体】区画隆線文(クランク状文・方形文),縄文(LR),体部下端はミガキ	30-2	RP105
45-5	SX120-3層	6区・Tr2e	深鉢	5群	口径(28.2)cm,平縁,【口〜体】区画隆線文(クランク状文か・4単位)+短い鎖状隆線,区画沈線文(方形文か),縄文(LR),磨消縄文	30-5	RP106

第 45 図 SX120 遺物包含層出土土器 (10) 3 層①



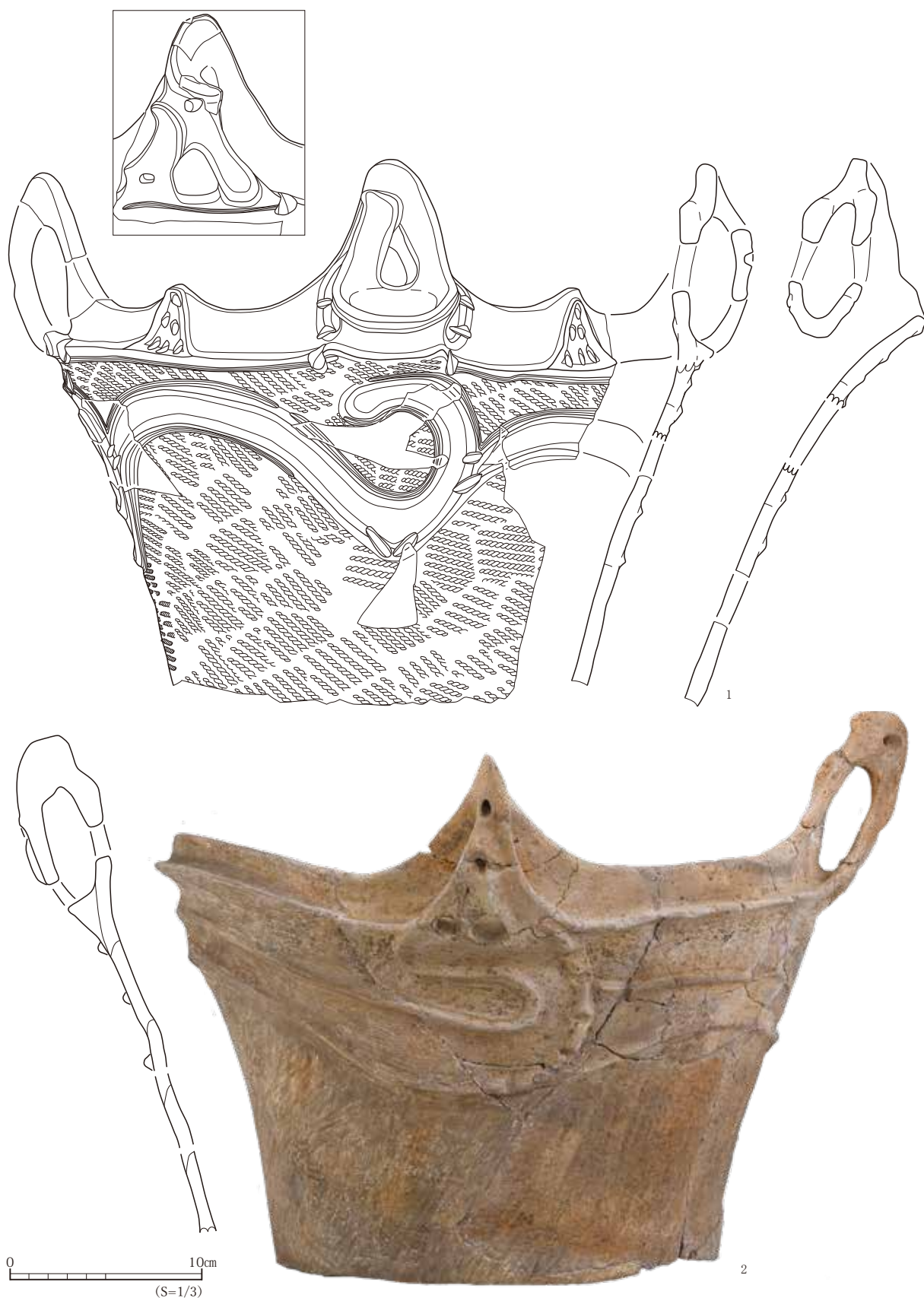
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
46-1	SX120-3層	6区・N2N3	深鉢	5群	口径 (22.6) cm, 平縁, 【口～体】区画隆線文 (方形区画文) + 2個1対の刻目文 (直交), 縄文 (LR), 充填縄文	31-1	RP107
46-2	SX120-3f層	8区・B4w	深鉢	5群	口径21.5cm, 平縁, 【口～体】区画沈線文 (クランク状文か, 8単位か) + ヒレ状隆線に2個1対の刻目文 (直交), 燃糸文 (R)	31-2	RP108
46-3	SX120-3層	8区・S6	深鉢	5群	口径 (17.0) cm, 平縁, 【口～体】区画隆線文 (クランク状文か・4単位) + 2個1対の刻目文 (直交), 区画沈線文 (方形文), 縄文 (LR)	30-4	RP109
46-4	SX120-3層	6区・S1	深鉢	5群	【口】大装飾: 橋状把手 (沈線文・盲孔), 小装飾: 山形突起 (鎖状隆線 + ボタン状貼付), 【体】区画沈線文, 区画内に刺突充填, 縄文 (RL), 充填縄文	31-4	RP110
46-5	SX120-3層	8区・B4w	深鉢	5群	【口】小装飾: 渦巻状突起に凹線文	31-5	RP111
46-6	SX120-3層	6区・北壁	深鉢	5群	口径 (39.6) cm, 【口】大装飾: 環状把手 (2単位), 環状把手に注口部付 (2単位), 小装飾: 8字状の橋状把手 (4単位), 【体】区画隆線文・沈線文 (横S字状文・懸垂文, 4単位) + 2個1対の刻目文 (直交), 縄文 (RL), 充填縄文	31-3	RP112

第 46 図 SX120 遺物包含層出土土器 (11) 3 層②



図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
47-1	SX120-3層	6区・N2N3	深鉢	5群	残存高42.7cm,【口】小装飾:橋状把手(ひねり・4単位か),突起下内面に盲孔【体】区画隆線文(横S字状文・懸垂文,4単位)+2個1対の刻目文(直交・斜交),縄文(RL),充填縄文口径(35.0)cm,【口】大装飾:環状把手(メビウスの帯状),小装飾:橋状把手(ひねり),【体】区画隆線文・沈線文(横6字状)+2個1対の刻目文,縄文(RL),充填縄文,沈線引き直し	32-1	RP113
47-2	SX120-3層	6区・S1	深鉢	5群	環状把手(先端がラッパ状に開く),短い鎖状隆線,ボタン状貼付,盲孔,貫通孔,把手の内側はほぼ欠落	32-2	RP114
47-3	SX120-3層	6区・Tr2	深鉢	5群	環状把手(先端部にひねりが入る8字状),外面と端部に沈線文(渦巻文)	31-6	RP115
47-4	SX120-3層	8区・S7	深鉢	5群		31-7	RP116

第 47 図 SX120 遺物包含層出土土器 (12) 3 層③



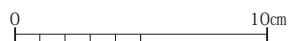
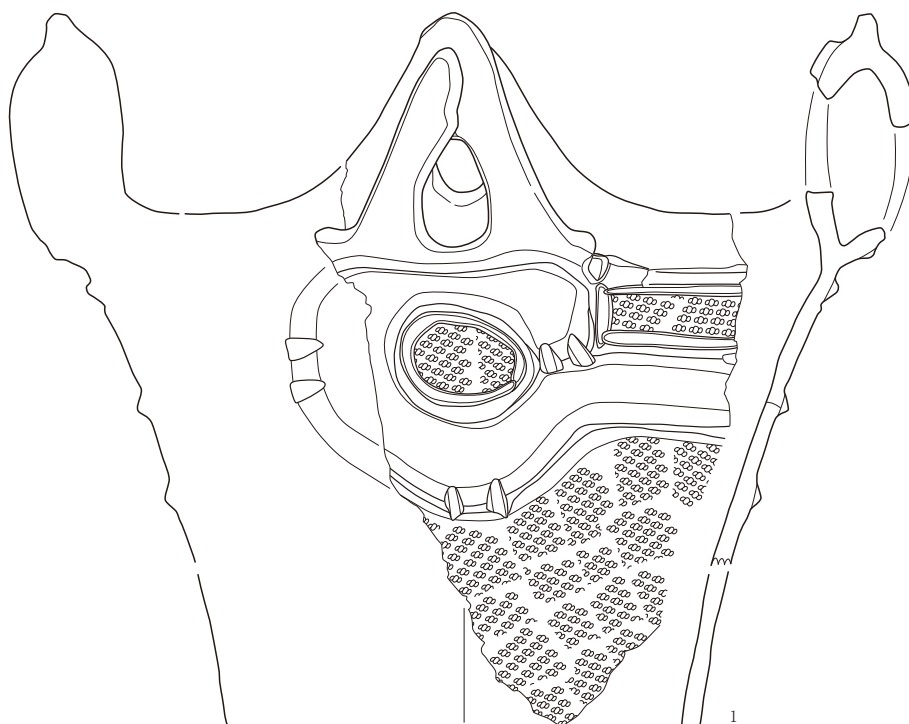
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
48-1	SX120-3層	6区・N2N3	深鉢	5群	口径34.9cm,【口】環状把手(注口部付1単位,メビウスの帯状のひねり3単位),山形突起(4単位,刺突文)【体】区画隆線文・沈線文(横S字状文・4単位)+2個1対の刻目文(直交・斜交),縄文(LR),磨消縄文	33-1	RP117
48-2	SX120-3層	6区・Tr2e	深鉢	5群	口径(33.2)cm,【口】環状把手(貫通孔・盲孔,4単位),【体】区画隆線文・沈線文(横6字状文・4単位)+刻目文(直交),縄文(RLR)	34-1	RP118

第 48 図 SX120 遺物包含層出土土器 (13) 3 層④



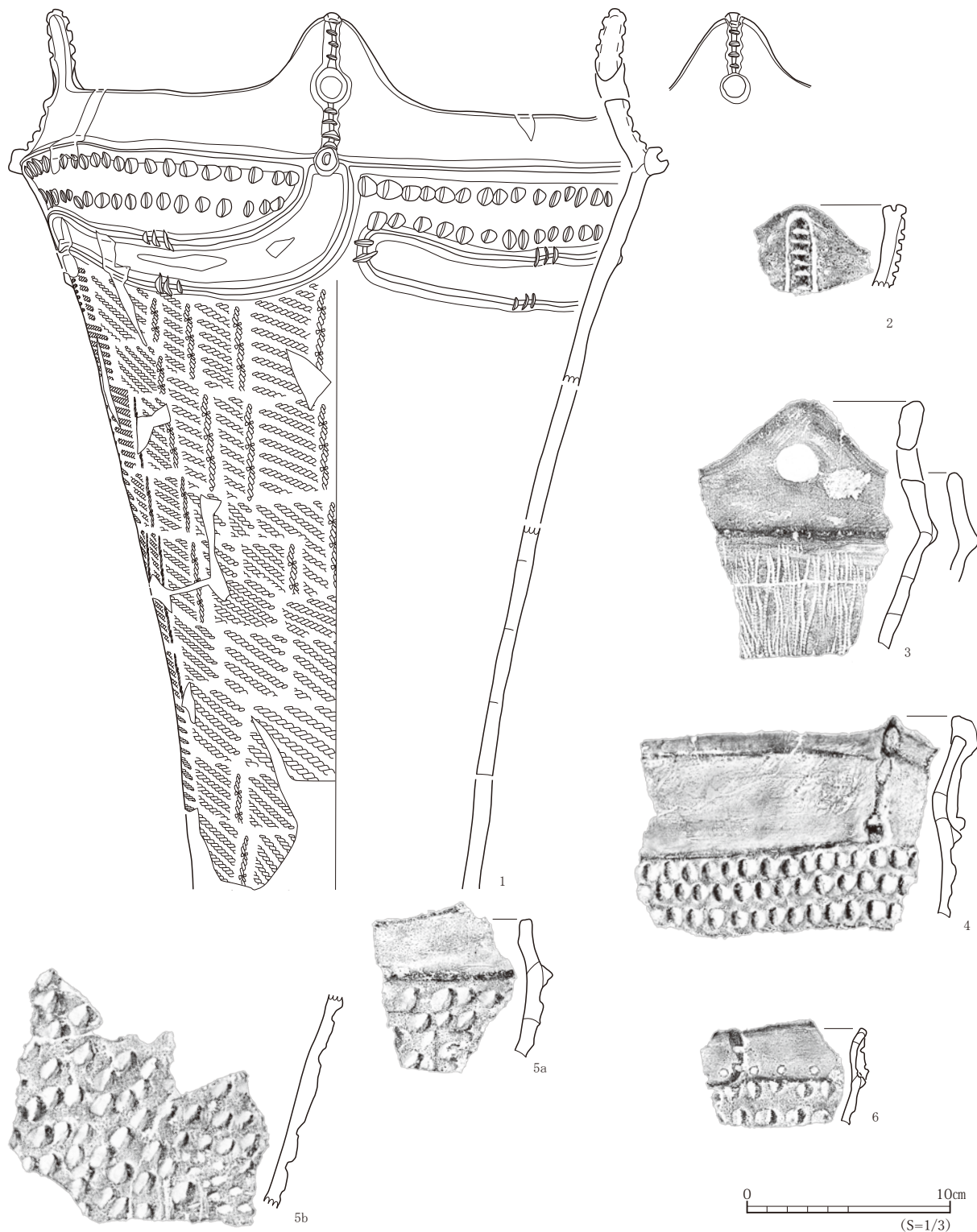
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
49-1	SX120-3de層	6区・S3東壁	深鉢	5群	口径34.1cm,【口】大装飾:環状把手(4単位),把手の内外面に区画隆線,ヒレ状隆線,小装飾:山形突起(4単位)ボタン状貼付【体】区画隆線文・沈線文(横S字状文・4単位)+2個1対の刻目文(直交),縄文(LR),充填縄文	34-2	RP119
49-2	SX120-3層	8区・B5	深鉢	5群	【口】環状把手,内外面に隆線文・ボタン状貼付,【体】区画隆線文・沈線文+ボタン状貼付・2個1対の刻目文か	36-2	RP120
49-3	SX120-3層	6区・S1	深鉢	5群か	口径(23.0)cm,残存高27.3cm,【口】環状把手の上端に突起付(4単位),【体】区画隆線文(横6字状文・1単位),ノ字状文・3単位,縄文(LR),充填縄文	35-1	RP121
49-4	SX120-3層	8区・S7	深鉢	5群	山形突起(小装飾か),【体】区画隆線文・沈線文(ノ字状文か)+2個1対の刻目文(隆線方向)+短い鎖状隆線(J字状),縄文(LR)	36-4	RP122

第 49 図 SX120 遺物包含層出土土器 (14) 3 層⑤



図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
50-1	SX120-3層	8区・N4	深鉢	5群	口径32.5cm, 【口】環状把手(メビウスの帯状), 【体】区画隆線文・沈線文(横d字状文)+2個1対の刻目文(直交), 縄文(RLR), 磨消縄文	36-1	RP123
50-2	SX120-3層/4層	8区・S7	深鉢	5群か	口径25.8cm, 【口】環状把手(4単位), 把手下に隆線文・ボタン状貼付文, 【体】指頭状圧痕文(6列以上)	35-2	RP124

第 50 図 SX120 遺物包含層出土土器 (15) 3 層⑥



図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
51-1	SX120-3層	8区・N4	深鉢	5群	口径27.8cm,残存高43.4cm,【口】環状把手(4単位),把手の内外面に縦位の鎖状隆線【体】区画隆線文(ノ字状文,4単位)+2・3個1対の刻目文(直交)・ボタン状貼付,区画内に指頭状圧痕文(2列),縄文(LR)	37-1	RP126
51-2	SX120-3層	6区・S1	深鉢	5群か	山形突起,【口唇】沈線,【口】突起下に刻みのある隆線(直交)+周囲に沈線	37-2	RP127
51-3	SX120-3層	8区・S6	深鉢	5群か	【口】環状把手(単純),【頸】隆線区画,【体】燃糸文(R)	37-3	RP128
51-4	SX120-3層	8区・S6	深鉢	5群か	山形突起か(欠落),【口頸】突起下に隆線(押圧),区画隆線,【体】指頭状圧痕文(3列以上)	37-4	RP129
51-5	SX120-3層/4層	8区・S7	深鉢	5群か	波状縁,【口頸】区画隆線,【体】指頭状圧痕文(8列以上)	38-1	RP130
51-6	SX120-3層	8区・南壁	深鉢	5群	【口】把手付きか,【口頸】隆線文(ノ字状)+2個1対の刻目文(直交),刺突列(円孔)が沿う区画隆線,【体】指頭状圧痕文(2列以上)	38-2	RP131

第 51 図 SX120 遺物包含層出土土器 (16) 3 層⑦



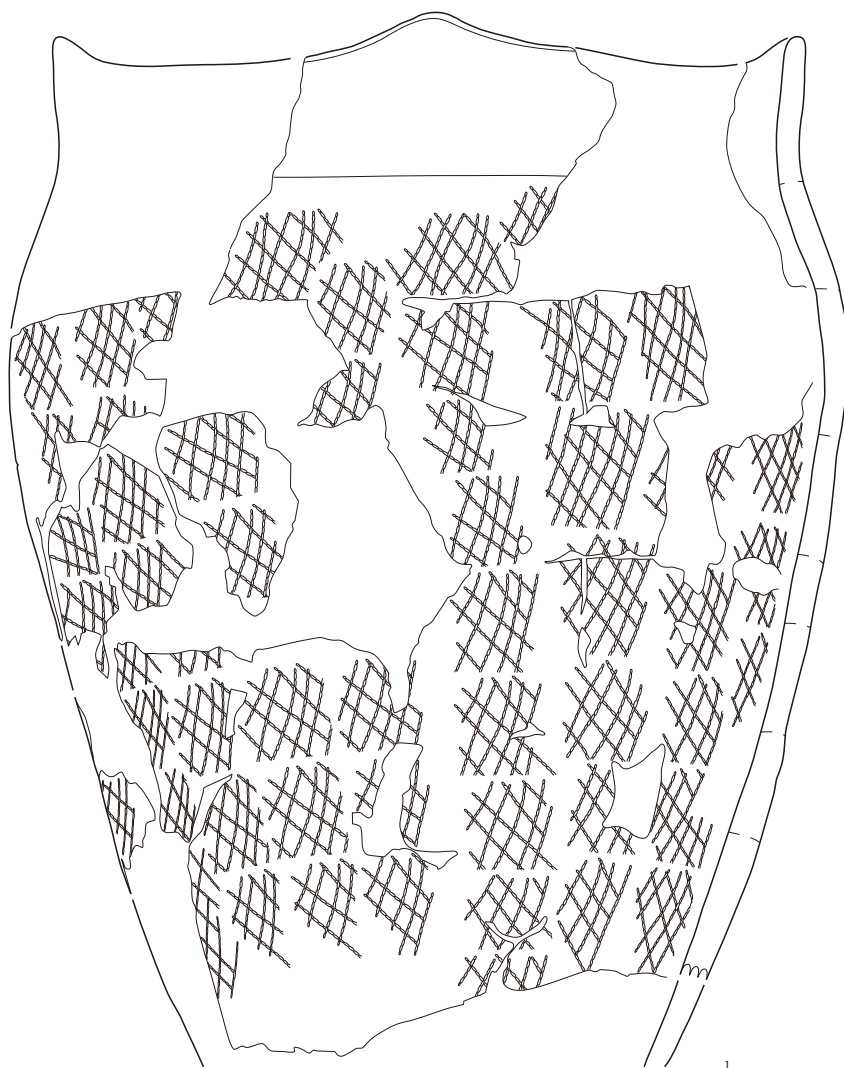
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
52-1	SX120-3層	6区・S1	深鉢	5群か	口径 (20.2) cm, 山形突起 (4単位, 頂部に刺突), 【口頸】鎖状隆線文 (逆ノ字状, 区画), 【体】縄文 (L)	38-3	RP132
52-2	SX120-3層	8区・S6	深鉢	5群か	山形突起, 【口頸】鎖状隆線文 (C字状, 区画) + ボタン状貼付, 【体】縄文 (RL)	38-4	RP133
52-3	SX120-3層	6区・S3東壁	深鉢	5群か	口径 (14.6) cm, 【口】4単位の環状把手 (欠落) 【頸】刺突列に沿う隆線, 【体】縄文 (RL)	38-5	RP134
52-4	SX120-3層	6区・S1	深鉢	5群か	口径 (26.0) cm, 低い山形突起, 【口頸】突起下に刻みのある隆線 (逆ノ字状, 刻みは直交), 平行沈線 (区画), 【体】縄文 (RL) 磨消縄文	38-6	RP135
52-5	SX120-3層	6区・N2N3	壺形	5群	底径5.7cm, 【体】区画隆線文+2個1対の刻目文 (直交), 区画沈線文 (方形文か), 縄文 (LR), 下端～底面はミガキ	38-8	RP136
52-6	SX120-3層	8区・S6	壺形	5群か	【口頸】無文 (ナデ), 【体】区画隆線文, 区画内に刺突文 (8列以上, 多截竹管)	39-5	RP137
52-7	SX120-3層	6区・Tt2	壺形把手付	5群か	【頸】橋状把手+隆線文	39-6	RP138
52-8	SX120-3層	6区・S1	壺形把手付	5群か	【頸】橋状把手+隆線文	39-7	RP139

第 52 図 SX120 遺物包含層出土土器 (17) 3 層⑧

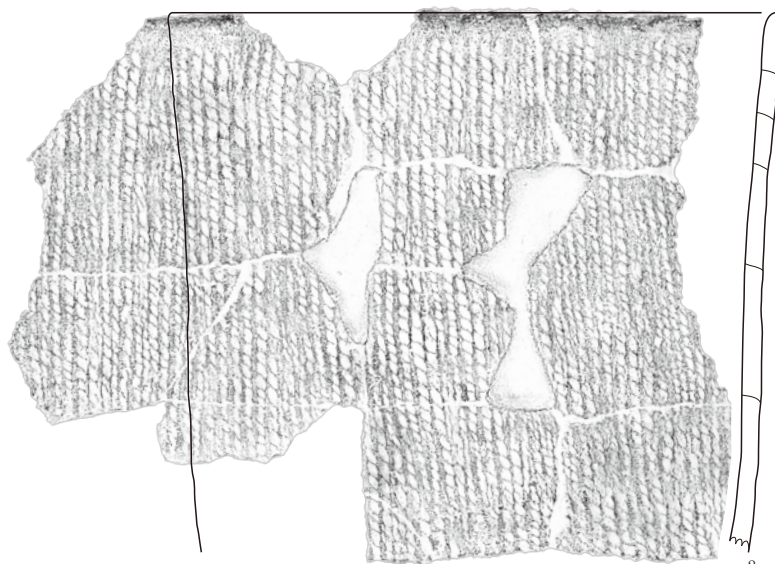


図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
53-1	SX120-3層/5層	6区・N2N3	深鉢	4群	口径(35.0)cm,【口】大装飾:環状把手(メビウスの帯状・2単位),環状把手に注口部付(2単位),小装飾:山形突起,【体】刺突列が沿う区画隆線文・沈線文(横d字状文),縄文(LR)	39-1	RP140
53-2	SX120-3層	6区・S1	深鉢	4群	環状把手に注口部付,刺突列が沿う隆線文	39-2	RP141
53-3	SX120-3層	6区・S1	浅鉢	4群	注口部付き,【口頸】隆線文(凸文),縄文(LR)	39-3	RP142
53-4	SX120-3層	8区・S6	深鉢	4群か	山形突起か(欠落)【口〜体】円孔刺突列が沿う区画隆線文(方形区画文か),縄文(L)→沈線	38-10	RP143
53-5	SX120-3層	6区・S1	深鉢	4群	口径25.2cm,平縁,【口〜体】区画沈線文(巻き込む波濤文・6単位)+ヒレ状隆線(刻目文あり・なし),縄文(RL),充填縄文	38-7	RP144
53-6	SX120-3層	6区・S1	深鉢	4群	環状把手(メビウスの帯状のひねり)【口頸】刺突列が沿う区画隆線(把手に接続)	39-4	RP145
53-7	SX120-3層	6区・S1	深鉢	4群か	【口】環状把手付きか(欠落),【体】区画隆線文,区画内に連続刺突文(4列以上)	38-9	RP146
53-8	SX120-3層/2c層	8区・S4	壺形	4群	【体】区画沈線文(L字状文・3単位か)+ヒレ状隆線,縄文(LR),内外面に赤彩あり	39-8	RP147

第 53 図 SX120 遺物包含層出土土器 (18) 3 層⑨



1



2



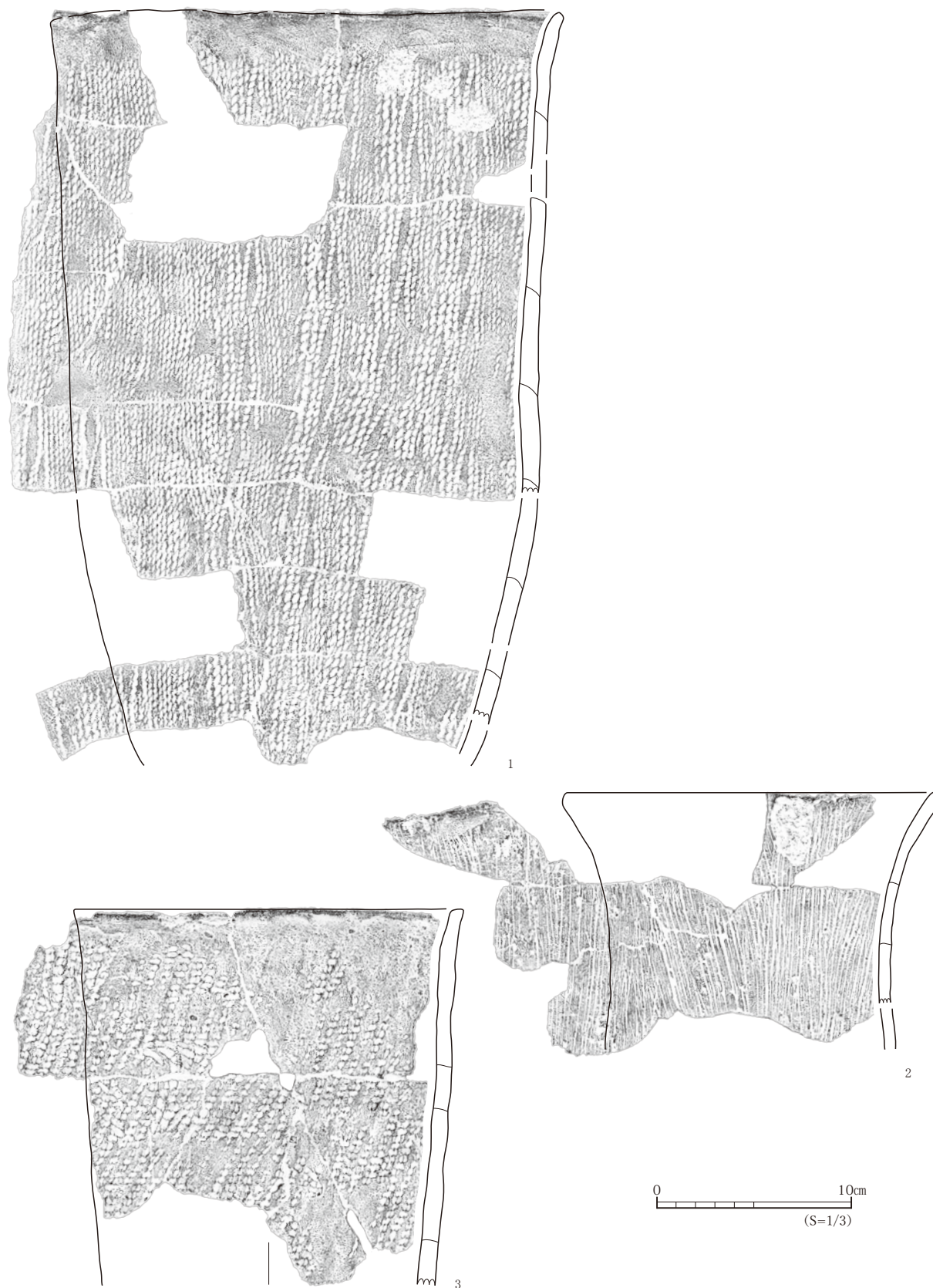
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
54-1	SX120-3 層底面	6区	深鉢		口径29.4cm,残存高41.8cm,波状縁(5単位),【口頸】無文(ナデ),【体】網目状燃糸文(R・ 単軸絡条体第5類)	40-1	RP148
54-2	SX120-3層	6区・N2N3	深鉢		口径(24.1)cm,平縁,燃糸文(R)	41-4	RP149

第 54 図 SX120 遺物包含層出土土器 (19) 3 層⑩



図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
55-1	SX120-3層	6区・Tr2e	深鉢		口径 (21.0) cm, 残存高32.9cm, 平縁, 燃糸文 (L) , 体部下端はミガキ	42-2	RP150
55-2	SX120-3層	6区・S1	深鉢		口径 (24.1) cm, 残存高34.2cm, 平縁, 燃糸文 (L)	42-1	RP151
55-3	SX120-3層	8区・S6	深鉢		口径 (24.2) cm, 平縁, 燃糸文 (R)	40-2	RP152

第 55 図 SX120 遺物包含層出土土器 (20) 3 層⑪



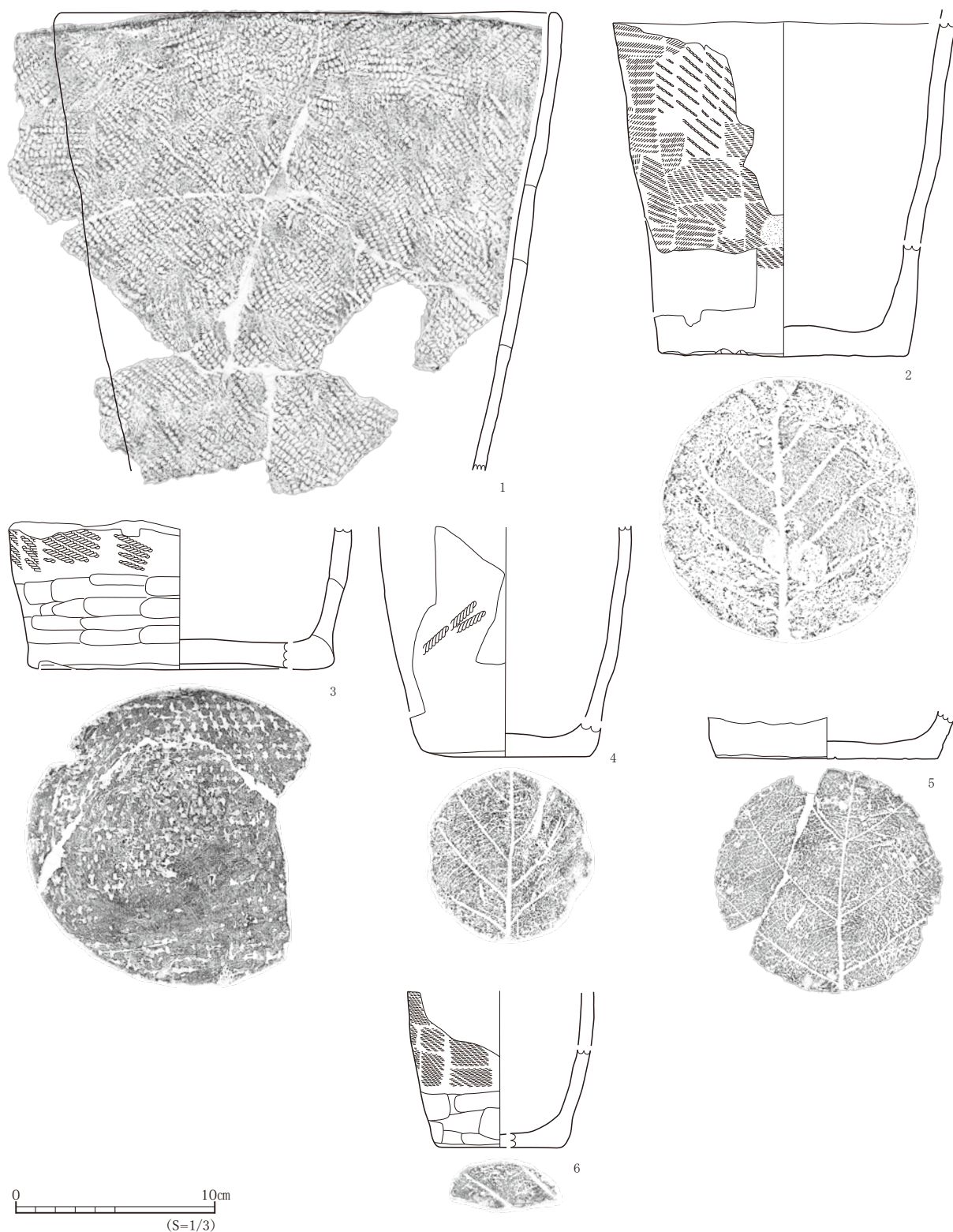
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
56-1	SX120-3層/6層	6区・B1s	深鉢		口径 (26.8) cm, 残存高38.9cm, 平縁, 【口頸】無文 (ナデ), 【体】撚糸文 (L)	41-1	RP153
56-2	SX120-3層	6区・S1	深鉢		口径 (18.9) cm, 平縁, 条線文 (櫛歯状工具・6条程度)	40-3	RP154
56-3	SX120-3d層	6区・S3東壁	深鉢		口径 (20.0) cm, 平縁, 縄文 (RLR)	41-5	RP155

第 56 図 SX120 遺物包含層出土土器 (21) 3 層^⑫



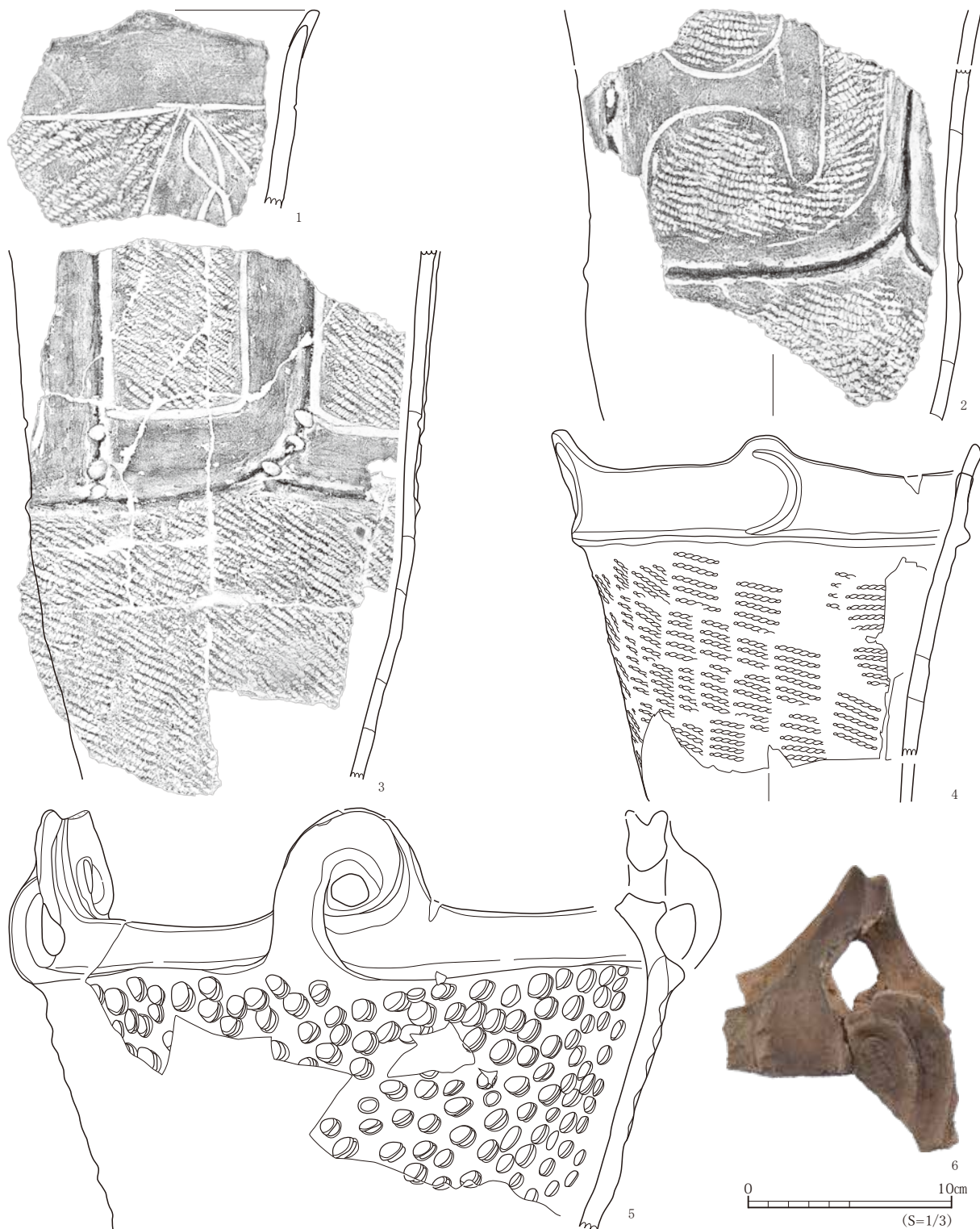
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
57-1	SX120-3層	6区・S1	深鉢		口径 (22.3) cm, 残存高26.1cm, 平縁, 縄文 (LR)	42-3	RP156
57-2	SX120-3層	6区・N2N3	深鉢		口径 (27.2) cm, 残存高33.6cm, 平縁, 縄文 (LR)	43-1	RP157

第 57 図 SX120 遺物包含層出土土器 (22) 3 層^⑬



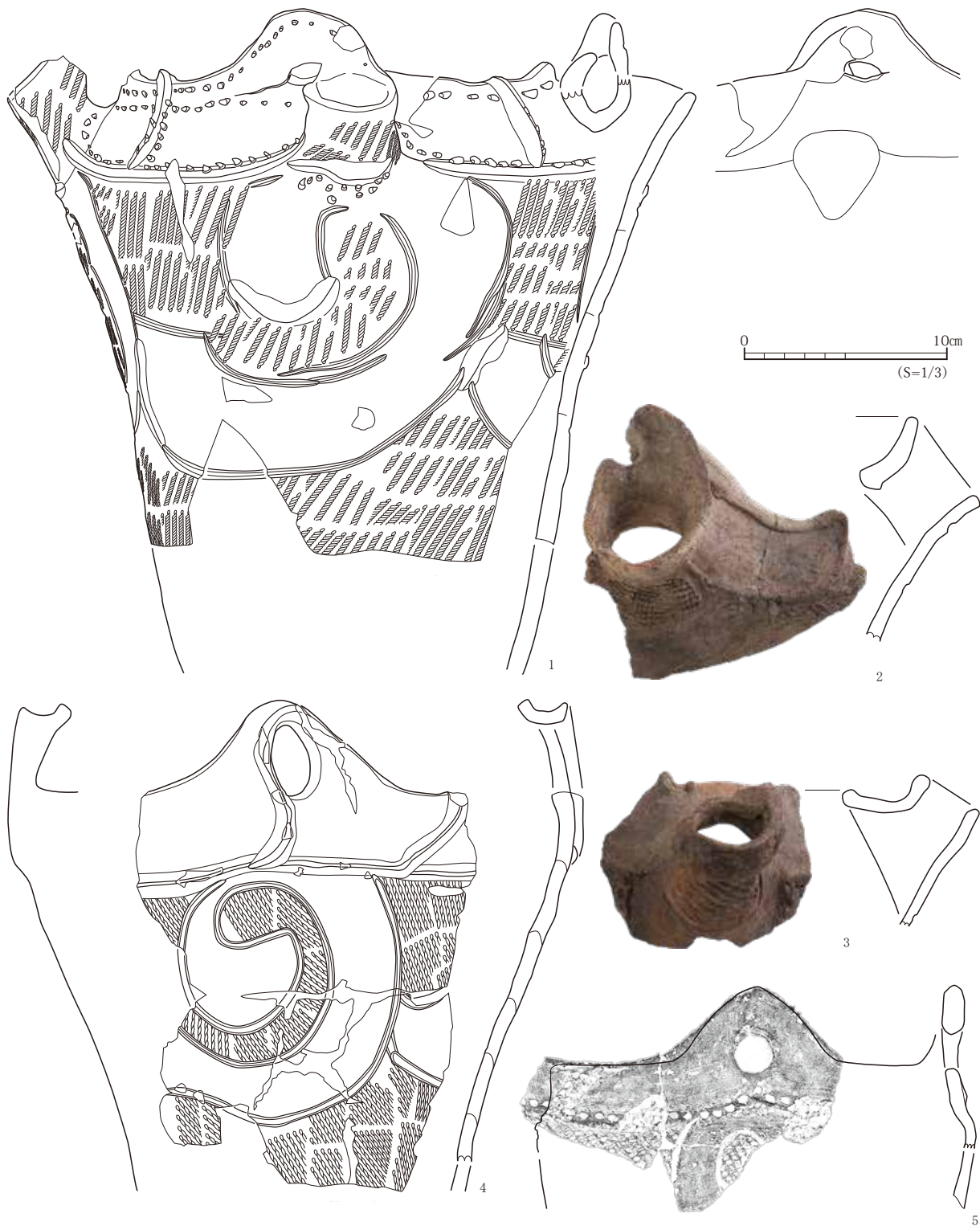
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
58-1	SX120-3層	6区・S1	深鉢		口径(25.0)cm,平縁,縄文(LR)	43-3	RP158
58-2	SX120-3層	6区・S1	深鉢		底径12.4cm,【体】縄文(L),下端はミガキ,【底】木葉痕	43-4	RP159
58-3	SX120-3e層	6区・S3東壁	深鉢		底径15.2cm,【体】縄文(LR),下端はミガキ,【底】網代痕(2本越1本潜1本送)	42-4	RP160
58-4	SX120-3層	6区・N1	深鉢		底径7.7cm,【体】縄文(LR),【底】木葉痕	43-2	RP161
58-5	SX120-3層	8区・S6	深鉢?		底径11.1cm,底面に木葉痕(網状葉脈)	41-3	RP162
58-6	SX120-3層	6区・S1	深鉢		底径6.1cm,【体】縄文(LR),下端はミガキ,【底】木葉痕	41-2	RP163

第 58 図 SX120 遺物包含層出土土器 (23) 3 層^⑭



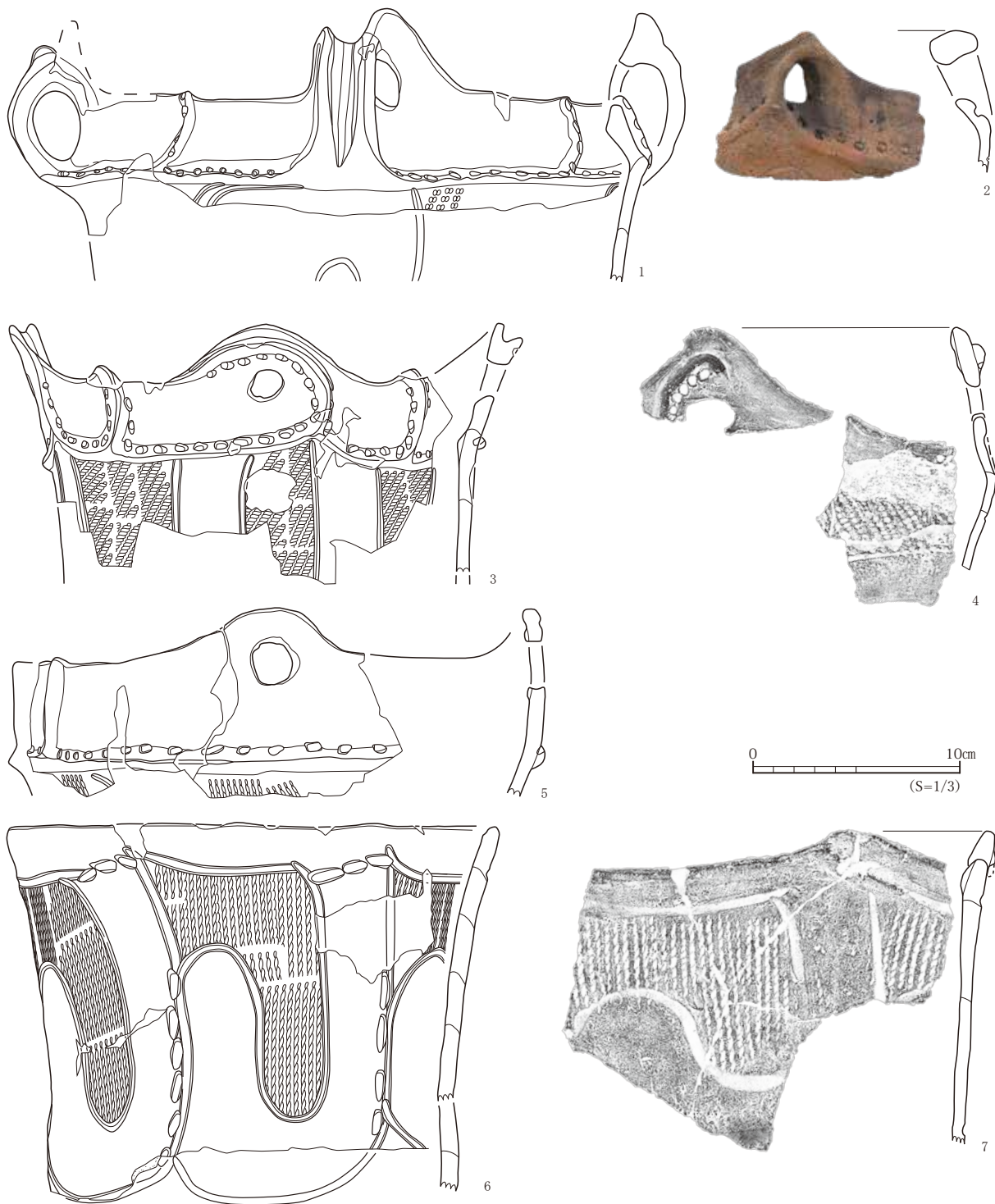
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
59-1	SX120-4層	8区・N5	深鉢	6群B類	山形突起,【口頸】無文(ミガキ),【体】区画沈線文(懸垂文・鎖状文),縄文(RL前々段多条)	44-1	RP164
59-2	SX120-4層	8区・B4w	深鉢	6群A類	【体】区画隆線・鎖状隆線文(方形区画文),区画沈線文(逆C字状文),縄文(LR),充填縄文,無文部はミガキ	44-2	RP165
59-3	SX120-4層	8区・B4w	深鉢	5群	【体】区画隆線文(方形区画)+3個1対の刻目文(直交),区画沈線文(方形文か),縄文(LR),磨消縄文,無文部はミガキ	44-3	RP166
59-4	SX120-4層/3層	6区・S1	深鉢	5群か	口径21.1cm,山形突起(4単位),【口頸】突起下に逆C字状の隆線文,区画隆線,【体】縄文(LR)	44-4	RP167
59-5	SX120-4層	8区・S7	深鉢	5群か	環状把手(橋状部付・4単位),【頸】隆線状の稜,【体】指頭状圧痕文(10段以上)	44-5	RP168
59-6	SX120-4層	6区・北東部東	深鉢	5群	環状把手,隆線文+2個1対の刻目文(直交),隆線・沈線(横6字状か),縄文(LR)	44-6	RP882

第 59 図 SX120 遺物包含層出土土器 (24) 4 層①



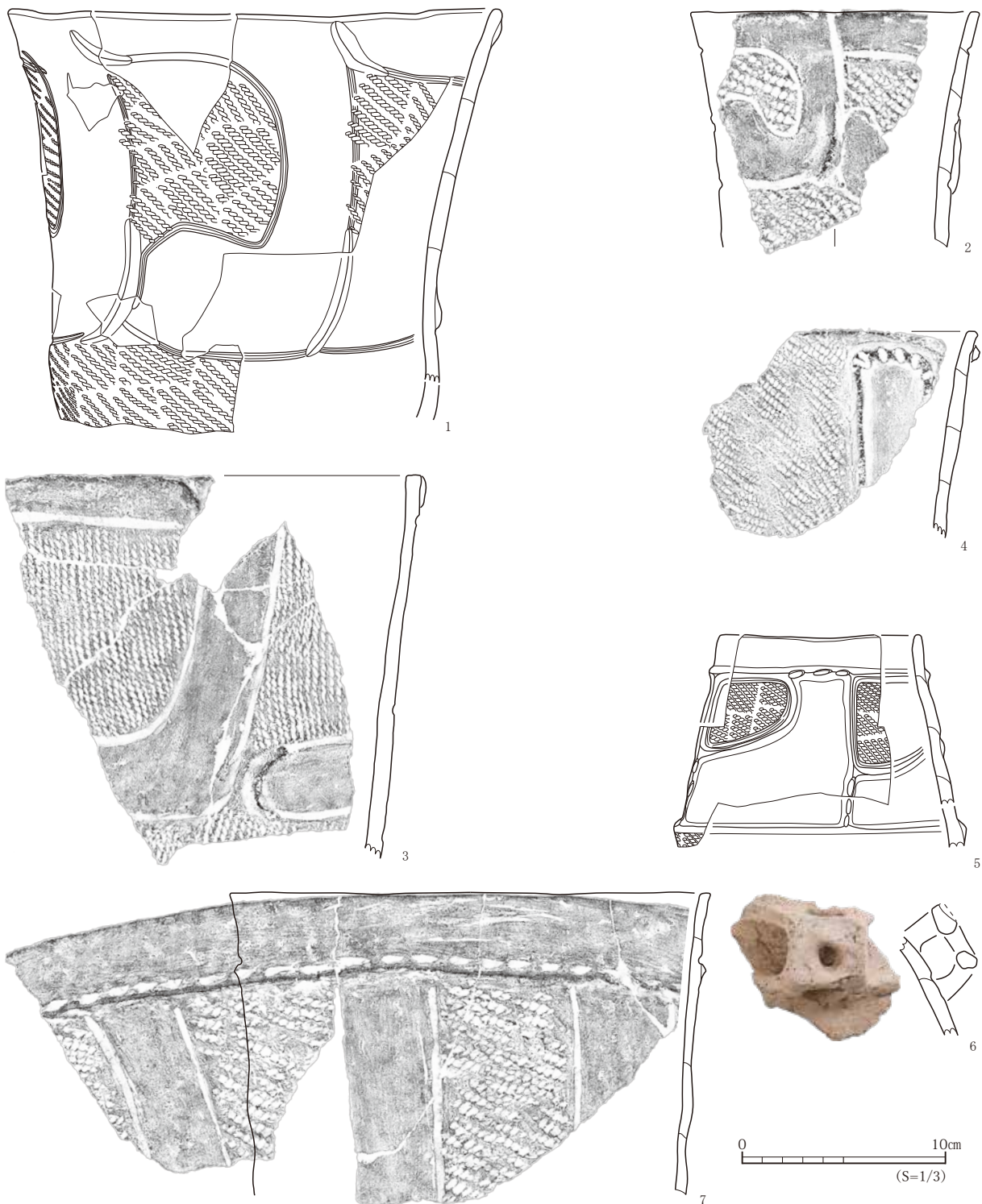
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
60-1	SX120-4b層底面	6区・S3	深鉢	4群	【口】大装飾：環状把手に注口部付(4単位),小装飾：山形突起(4単位),【口頸】刺突列の沿う隆線(区画),【体】区画沈線文(横6字状文・4単位)+刺突列,縄文(RL),充填縄文(一部)	45-1	RP169
60-2	SX120-4層底面	6区・北壁	深鉢	4群	注口部+環状把手,小装飾：突起か(欠),口縁部は無文,刺突列が沿う隆線,体部は沈線文,縄文(LR),充填縄文	44-7	RP170
60-3	SX120-4層	6区・S3	深鉢	4群	環状把手に注口部付,【口頸】区画隆線文,【体】区画隆線文(鎖状隆線か)・沈線文(楕円形区画文),縄文(LR)	44-8	RP171
60-4	SX120-4層	6区・S3東壁	深鉢	4群	口径(27.0)cm,【口】大装飾：環状把手(メビウスの帯状のひねり・4単位),小装飾：山形突起か(欠落),【口頸】区画隆線【体部】区画沈線文(横6字状文),燃糸文(L),充填縄文	45-2	RP172
60-5	SX120-4b層	8区・N5	深鉢	4群	口径(17.6)cm,環状把手(単純),【口頸】刺突列が沿う隆線文(区画)【体】区画沈線文(横d字状文か),縄文(LR)	45-3	RP173

第 60 図 SX120 遺物包含層出土土器 (25) 4 層②



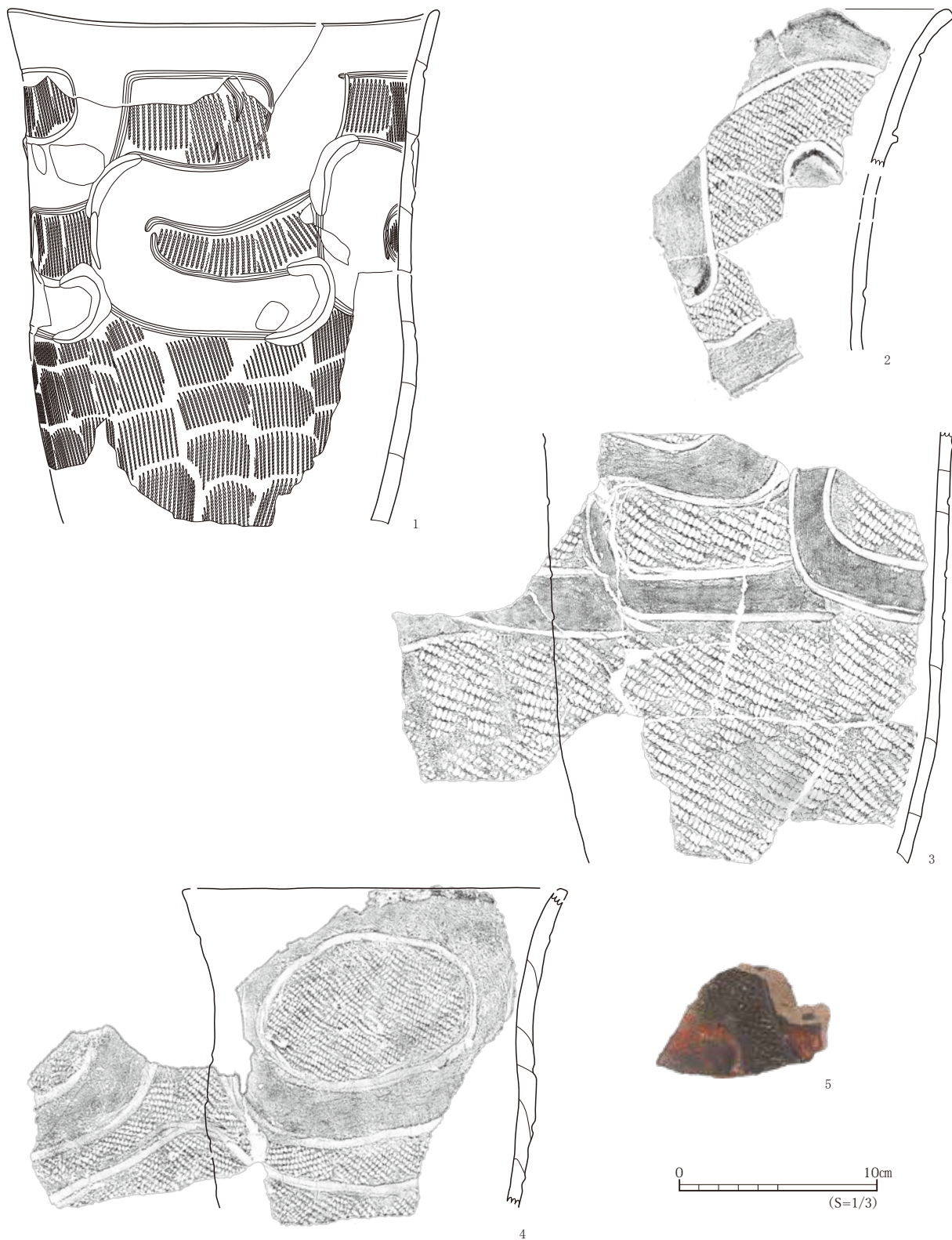
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
61-1	SX120-4層	6区・S3	深鉢	4群	口径 (28.1) cm, 【口】環状把手 (4単位), 【口頸】鎖状隆線 (ノ字状・区画), 【体】区画沈線文 (横d字状文か), 縄文 (RLR)	45-5	RP174
61-2	SX120-4層	8区・N5	深鉢	4群	環状把手 (ひねり), 【口頸】刺突列が沿う隆線 (区画), 【体】沈線文, 燃糸文 (R)	45-4	RP175
61-3	SX120-4層	8区・N4	深鉢	4群	口径 (25.0) cm, 【口】大装飾: 環状把手, 小装飾: 山形突起, 【口頸】刺突列が沿う隆線 (ノ字状・区画), 【体】区画沈線文 (ノ字状文か), 燃糸文 (R)	46-1	RP176
61-4	SX120-4層	8区・N5	深鉢	4群	環状把手, 【口頸】刺突列が沿う隆線 (C字状・区画か), 【体】区画沈線文, 縄文 (LR)	46-2	RP177
61-5	SX120-4層/5ij層	6区・S3	深鉢	4群	口径 (24.8) cm, 【口】大装飾: 環状把手 (単純), 小装飾: 山形突起, 【口頸】刺突列が沿う隆線 (区画), 内面に隆線文 (ノ字状・区画) 【体】沈線文, 縄文 (RL)	46-3	RP178
61-6	SX120-4~6層	6区・S3	深鉢	4群	口径 (23.4) cm, 平縁, 【口~体】区画沈線文 (J字状文・6単位) + 刺突列, 燃糸文 (L)	46-4	RP179
61-7	SX120-4層	8区・N5	深鉢	4群	口径 (22.0) cm, 山形突起, 【口~体】区画沈線文 (コ字状か) + ヒレ状隆線, 燃糸文 (L), 充填縄文か	46-5	RP180

第 61 図 SX120 遺物包含層出土土器 (26) 4 層③



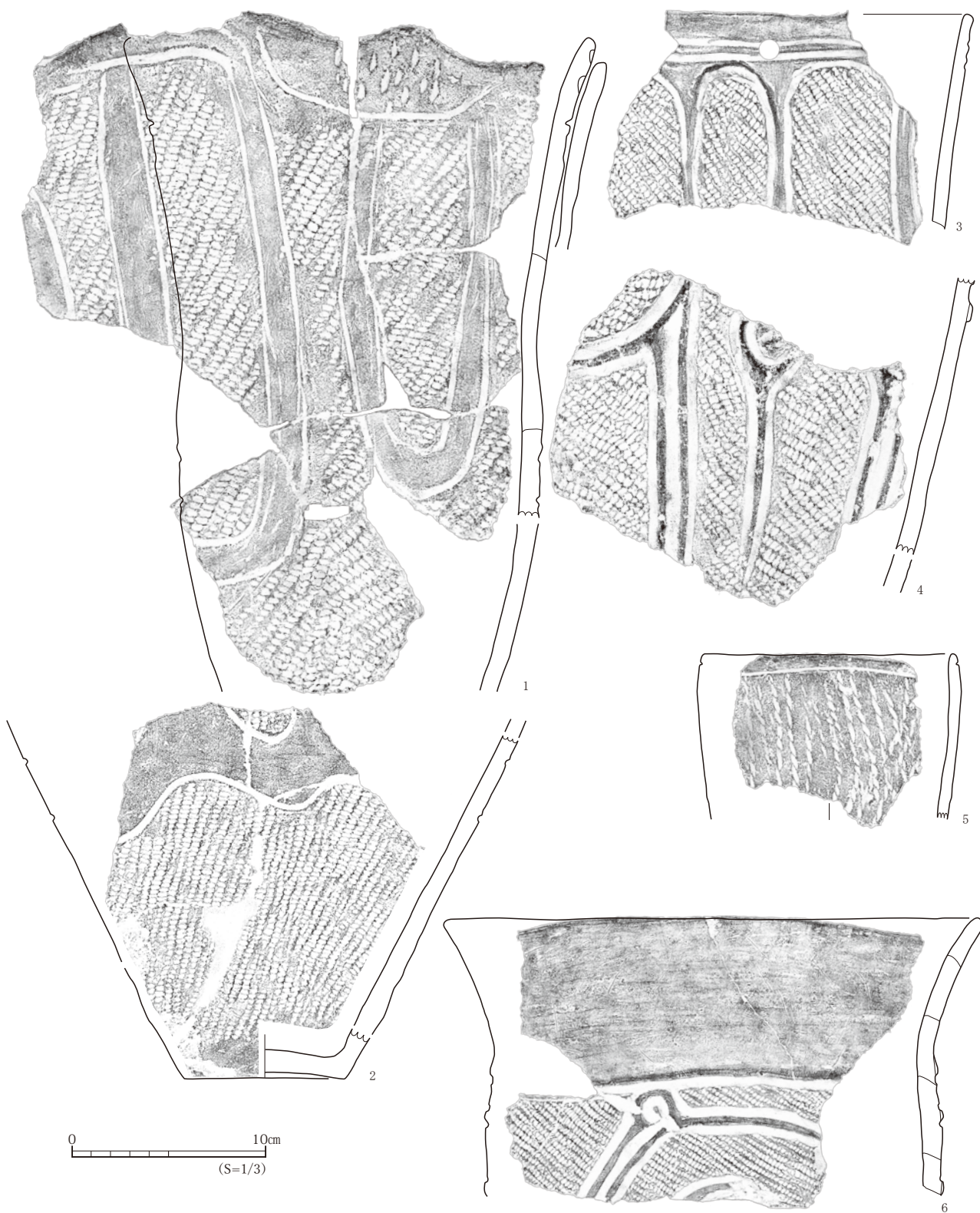
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
62-1	SX120-4b層	8区・S8	深鉢	4群	口径24.2cm,平縁,【口〜体】区画沈線文(コ字状文・6単位)+ヒレ状隆線,縄文(LR),充填縄文	46-6	RP181
62-2	SX120-4層	8区・N5	深鉢	4群	口径(14.2)cm,平縁,【口〜体】区画沈線文(コ字状文)+ヒレ状隆線,縄文(LR),磨消縄文,無文部はミガキ	47-2	RP182
62-3	SX120-4層	8区・N5	深鉢	4群	平縁,【口〜体】区画沈線文(コ字状文)+ヒレ状隆線(コ字状),燃糸文(R),磨消縄文,無文部ミガキ	46-7	RP183
62-4	SX120-4層	6区・S3	深鉢	4群	平縁,区画隆線文(逆L字状文)+刻みのあるヒレ状隆線,縄文(LR),無文部はミガキ	47-3	RP184
62-5	SX120-4層	8区・N5	壺形	4群	口径9.9cm,平縁,【口〜体】区画隆線文・沈線文(逆L字文)+刺突列3個,縄文(LR)→沈線,内外面に赤彩	47-5	RP185
62-6	SX120-4層	6区・S3東壁	壺形	4群か	【頸】橋状把手,正面と上下端面に貫通孔	47-6	RP186
62-7	SX120-4層	8区・S7	深鉢	4群	口径(23.6)cm,平縁,【口頸】刺突列が沿う隆線(区画),【体】区画沈線文(逆L字文)+縄文(LR)	47-1	RP187

第 62 図 SX120 遺物包含層出土土器 (27) 4 層④



図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
63-1	SX120-4層底面	6区・S3	深鉢	4群	口径 (21.8) cm, 残存高27.7cm, 平縁, 【口～体】区画沈線文 (逆S字状文・6単位か) + ヒレ状隆線, 縄文 (LR前々段多条)	48-1	RP188
63-2	SX120-4層	8区・N5	深鉢	4群	波状縁, 【口～体】区画沈線文 (横S字状文か) + ヒレ状隆線, 縄文 (LR), 磨消縄文, 無文部はミガキ	47-8	RP189
63-3	SX120-4層	8区・B4c	深鉢	4群	【体】区画沈線文 (逆S字状文), 縄文 (LR), 充填縄文か (下書き沈線), 無文部はミガキ	47-7	RP190
63-4	SX120-4層	6区・S3東壁	深鉢	4群	口径 (19.5) cm, 平縁, 【口～体】区画沈線文 (横長楕円文・4単位), 縄文 (LR), 磨消縄文	47-4	RP191
63-5	SX120-4層/5層	8区・OS2	壺形	4群	【体】隆線文, 縄文 (LR), 内外面に赤彩あり	47-9	RP192

第 63 図 SX120 遺物包含層出土土器 (28) 4 層⑤



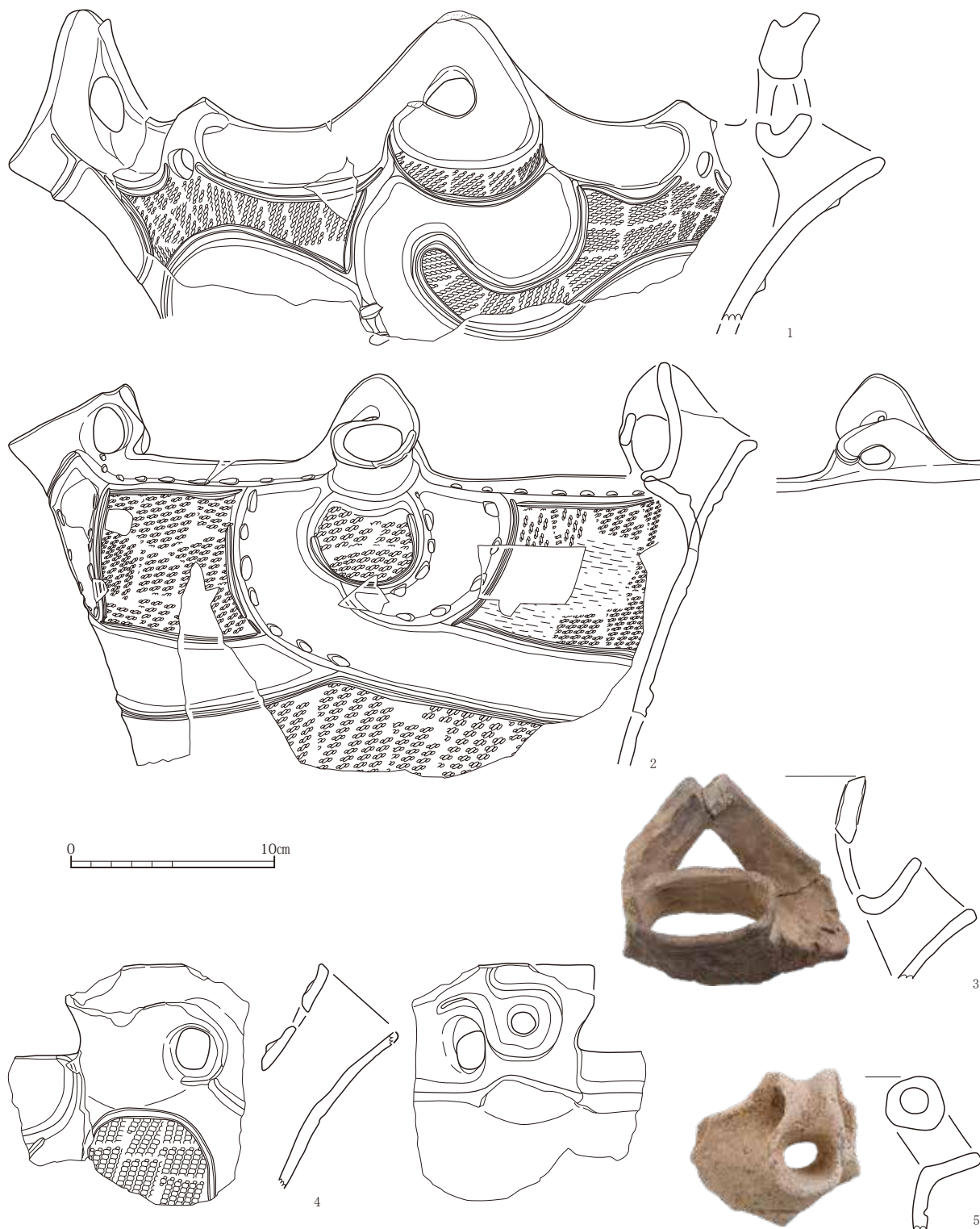
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
64-1	SX120-4b層底面	6区・S3	深鉢	4群	波状縁,波底部に山形突起,【口頸】突起下に区画沈線文(弧状文)+刺突文(充填),【体】区画沈線文(U字文・8単位か),縄文(RL),磨消縄文,無文部はミガキ	48-2	RP193
64-2	SX120-4層	6区・S3東壁	深鉢	4群か	底径(8.3)cm,【体】沈線文(波状文),縄文(RL),磨消縄文か,下端～底面はミガキ	48-3	RP194
64-3	SX120-4層	8区・S7	深鉢	3群	平縁,【口頸】平行沈線2条,【体】区画沈線文(楕円文・口字文),十部に隆線,縄文(LR),無文部はミガキ	48-4	RP195
64-4	SX120-4層	8区・B4c	深鉢	3群	【体】隆沈線文(渦巻文・懸垂文),縄文(LR)	48-5	RP196
64-5	SX120-4層	6区・S3東壁	深鉢		口径(13.0)cm,平縁,【口頸】無文(ナデ),区画沈線,【体】撚糸文(R)	48-6	RP197
64-6	SX120-4層	8区・N5	深鉢	3群	口径(28.1)cm,【口頸】無文(ミガキ),【体】隆沈線文(渦巻文か),縄文(LR)	49-1	RP198

第 64 図 SX120 遺物包含層出土土器 (29) 4 層⑥



図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
65-1	SX120-4層	8区・N5	深鉢		口径 (20.4) cm, 残存高24.3cm, 平縁, 縄文 (LR)	49-2	RP199
65-2	SX120-4層	8区・S7	深鉢		口径 (15.0) cm, 残存高14.4cm, 平縁, 縄文 (L)	49-3	RP200
65-3	SX120-4層	6区・N2N3	深鉢		口径 (22.0) cm, 残存高27.0cm, 平縁, 縄文 (RL)	49-4	RP201
65-4	SX120-4層	6区・S3東壁	深鉢		口径 (19.0) cm, 残存高27.8cm, 平縁, 燃糸文 (L), 体部下端はミガキ	49-5	RP202

第 65 図 SX120 遺物包含層出土土器 (30) 4 層⑦



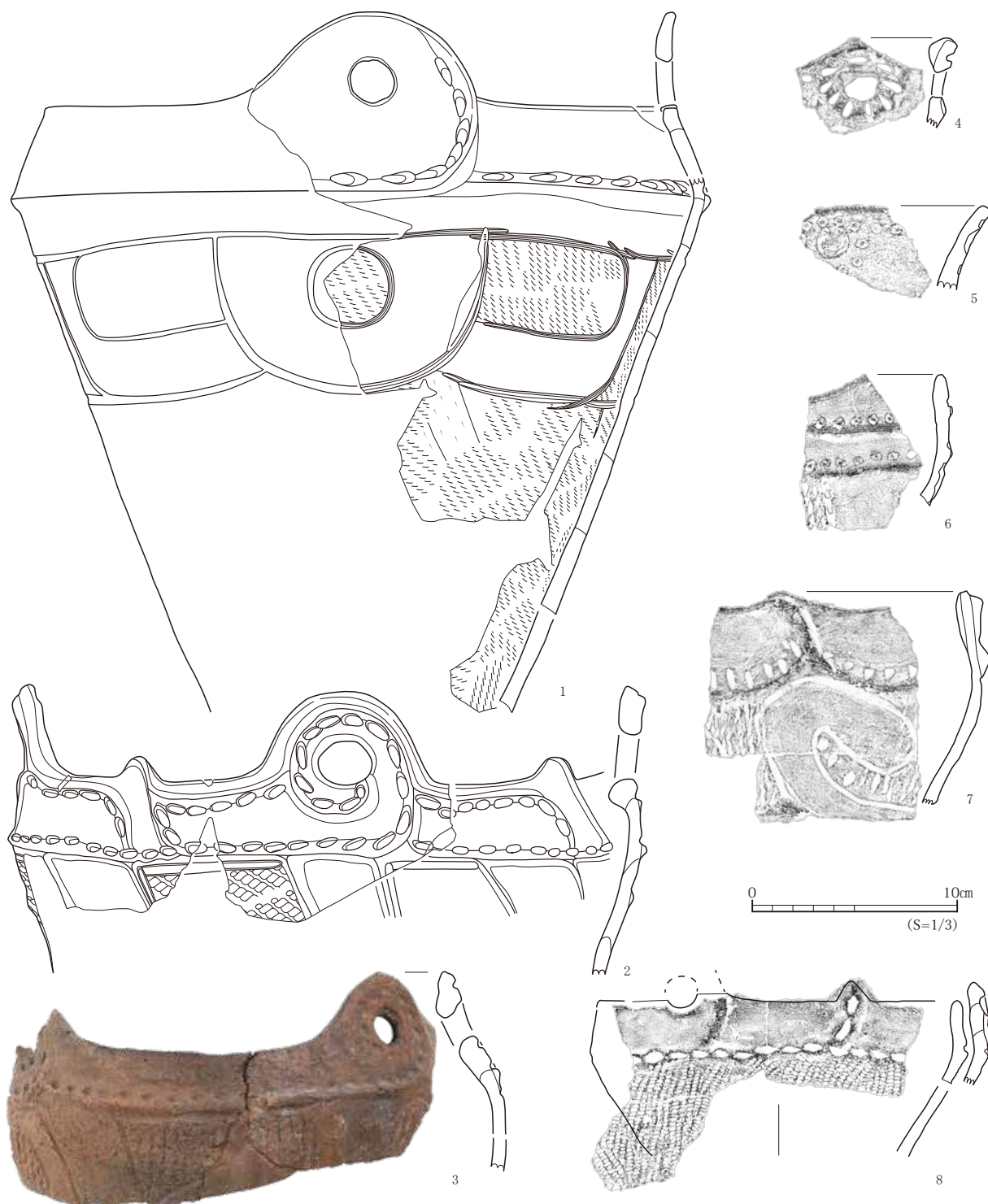
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
66-1	SX120-5m層 (一部3層)	8区・B4w	深鉢	5群	口径43.0cm,【口】大装飾:環状把手に注口部付(4単位),小装飾:山形突起に貫通孔のある橋状部付(4単位),【体】区画隆線文・沈線文(横S字状文か・4単位)+2個1対の刻目文(直交),縄文(RL),充填縄文	50-1	RP203
66-2	SX120-5層	8区・N4	深鉢	4群	口径36.4cm,【口】環状把手に注口部付(4単位),【頸】刺突列が沿う隆線(区画)【体】区画隆線文・沈線文(横d字状文・4単位)+刺突列,縄文(RLR・L,原体2種類),磨消縄文	50-7	RP204
66-3	SX120-5j層	8区・B5	深鉢	4群	環状把手に注口部付(欠損),【口頸】隆線文(区画)+刻目文(直交),縄文(LR)	50-3	RP205
66-4	SX120-5i層	6区・N2N3	深鉢	4群	【口】環状把手に注口部付,注口部内面に貫通孔,【頸】隆線文(区画),【体】区画沈線文,縄文(RL)	51-1	RP206
66-5	SX120-5層	6区・N2	深鉢	4群	橋状把手に注口部付,頸部に沈線文	50-4	RP207

第 66 図 SX120 遺物包含層出土土器 (31) 5 層①



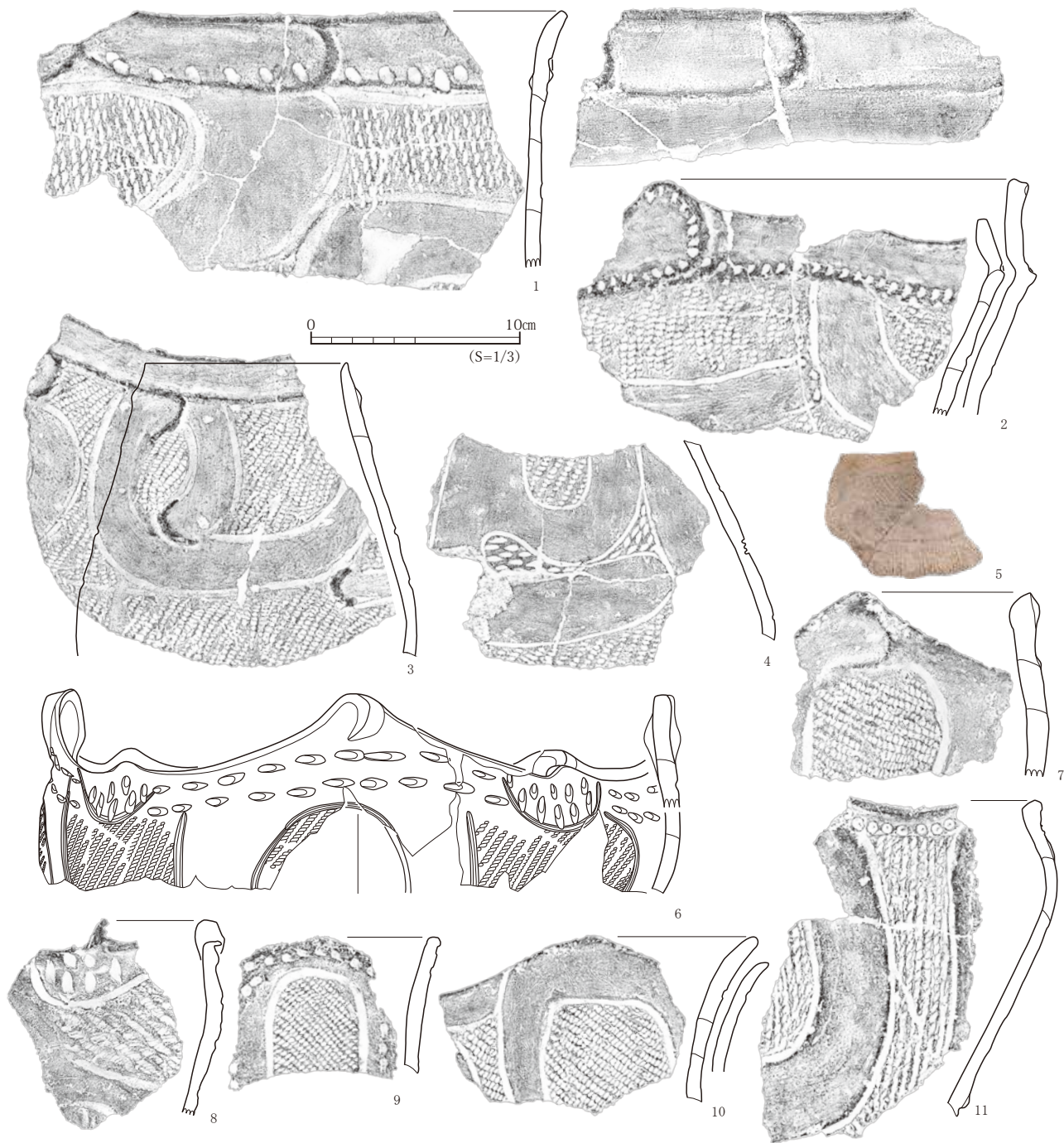
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
67-1	SX120-5層	8区・N4	深鉢	4群	口径 (26.8) cm, 【口】大装飾: 環状把手 (4単位・メビウスの帯状), 小装飾: 山形突起, 【口頸】隆線文 (区画, ノ字状), 【体】区画沈線文 (横6字状文・4単位), 下描き沈線→燃系文 (L) →ミガキ	51-3	RP208
67-2	SX120-5層	6区・N2	深鉢	4群	環状把手 (メビウスの帯状のひねり, 頂部に貫通孔), 【口頸】隆線文 (区画)	51-4	RP209
67-3	SX120-5層	8区・N4	深鉢	4群	【口】大装飾: 環状把手 (メビウスの帯状のひねり), 小装飾: 山形突起, 【口頸】隆線文 (区画, ノ字状), 【体】区画沈線文 (横d字状文), 縄文 (RL前々段多条), 磨消縄文, 無文部はミガキ	50-2	RP210
67-4	SX120-5a層	8区・B6	深鉢	4群	環状把手 (メビウスの帯状のひねり), 【口頸】刺突列 (2列), 【体】沈線文	50-5	RP211
67-5	SX120-5層	8区・B7	深鉢	4群	環状把手 (メビウスの帯状のひねり), 橋状部の内外面に貫通孔, 【口頸】隆線文 (区画), 【体】沈線文, 縄文 (LR), 充填縄文	51-2	RP212
67-6	SX120-5j層	8区・B5	深鉢	4群	口径 (25.2) cm, 【口】大装飾: 環状把手, 小装飾: 山形突起, 【口頸】刺突列が沿う隆線 (ノ字・区画), 【体】区画隆線文・沈線文 (逆L字状文か) + 交点にヒレ状隆線+刺突か, 縄文 (LR)	51-6	RP213
67-7	SX120-5層	8区・N5	深鉢	4群	環状把手 (メビウスの帯状のひねり), 【口頸】刺突列, 【体】区画沈線文, 縄文 (RL)	50-6	RP214
67-8	SX120-5m層	8区・B6	深鉢	4群	口径 (15.7) cm, 環状把手 (山形突起に貫通孔), 【口~体】区画沈線文 (コ字状文か), 燃系文 (L)	51-5	RP215

第 67 図 SX120 遺物包含層出土土器 (32) 5 層②



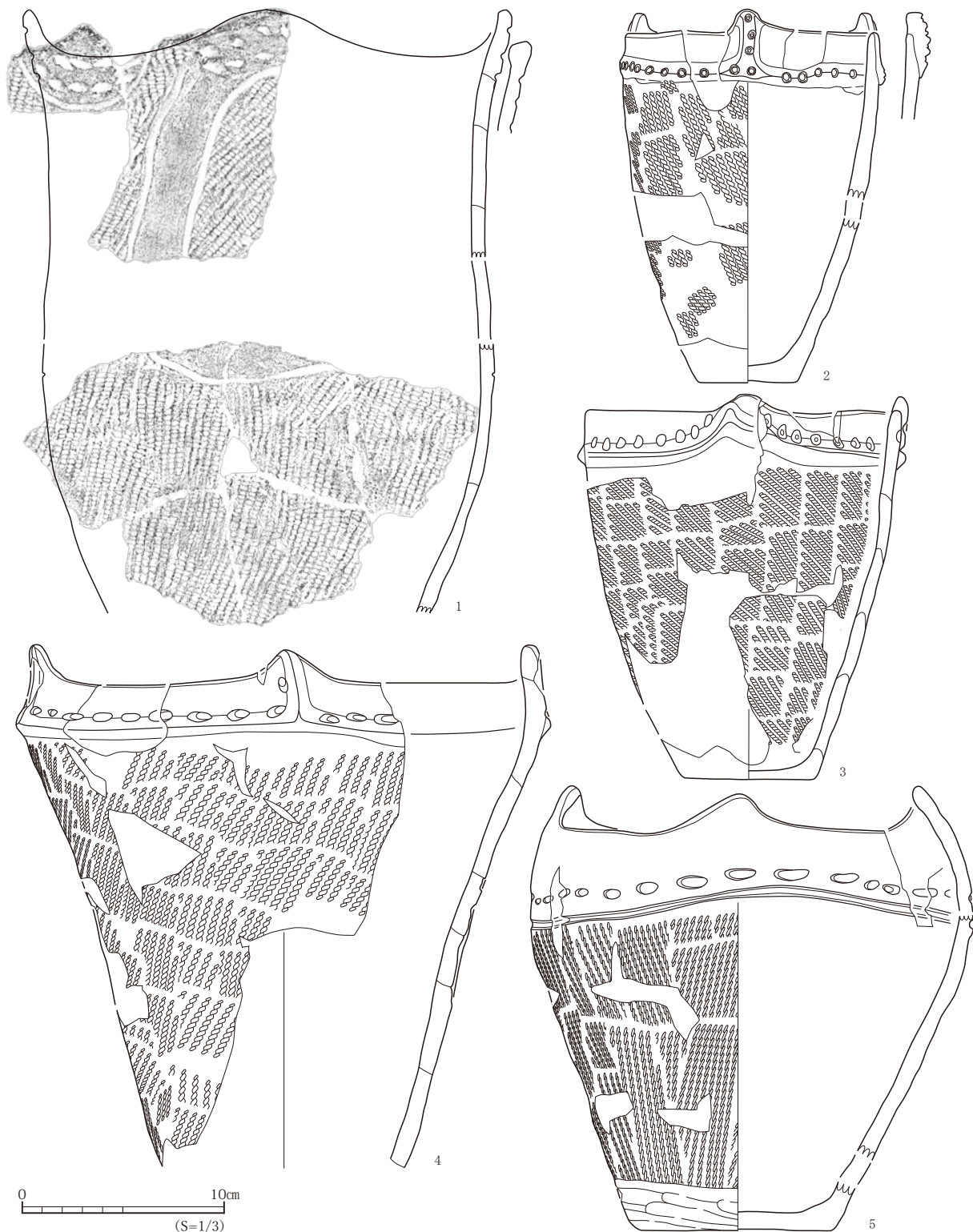
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
68-1	SX120-5m層	8区・N4	深鉢	4群	口径(30.7)cm,残存高34.2cm,環状把手(4単位)か,【口頸】刺突列が沿う隆線文(区画),【体】区画沈線文(横d字文)か,縄文(L),下書き沈線→縄文→ミガキ	52-1	RP216
68-2	SX120-5層	8区・S7	深鉢	4群	口径(29.4)cm,【口】大装飾:環状把手(4単位),小装飾:山形突起【口頸】刺突列が沿う隆線文(区画+把手孔を巻き込む),【体】区画隆線文・沈線文(逆L字状文)か,8単位,縄文(LR)	51-8	RP217
68-3	SX120-5層	6区・S1	深鉢	4群	環状把手(4単位),【口頸】刺突列が沿う隆線文(区画+把手孔を巻き込む),【体】区画沈線文(横d字状文),燃系文(L),磨消縄文	51-7	RP218
68-4	SX120-5層	8区・N5	深鉢	4群	環状把手,把手孔の周囲に刺突列,【口頸】刺突文(刺突列)か,内面にヒレ状隆線	51-9	RP219
68-5	SX120-5f層	6区・B1	深鉢	4群	平縁,【口頸】盲孔,盲孔の周囲に刺突列(円孔)	51-10	RP220
68-6	SX120-5c層	6区・B2	深鉢	4群	波状縁,【口頸】刺突列が沿う隆線(2段),【体】沈線+刺突列(押し引き状),燃系文(L),無文部はミガキ	51-11	RP221
68-7	SX120-5f層	6区・B2	深鉢	4群	【口】山形突起(小装飾)か【口頸】刺突列が沿う隆線文(ノ字状・区画)【体】区画沈線文(横S字状文)か+ヒレ状隆線,刺突文(充填),燃系文(L)下書き沈線→燃系文(L)→ミガキ	52-2	RP222
68-8	SX120-5層	6区・N3	深鉢	4群	【口】大装飾:環状把手か(欠落),小装飾:山形突起,【口頸】鎖状隆線文(ノ字状・区画),【体】縄文(RL),無文部はミガキ	52-3	RP223

第 68 図 SX120 遺物包含層出土土器 (33) 5 層③



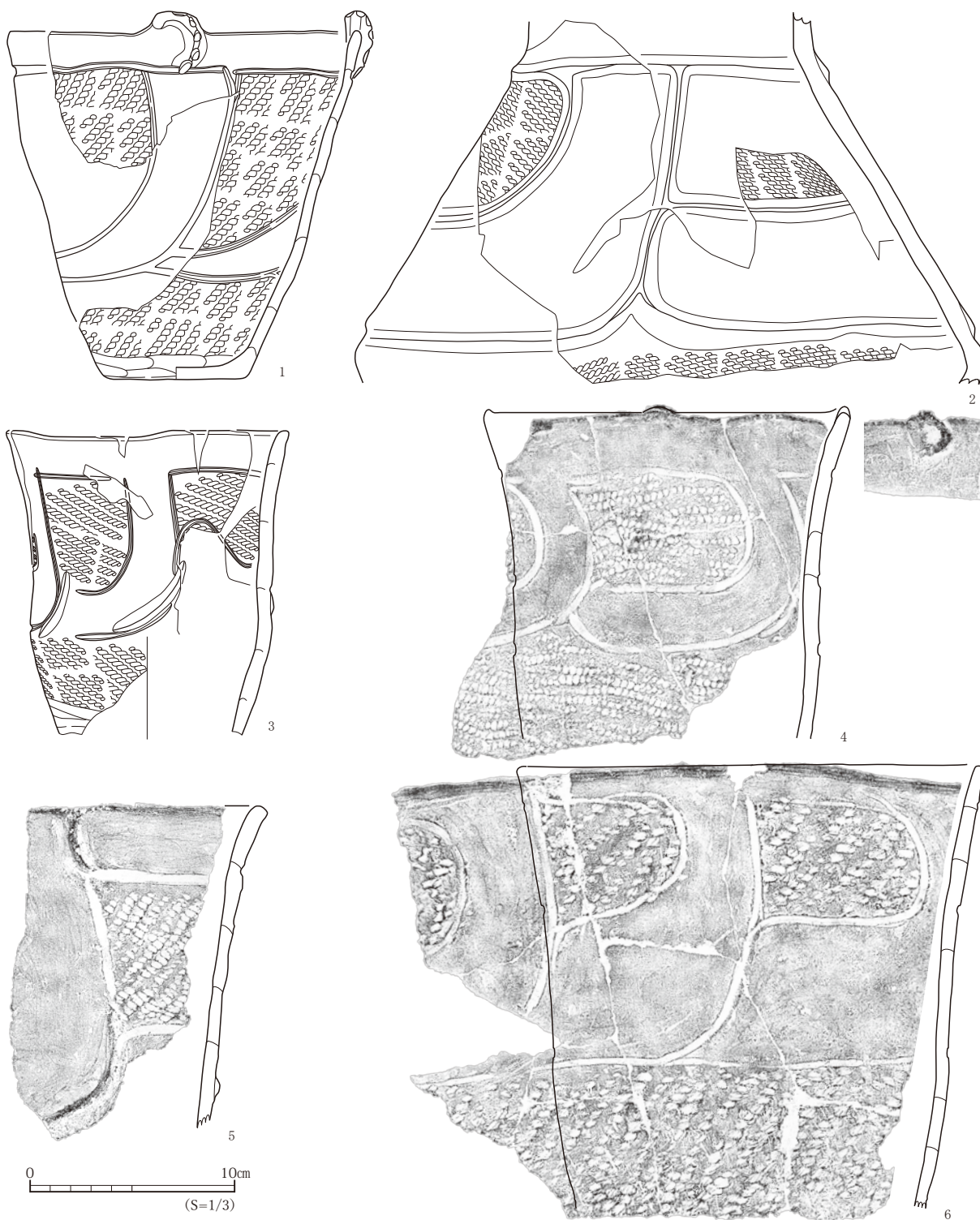
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
69-1	SX120-5m層	8区・B5	深鉢	4群	【口】環状把手(欠落),【口頸】刺突列が沿う隆線文(ノ字状・区画),【体】区画沈線文(横d字状文か)+ヒレ状隆線,燃系文(L),充填縄文,無文部はミガキ	52-5	RP224
69-2	SX120-5f層	6区・B1	深鉢	4群	口径(20.2)cm,【口】山形突起(4単位か)【口頸】刺突列が沿う隆線文(逆C字状・区画),【体】区画沈線文(L字状文)+刺突列が沿うヒレ状隆線,縄文(RLR),充填縄文	52-4	RP225
69-3	SX120-5層	8区・N5	壺形	4群	口径(9.6cm),平縁,【頸】隆線文(区画),【体】区画沈線文(横S字状文)+ヒレ状隆線,縄文(RL),磨消縄文	52-6	RP226
69-4	SX120-5層	8区・OS1	壺形	4群	【体】区画沈線文(逆9字状文),刺突文(充填),縄文(RL),磨消縄文,無文部はミガキ	52-7	RP227
69-5	SX120-5o層	8区・B6	壺形	4群	平縁,【口〜体】区画沈線文(ノ字状文か)+ヒレ状隆線(交点),燃系文(L),内面に赤彩	52-9	RP228
69-6	SX120-5層	8区・N5	深鉢	4群	口径(30.7)cm,波状縁(4単位),【口】波底部に山形突起,突起の内外面にヒレ状隆線【口頸】突起下に区画沈線文(弧状文)+刺突文(充填),刺突列2列,【体】区画沈線文(横d字状文か),縄文(RL),充填縄文	52-11	RP230
69-7	SX120-5層	8区・N5	深鉢	4群	大波状縁,【体】区画沈線文(O字状文か)+ヒレ状隆線,縄文(LR),無文部はミガキ	52-10	RP231
69-8	SX120-5o層	8区・B7	深鉢	4群	波状縁,【口】波底部に小突起,【口頸】区画沈線文(弧状文)+刺突文(充填),【体】区画沈線文,縄文(L)	52-8	RP229
69-9	SX120-5層	8区・B7	深鉢	4群	波状縁,【口頸】刺突列,【体】区画沈線文(O字状文か)+周囲に刺突列,縄文(LR前々段多条)	53-2	RP233
69-10	SX120-5層	8区・OS1	深鉢	4群	波状縁,【口〜体】区画沈線文(O字状文か),縄文(LR),磨消縄文,無文部はミガキ	52-12	RP234
69-11	SX120-5層	8区・S8	深鉢	4群	波状縁,【口頸】刺突列(円孔)【体】区画隆線文・沈線文(O字状文か),燃系文(L),磨消縄文か	53-1	RP232

第 69 図 SX120 遺物包含層出土土器 (34) 5 層④



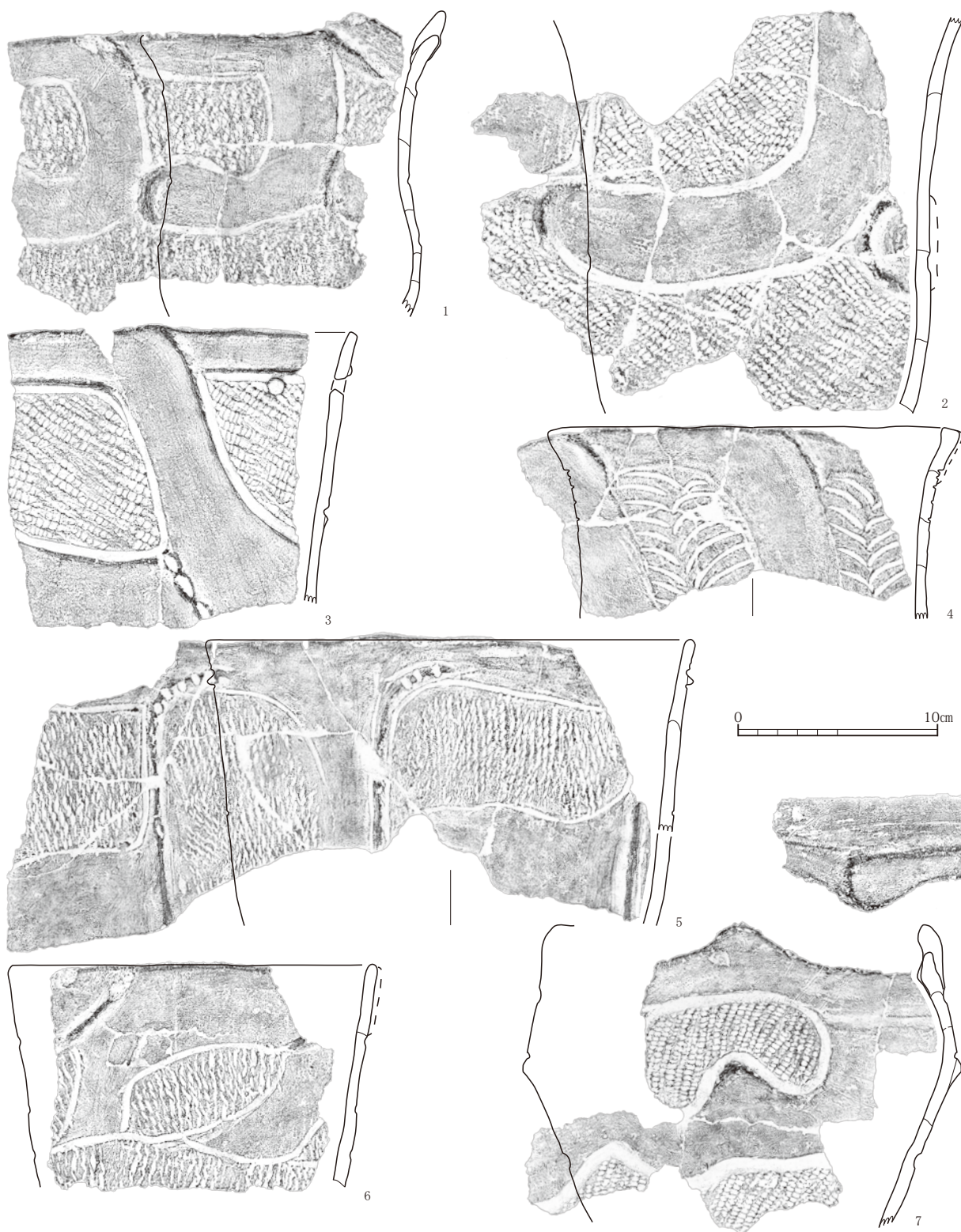
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
70-1	SX120-5層	8区・N5	深鉢	4群	口径(24.2)cm,残存高29.9cm,波状縁,【口】波底部に山形突起【口頸部】突起下に区画沈線文(弧状文),刺突列2列(充填),【体】区画沈線文(O字状文)+刺突列,縄文(RL),充填縄文	53-3	RP235
70-2	SX120-5層	8区・OS1	深鉢	4群か	口径13.1cm,底径4.8cm,器高23.4cm,山形突起(3単位)【口頸】鎖状隆線文(隆線に円孔刺突)(区画,縦位),縄文(LR)	53-4	RP236
70-3	SX120-5層	8区・OS1	深鉢	4群か	口径(15.5)cm,底径6.5cm,器高19.0cm,山形突起(4単位),【口頸】刺突列が沿う隆線文(区画・ノ字状),【体】縄文(LR),【底】木葉痕→ナデ	53-5	RP237
70-4	SX120-5層	8区・S7	深鉢	4群	口径(24.8)cm,残存高25.9cm,山形突起(4単位),【口頸】刺突列が沿う隆線文(区画・縦位),【体】縄文(RL)	53-6	RP238
70-5	SX120-5k層	8区・B4c	深鉢	4群	口径21.8cm,底径9.4cm,器高21.0cm,波状縁(4単位),【頸】刺突列が沿う沈線(区画),【体】撚糸文(L),体部下端~底面はミガキ	54-1	RP239

第 70 図 SX120 遺物包含層出土土器 (35) 5 層⑤



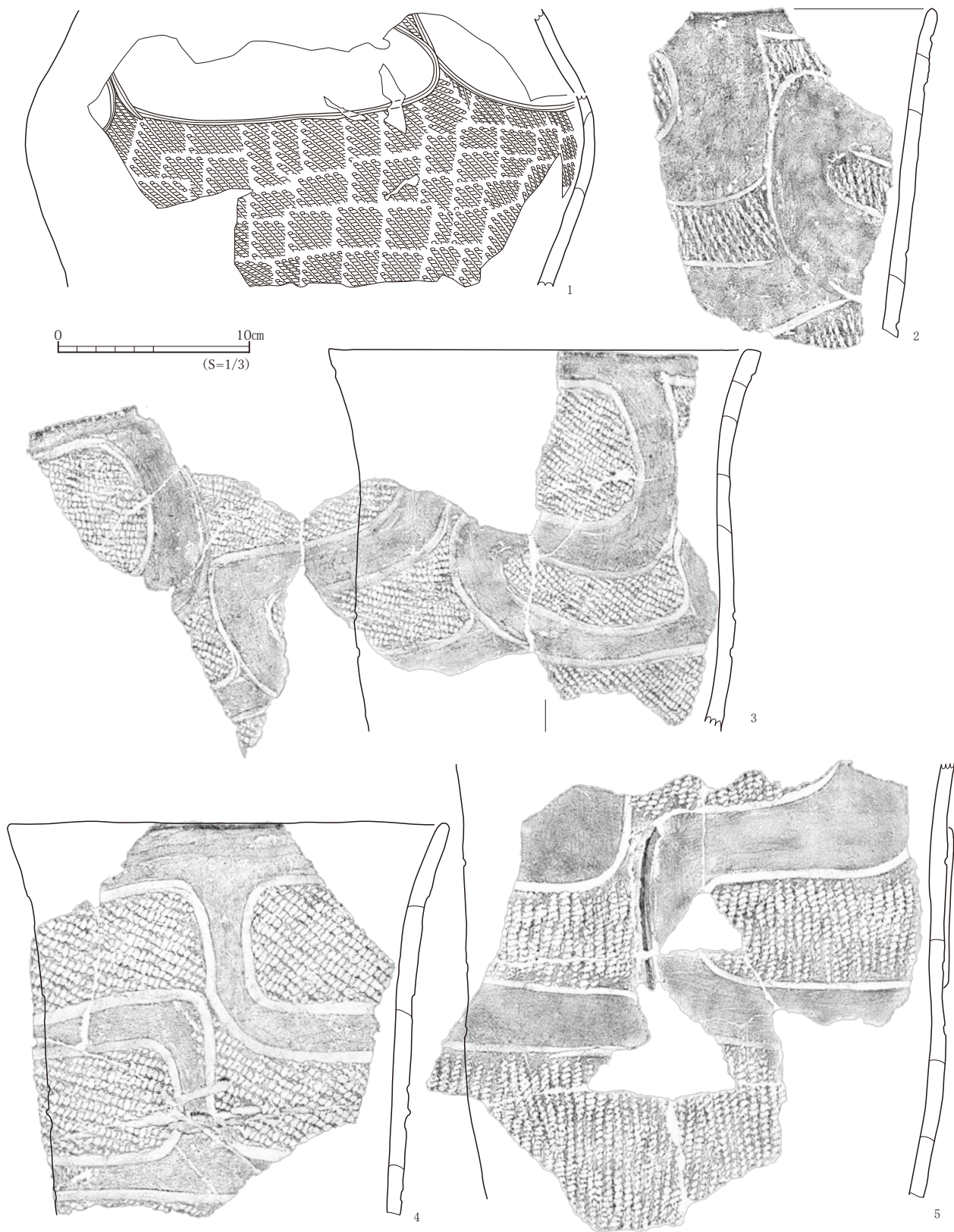
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
71-1	SX120-5層	6区・N3	深鉢	4群	口径(17.0),底径7.0cm,器高17.9cm,山形突起(4単位)【口頸】突起下に逆C字状の鎖状隆線文,【体】区画沈線文(ノ字状文・4単位か),縄文(RL),磨消縄文,体部下端~底面はミガキ	53-7	RP240
71-2	SX120-5層	8区・OS1	壺形	4群	区画隆線文(逆L字状文),縄文(LR)	54-3	RP241
71-3	SX120-5k層	8区・B4c	深鉢	4群	口径13.8cm,平縁,【口~体】区画沈線文(コ字状文・5単位)+ヒレ状隆線,縄文(LR),体部下端はミガキ	54-2	RP242
71-4	SX120-5層	8区・N5	深鉢	4群	口径(18.0)cm,山形突起,突起内面に逆C字状のヒレ状隆線文,【口~体】区画沈線文(コ字状文・4単位か)+ヒレ状隆線,縄文(LR),充填縄文	54-4	RP243
71-5	SX120-5層	8区・S7	深鉢	4群	平縁,【口~体】区画沈線文(コ字状文か)+ヒレ状隆線,下書き沈線→縄文(RL)→沈線引き直し→ヒレ状隆線,充填縄文,無文部はミガキ	54-6	RP244
71-6	SX120-5i層/3e層	6区・S3東壁	深鉢	4群	口径(23.0)cm,残存高21.8cm,平縁,【口~体】区画沈線文(コ字状文),縄文(RLR・前々段多条),磨消縄文	54-7	RP245

第 71 図 SX120 遺物包含層出土土器 (36) 5 層⑥



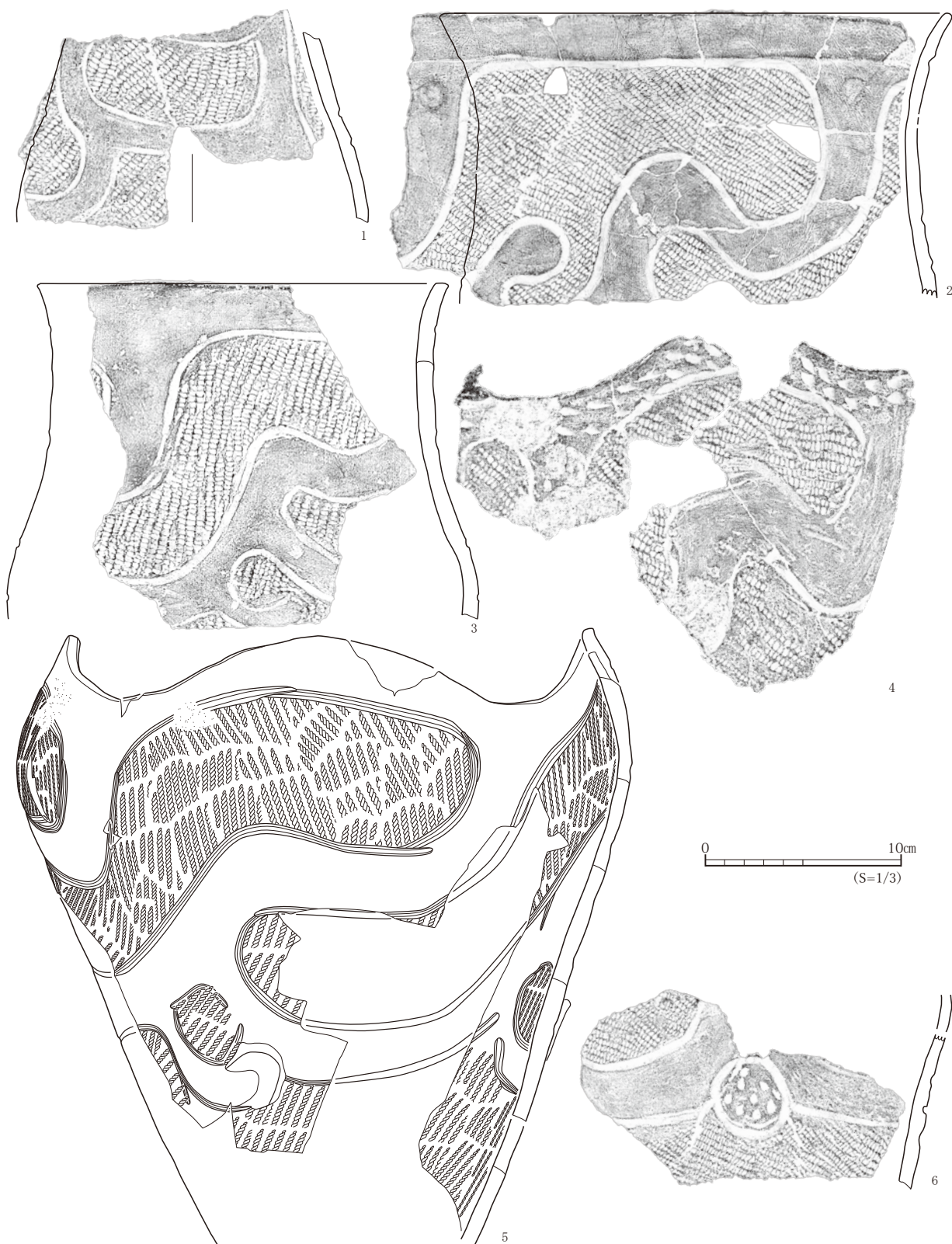
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
72-1	SX120-5ℓ層	8区・B4c	深鉢	4群	口径 (15.1) cm, 山形突起 (2単位か), 【口～体】区画沈線文 (コ字状文・4単位か) + ヒレ状隆線, 燃糸文 (RL), 充填縄文か, ヒレ状隆線→沈線引き直し	54-5	RP246
72-2	SX120-5層	8区・S7	深鉢	4群	区画沈線文 (コ字状文か) + ヒレ状隆線, 縄文 (LR) → 沈線引き直し, 充填縄文	55-1	RP247
72-3	SX120-5層	8区・N4	深鉢	4群	口径 (23.0) cm, 低い山形突起, 【口～体】区画隆線文・沈線文 (クランク状文) + 短い鎖状隆線, 縄文 (LR), 磨消縄文, 無文部はミガキ, 補修孔あり	55-2	RP248
72-4	SX120-5o層	8区・B6	深鉢	4群	口径 (20.6) cm, 平縁, 【口～体】区画沈線文 (クランク状文か) + ヒレ状隆線, 区画内に矢羽状の短沈線	55-4	RP249
72-5	SX120-5j層	8区・B6	深鉢	4群	口径 (22.4) cm, 平縁, 【口～体】区画隆線文・沈線文 (方形区画文か) + 隆線に刻目文, 燃糸文 (L) → 沈線引き直し, 充填縄文か, 無文部はミガキ	55-5	RP250
72-6	SX120-5層	6区・N2	深鉢	4群	口径 (18.4) cm, 平縁, 【口～体】区画沈線文 (クランク状文) + ヒレ状隆線, 燃糸文 (R), 充填縄文	55-3	RP251
72-7	SX120-5o層	8区・B4c	深鉢	4群	口径 (18.4) cm, 波状縁 (4単位か), 【口】内面に隆線文 (区画) 【体】区画沈線文 (逆凹字状) + ヒレ状隆線, 縄文 (RL), 充填縄文か, 無文部はミガキ	55-6	RP252

第 72 図 SX120 遺物包含層出土土器 (37) 5 層⑦



図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
73-1	SX120-5層	8区・N4	壺形か	4群	区画沈線文, 縄文 (LR)	55-7	RP253
73-2	SX120-5f層	6区・B1	深鉢	4群	平緑か, 【口〜体】区画沈線文 (逆S字状文か), 燃糸文 (L), 充填縄文, 無文部はミガキ	55-8	RP254
73-3	SX120-5層	8区・N5	深鉢	4群	口径 (22.8) cm, 平緑, 【口〜体】区画沈線文 (逆S字状文), 縄文 (LR), 磨消縄文, 無文部はミガキ	55-9	RP255
73-4	SX120-5層	6区・N2	深鉢	4群	口径 (24.9) cm, 平緑, 【口〜体】区画沈線文 (S字状文), 縄文 (LR), 磨消縄文, 無文部はナデ	56-3	RP256
73-5	SX120-5o層	8区・B6	深鉢	4群	区画沈線文 (逆S字状) + ヒレ状隆線, 縄文 (RL), 充填縄文, 無文部はミガキ	56-1	RP257

第 73 図 SX120 遺物包含層出土土器 (38) 5 層⑧



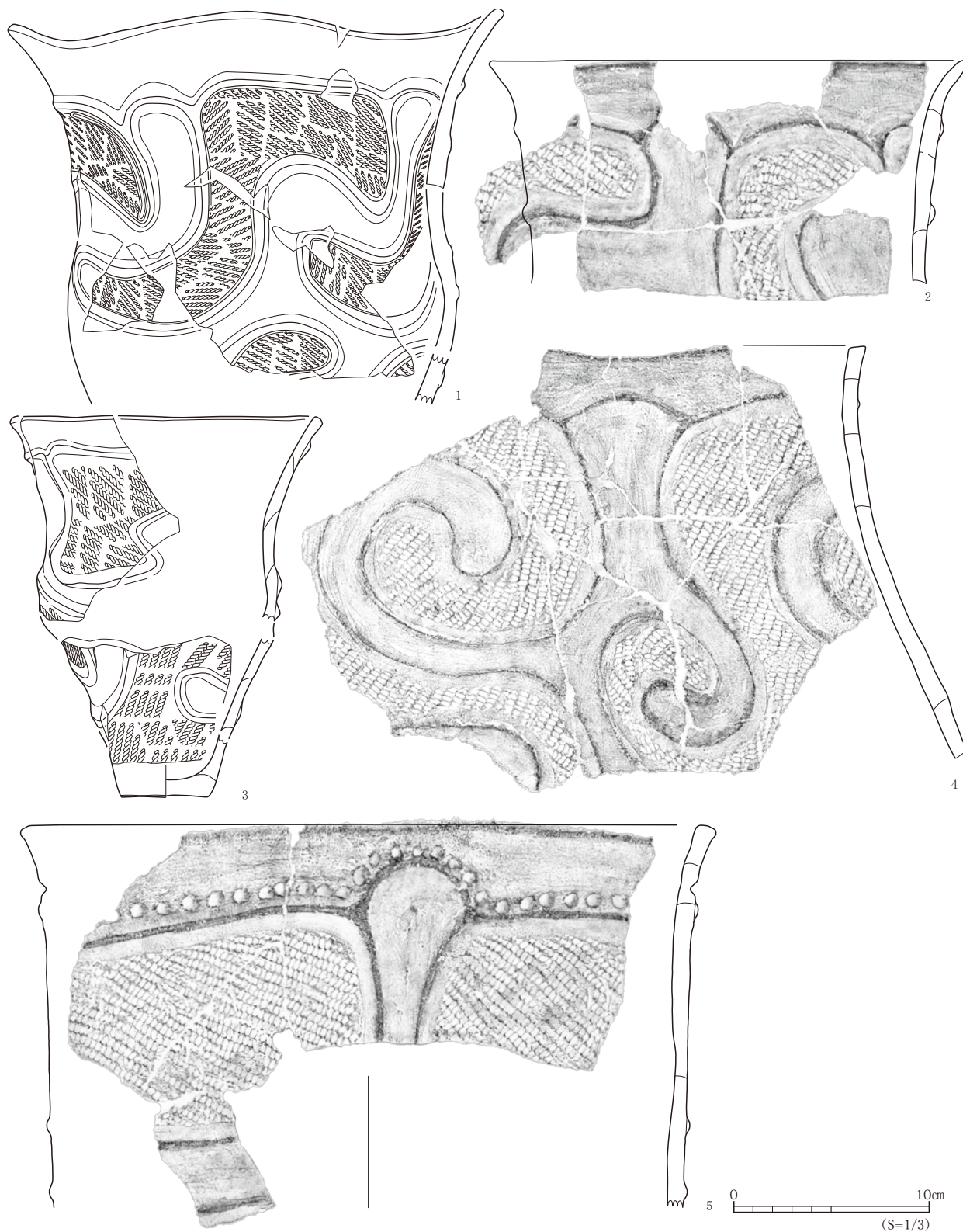
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
74-1	SX120-5層	6区・N2	壺形	4群	区画沈線文(逆S字状文か), 縄文(RL), 磨消縄文, 無文部はミガキ	56-2	RP258
74-2	SX120-5層	6区・N1	深鉢	4群	口径(26.1)cm, 平縁, 区画沈線文(S字状文・4単位か) + 盲孔, 縄文(LR), 充填縄文	56-4	RP259
74-3	SX120-5層	8区・N5	壺形か	4群	口径(20.9)cm, 平縁, 【口〜体】区画沈線文(横S字文・玉抱文, 4単位か), 縄文(RL), 磨消縄文か	56-5	RP260
74-4	SX120-5層	6区・N1	深鉢	4群	大波状縁, 【口】波底部に山形突起, 【口頸】刺突列2列, 【体】区画沈線文(横S字状文), 縄文(LR), 充填縄文, 無文部はミガキ	56-6	RP261
74-5	SX120-5層	6区・N3	深鉢	4群	口径26.6cm, 残存高31.6cm, 波状縁(4単位), 【体】区画沈線文(横S字状文・玉抱文, 4単位), 縄文(RL), 充填縄文	57-1	RP262
74-6	SX120-5層	8区・S8	深鉢	4群	区画沈線文(玉抱文か), 玉抱部に刺突文, 縄文(LR), 充填縄文, 無文部はミガキ	56-7	RP263

第 74 図 SX120 遺物包含層出土土器 (39) 5 層⑨



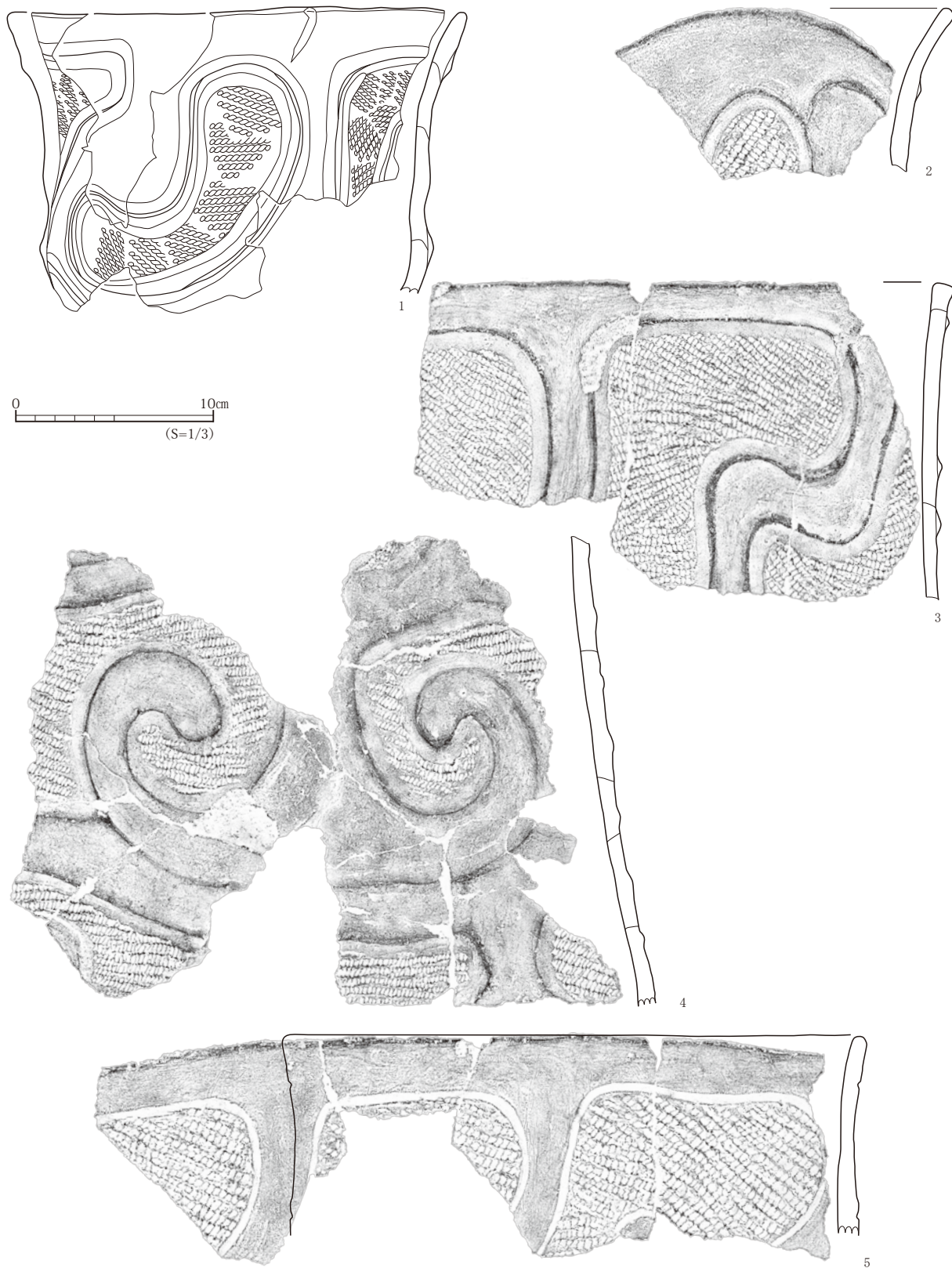
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
75-1	SX120-5gij層/6層	6区・北壁	深鉢	4群	口径(33.4)cm,平縁,【体】区画沈線文(横逆S字状文・4単位か),縄文(LR),磨消縄文	56-8	RP264
75-2	SX120-5o層	8区・B6	深鉢	4群	口径(33.3)cm,残存高34.6cm,平縁,【体】区画隆線文・沈線文(横S字状文・4単位),縄文(LR),充填縄文	58-1	RP265
75-3	SX120-5層	6区・TrS	壺形	4群	区画沈線文(横S字状文か),縄文(LR),充填縄文,無文部はミガキ	57-2	RP266

第 75 図 SX120 遺物包含層出土土器 (40) 5 層⑩



図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
76-1	SX120-5層下部	8区・N6	深鉢	4群	口径25.4cm,波状縁(4単位),【体】区画隆線文(横S字状文・4単位),縄文(LR),充填縄文	58-2	RP267
76-2	SX120-5層	8区・N5	深鉢	4群	口径(22.4)cm,平縁,【体】区画隆線文(横S字状文),縄文(LR)→ミガキ,充填縄文	57-3	RP268
76-3	SX120-5層	8区・N6	深鉢	4群	口径(15.9)cm,底径4.4cm,器高(19.5)cm,平縁,【体】区画隆線文(上半に逆凹字状文・下半に波濤文か),縄文(RL),磨消縄文	58-3	RP269
76-4	SX120-5層	8区・N6	壺形	4群	波状縁か,【体】区画隆線文(S字状文),縄文(RL)→ミガキ,充填縄文	57-4	RP270
76-5	SX120-5o層	8区・北壁	深鉢	4群	口径(34.4)cm,平縁,【口頭】隆縁に沿う刺突列,【体】区画隆線文(横長楕円文か),縄文(LR),磨消縄文,無文部はミガキ	59-1	RP271

第76図 SX120 遺物包含層出土土器(41)5層⑪



図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
77-1	SX120-5層	8区・N5	深鉢	4群	口径 (22.8) cm, 平縁, 【体】区画隆線文 (横S字状文), 縄文 (LR・原体2種類), 充填縄文	59-2	RP272
77-2	SX120-5層	8区・N5	深鉢	4群	波状縁, 【体部】区画隆線文, 縄文 (RL), 無文部はミガキ	59-3	RP273
77-3	SX120-5層	8区・S8	深鉢	4群	口径 (39.0cm), 【体】区画隆線文 (横S字状文か), 縄文 (LR) → 沈線状のミガキ, 充填縄文	59-4	RP274
77-4	SX120-5'層	6区・N2N3	深鉢	4群	【体】区画隆線文 (S字状文か), 縄文 (LR), 充填縄文, 無文部はミガキ	60-1	RP275
77-5	SX120-5層	8区・N5	深鉢	4群	口径 (29.6) cm, 【体】区画沈線文 (横S字状文か), 縄文 (LR), 充填縄文, 無文部はミガキ	60-4	RP276

第 77 図 SX120 遺物包含層出土土器 (42) 5 層⑫



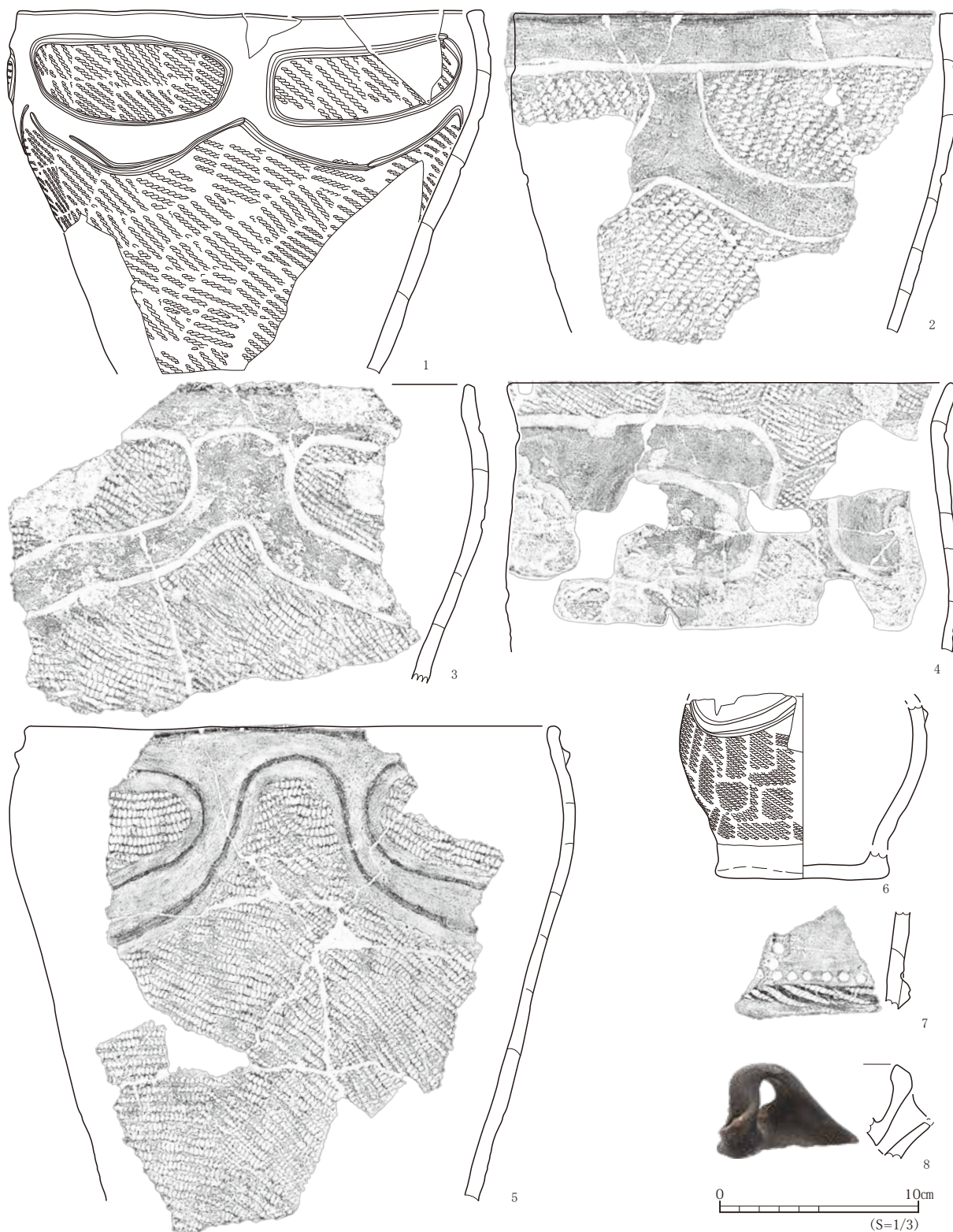
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
78-1	SX120-5層	8区・N4	深鉢	4群	口径 (32.6) cm, 平縁, 【体】区画沈線文 (横S字状文か), 縄文 (RL), 充填縄文, 無文部はミガキ	59-7	RP277
78-2	SX120-5層	8区・N5	深鉢	4群	口径 (26.5) cm, 平縁, 【体】区画沈線文 (横S字状文か), 縄文 (LR), 充填縄文, 無文部はミガキ	59-5	RP278
78-3	SX120-5層	8区・N5	深鉢	4群	口径 (15.5) cm, 波状縁 (4単位か), 【口】波底部に小突起, 突起下に区画沈線文 (弧状文), 区画内に刺突文 (充填), 【体】区画沈線文 (波濤文), 燃糸文 (R), 無文部はミガキ	59-6	RP279
78-4	SX120-5層	6区・N2	深鉢	4群	口径 (14.2) cm, 波状縁 (4単位), 【体】区画沈線文 (波濤文), 縄文 (RL), 磨消縄文, 無文部はミガキ	60-2	RP280
78-5	SX120-5層	8区・B4c	深鉢	4群	口径 (24.8) cm, 波状縁, 【体】区画沈線文 (波濤文か), 縄文 (LR), 充填縄文, 無文部はミガキ	60-6	RP281
78-6	SX120-5層	6区・N2	深鉢	4群	波状縁 (4単位か), 【体】区画隆線文 (波濤文か), 縄文 (LR), 充填縄文, 無文部はミガキ	60-3	RP282

第 78 図 SX120 遺物包含層出土土器 (43) 5 層⑬



図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
79-1	SX120-5層/4層	6区・S3東壁	深鉢	4群	波状縁,【口】波底部に刺突文(弧状か),【体】区画沈線文(横S字文か,玉抱文),刺突文(玉抱部に充填),縄文(LR)→沈線引き直し,充填縄文	60-5	RP283
79-2	SX120-5層	6区・N2	深鉢	4群	口径(11.9)cm,平縁,【体】区画沈線文(巻き込む波濤文),縄文(RL),磨消縄文	60-7	RP284
79-3	SX120-5層/4層	8区・B6	壺形	4群	【体】区画沈線文(波濤文),縄文(LR),充填縄文,無文部はミガキ	61-1	RP285
79-4	SX120-5層	6区・N2N3	深鉢	4群	口径(24.6)cm,平縁,【体】区画沈線文(U字状文),刺突文(主文間に充填),縄文(LR),充填縄文,無文部はミガキ	61-3	RP286
79-5	SX120-5層	6区・N3	深鉢	4群	波状縁,【口】波底部に山形小突起か,区画沈線文(弧状文),区画内に刺突文(充填),【体】区画沈線文(横長楕円文),縄文(LR),磨消縄文か,無文部はミガキ	61-2	RP287

第 79 図 SX120 遺物包含層出土土器 (44) 5 層⑭



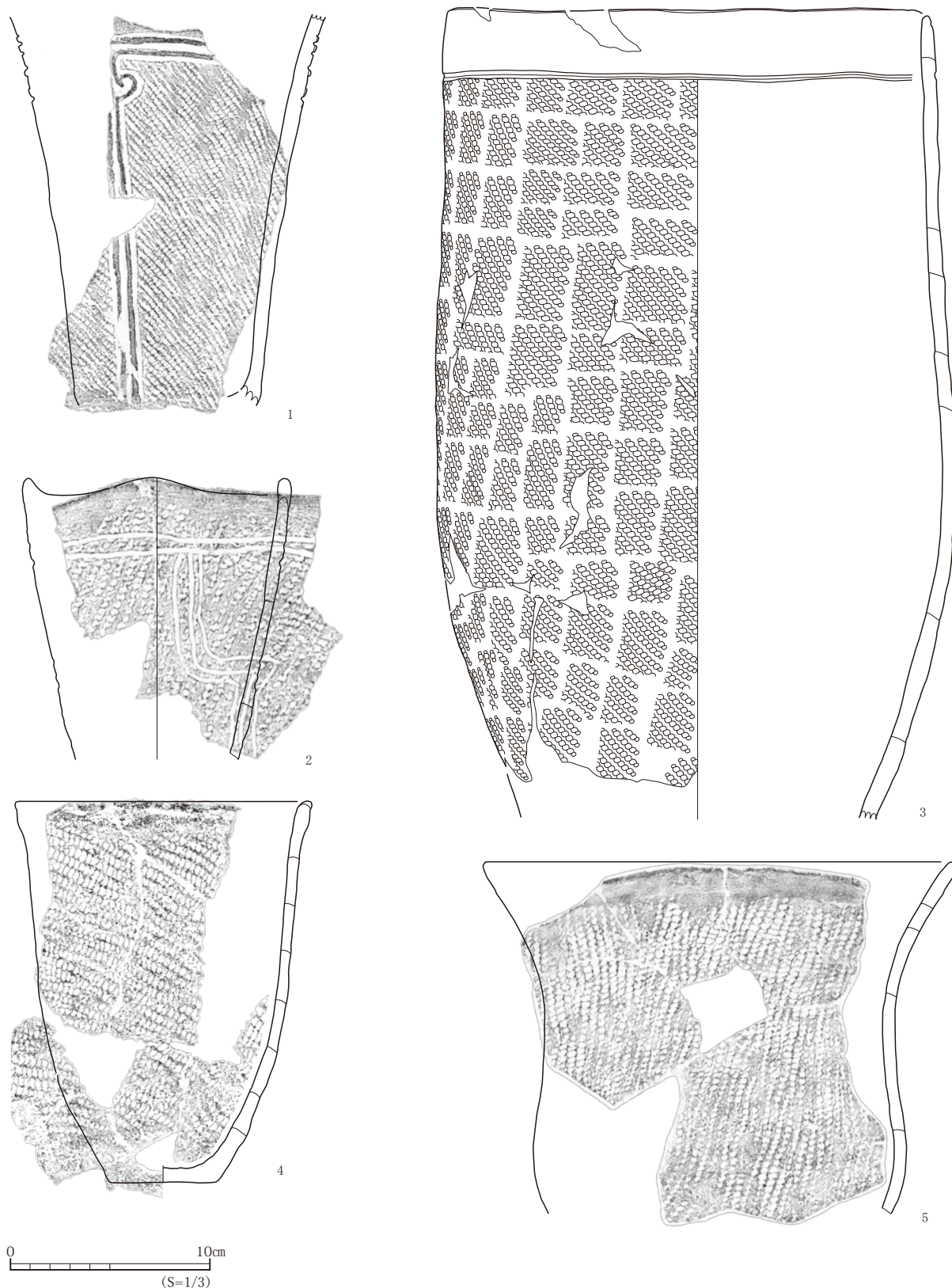
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
80-1	SX120-5oi層	8区・S8	深鉢	4群	口径23.2cm,平縁,【体】区画沈線文(横長楕円文・6単位),縄文(LR),充填縄文	61-4	RP288
80-2	SX120-5層	8区・N5	深鉢	4群	口径(22.2)cm,平縁,【区画沈線文】(横長楕円文),縄文(RLR),充填縄文か	61-5	RP289
80-3	SX120-5i層	6区・北壁	深鉢	4群	平縁,【体】区画沈線文(横長楕円文),縄文(LR)→沈線引き直し,充填縄文か	61-6	RP290
80-4	SX120-5o層	8区・B4e	深鉢	4群	口径(22.5)cm,平縁,【体】区画沈線文(逆凹字状文か),縄文(LR),充填縄文	61-7	RP291
80-5	SX120-5層下部	8区・N6	深鉢	4群	口径(27.0)cm,平縁,【体】区画隆線文(横長楕円文・4単位か),縄文(LR),充填縄文	62-1	RP292
80-6	SX120-5j層	6区・N2N3	深鉢	4群	底径8.4cm,【体】区画隆線文,縄文(RLR),体下端~底部ミガキ	62-3	RP293
80-7	SX120-5層	6区・N2	深鉢	4群か	区画隆線に縄文原体(LR)で押圧(刻み),刺突列(円孔)	62-5	RP294
80-8	SX120-5f層	6区・B1	深鉢	4群	注口部+橋状部をもつ環状把手,全面ミガキ	62-6	RP295

第 80 図 SX120 遺物包含層出土土器 (45) 5 層¹⁵⁾



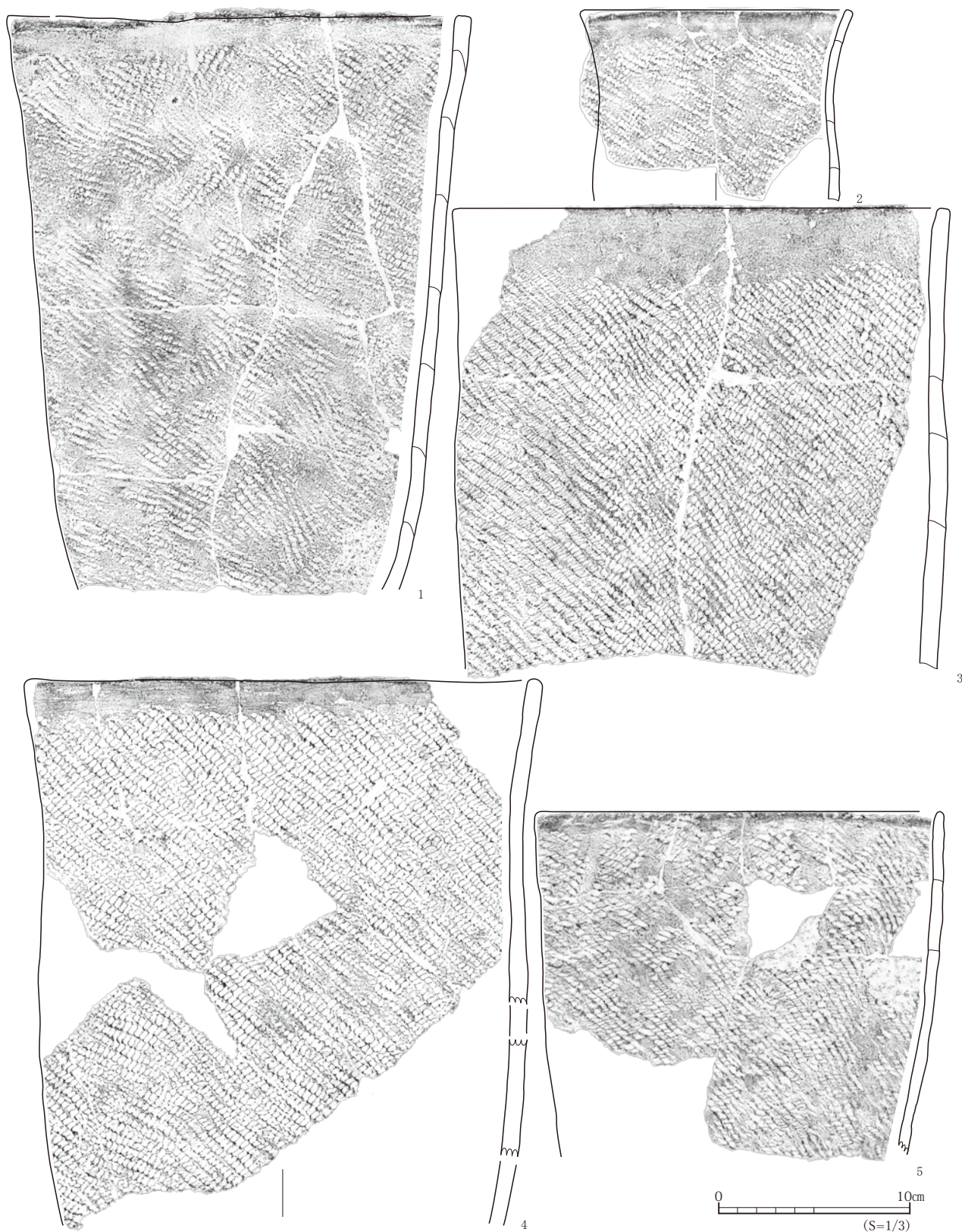
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
81-1	SX120-5o層	8区・B4c	深鉢	4群	底径8.4cm,【体】区画沈線文,燃糸文(L),体部下端～底面はミガキ	62-2	RP296
81-2	SX120-5o層	8区・B4e	深鉢	4群	【体】区画沈線文(アルファベット文か),縄文(RL),底面はミガキ,内外面に赤彩あり	62-4	RP297
81-3	SX120-5f層	6区・B1	壺形把手付	4群	橋状把手(吊手),隆線文	62-7	RP298
81-4	SX120-5j層	6区・B2	壺形把手付	4群	【体】下半に橋状把手(吊手),隆線文,縄文(LR)	62-8	RP299
81-5	SX120-5k層	8区・B4c	壺形か	4群か	【体】橋状把手(吊手),隆線文,縄文(RL),無文部はミガキ	62-9	RP300
81-6	SX120-5層	8区・S7	壺形か	4群	平緑,【体】区画隆線文+短い鎖状隆線か,縄文(LR)→沈線,内外面に赤彩あり	62-10	RP301
81-7	SX120-5o層	8区・B4e	壺形か	4群	【体】橋状把手(吊手),隆線文,内外面に赤彩あり	62-11	RP302
81-8	SX120-5層/6層	8区・S7	壺形か	4群	橋状把手(貫通孔が正面3・上端面1),隆線文,内外面に赤彩あり	62-12	RP303
81-9	SX120-5層	8区・N4	壺形か	4群	橋状把手(正面に貫通孔),内外面に赤彩あり	62-13	RP304
81-10	SX120-5層	8区・OS1	壺形	4群か	橋状把手(橋上部が十字)	62-14	RP305
81-11	SX120-5層	6区	台付深鉢か	4群か	【体】縄文(LR),【台】円形の透かし孔(4単位),区画隆線文(方形区画文か)	63-1	RP306
81-12	SX120-5o層	8区・B4c	深鉢	3群	口径(16.9 cm),波状線(4単位か),【口】隆線文(渦巻文),【体】隆線文(渦巻文・懸垂文),縄文(LR)	63-4	RP307
81-13	SX120-5層	6区・N2	深鉢	3群	【口】半円形の突起+隆線文(渦巻文),【体】隆線文,縄文(RLR)	63-5	RP308
81-14	SX120-5o層	8区・B7	深鉢	3群	【口】半円形の突起,隆線文(渦巻文),【体】隆線文(渦巻文),縄文(RL)→隆線文	63-6	RP309
81-15	SX120-5層	8区・OS1	深鉢	3群	【頸】下端に隆線(稜)+刻み,縄文(RL)→3条1組の沈線(弧状文か)	63-3	RP310
81-16	SX120-5層	8区・S7	深鉢	3群か	【体】区画沈線文,区画内に沈線文(楕円文・渦巻文),縄文(RL),充填縄文	63-7	RP311

第 81 図 SX120 遺物包含層出土土器 (46) 5 層⑬



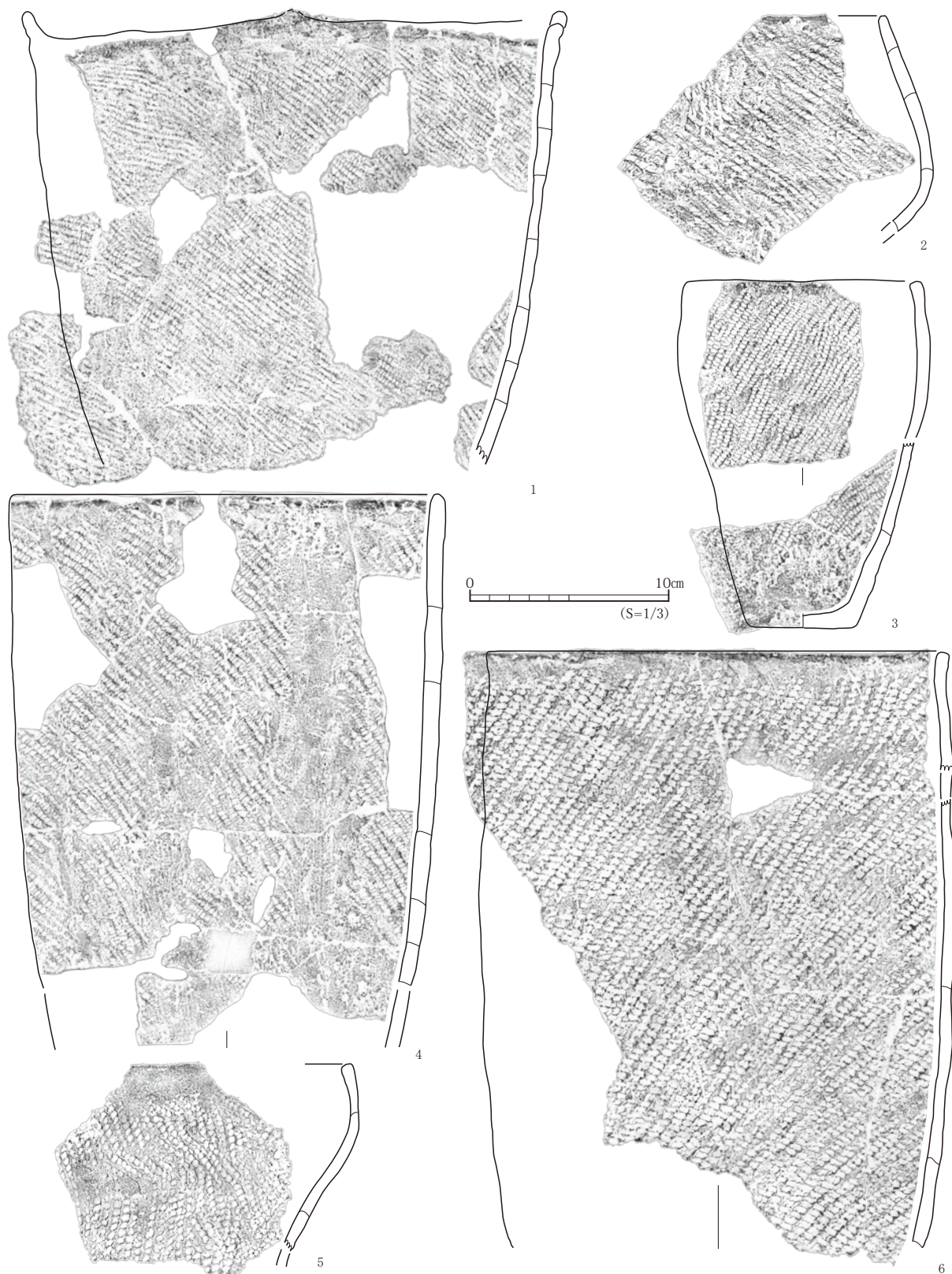
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
82-1	SX120-5f層	6区・N2N3	深鉢	3群	【体】下端まで隆沈線文(懸垂文・渦巻文), 縄文(LR)	63-8	RP312
82-2	SX120-5o層	8区・B7	深鉢	3群か	口径(13.0) cm, 【口】低い山形突起, 【体】縄文(RLR)→沈線文(平行沈線, クランク状文)	63-9	RP313
82-3	SX120-5層	6区・N3	深鉢		口径24.1cm, 残存高40.7cm, 平縁, 【口頭】無文(ミガキ), 区画沈線, 縄文(LR)	63-10	RP314
82-4	SX120-5層	8区・N5	深鉢		口径(14.8) cm, 底径5.2cm, 器高19.1cm, 平縁, 縄文(RL・横回転), 体下端～底面はミガキ	64-1	RP315
82-5	SX120-5層	8区・N5	深鉢		口径(23.8) cm, 平縁, 【口頭】無文(ミガキ), 【体】縄文(LR)	64-4	RP316

第 82 図 SX120 遺物包含層出土土器 (47) 5 層⑰



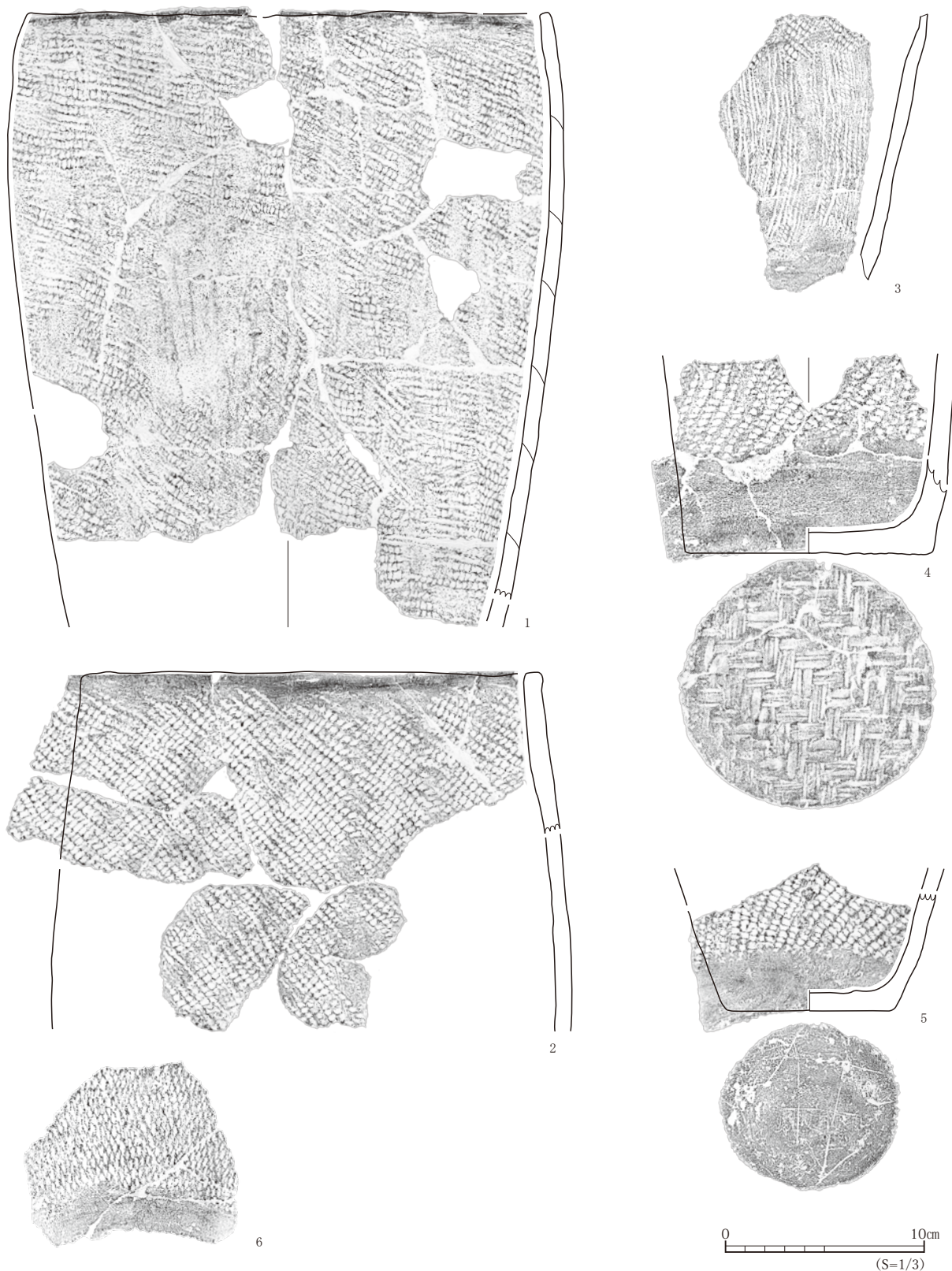
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
83-1	SX120-5層	8区・OSe	深鉢		口径 (24.4) cm, 残存高30.0cm, 平縁, 【口】無文 (ナデ), 【体】縄文 (LR)	64-3	RP317
83-2	SX120-5m層	8区・B6	深鉢		口径 (14.2) cm, 平縁, 【口】無文 (ミガキ), 【体】縄文 (LR)	65-4	RP318
83-3	SX120-5層	6区・N1	深鉢		口径 (25.9) cm, 平縁, 【口】無文 (ミガキ), 【体】縄文 (LR・LR直前段多条, 原体2種類)	64-2	RP319
83-4	SX120-5o層	8区・B6	深鉢		口径 (26.8) cm, 平縁, 【口】無文帯 (ミガキ), 【体】縄文 (LR)	64-5	RP320
83-5	SX120-5層	8区・N4	深鉢		口径 (27.1) cm, 平縁, 縄文 (LR)	65-1	RP321

第 83 図 SX120 遺物包含層出土土器 (48) 5 層^⑮



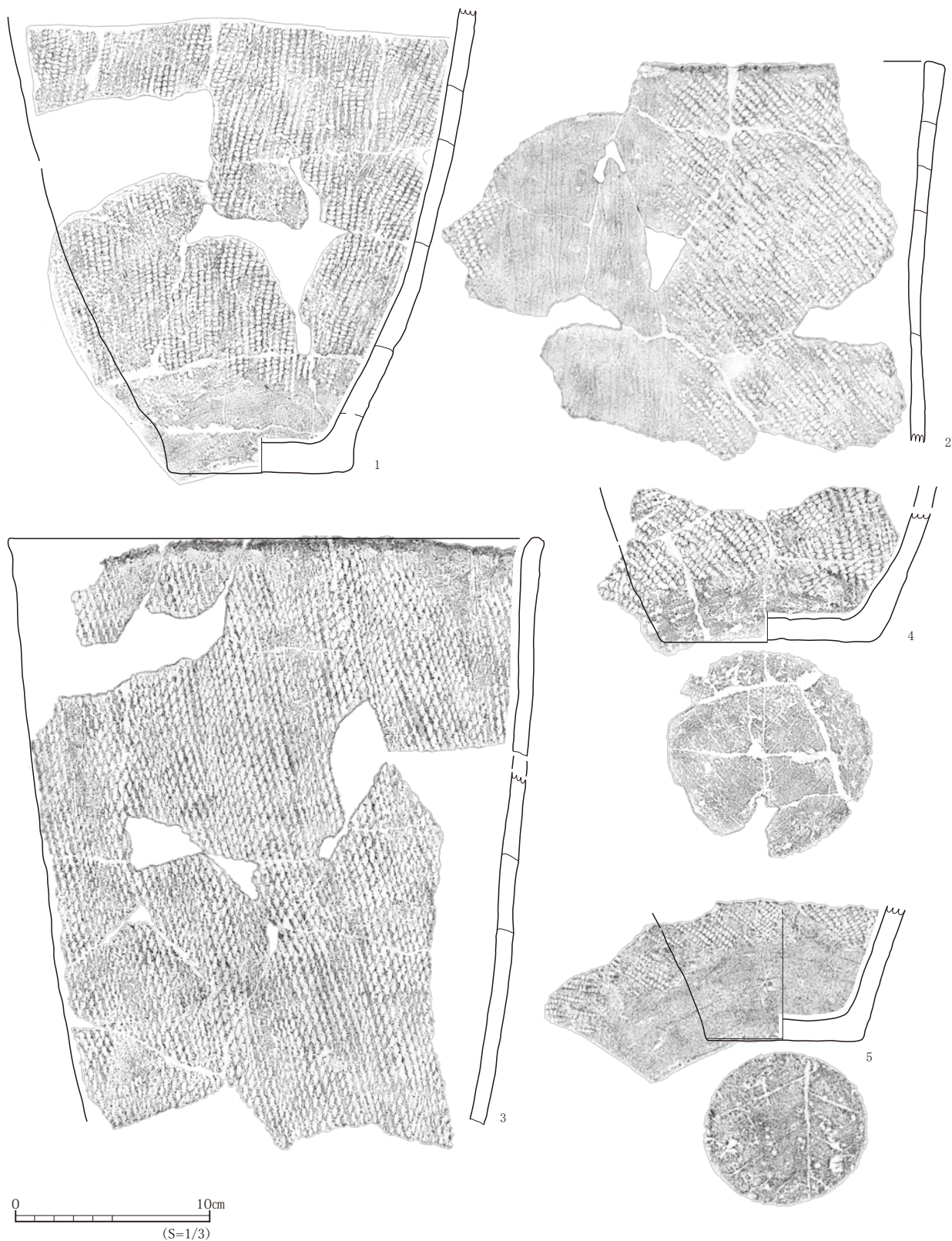
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
84-1	SX120-5層	6区・N3	深鉢		口径(27.0)cm,山形突起(4単位か),縄文(LR)	66-1	RP322
84-2	SX120-5層	8区・B5	深鉢		平縁,縄文(LR)	65-5	RP323
84-3	SX120-5層	8区・B6	深鉢		口径(12.0)cm,底径5.2cm,器高(17.5)cm,平縁,縄文(RL),体部下端～底面はナデ	65-2	RP324
84-4	SX120-5c層	6区・N2N3	深鉢		口径(21.9)cm,残存高28.0cm,平縁,縄文(LR)	65-3	RP325
84-5	SX120-5層	6区・N2	深鉢		平縁,【口】無文(ミガキ),【体】縄文(RL,口縁付近のみ横回転)	65-6	RP326
84-6	SX120-5層	8区・S7	深鉢		口径(23.2)cm,残存高30.1cm,平縁,縄文(RL)	66-2	RP327

第 84 図 SX120 遺物包含層出土土器 (49) 5 層^⑨



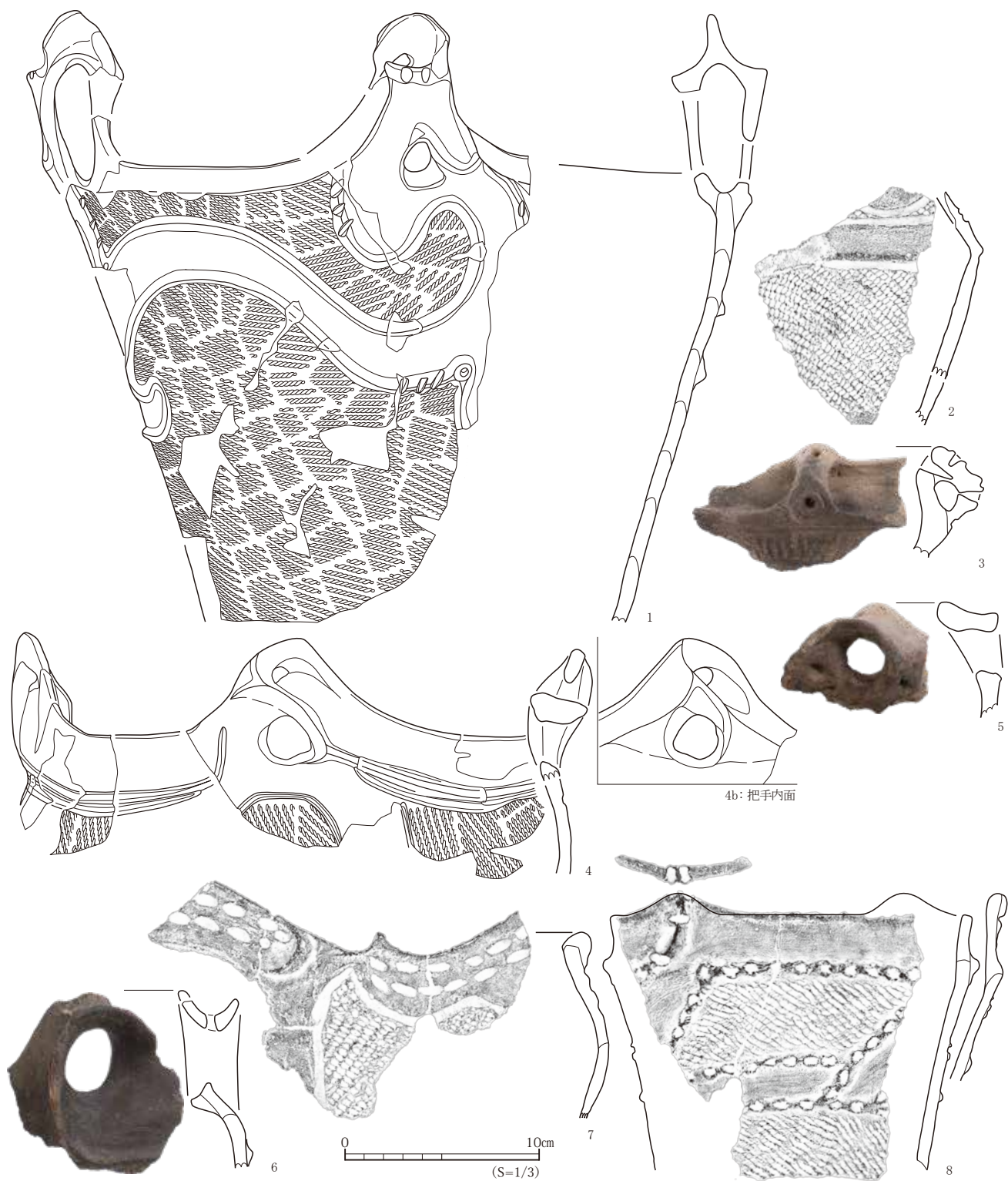
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
85-1	SX120-5⑧層	8区・B5	深鉢		口径(26.2)cm,残存高28.0cm,平縁,縄文(LR)	67-1	RP328
85-2	SX120-5⑥層	8区・B4e	深鉢		口径(23.1)cm,平縁,【口】無文(ナデ),【体】縄文(LR)	67-2	RP329
85-3	SX120-5⑥層	8区・B4c	深鉢		【体】縄文原体2種類,上半は縄文(LR),下半は燃糸文(R),下端はミガキ	67-3	RP330
85-4	SX120-5j層	8区・B4w	深鉢		底径12.2cm,縄文(RLR),体部下端はミガキ,【底】網代痕(2本越2本潜1本送)	67-4	RP331
85-5	SX120-5層	8区・OS1	深鉢		底径8.1cm,縄文(RL),体部下端はミガキ,【底】木葉痕	67-5	RP332
85-6	SX120-5⑥層	8区・B6	深鉢		底径5.8cm,燃糸文(L),体部下端～底面はミガキ	68-2	RP333

第 85 図 SX120 遺物包含層出土土器 (50) 5 層②



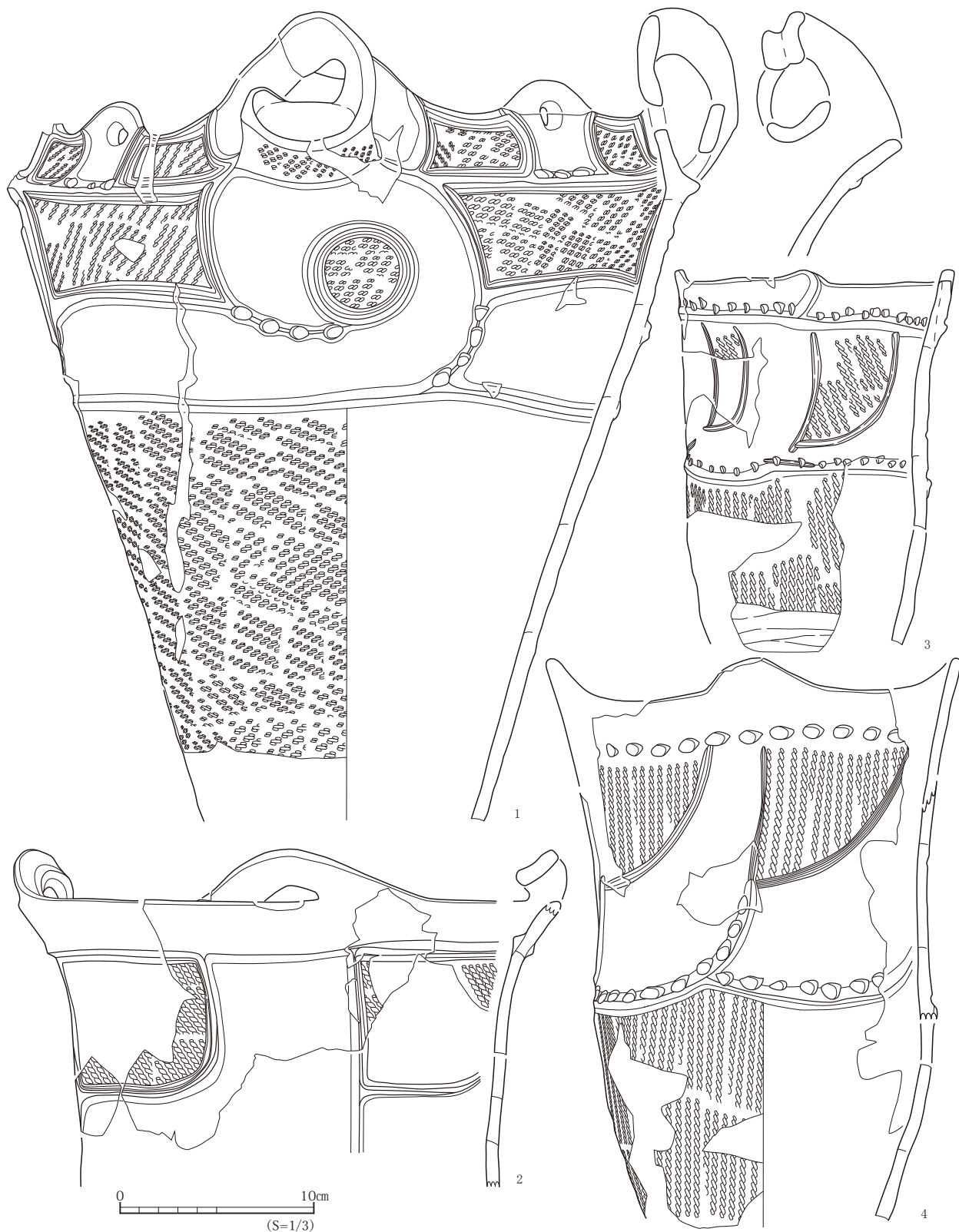
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
86-1	SX120-5層	6区・N2N3	深鉢		底径9.0cm,縄文(RL),体部下端～底面はミガキ	68-1	RP334
86-2	SX120-5層	8区・N6	深鉢		平縁,縄文(LR)と無文部(ミガキ)が交互配置か	68-4	RP335
86-3	SX120-5層	8区・OS2	深鉢		口径(27.6)cm,残存高30.2cm,平縁,燃糸文(L)	68-5	RP336
86-4	SX120-5層	8区・N5	深鉢		底径10.6cm,縄文(RL),体部下端はミガキ,【底】葉痕(網状葉脈)	67-6	RP337
86-5	SX120-5a層	8区・B4e	深鉢		底径7.9cm,縄文(LR),体部下端はミガキ,【底】木葉痕(網状葉脈)	68-3	RP338

第 86 図 SX120 遺物包含層出土土器 (51) 5 層①



図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
87-1	SX120-6層	6区・S1	深鉢	5群	口径(33.1)cm,環状把手(メビウスの帯状のひねり・4単位か),【体】区画隆線文(横S字状文・4単位)+2個1対の刻目文・ボタン状貼付文,縄文(L,R),充填縄文	69-1	RP339
87-2	SX120-6層	8区・B6	壺形か	5群か	【体】区画沈線文,縄文(L,R),下端はミガキ	69-2	RP340
87-3	SX120-6層	6区・S3南壁	深鉢	5群か	【口】8字状の橋状把手(小裝飾か),【体】沈線,縄文(RL)	69-3	RP341
87-4	SX120-6層	6区・S3	深鉢	4群	口径28.6cm,環状把手(メビウスの帯状のひねり・貫通孔,4単位),【頸】隆線(区画)【体】区画沈線文(横6d字状文か),捺糸文(L),充填縄文	69-7	RP342
87-5	SX120-6層	6区・S1	深鉢	4群	環状把手(メビウスの帯状のひねり),【口】把手下部に区画沈線文(弧状文),区画内に刺突文	69-9	RP344
87-6	SX120-6層	8区・B4c	深鉢	4群	環状把手(メビウスの帯状のひねり),上端面に貫通孔,隆線文	69-8	RP343
87-7	SX120-6層	8区・S7	深鉢	4群	波状縁,【口】波底部に小突起,刺突列(2列),ヒレ状隆線,【体】区画沈線文,縄文(RL)	69-6	RP885
87-8	SX120-6層	6区・S1	深鉢	4群	口径(18.5)cm,山形突起(頂部に刻み),【口頸】突起下に隆線文(ノ字状)+2個1対の刻目文(直交),【体】区画鎖状隆線文(逆コ字状文か)+ボタン状貼付,縄文(L),磨消縄文	69-4	RP345

第 87 図 SX120 遺物包含層出土土器 (52) 6 層①



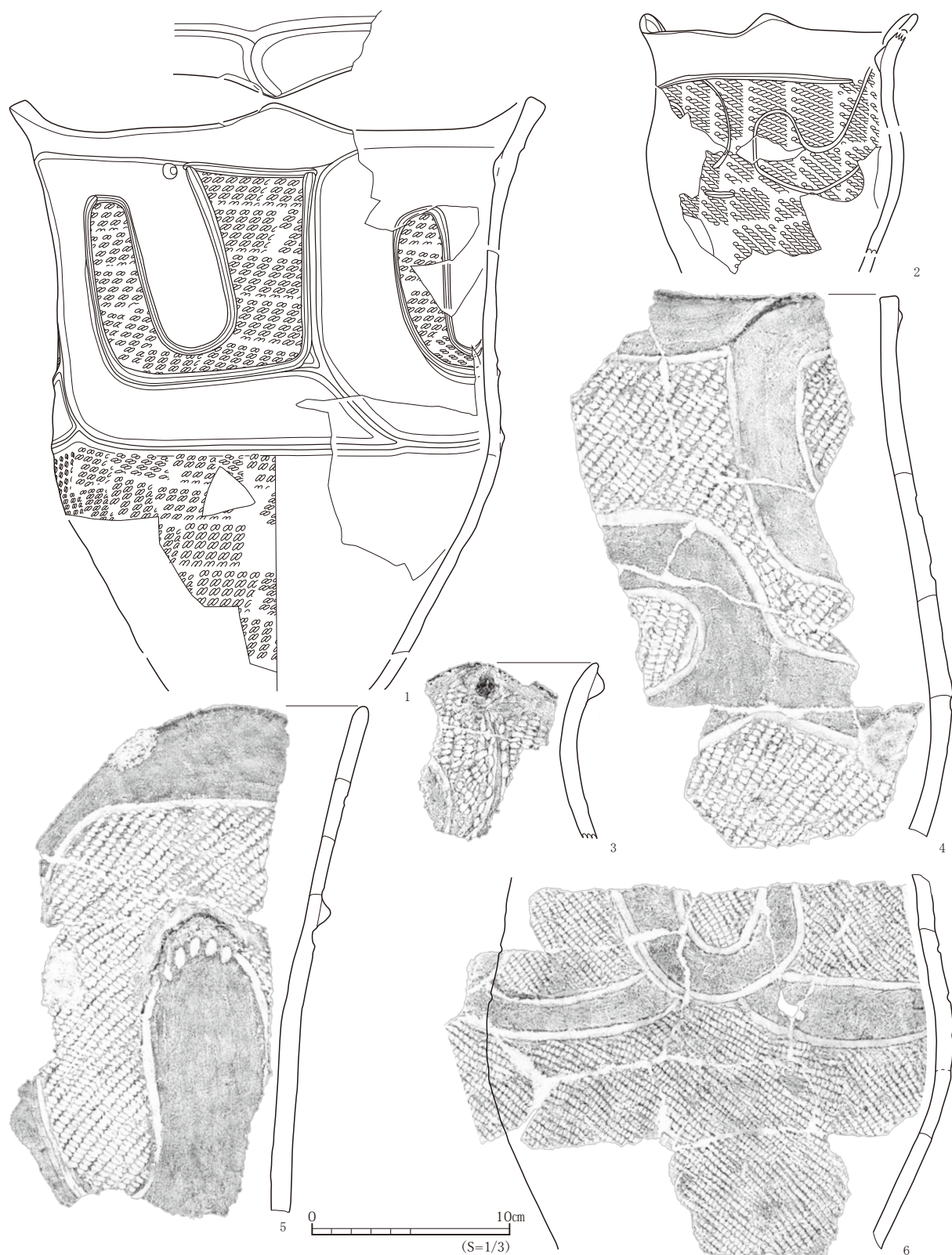
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
88-1	SX120-6層	6区・S1	深鉢	4群	口径(32.2)cm,残存高42.0cm,【口】大装飾:環状把手(注口部付・注口部なし計4単位),小装飾:環状把手(4単位),【口頸】区画隆線・沈線文(方形文),【体】区画隆線文・沈線文(横6字状文・4単位)+短い鎖状隆線,縄文(LRL・Lℓ反摺,原体2種類),充填縄文	71-1 72-1	RP346
88-2	SX120-6層	8区・S6	深鉢	4群	口径(27.3)cm,環状把手(メビウスの帯状のひねり・4単位),【頸】内面に隆線文(区画),【体】区画隆線文・沈線文(逆L字状文か・4単位か),縄文(LR),磨消縄文	71-2	RP347
88-3	SX120-6層	8区・S4	深鉢	4群	口径14.4cm,残存高19.8cm,山形突起(4単位/ノ字状隆線),区画隆線・沈線文(ノ字状文・5単位)+隆線に沿う刺突列,燃糸文(R),体部下端はミガキ	70-3	RP348
88-4	SX120-6層	6区・B1s	深鉢	4群	口径21.4cm,残存高29.4cm,波状縁(5単位か),【頸】刺突列,【体】区画隆線文・沈線文(ノ字状文・5単位か)+刺突列(隆線に沿う),燃糸文(R),磨消縄文	73-1	RP349

第 88 図 SX120 遺物包含層出土土器 (53) 6 層②



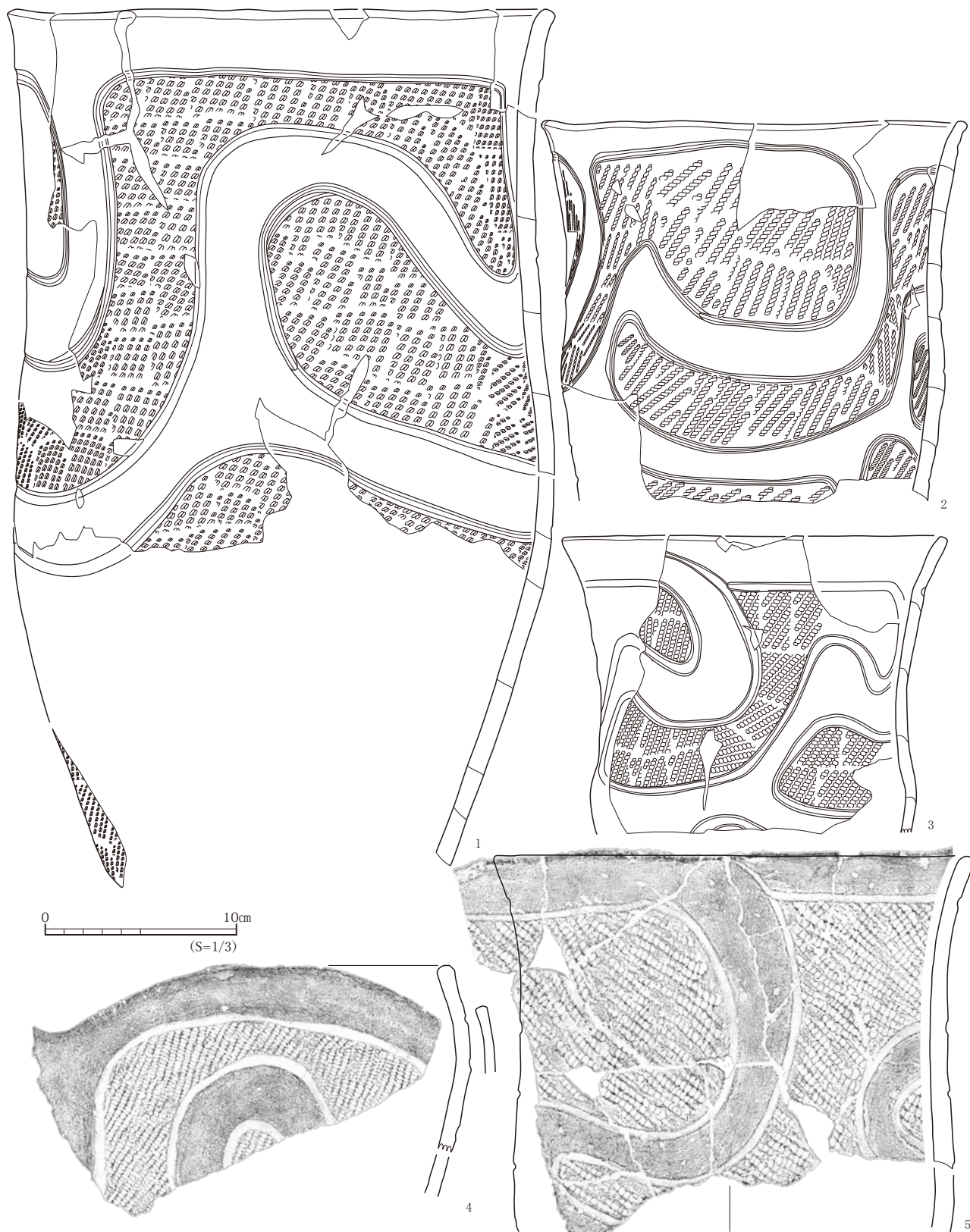
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
89-1	SX120-6層	8区・B6	深鉢	4群	口径(26.5)cm,底径6.6cm,器高(42.3)cm,山形突起(4単位)【口頭】刺突列が沿う隆線文(区画・ノ字状),【体】区画隆線・沈線文(ノ字状文・8単位)+刺突列,下書き沈線,縄文(LR前々段多条),充填縄文,体部下端はミガキ,【底】網代痕(1本越1本潜1本送)	70-1	RP350
89-2	SX120-6層	8区・S6	深鉢	4群	環状把手(欠落),【口頭】刺突列が沿う隆線文,【体】区画沈線文(逆ノ字状文か),縄文(RL),充填縄文	72-2	RP351
89-3	SX120-6層	8区・B6	深鉢	4群	環状把手付か(欠落),【口頭】区画隆線文,【体】区画沈線文(横S字状文か),縄文(LR),充填縄文	72-3	RP352
89-4	SX120-6層	8区・S6	深鉢	4群	口径(24.1)cm,平縁,【体】区画沈線文(コ字状文・楕円文か)+ヒレ状隆線,燃糸文(L),充填縄文,沈線→燃糸文(L)→ヒレ状隆線→沈線引直し	70-3	RP353

第 89 図 SX120 遺物包含層出土土器 (54) 6 層③



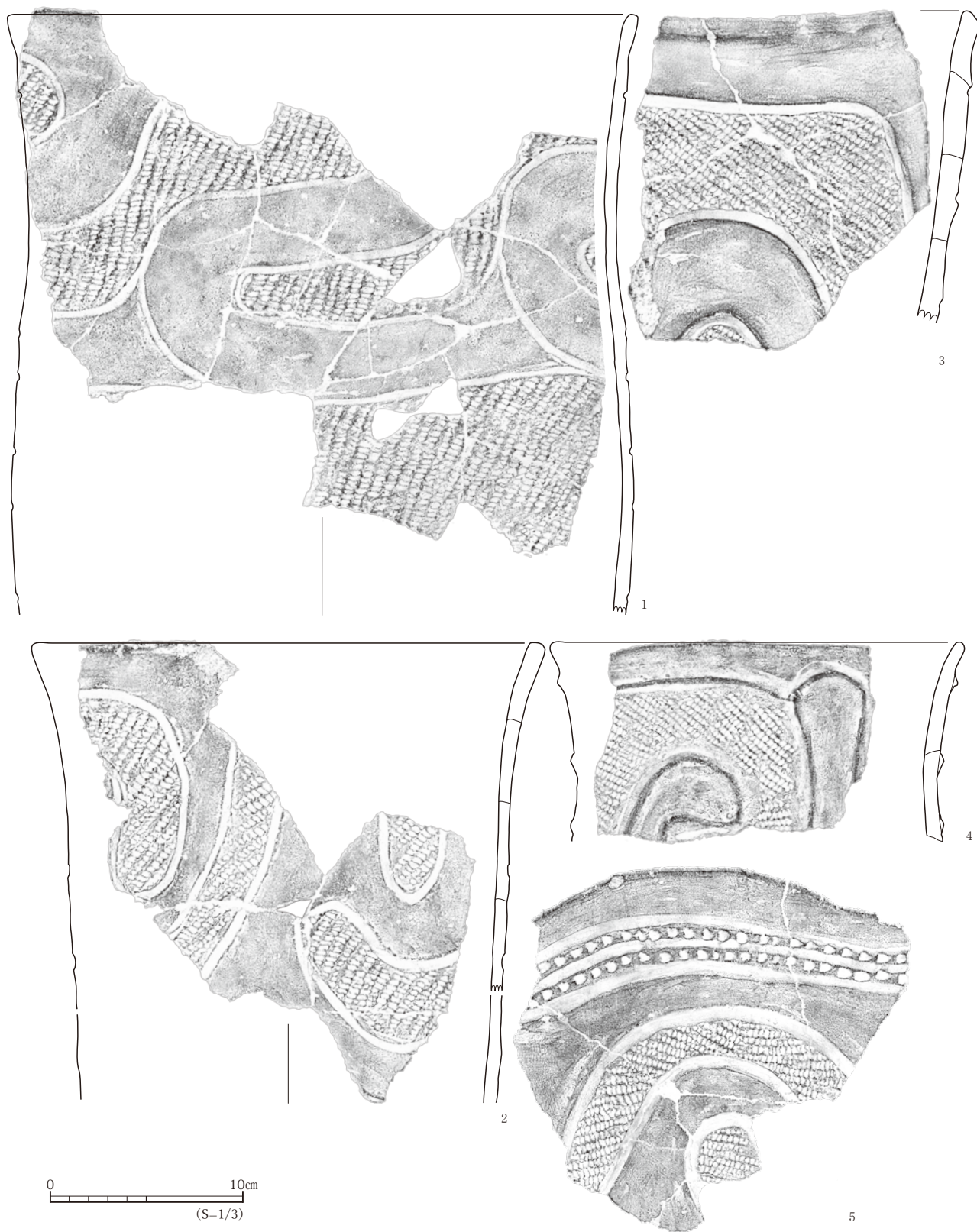
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
90-1	SX120-6層	6区・S3	深鉢	4群	口径(24.6)cm,残存高30.1cm,山形突起(4単位),【口頸】内面に隆線文(ノ字状・区画),【体】区画隆線文・沈線文(横d字状文・4単位)+盲孔(刺突),縄文(RLR),磨消縄文か	73-3	RP354
90-2	SX120-6層	6区・S2	深鉢	4群	山形突起(4単位),【口頸】内面に隆線文(ノ字状・区画)【体】縄文(LR)→沈線文	70-2	RP355
90-3	SX120-6層	6区・北壁	深鉢	4群	波状縁,波頂部下に貼瘤,【体】区画沈線文+刺突列,縄文(RL),磨消縄文	70-5	RP356
90-4	SX120-6層	8区・S7	深鉢	4群	平縁,【口〜体】区画沈線文(S字状文)+ヒレ状隆線,縄文(RL),充填縄文か	73-2	RP357
90-5	SX120-6層	8区・B4c	深鉢	4群	波状縁,区画沈線文(波濤文か)+ヒレ状隆線・刺突列,縄文(RL),磨消縄文	70-6	RP358
90-6	SX120-6層	8区・B4c	深鉢	4群	【体】区画沈線文(O字状文か),縄文(LR),磨消縄文	70-4	RP359

第 90 図 SX120 遺物包含層出土土器 (55) 6 層④



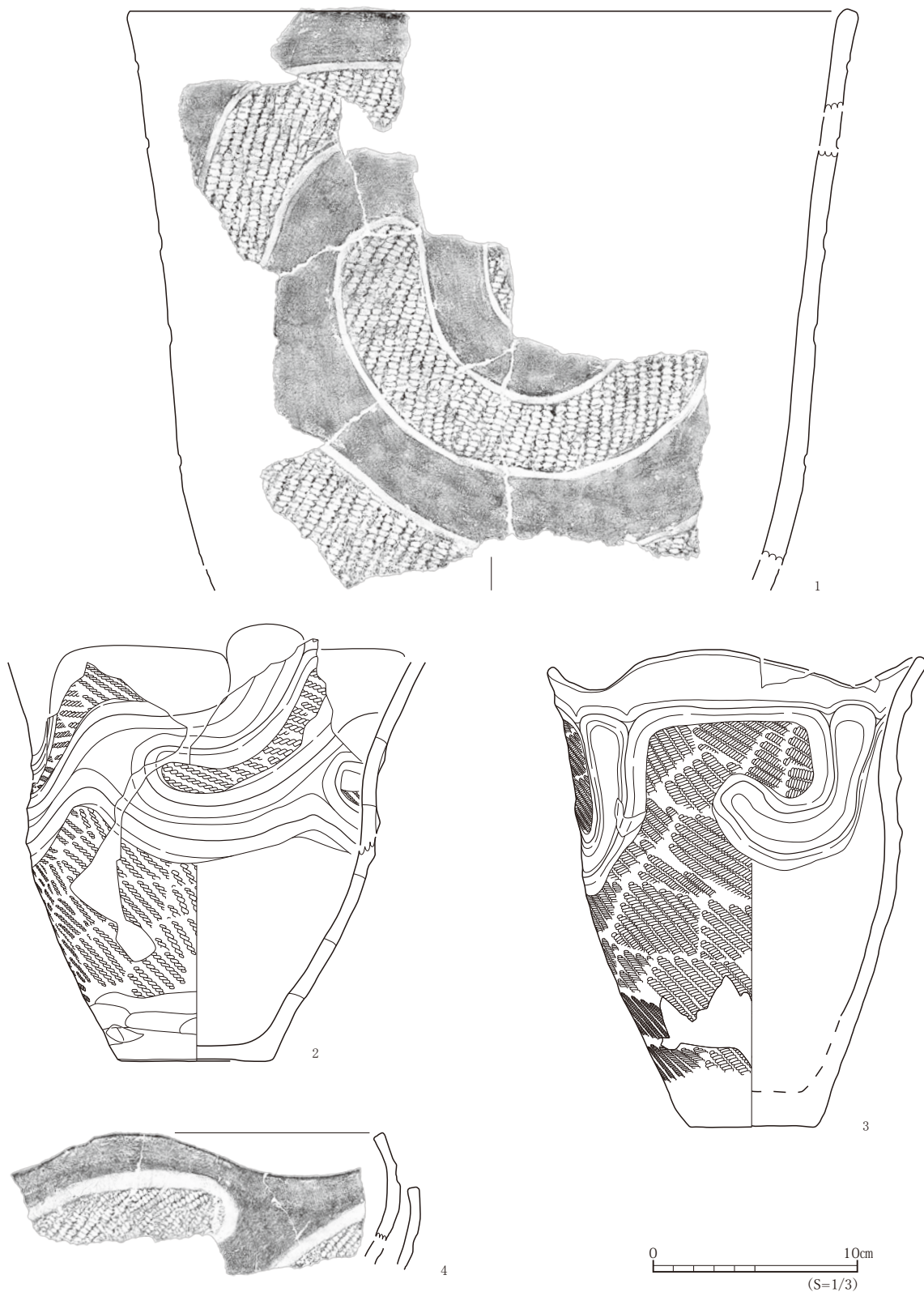
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
91-1	SX120-6層	6区・S3	深鉢	4群	口径 (28.5) cm, 残存高47.0cm, 平縁, 【体】区画沈線文 (横S字状文・4単位), 縄文 (RLR), 磨消縄文	74-1	RP360
91-2	SX120-6層	6区・N3	深鉢	4群	口径 (22.2) cm, 平縁, 【体】区画沈線文 (J字状文・4単位), 縄文 (RL), 充填縄文	75-1	RP361
91-3	SX120-6層	8区・OS1	深鉢	4群	口径 (20.1) cm, 【体】区画沈線文 (J字状文・4単位か), 縄文 (RL), 充填縄文	74-4	RP362
91-4	SX120-6層	6区・N2	深鉢	4群	波状縁, 【体】区画沈線文 (横S字状文か), 縄文 (RL), 充填縄文	75-2	RP363
91-5	SX120-6層	6区・B1s	深鉢	4群	口径 (25.6cm), 平縁, 【体】区画沈線文 (J字状文), 縄文 (LR)	75-3	RP364

第 91 図 SX120 遺物包含層出土土器 (56) 6 層⑤



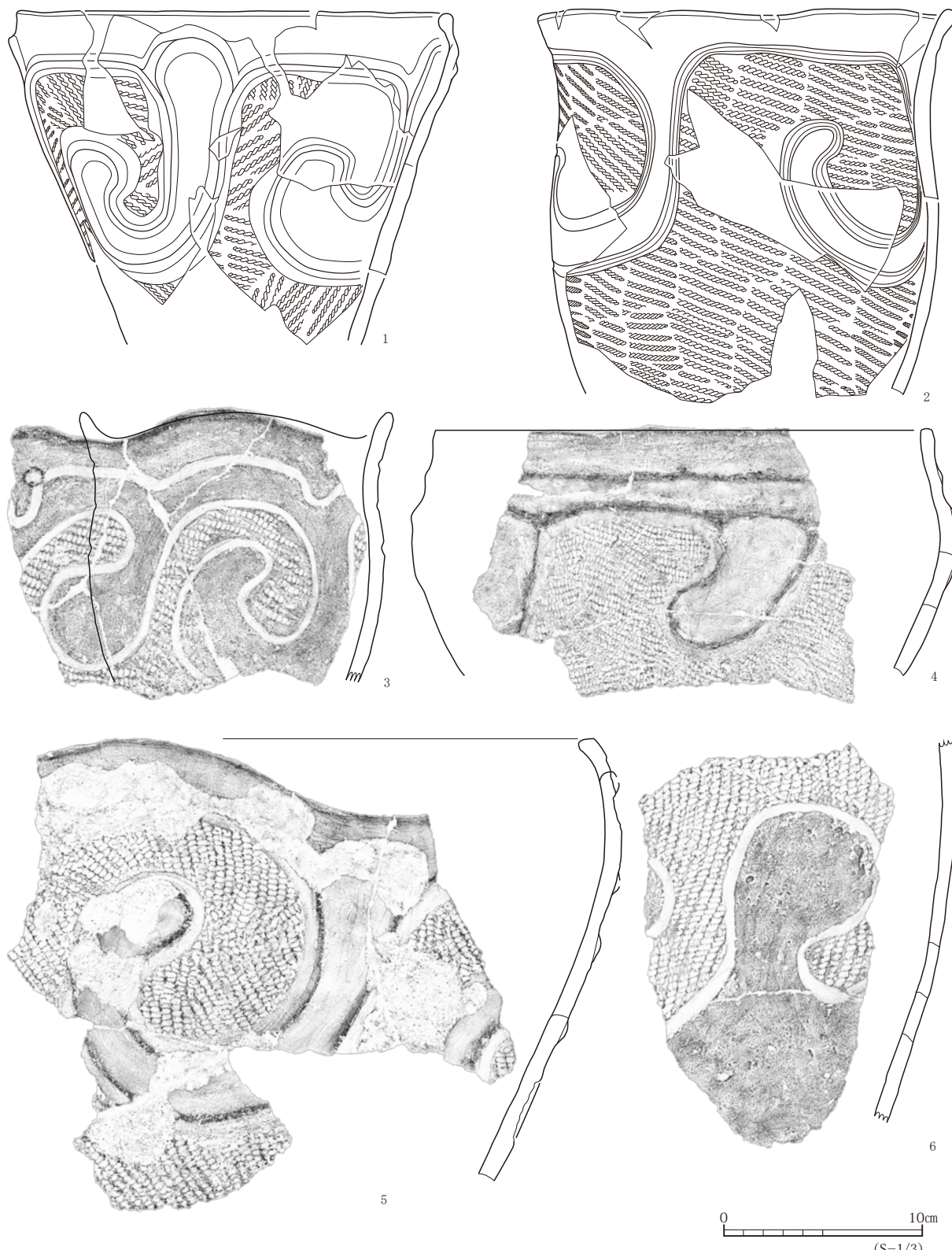
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
92-1	SX120-6層	6区・N1	深鉢	4群	口径 (32.0) cm, 平縁, 【体】区画沈線文 (横S字状文), 縄文 (RL), 充填縄文	75-4	RP365
92-2	SX120-6層	8区・OS1	深鉢	4群	口径 (30.4) cm, 平縁, 【体】区画沈線文 (横S字状文か), 縄文 (LR)	74-2	RP366
92-3	SX120-6層	8区・B4c	深鉢	4群	口径26.4) cm, 平縁, 【体】区画沈線文 (横S字状文), 縄文 (LR), 充填縄文	75-5	RP367
92-4	SX120-6層	8区・N6	深鉢	4群	口径 (21.6) cm, 平縁, 【体】区画隆線文 (横S字状文か), 縄文 (LR), 充填縄文	74-3	RP368
92-5	SX120-6層	8区・B7	深鉢	4群	波状縁, 【口頸】平行沈線・刺突列, 【体】区画沈線文 (横S字状文か), 縄文 (LR), 充填縄文, 無文部はミカキ	75-6	RP369

第 92 図 SX120 遺物包含層出土土器 (57) 6 層⑥



図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
93-1	SX120-6層	8区・N5	深鉢	4群	口径(35.4)cm,平縁か,【体】区画沈線文(横S字状文),縄文(RL),充填縄文	76-1	RP370
93-2	SX120-6層	8区・N5	深鉢	4群	底径7.6cm,【体】区画隆線文(横S字状文・4単位),縄文(LR),充填縄文,下端～底部はミガキ	76-2	RP371
93-3	SX120-6層	6区・N2	深鉢	4群	口径18.4cm,底径6.0cm,器高24.0cm,波状縁(4単位),【体】区画隆線文(波濤文・4単位),縄文(LR),磨消縄文,下端～底部はナデ	76-5	RP372
93-4	SX120-6層	8区・B7	深鉢	4群	口径(15.2)cm,波状縁,【体】区画沈線文(波濤文か),縄文(LR),充填縄文	77-6	RP373

第 93 図 SX120 遺物包含層出土土器 (58) 6 層⑦



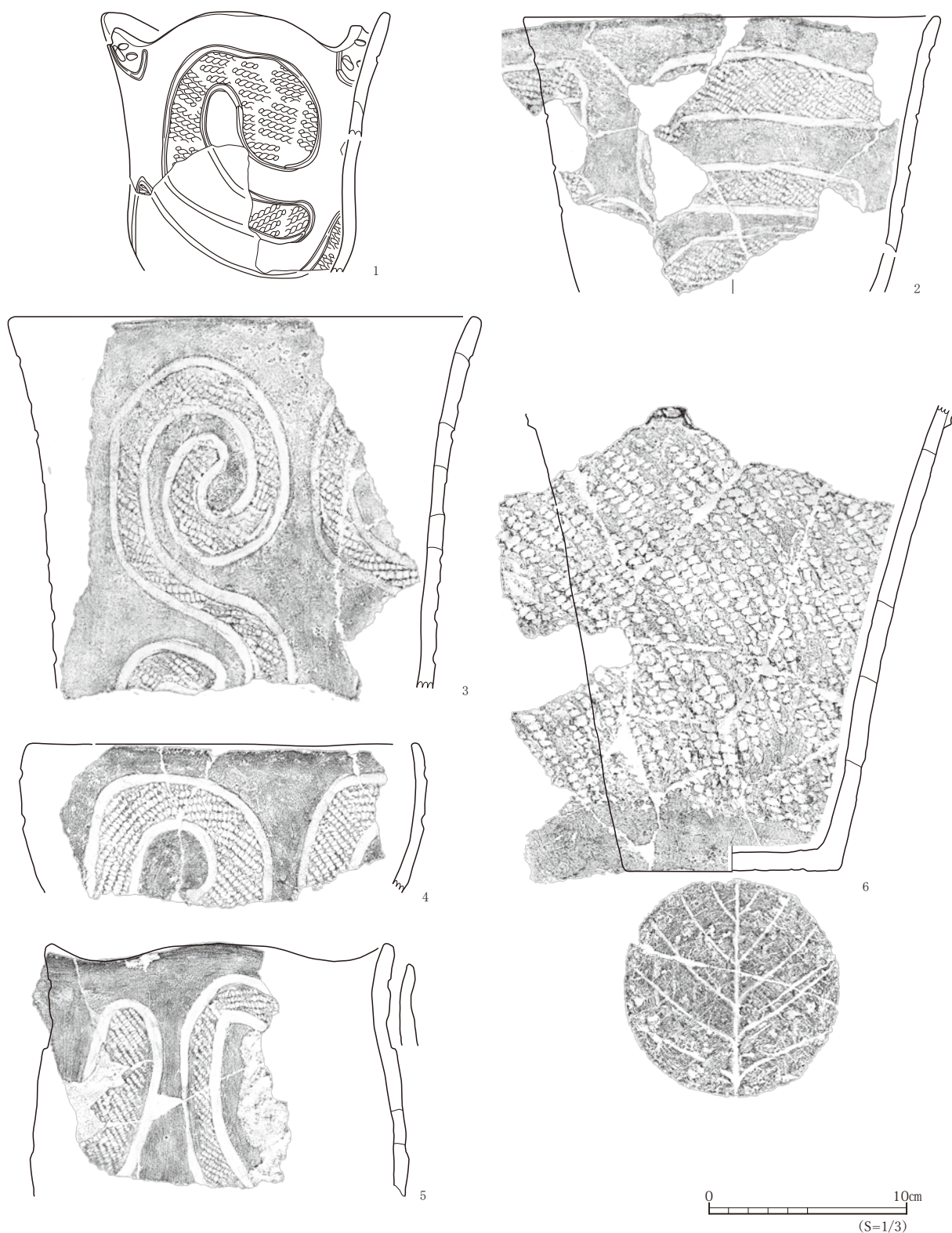
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
94-1	SX120-6層	8区・B4c	深鉢	4群	口径21.6cm,平縁,【体】区画隆線文(波濤文・5単位),縄文(LR),充填縄文	76-4	RP374
94-2	SX120-6層	6区・N2	深鉢	4群	口径21.1cm,平縁,【体】区画沈線文(波濤文・6単位),縄文(LR),磨消縄文	76-6	RP375
94-3	SX120-6層	8区・B6	深鉢	4群	口径(15.6)cm,大波状,【体】区画沈線文(波濤文),縄文(LR),充填縄文,補修孔あり	76-3	RP376
94-4	SX120-6層	8区・N6	深鉢	4群	口径(25.0)cm,【体】区画隆線文(波濤文),縄文(LR),充填縄文	77-4	RP377
94-5	SX120-6層	8区・N5	深鉢	4群	口径(29.4)cm,波状縁,【体】区画隆線文(波濤文),縄文(LR),充填縄文	77-7	RP378
94-6	SX120-6層	8区・B4c	深鉢	4群	【体】区画沈線文,縄文(RLR),充填縄文,体部下端はナデ	77-5	RP379

第 94 図 SX120 遺物包含層出土土器 (59) 6 層⑧



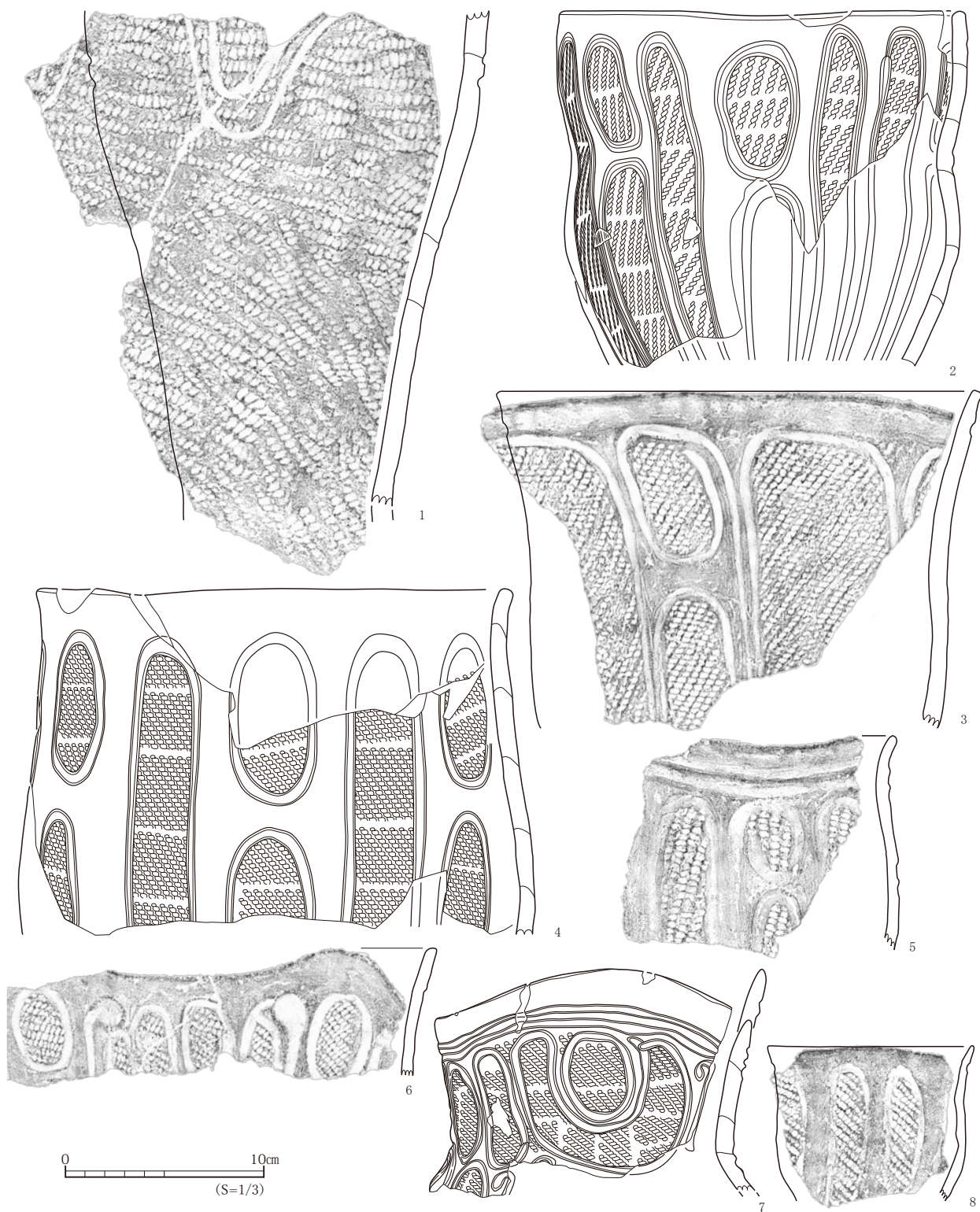
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
95-1	SX120-6層	8区・N5	深鉢	4群	波状縁(4単位),【口頸】隆線区画に刺突列2列,【体】区画隆線文(波濤文か),縄文(RL),充填縄文	77-3	RP380
95-2	SX120-6層	6区・N2	深鉢	4群	口径19.3cm,残存高29.1cm,波状縁(2単位),【体】区画隆線文(逆凹字状文・2単位),縄文(L),体部下端はミガキ	77-2	RP381
95-3	SX120-6層	8区・N6	壺形把手	4群	口径(14.1)cm,平縁,【頸】橋状把手(二股)+区画隆線文,【体】区画隆線文(波濤文か),縄文(LR),充填縄文	77-1	RP382
95-4	SX120-6層	8区・B4c	深鉢	4群	口径24.0cm,残存高20.5cm,平縁,【体】区画隆線・沈線文(横長楕円文・4単位),縄文(LR),充填縄文か,体部下端はミガキ	78-1	RP383
95-5	SX120-6層	8区・S7	壺形把手	4群	【頸】橋状把手(二股)+区画隆線文,【体】区画隆線文	78-2	RP384
95-6	SX120-6層	8区・B6	壺形把手	4群	平縁,【頸】区画隆線文+橋状把手(吊手),【体】隆線・沈線文,縄文(LR)	78-3	RP385
95-7	SX120-6層	6区・S1	壺形把手	4群	【頸】橋状把手(正面に貫通孔)+区画隆線文,赤彩わずかに残存	78-4	RP386
95-8	SX120-6層	8区・S7	壺形把手	4群	平縁,【口頸】橋状把手,【体】区画沈線文,縄文(LR)	78-5	RP387

第 95 図 SX120 遺物包含層出土土器 (60) 6 層⑨



図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
96-1	SX120-6層	6区・S2	深鉢	4群	口径(14.4)cm,波状縁(4単位),【口】波底部に山形突起,突起下に区画沈線文(弧状文),区画内に刺突文,【体】区画沈線文(C字状文,4単位),縄文(LR),充填縄文	78-10	RP388
96-2	SX120-6層	8区・B4c	深鉢	4群	口径(21.0)cm,【体】区画沈線文(C字状文),縄文(LR),充填縄文,無文部はミガキ	78-9	RP389
96-3	SX120-6層	8区・B7	深鉢	4群	口径(24.0)cm,平縁,【体】区画沈線文(S字状の渦巻文),縄文(LR),充填縄文,無文部はナデ	78-7	RP390
96-4	SX120-6層	8区・B7	深鉢	4群	口径(19.8)cm,平縁,【体】区画沈線文(S字状文か),縄文(LR),充填縄文,無文部はミガキ	78-8	RP391
96-5	SX120-6層	8区・N5	深鉢	4群	口径(17.5)cm,波状縁,【体】区画沈線文(C字状文か),縄文(LR),充填縄文,無文部はミガキ	78-11	RP392
96-6	SX120-6層	6区・S3	深鉢	4群か	底径10.8cm,【体】区画隆線文+刻み,縄文(LR・直前段多条か),体部下端はミガキ,【底】木葉痕(網状葉脈)	78-6	RP393

第 96 図 SX120 遺物包含層出土土器 (61) 6 層⑩



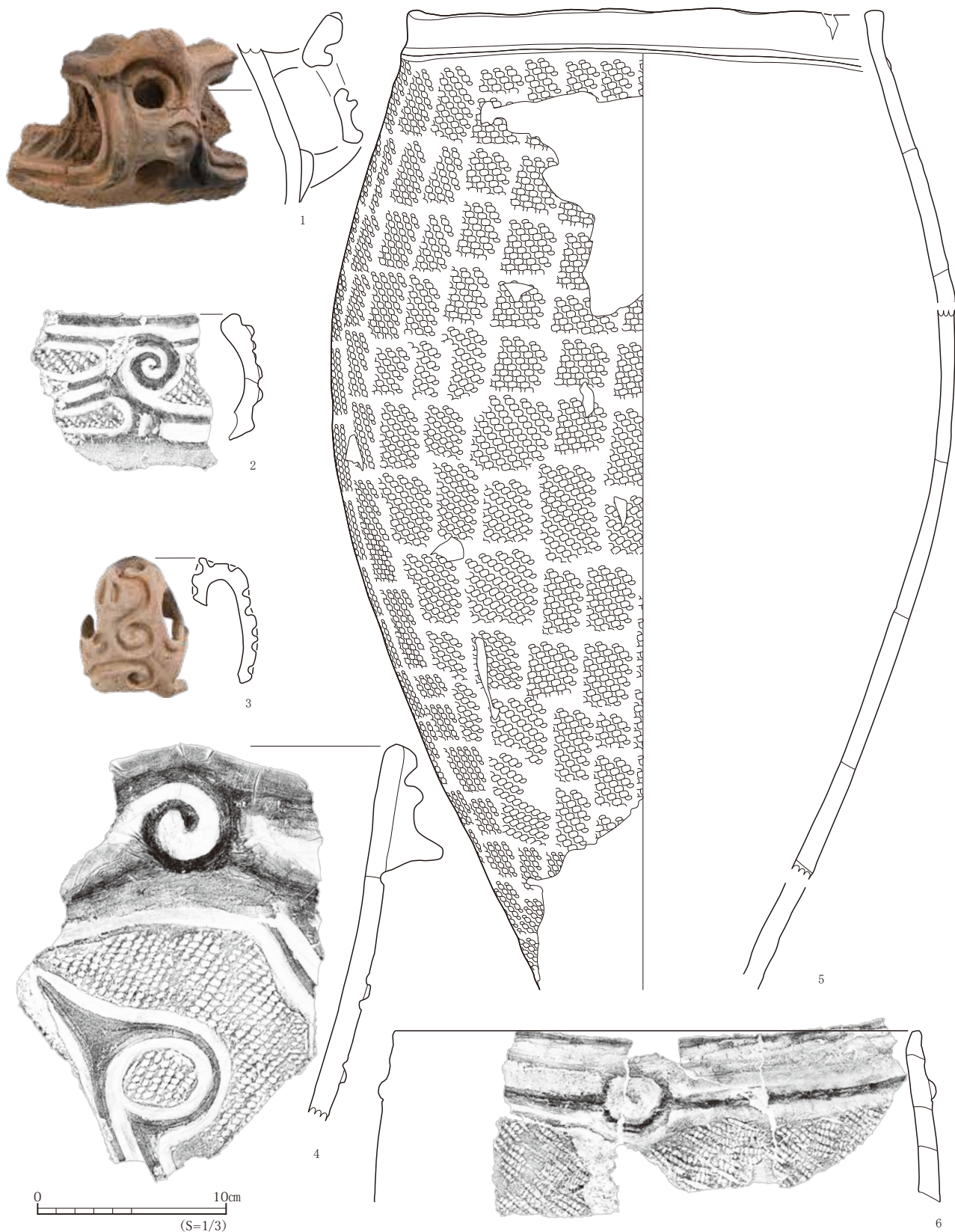
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
97-1	SX120-6層	6区・N3	深鉢	4群か	区画沈線文(U字状文か), 縄文(LR)→沈線	79-1	RP394
97-2	SX120-6層	8区・B4c	深鉢	3群	口径(20.4)cm, 平縁, 【体】区画沈線文(楕円文・n字状文), 縄文(RL)	79-2	RP395
97-3	SX120-6層	8区・S7	深鉢	3群	口径(24.4)cm, 残存高17.9cm, 平縁, 【体】区画沈線文(渦巻文・楕円文), 縄文(RLR), 磨消縄文	79-3	RP396
97-4	SX120-6層	8区・B4c	深鉢	3群	口径(23.6)cm, 平縁, 【体】区画沈線文(楕円文・n字状文), 縄文(LR)	79-9	RP397
97-5	SX120-6層	8区・B4c	深鉢	3群	波状縁, 【口頸】平行沈線文(2条), 【体】区画沈線文(渦巻文, 楕円文・n字状文か), 縄文(RL)	79-4	RP398
97-6	SX120-6層	8区・B4c	深鉢	3群	口径(15.1)cm, 波状縁(4単位), 【体】区画沈線文(楕円文・n字状文・おたまじゃくし状文), 縄文(LR), 充填縄文, 無文部はミガキ	79-6	RP399
97-7	SX120-6層	8区・B7	深鉢	3群	口径(15.8cm), 波状縁(2単位), 【口頸】平行沈線文(2条), 【体】区画沈線文(楕円文・U字文・おたまじゃくし状文), 縄文(LR), 充填縄文	79-7	RP400
97-8	SX120-6層	8区・N5	深鉢	3群	口径(10.2)cm, 残存高7.8cm, 平縁, 【体】区画沈線文(楕円文・n字状文), 縄文(LR)	79-8	RP886

第 97 図 SX120 遺物包含層出土土器 (62) 6 層⑪



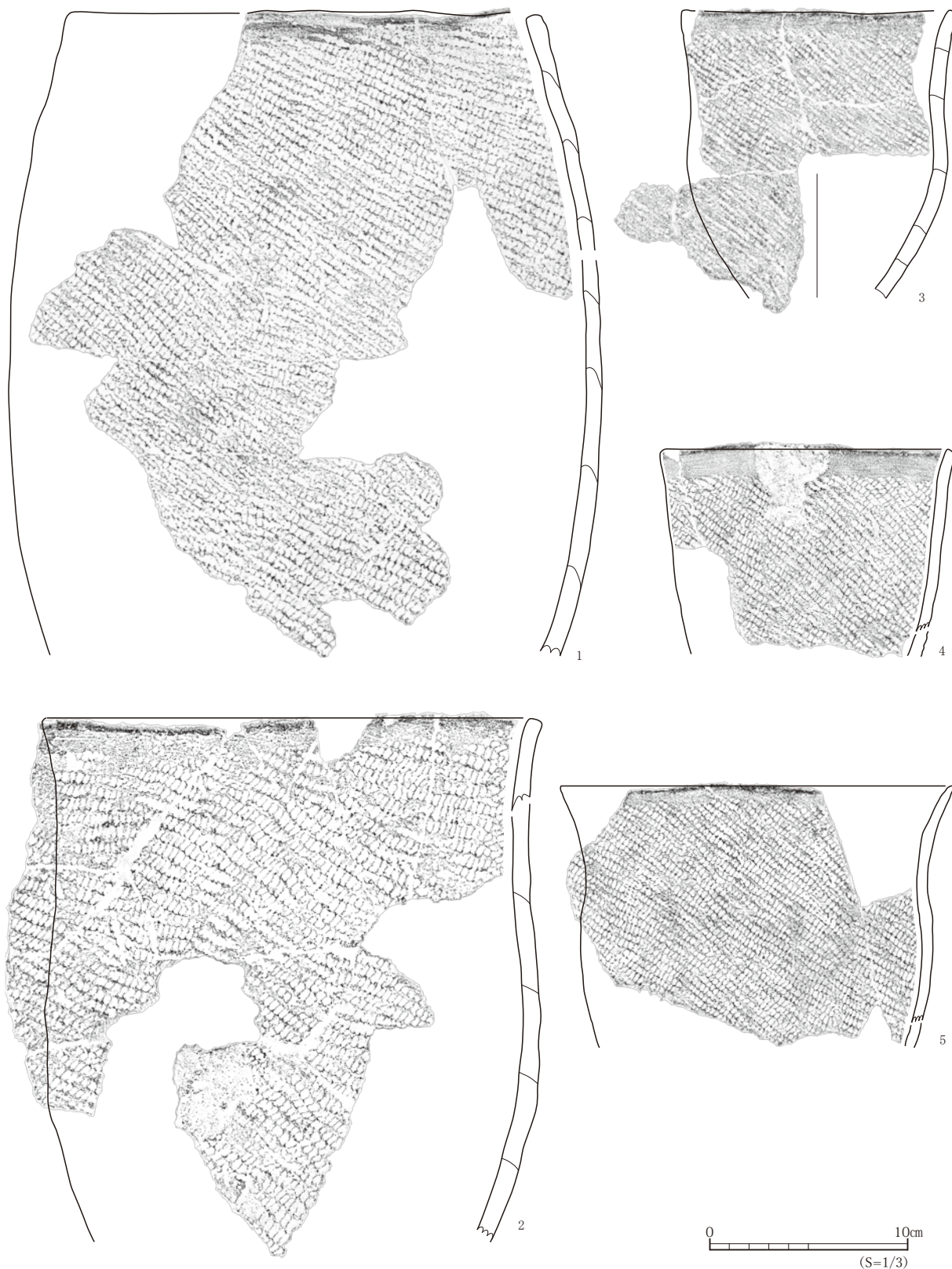
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
98-1	SX120-6層	8区・B4e	深鉢	3群	口径(25.0)cm,底径10.4cm,器高30.4cm,波状縁(4単位),【口頸】平行沈線文(2条),【体】区画沈線文(楕円文・ㇿ字状文・渦巻文),縄文(RLR),充填縄文,【底】ナデ	80-1	RP401
98-2	SX120-6層	8区・N6	深鉢	3群	大波状縁,【口頸】平行沈線文(2条),【体】区画沈線文(楕円文・ㇿ字状文),縄文(LR),無文部はミガキ	79-5	RP402
98-3	SX120-6層	8区・N4	深鉢	3群	【口】半円形突起,隆沈線文(渦巻文),【体】区画沈線文(楕円文・ㇿ文),交点に凸部,縄文(RL),充填縄文	80-2	RP403
98-4	SX120-6層	8区・N5	深鉢	3群	口径(21.0)cm,【口】半円形突起(6単位),隆沈線文(渦巻文),【体】区画沈線文(楕円文・ㇿ字状文),交点に凸部,縄文(RL),充填縄文	80-3	RP404
98-5	SX120-6層	8区・N5	壺	3群	底径5.7cm,残存高11.7cm,【頸】区画隆線文,刺突列,交互刺突文,【体】区画隆沈線文(渦巻文・楕円文・おたまじゃくし状文),縄文(LR),内外面に赤彩残る,【底】穿孔あり	80-4	RP405
98-6	SX120-6層	6区・N1	壺	3群か	【頸】橋状把手,沈線文	80-9	RP406
98-7	SX120-6層	8区・N6	深鉢	3群	波状縁,【口】隆沈線文(渦巻文),【体】区画沈線文(楕円文・罫線),縄文(LR)	80-6	RP407
98-8	SX120-6層	6区・S1	深鉢	3群	波状縁,【口】隆沈線文(渦巻文),【体】区画沈線文(楕円文・罫線),縄文(LR),充填縄文	80-7	RP408
98-9	SX120-6層	6区・N3	深鉢	3群	波状縁,隆沈線文(渦巻文・楕円文),縄文(RL)→隆沈線	80-8	RP409
98-10	SX120-6層	8区・B4e	壺・吊手	3群か	底径6.0cm,体部下端に釣手(2単位)→縄文(LR),【底】ナデ	82-2	RP887

第 98 図 SX120 遺物包含層出土土器 (63) 6 層¹²⁾



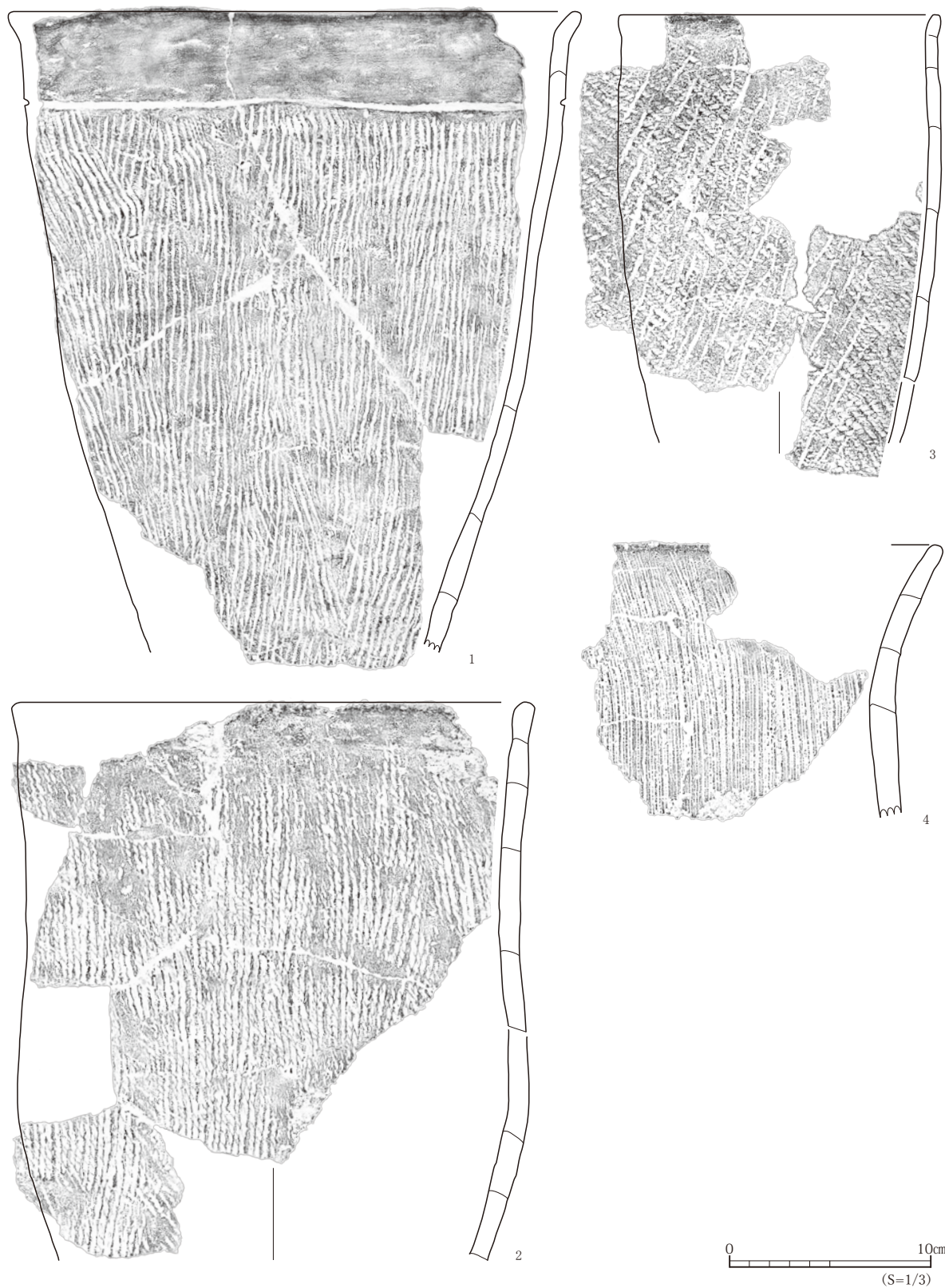
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
99-1	SX120-6層	8区・B5	深鉢	3群	橋状把手に沈線文(渦巻文),【口頸】縄文(RL)→短沈線(矢羽状)→把手	81-2	RP411
99-2	SX120-6層	8区	深鉢	2群	平縁,【口頸】隆沈線文(渦巻文),縄文(RLR)	81-1	RP410
99-3	SX120-6層	8区・S6	深鉢	2群	橋状把手,把手の内外面に沈線文(渦巻文)	81-3	RP412
99-4	SX120-6層	8区・S5	深鉢	2群	波状縁,【口】隆沈線文(渦巻文),【体】隆沈線文(懸垂文・渦巻文),縄文(RLR),縄文→隆沈線	80-5	RP413
99-5	SX120-6層	8区・N4	深鉢		口径(25.2)cm,残存高52.0cm,平縁,【口頸】無文(ミガキ),区画隆縁,【体】縄文(LR)	81-4	RP414
99-6	SX120-6層	8区・B7	深鉢	3群	口径(27.8)cm,平縁,【口頸】無文(ナデ),区画隆縁文+円形貼付文,【体】縄文(LR)	82-1	RP415

第 99 図 SX120 遺物包含層出土土器 (64) 6 層^⑬



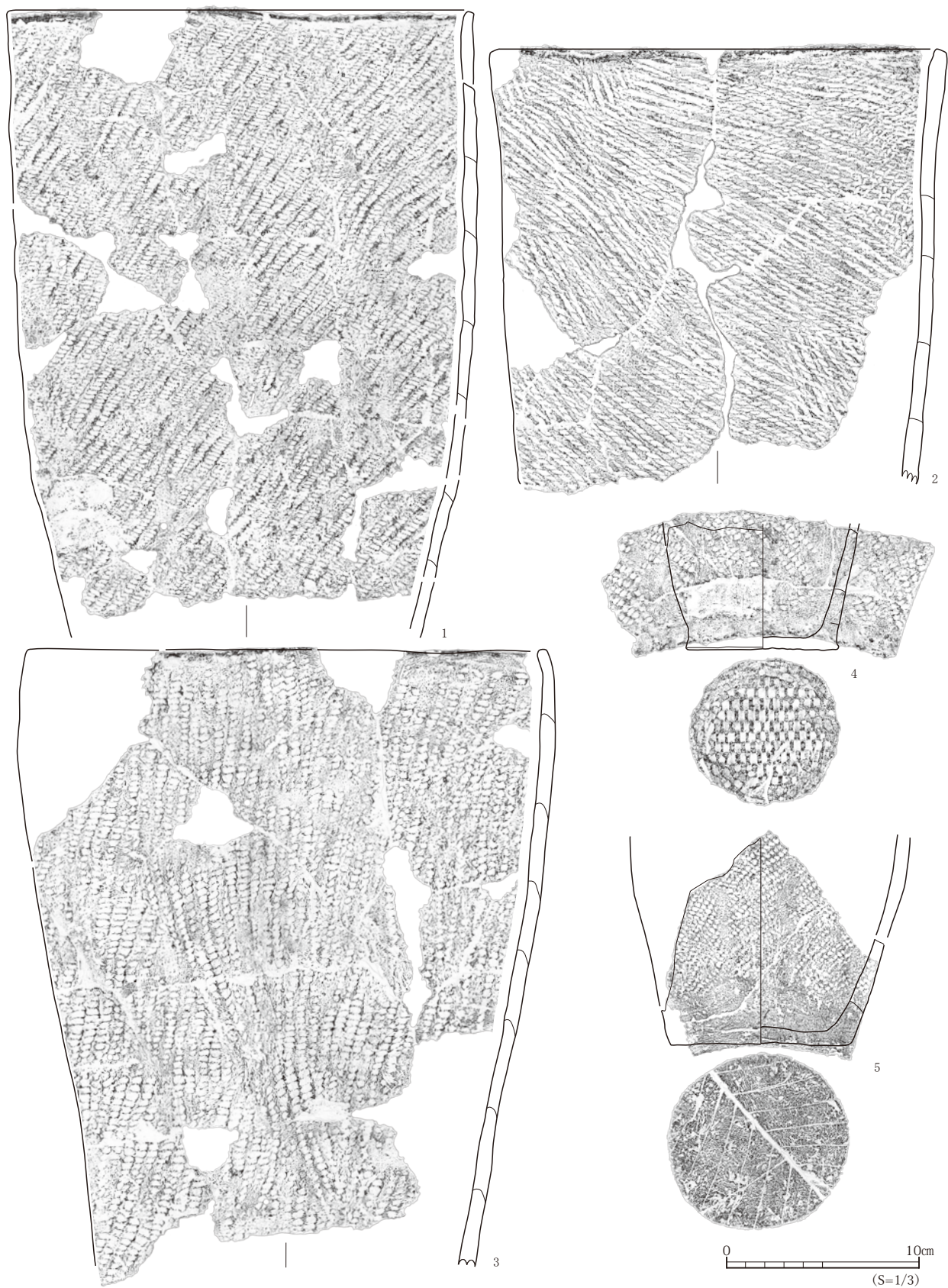
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
100-1	SX120-6層/5層	8区・N5	深鉢		口径 (23.8) cm, 残存高32.6cm, 平縁, 縄文 (LR)	82-3	RP416
100-2	SX120-6層	8区・S7	深鉢		口径 (25.1) cm, 残存高26.5cm, 平縁, 縄文 (LR)	82-6	RP417
100-3	SX120-6層	8区・B7	深鉢		口径 (13.8) cm, 残存高14.6cm, 平縁, 【口頸】無文 (ナデ), 【体】縄文 (LR)	82-4	RP418
100-4	SX120-6層	8区・B4c	深鉢		口径 (14.4) cm, 平縁, 【口頸】無文 (ミガキ), 【体】縄文 (LR)	83-3	RP419
100-5	SX120-6層	8区・S7	深鉢		口径 (19.8) cm, 平縁, 【口頸】無文 (ナデ), 【体】縄文 (LR)	82-5	RP420

第 100 図 SX120 遺物包含層出土土器 (65) 6 層⑭



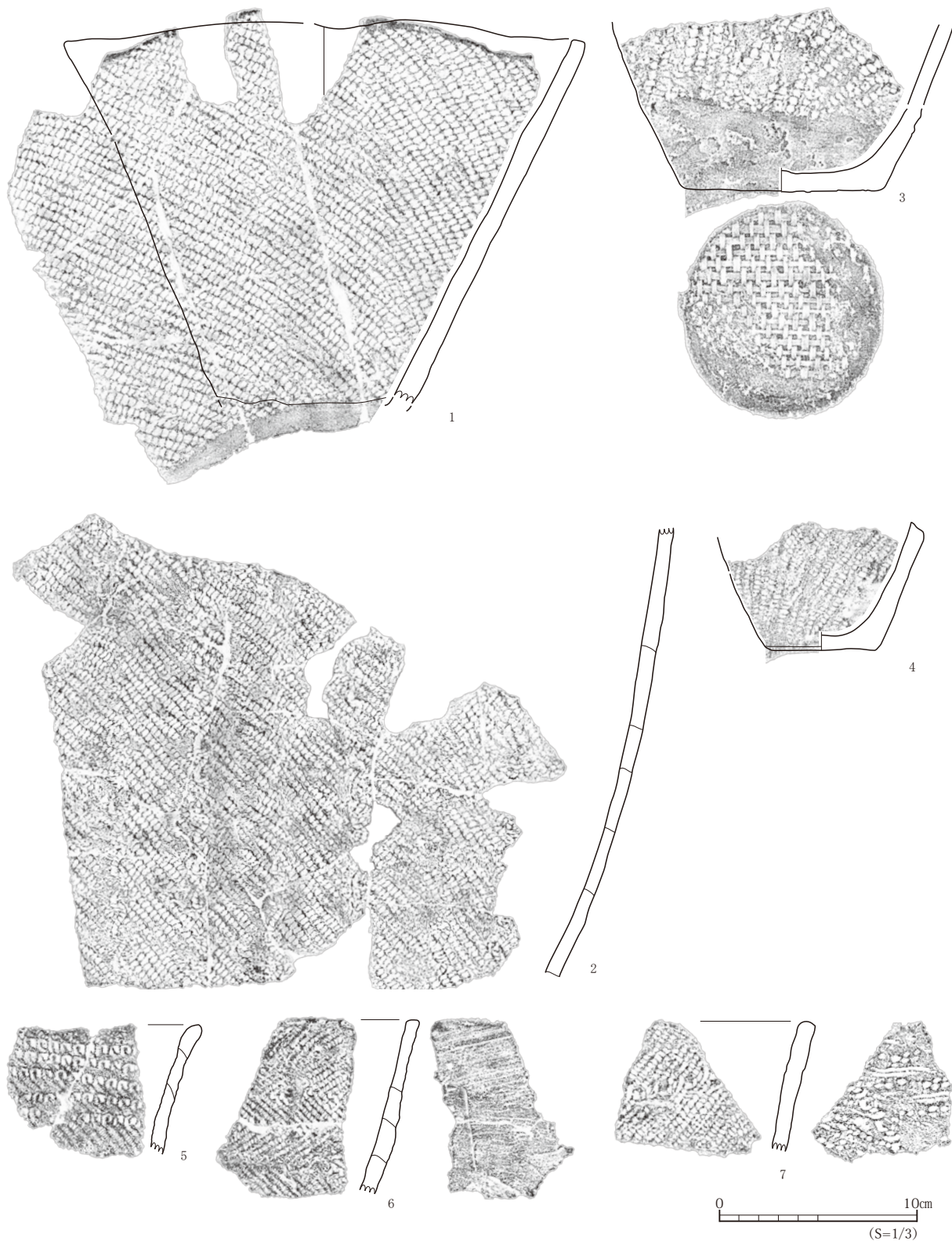
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
101-1	SX120-6層	8区・S7	深鉢		口径 (28.4) cm, 残存高31.8cm, 平縁, 【口頭】無文 (ナデ), 区画沈線文 (下端), 【体】撚糸文 (R)	83-2	RP421
101-2	SX120-6層	8区・S7	深鉢		口径 (25.9) cm, 残存高27.7cm, 平縁, 【口頭】無文 (ミガキ), 【体】撚糸文 (R)	83-1	RP422
101-3	SX120-6層	8区・S6	深鉢		口径 (16.0) cm, 残存高21.3cm, 平縁, 縄文 (LR) に縄文 (LR+0段の付加条か)	83-4	RP423
101-4	SX120-6層	8区・OS2	深鉢		平縁, 条線文 (楕歯状工具による多条線)	84-3	RP424

第 101 図 SX120 遺物包含層出土土器 (66) 6 層⑮



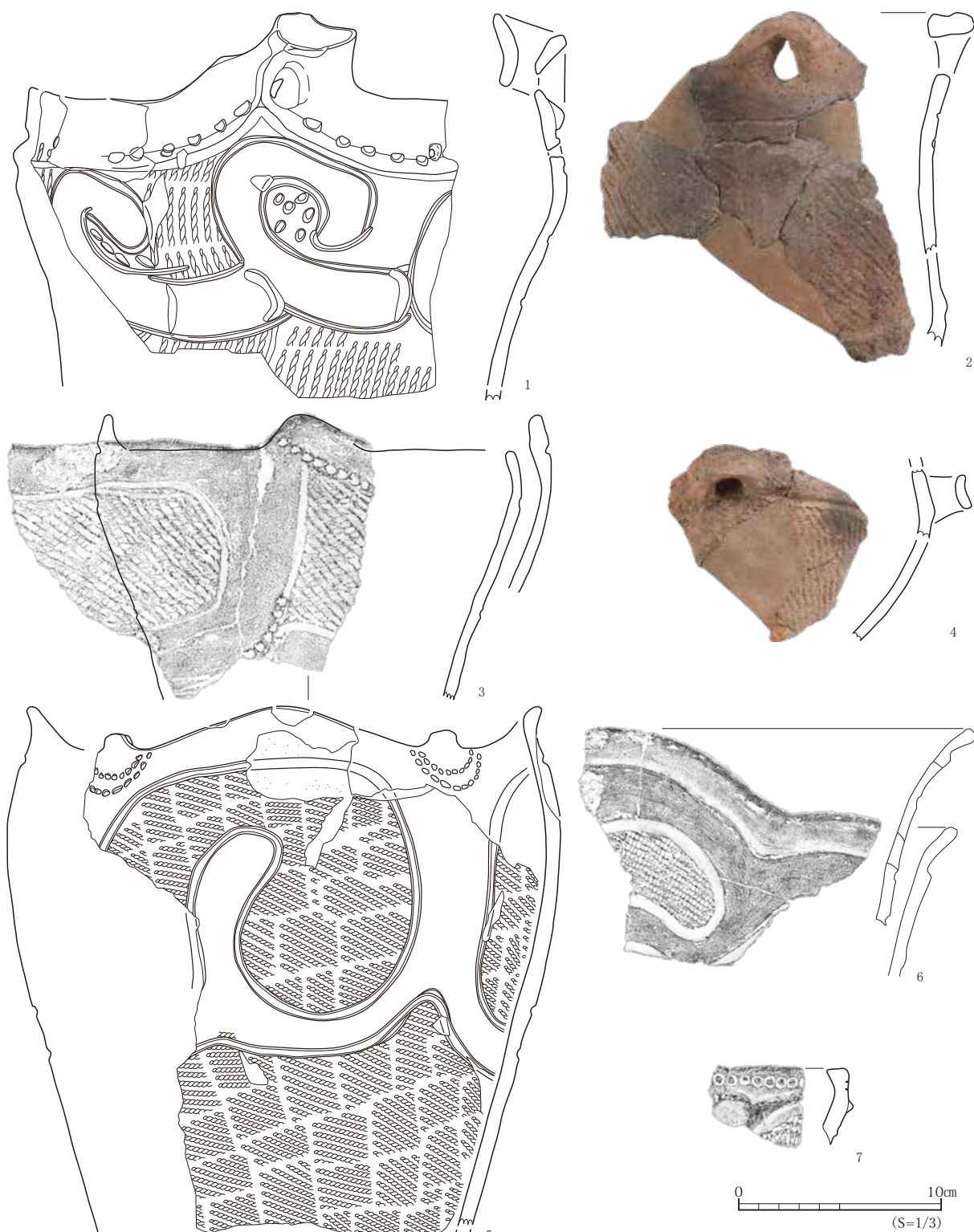
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
102-1	SX120-6層	6区・B1s	深鉢		口径24.4cm,残存高32.6cm,平縁,縄文(LR)	84-2	RP425
102-2	SX120-6層	6区・S3南壁	深鉢		口径(23.8)cm,残存高22.6cm,平縁,燃糸文(R)	83-5	RP426
102-3	SX120-6層	6区・B1s	深鉢		口径26.9cm,残存高32.1cm,平縁,縄文(RL)	85-3	RP427
102-4	SX120-6層	6区・S1	深鉢		底径7.8cm,【体】縄文(LR),下端はナデ(指ナデ),【底】網代痕(1本越1本潜1本送)	84-4	RP428
102-5	SX120-6層	8区・B6	深鉢		底径9.4cm,【体】縄文(RL),下端はミガキ,【底】木葉痕	84-5	RP429

第 102 図 SX120 遺物包含層出土土器 (67) 6 層⑬



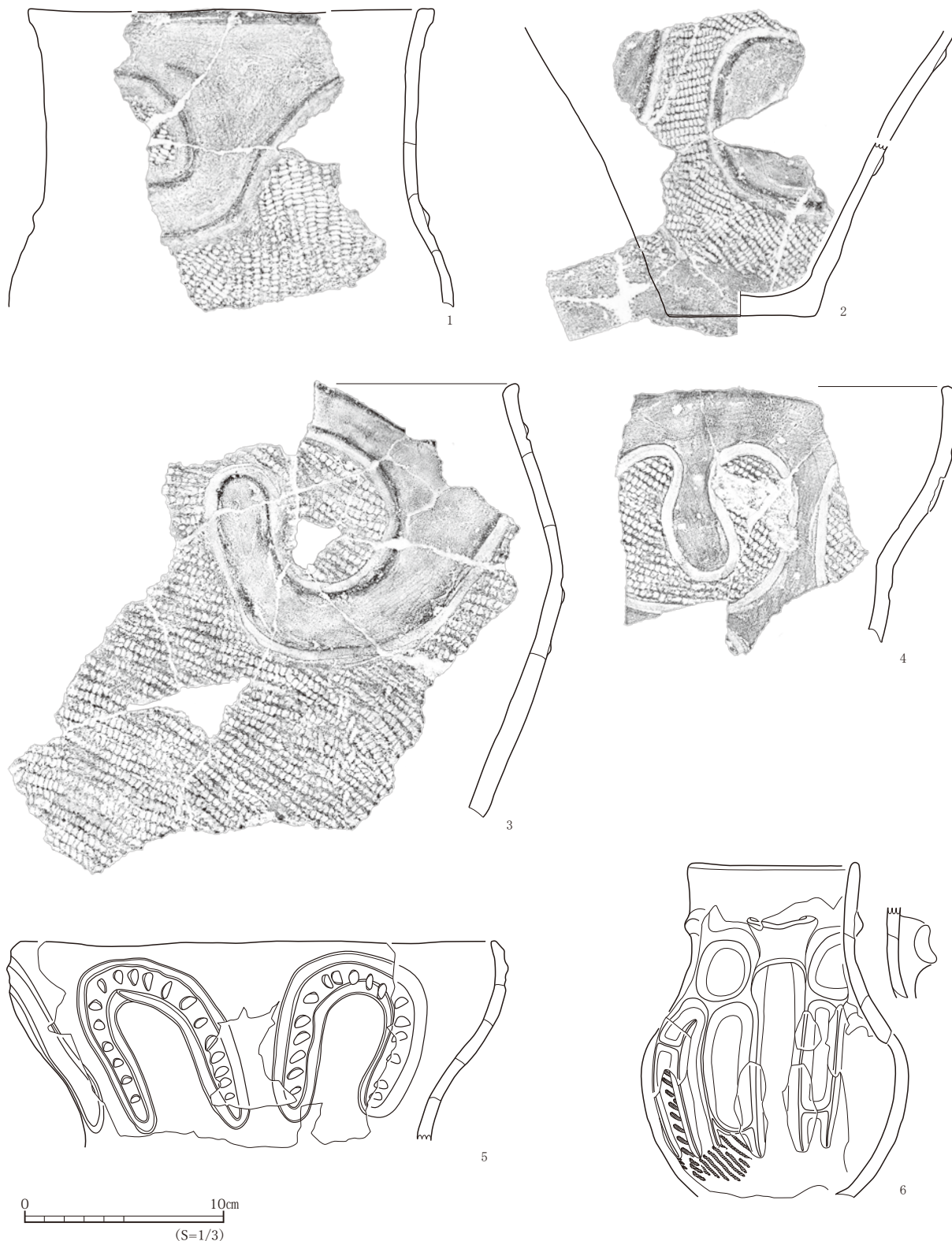
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
103-1	SX120-6層	8区・B6	深鉢		口径(26.4)cm,残存高19.8cm,緩やかな波状縁,縄文(LR)	84-1	RP430
103-2	SX120-6層	6区・N3	深鉢		【体】縄文(LR・結節文)	85-1	RP431
103-3	SX120-6層	6区・S3	深鉢		底径9.9cm,【体】縄文(LR),下端はミガキ,【底】網代痕(2本越1本潜1本送)	85-2	RP432
103-4	SX120-6層	6区・N3	深鉢		底径5.3cm,【体】縄文(RL),【底】ナデ	84-6	RP433
103-5	SX120-6層	8区・S7	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,平縁,【口】ループ文(5列),【体】縄文(RL・前々段多条か)	85-4	RP434
103-6	SX120-6層	8区・S7	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,平縁,【外】非結束羽状縄文(LR・RL),【内】ヘラナデ(板状工具)	85-5	RP435
103-7	SX120-6層	8区・B7	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,平縁,【外】縄文(LR・末端環付),【内】縄文(付加条,RLにLを反対巻)	85-6	RP436

第 103 図 SX120 遺物包含層出土土器 (68) 6 層⑰



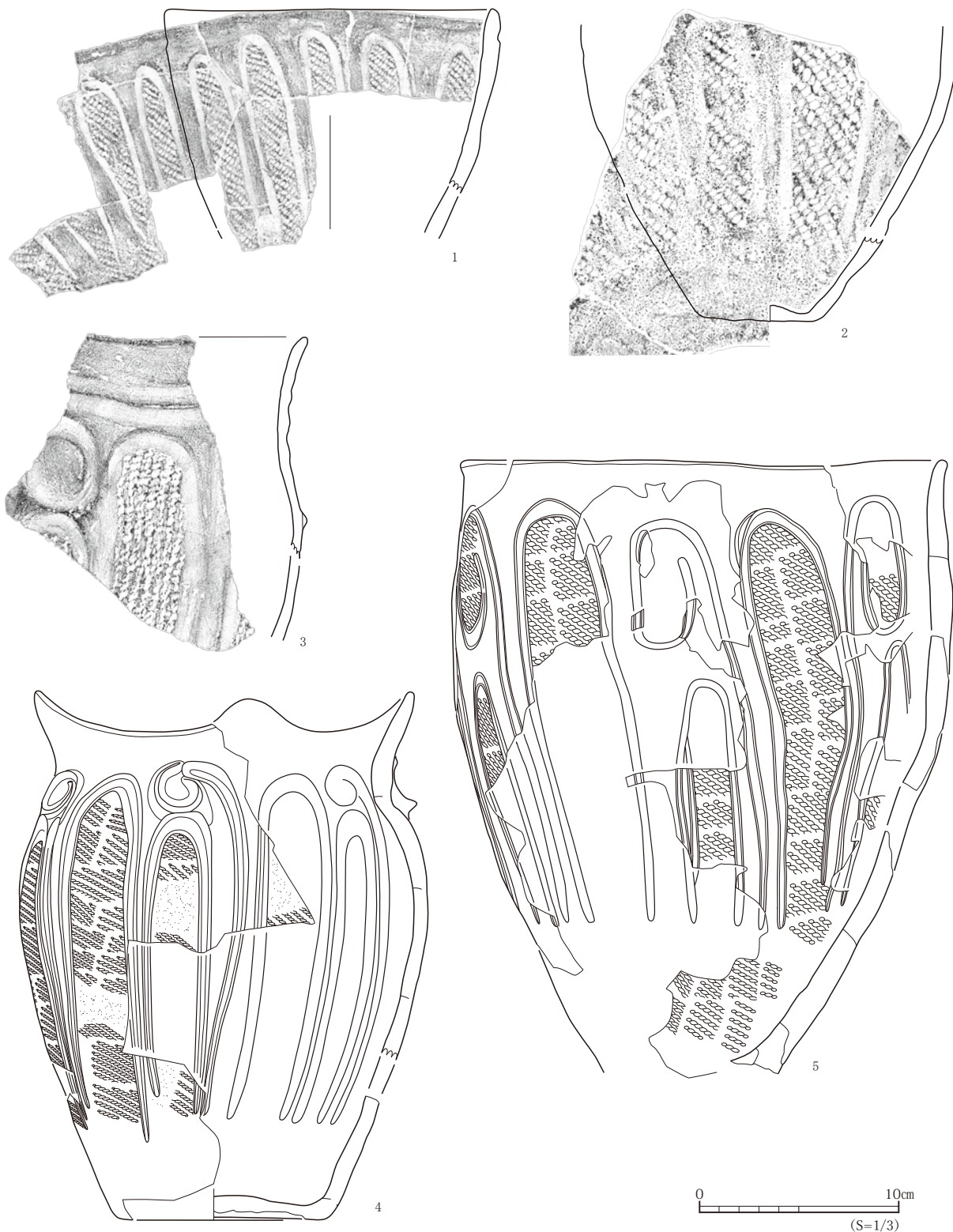
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
104-1	SX120-7層	6区・S2	深鉢	4群	口径27.2cm,環状把手に注口部付,【口頸】刺突列に沿う隆線で区画,【体】区画沈線文(横d字状文)+ヒレ状隆線,刺突(区画内に充填),燃糸文(L)	86-1	RP437
104-2	SX120-7層	6区・S1	深鉢	4群	環状把手(メビウスの帯状のひねり),【体】区画沈線文・隆線文(逆L字状文か),縄文(LR)	86-2	RP438
104-3	SX120-7層	6区・S2	深鉢	4群	口径(20.2)cm,山形突起(4単位か),【体】区画沈線文(コ字状文か)+刺突列,縄文(LR),磨消縄文か	86-4	RP439
104-4	SX120-7層	6区・B2	壺形	4群	【体】橋状把手(吊手)+沈線文,縄文(LR)	86-3	RP440
104-5	SX120-7層	6区・S2	深鉢	4群	口径25.7cm,残存高26.5cm,波状縁(4単位),【口】波底部に山形突起,突起下に弧状刺突列(2列),【体】区画沈線文(逆凹字状文・4単位),縄文(LR),充填縄文	86-9	RP441
104-6	SX120-7層	8区・B4w	深鉢	4群	波状縁,【体】区画沈線文(横S字状文か),縄文(LR),充填縄文,無文部はミガキ	86-6	RP442
104-7	SX120-7層	6区・N2	深鉢	4群	口径(12.0)cm,平縁,【口頸】円孔刺突列,【体】区画隆線文,縄文(LRか)	86-7	RP443

第104図 SX120 遺物包含層出土土器(69)7層①



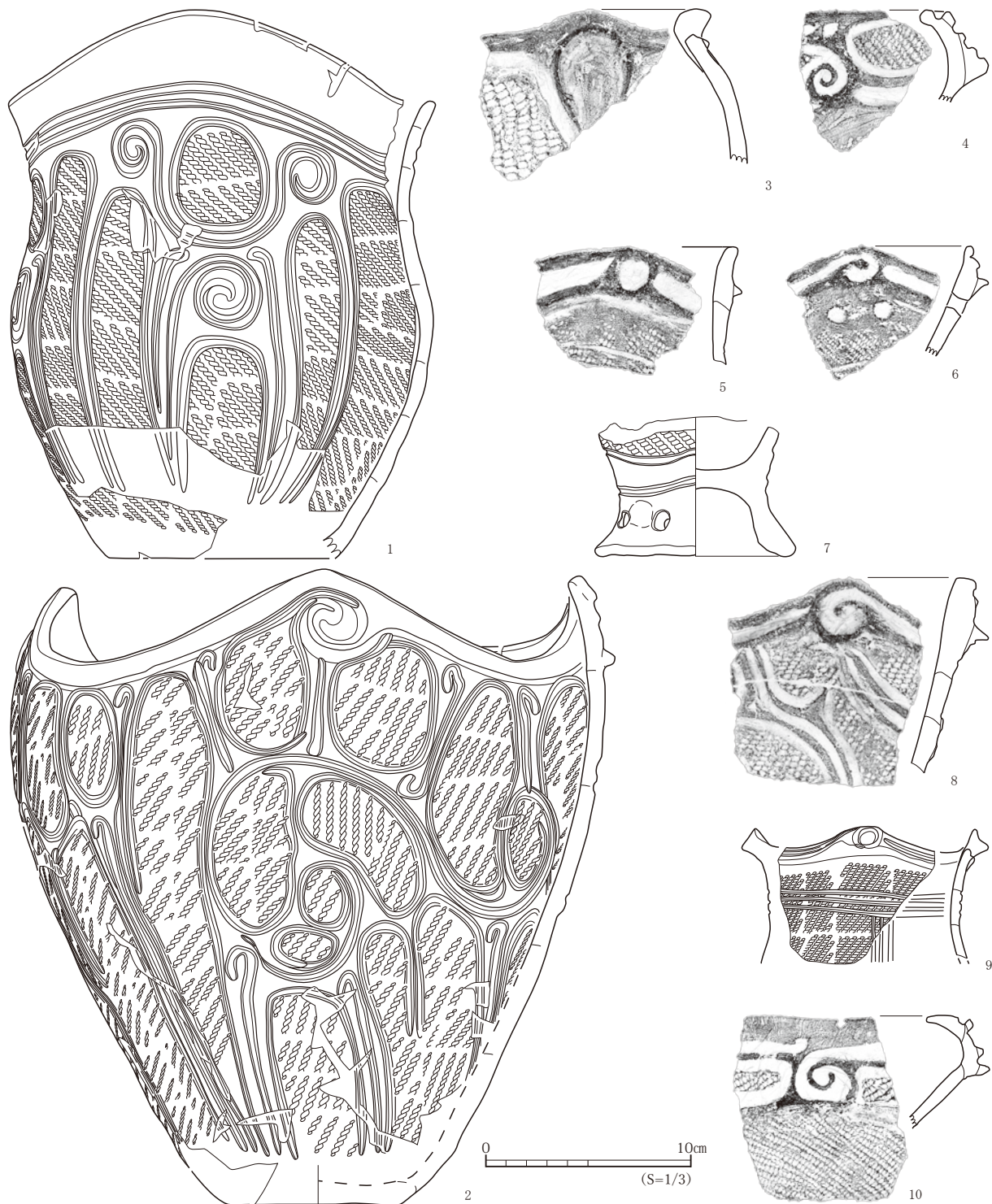
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
105-1	SX120-7層	6区・N2	深鉢	4群	口径(20.2)cm,平縁,【体】区画隆線文(波濤文),縄文(RL),充填縄文	86-8	RP444
105-2	SX120-7層	8区・S7	深鉢	4群	底径7.3cm,【体】区画隆線文,縄文(LR),充填縄文,体部下端～底面はミガキ	86-10	RP445
105-3	SX120-7層	6区・B2	深鉢	4群	口径(26.5)cm,波状縁(4単位か),【体】区画隆線文・沈線文(波濤文),縄文(LR),磨消縄文	86-5	RP446
105-4	SX120-7層	6区・N3	深鉢	3群	平縁,【体】区画沈線文(U字状文),縄文(LR),充填縄文	87-2	RP447
105-5	SX120-7層	8区・S7	深鉢	3群	平縁,【体】区画沈線文(逆U字状文・8単位か)+刺突列(区画内に充填),	87-1	RP448
105-6	SX120-7層	8区・N6	壺形把手	3群	口径8.5cm,器高16.8cm,平縁,【頸】橋状把手(釣手・2単位か),【体】区画隆線文(楕円文・∩字状文・渦巻文),縄文(RL前々段多条)	87-4	RP449

第 105 図 SX120 遺物包含層出土土器 (70) 7 層②



図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
106-1	SX120-7層	8区・N6	深鉢	3群	口径16.5cm,残存高11.5cm,平縁,【体】区画沈線文(ㇿ字状文),縄文(LR)	87-6	RP450
106-2	SX120-7層	8区・N6	深鉢	3群	底径5.6cm,【体】区画沈線文(ㇿ字状文),縄文(LR),充填縄文,底面は摩滅(ナデカ)	87-7	RP451
106-3	SX120-7層	8区・S8	深鉢	3群	波状縁,【口頸】平行沈線文(2条),【体】区画沈線文(渦巻文・ㇿ字状文)+文様の交点に凸部,縄文(RLR),充填縄文	87-3	RP452
106-4	SX120-7層	8区・N6	深鉢	3群	口径20.4cm,底径10.0cm,器高26.5cm,波状縁(4単位),【体】隆線文(渦巻文),区画沈線文(ㇿ字状文),縄文(LR)	87-5	RP453
106-5	SX120-7層	8区・S8	深鉢	3群	口径(23.7)cm,残存高31.0cm,平縁,【体】区画沈線文(渦巻文・ㇿ字状文),縄文(LR),縄文→沈線→ミガキ	88-1	RP454

第 106 図 SX120 遺物包含層出土土器 (71) 7 層③



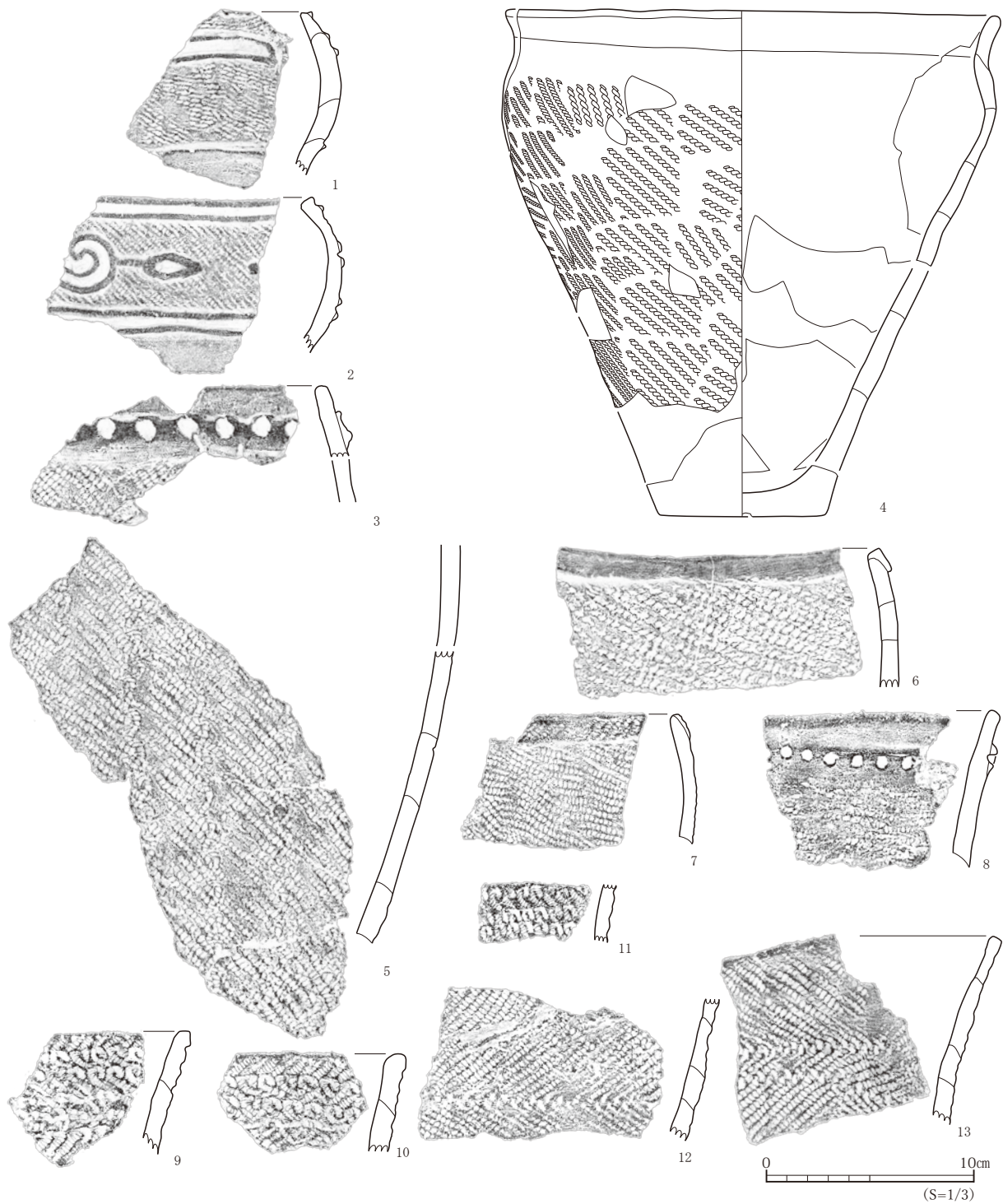
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
107-1	SX120-7層	8区・N6	深鉢	3群	口径(19.6)cm,底径(10.8)cm,器高26.8cm,波状縁(2単位),【頸】平行沈線文(2条),【体】区画沈線文(楕円文・㊦字状文・渦卷文・おたまじゃくし状文),縄文(LR)	88-2	RP455
107-2	SX120-7層	8区・B6	深鉢	3群	口径25.2cm,底径8.6cm,器高30.9cm,波状縁(4単位),【口頸】隆線・沈線文(渦卷文),【体】区画沈線文(楕円文,渦卷文,㊦字状文,おたまじゃくし状文),縄文(RL),充填縄文山形突起,【口頸】隆線・沈線文(渦卷文か),縄文(RL),無文部はミガキ	89-1	RP456
107-3	SX120-7層	8区・N5	深鉢	3群	平縁,【口】隆沈線文(渦卷文・楕円文)+盲孔,縄文(LR),【頸】無文(ミガキ)	88-3	RP457
107-4	SX120-7層	6区・B2	深鉢	2~3群	波状縁,【口】隆沈線文(円形文),【体】沈線文,縄文(LR)か	88-4	RP458
107-5	SX120-7層	8区・S6	深鉢	3群	波状縁,【口】隆沈線文(渦卷文),【体】沈線文,縄文(LR)か	88-5	RP459
107-6	SX120-7層	6区・N2	深鉢	3群	波状縁,【口】隆沈線文(渦卷文),【体】貫通孔(2個1対),沈線文,縄文(LR)	88-6	RP460
107-7	SX120-7層	6区・S1	台付鉢	3群か	底径9.8cm,【体】沈線文,縄文(RL),【脚】円形の透かし孔(7単位)	88-7	RP461
107-8	SX120-7層	6区・N2	深鉢	2~3群	波状縁,【口】隆沈線文(渦卷文),【体】隆沈線文(懸垂文・渦卷文),縄文(RL)	88-8	RP462
107-9	SX120-7層	6区・N2	深鉢	2群	口径(12.0)cm,波状縁(4単位),【口】隆沈線文(円形文),【体】3条1組の沈線文(平行・懸垂文)	88-9	RP463
107-10	SX120-7層	8区・S7	浅鉢	2群	平縁,【口】隆沈線文(渦卷文,方形文か),【体】縄文(LR)	88-10	RP464

第 107 図 SX120 遺物包含層出土土器 (72) 7 層④



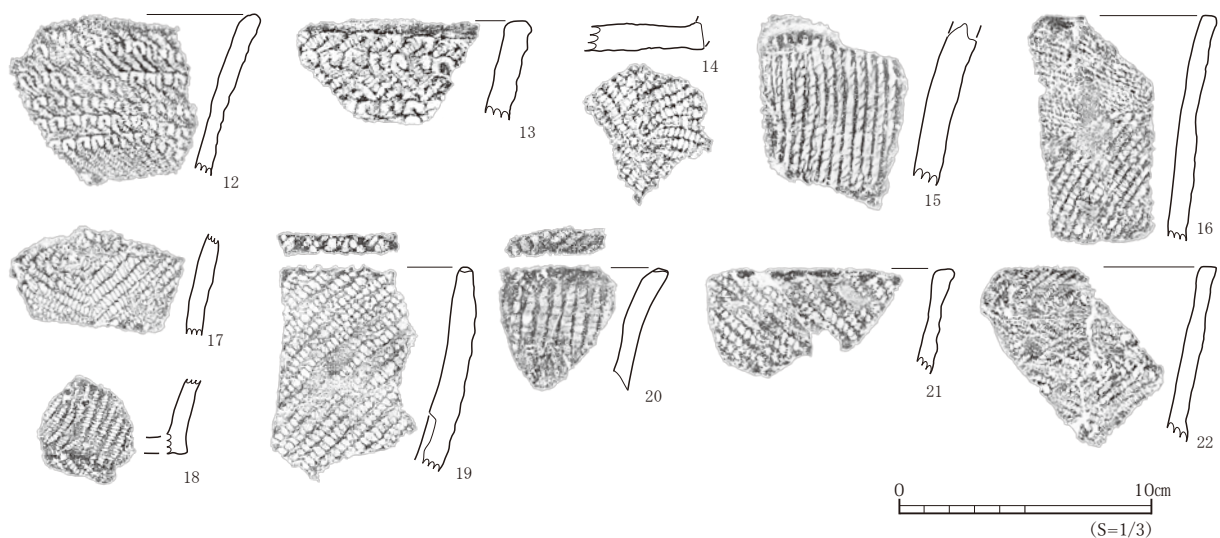
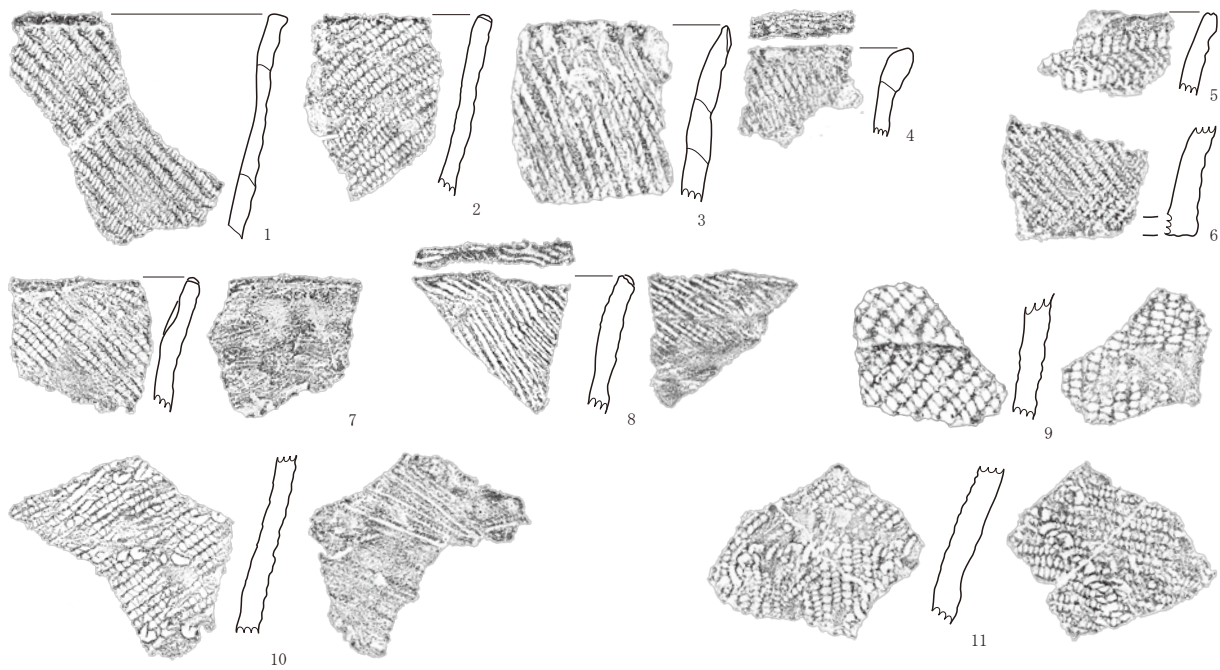
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
108-1	SX120-7層	6区・S2	深鉢	3群	最大径39.0cm,【体】隆沈線文(渦巻文・懸垂文)+盲孔,燃糸文(R)	89-2	RP465
108-2	SX120-7層	6区・S2	深鉢	3群	【頸】橋状把手(釣手),【体】区画隆線文・沈線文,刺突文(区画内),縄文(RLR),充填縄文	88-12	RP466
108-3	SX120-7層	8区・S6	深鉢	2群	【体】沈線文(2・3条1組,渦巻文・懸垂文),縄文(RLR),縄文→沈線	88-13	RP467
108-4	SX120-7層	6区・N2	深鉢	2群	口径(18.3)cm,底径6.2cm,残存高21.6cm,突起付(欠落),【口】隆沈線文(渦巻文),【頸】交互刺突文,【体】沈線文(3条1組,渦巻文・懸垂文),縄文(LR前々段多条)	90-1	RP468
108-5	SX120-7層	6区・N2	深鉢	2群	口径11.1cm,底径5.6cm,器高14.7cm,波状縁(4単位),【口】隆線文(渦巻文),【体】縄文(LR),下端～底面はミガキ	90-3	RP469
108-6	SX120-7層	6区・N2	深鉢	2群	波状縁,【口頸】隆沈線文(平行線2条)+刺突列,【体】隆沈線文(渦巻文),縄文(LR)	89-3	RP470
108-7	SX120-7層	6区・B2	深鉢	2群	平縁,【口】隆沈線文(渦巻文・楕円文),縄文(LR),外面に赤彩あり	89-4	RP471
108-8	SX120-7層	6区・S2	台付深鉢か	2～3群	底径(7.3)cm,台付深鉢形,【台】円形の透かし孔(6単位)	88-11	RP544

第108図 SX120 遺物包含層出土土器(73) 7層⑤



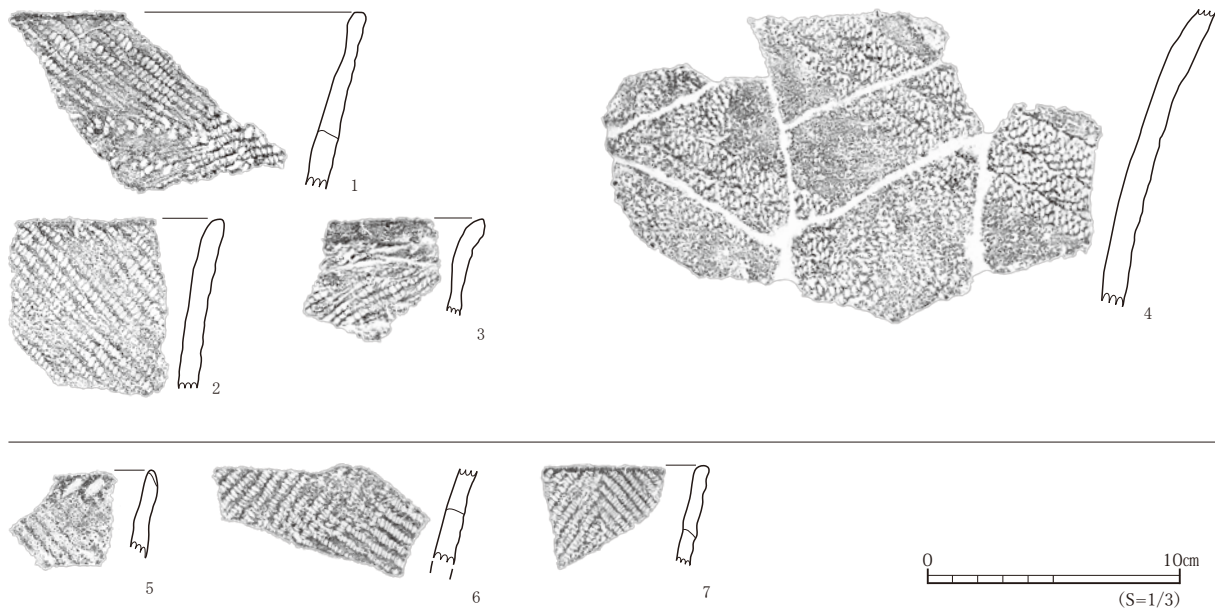
図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
109-1	SX120-7層	6区・S3	深鉢	2群	平縁, 【口】隆線文(幾何学文か), 縄文(RL), 【頸】無文(ミガキ)	89-5	RP472
109-2	SX120-7層	6区・S2	深鉢	2群	平縁, 【口】隆沈線文(矢印状文), 縄文(RL), 【頸】無文(ミガキ)	89-6	RP473
109-3	SX120-7層	6区・S2	深鉢	2群	平縁, 【頸】刻みがある隆帯, 【体】縄文(LR)	90-4	RP4109
109-4	SX120-7層	6区・S3	深鉢	2~3群	口径23.3cm, 底径8.2cm, 器高24.3cm, 平縁, 【口頭】無文(ナデ), 【体】縄文(LR), 【底】ナデ	90-2	RP475
109-5	SX120-7層	6区・S3	深鉢		【体】縄文(LR・結節文)	90-5	RP476
109-6	SX120-7層	8区・S8	深鉢		口径(29.6)cm, 平縁, 【口】肥厚, 無文(ミガキ), 【体】縄文(LR)	90-6	RP477
109-7	SX120-7層	6区・S1	深鉢		平縁, 【口】肥厚, 縄文(LR, 横回転), 【体】縄文(LR, 縦回転)	90-7	RP478
109-8	SX120-7層	6区・N2	深鉢		胎土に繊維を含む, 平縁か, 【頸】円孔刺突列を伴う隆帯, 【体】縄文(LR)	90-8	RP479
109-9	SX120-7層	8区・B4c	深鉢	1群	胎土に繊維を含む, 平縁, 【口】ループ文(4列か), 【体】縄文(LR)	90-9	RP480
109-10	SX120-7層	8区・S8	深鉢	1群	胎土に繊維を含む, 平縁, 【口】ループ文(縄文LRの末端に環付), 内面はミガキ	90-10	RP481
109-11	SX120-7層	6区・S2	深鉢	1群	胎土に繊維を含まないか, ループ文(3列以上, 縄文RLの末端に還付)	90-11	RP482
109-12	SX120-7層	8区・N4	深鉢	1群	胎土に繊維を含む, 【体】外面は結束羽状縄文(LR・RL), 内面は指頭圧痕・ナデ	91-1	RP483
109-13	SX120-7層	6区・S3東壁	深鉢	1群	胎土に繊維を含む, 波状縁, 【口~体】外面は結束羽状縄文(LR・RL), 内面は指頭圧痕→ナデ	91-2	RP484

第 109 図 SX120 遺物包含層出土土器 (74) 7 層⑥



図番号	遺構・層	出土地	器種	分類	特徴	写真	登録番号
110-1	SX120-7層	8区・B7	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,平縁,外面は縄文(RLr3・前々段多条),【内】ナデ	91-3	RP485
110-2	SX120-7層	6区・N2	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,平縁か,【口唇】縄文原体で刻み,【外】縄文(LR),【内】ナデ	91-4	RP486
110-3	SX120-7層	8区・B6	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,【口唇】縦位の刻み,【外】燃系文(L),【内】ナデ	91-5	RP487
110-4	SX120-7層	8区・B4c	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,平縁,【口唇】燃系文(L),【外】燃系文(L),【内】ナデ	91-6	RP488
110-5	SX120-7層	6区・B2	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,【口唇】燃系文(L),【口】絡条体圧痕文(2列以上),【体】燃系文(L)	91-7	RP489
110-6	SX120-7層	8区・B4w	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,【体】非結束羽状縄文(LR・RL),【底】平底,ナデか	91-8	RP490
110-7	SX120-7層	8区・N5	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,小波状縁(口唇部に押圧),【外】縄文(RL),【内】指オサエ→ナデ	91-9	RP491
110-8	SX120-7層	8区・B7	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,【口唇】燃系文(R),【外】燃系文(R),【内】指オサエ,口縁部に燃系文(R)	91-10	RP492
110-9	SX120-7層	8区・N5	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,【外】縄文(LR),【内】縄文(LR)	91-11	RP493
110-10	SX120-7層	8区・B7	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,【外】縄文(LR・末端に環付),【内】条痕(ヘラ状工具か)	91-12	RP494
110-11	SX120-7層	8区・N6	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,【外】縄文(LR・末端に環付),【内】縄文(LR・末端に環付)	91-13	RP495
110-12	SX120-8層	8区・N4	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,【口唇】ループ文(縄文RLの末端に還付)	91-14	RP496
110-13	SX120-8層	8区・N6	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,【外】ループ文(縄文LRの末端に還付),【内】ナデ	91-15	RP497
110-14	SX120-8層	8区・B4c	深鉢か	1群	胎土に繊維を含む,【底】平底,縄文(LR)施文	91-16	RP498
110-15	SX120-8層	8区・B7	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,【頸】隆帯(区画か),【体】燃系文(L),【内】ナデ	91-17	RP499
110-16	SX120-8層	8区・S8	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,平縁,非結束羽状縄文(LR・RL),【内】ナデ	91-18	RP500
110-17	SX120-8層	8区・南壁	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,非結束羽状縄文(LR・RL,菱形状文),【内】ナデ	91-19	RP501
110-18	SX120-8層	8区・N5	深鉢か	1群	胎土に繊維を含む,【体】縄文(RL前々段多条),【底】縄文(RL前々段多条)施文	91-20	RP502
110-19	SX120-8層	8区・N6	深鉢	1群	平縁,【口唇】縄文原体(LR)で刻み,【外】縄文(LR),【内】ナデ	91-21	RP503
110-20	SX120-8層	8区・N6	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,平縁,【口唇】縄文(L),【外】縄文(L),【内】ナデ	91-22	RP504
110-21	SX120-8層	8区・S7	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,平縁,【外】縄文(RL),【内】ナデ	91-23	RP505
110-22	SX120-8層	8区・N5	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,平縁,【外】非結束羽状縄文(LR・RL),【内】ナデ	91-24	RP506

第110図 SX120 遺物包含層出土土器(75) 7層⑦・8層



図番号	遺構・層	出土地	器種・器形	分類	特徴	写真	登録番号
111-1	SX120-8層	8区・B6	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,平縁,【外】非結束羽状縄文(LR・RL),【内】指オサエ→ナデ	91-25	RP507
111-2	SX120-8層	8区・南壁	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,平縁,外面は縄文(RLr3前々段多条),【内】ナデ	91-26	RP508
111-3	SX120-8層	8区・B4w	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,平縁,縄文(LR)	91-27	RP509
111-4	SX120-8層	8区・N5	深鉢	1群	【体】縄文(LRの末端に還付),胎土に繊維を含まないか	91-28	RP510
111-5	SX120-9層上面	8区・B4c	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,平縁,【口】斜位の刻み(原体圧痕か),【外】縄文(RL),【内】摩滅	91-29	RP511
111-6	SX120-9層	8区・S8	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,【外】非結束羽状縄文(LRℓ3・RLr前々段多条),【内】ナデ	91-30	RP512
111-7	SX120-9層	8区・S8	深鉢	1群	胎土に繊維を含む,平縁,【外】非結束羽状縄文(LR・RL,菱形状文か),【内】ナデ	91-31	RP513

第 111 図 SX120 遺物包含層出土土器 (76) 8 層・9 層

③土製品 (第112～117図)

SX120遺物包含層・貝層から出土した土製品には、ミニチュア土器、土偶、耳飾、三角壻形土製品、円盤状土製品、不明土製品がある。

ミニチュア土器は器高10.0cm以下または底径5.0cm以下の小型の土器で、1～7層から40点出土しており、器形が推定できたものを中心に33点図示した(第112～114図)。深鉢形(第112図4・9・10、第113図3・4・7・8・11、第114図2～7)、鉢形(第112図8)、浅鉢形(第112図12)、壺形(第112図5・6・13)、台付(第112図7、第113図1・2・9・10)のものがある。

土偶は胴体のみの破片資料で、中実である。正面・裏面に刺突文と刺突列、側面に沈線で渦巻文が施されている(第115図1)。

耳飾は椎骨形で中央に直径0.6cmの孔を有するものである。最大径は3.2cm、厚さは3.2cmで小型である(第115図2)。

三角壻形土製品は5層から2点出土しており、側面に孔を有するもの(第115図3)と孔のないもの(第115図4)がある。いずれも先端の細い工具による列状の刺突文が施されており、第115図3は全面、第115図4は底面を除く3面に施されている。

第 9 表 SX120 遺物包含層土製品点数表

遺構・層	ミニチュア土器	土偶	耳飾	三角壻形土製品	不明土製品	円盤状土製品	計
SX120-1層	2		1			3	5
SX120-2層	5					27	32
SX120-3層	7				2	60	69
SX120-4層	3					21	24
SX120-5層	13	1		2	1	98	115
SX120-6層	7					31	38
SX120-7層	3					35	38
SX120-8層						2	2
SX120-9層						1	1
遺構確認面等						12	13
計	40	1	1	2	3	295	342



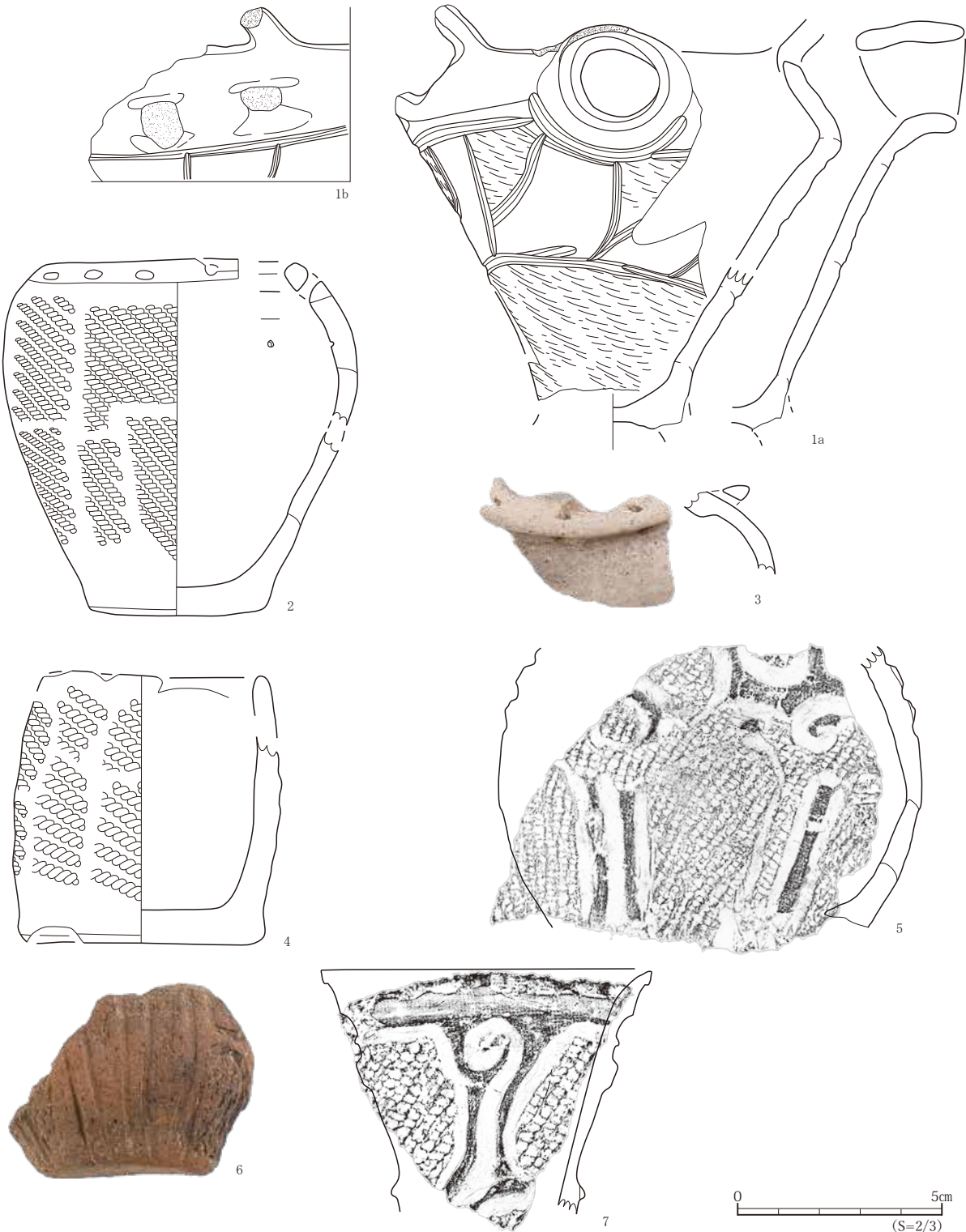
図番号	遺構・層	出土地	種別	特徴	写真	登録番号
112-1	SX120-1層	6区・N1	ミニチュア土器	口径2.8cm, 底径2.0cm, 器高1.8cm, 碗形, 手づくね成形	92-1	RP515
112-2	SX120-1層	6区・B1s	ミニチュア土器	底径4.6cm, 深鉢形か, 【体】縄文(RL), 【底】ナデ	92-2	RP514
112-3	SX120-2層	6区・S1	ミニチュア土器	底径4.3cm, 深鉢形か, 【体】縄文(LR), 【底】ナデ	92-3	RP519
112-4	SX120-2層	6区・S1	ミニチュア土器	口径5.8cm, 底径4.9cm, 器高6.4cm, 円筒深鉢形, 【外】ナデ, 輪積み痕を残す, 【底】網代痕(3本越3本潜1本送)	92-4	RP518
112-5	SX120-2層	6区・S3	ミニチュア土器	底径4.6cm, 残存高6.4cm, 壺形, 【体】橋状把手(吊手・2単位) + 区画隆線文(方形区画文), 沈線文(L字状文か), 縄文(RL), 下端～底面はナデ	92-5	RP888
112-6	SX120-2層	8区・N4	ミニチュア土器	口径3.4cm, 残存高5.0cm, 台付壺形(台部欠損), 平縁, 【体】区画沈線文(波濤文), 円形刺突列, 縄文(LR)	92-6	RP516
112-7	SX120-2層	6区・B1s	ミニチュア土器	底径4.7cm, 台付土器の台部, 下端に指頭圧痕文	92-7	RP517
112-8	SX120-3層	6区・S1	ミニチュア土器	口径(8.9)cm, 底径3.0cm, 器高6.6cm, 鉢形, 【体】縄文(L), 【底】ナデ	92-8	RP521
112-9	SX120-3層	8区・N4	ミニチュア土器	底径3.6cm, 深鉢形, 【外】粗いミガキ, 【底】ナデ	92-9	RP523
112-10	SX120-3層	8区・N4	ミニチュア土器	底径3.6cm, 円筒深鉢形, 【外】指ナデ, 【底】ナデ	92-10	RP524
112-11	SX120-3層	6区・S1	ミニチュア土器	底径3.8cm, 深鉢形か, 【体】縄文(RL), 下端～底面はミガキ	92-11	RP526
112-12	SX120-3層	8区・B5	ミニチュア土器	口径8.6cm, 底径2.7cm, 器高3.5cm, 浅鉢形, 【内外】指ナデ・オサエ	92-13	RP522
112-13	SX120-3層	8区・S6	ミニチュア土器	口径3.9cm, 高さ8.4cm, 底径3.4cm, 壺形, 平縁, 【内外】ケズリーナデ, 【底】木葉痕か	92-12	RP520

第112図 SX120 遺物包含層出土土製品(1)



図番号	遺構・層	出土地	種別	特徴	写真	登録番号
113-1	SX120-3層	8区・S6	ミニチュア土器	底径(4.9)cm, 台付深鉢形か, 【体】指頭圧痕文(2列以上), 【台】ナデ	92-14	RP525
113-2	SX120-4層	8区・S7	ミニチュア土器	台付深鉢形か, 【体】指頭圧痕文(列状), 【台】隆線文(方形区画文か), 楕円形状の透かし孔(4単位)	93-2	RP528
113-3	SX120-4層	8区・N5	ミニチュア土器	口径(9.9)cm, 底径4.0cm, 器高10.9cm, 深鉢形, 【口】環状把手(メビウスの帯状のひねり), 【頸】平行沈線(区画), 【体】縄文(R), 下端～底面はナデ	93-1	RP527
113-4	SX120-5層	8区・S8	ミニチュア土器	平縁, 深鉢形, 【体】区画沈線文(横長楕円文), 縄文(LR)	93-4	RP534
113-5	SX120-5o層	8区・B4c	ミニチュア土器	壺形か, 【体】区画沈線文, 橋状把手(吊手), 撚糸文(L)	93-7	RP530
113-6	SX120-5m層	8区・B6	ミニチュア土器	底径4.9cm, 【体】区画沈線文, 縄文(LR), 下端～底面はミガキ	93-3	RP532
113-7	SX120-5層	8区・S7	ミニチュア土器	口径(9.6)cm, 残存高10.7cm, 深鉢形, 平縁, 【口頸】無文(ナデ), 沈線(区画), 【体部】縄文(LR)	93-5	RP531
113-8	SX120-5層	6区・N3	ミニチュア土器	口径(9.6)cm, 深鉢形, 撚糸文(L)	93-6	RP529
113-9	SX120-5層	6区・N3	ミニチュア土器	底径(4.6)cm, 台付深鉢形か, 【台】円形の透かし孔(4単位), ミガキ	93-8	RP535
113-10	SX120-5層	6区・N3	ミニチュア土器	底径(5.0)cm, 台付深鉢形か, 無文(ナデ)	93-9	RP533
113-11	SX120-6層	8区・OSw	ミニチュア土器	口径(7.8)cm, 底径3.3cm, 器高7.5cm, 深鉢形, 【頸】刺突列, 【体】縄文(LR), 下端～底面はナデ	94-1	RP537

第113図 SX120 遺物包含層出土土製品(2)



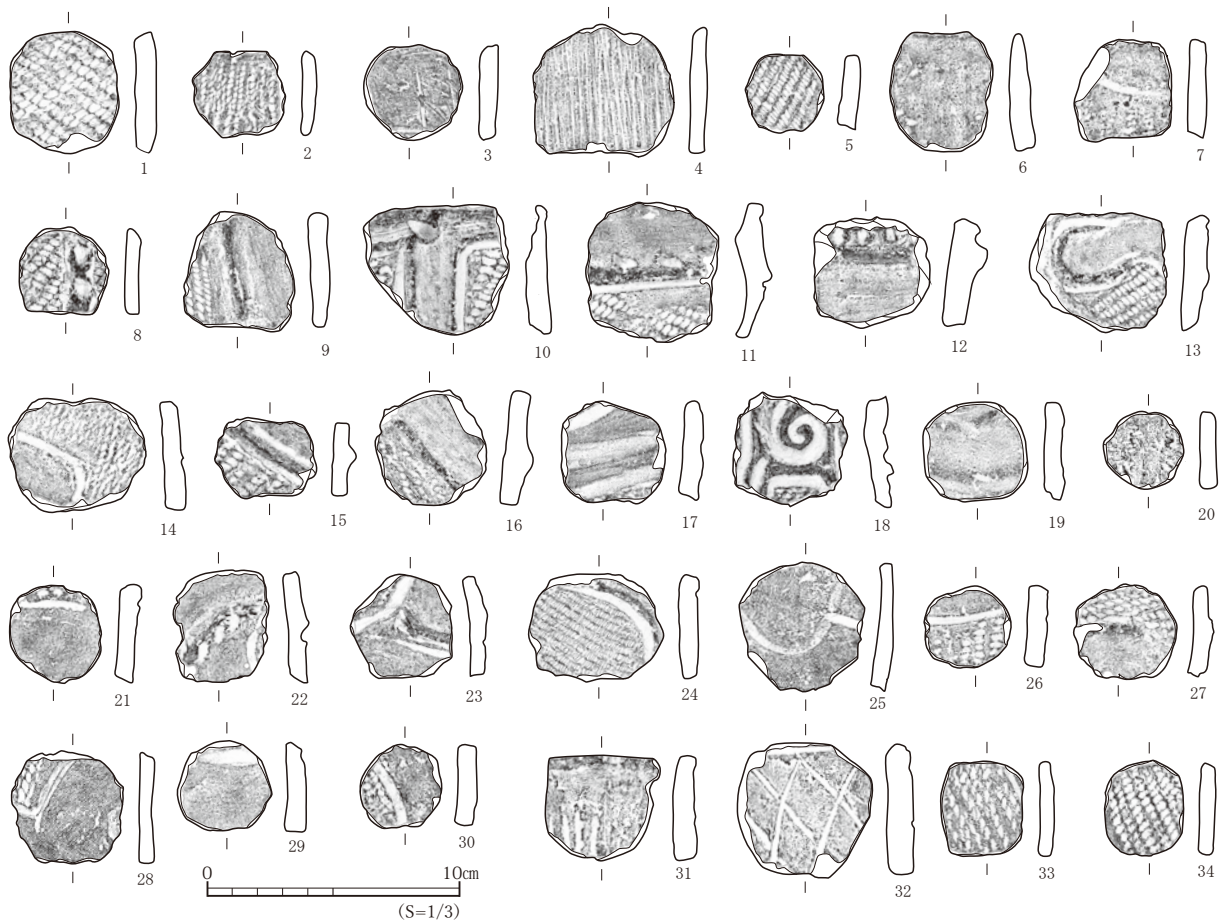
図番号	遺構・層	出土地	種別	特徴	写真	登録番号
114-1	SX120-6 層	8 区・S6	ミニチュア土器	口径 (9.8) cm, 残存高 10.7cm, 台付深鉢, 【口】環状把手 (注口部付, 把手のみ), 【体】区画沈線文 (ノ字状文・8 単位か), 縄文 (L), 台部は欠損	94-2	RP536
114-2	SX120-6 層	8 区・S4	ミニチュア土器	口径 (6.1) cm, 底径 4.3cm, 器高 8.8cm, 深鉢形, 平縁, 【口】貫通孔 (多孔), 【体】縄文 (LR), 下端～底面はナデ	94-3	RP538
114-3	SX120-6 層	8 区・N5	ミニチュア土器	深鉢形, 【口】貫通孔 (多孔), 鈐付, 【体】ミガキ	94-5	RP539
114-4	SX120-6 層	6 区・N2	ミニチュア土器	口径 (5.5) cm, 底径 5.2cm, 器高 6.7cm, 円筒深鉢形, 縄文 (LR), 体部下端～底面はナデ	94-4	RP541
114-5	SX120-6 層	8 区・B7	ミニチュア土器	深鉢形, 【体】隆沈線文 (渦巻文・懸垂文), 縄文 (RL)	94-6	RP540
114-6	SX120-7 層	8 区・S7	ミニチュア土器	底径 (3.2) cm, 深鉢形, 【体】区画沈線文 (楕円文・ノ字状文か), 縄文 (LR), 【底】ミガキ	95-1	RP543
114-9	SX120-7 層	8 区・N6	ミニチュア土器	口径 (8.0) cm, 深鉢形, 隆沈線文 (渦巻文, 楕円形文か), 縄文 (RLR)	95-2	RP545

第 114 図 SX120 遺物包含層出土土製品 (3)



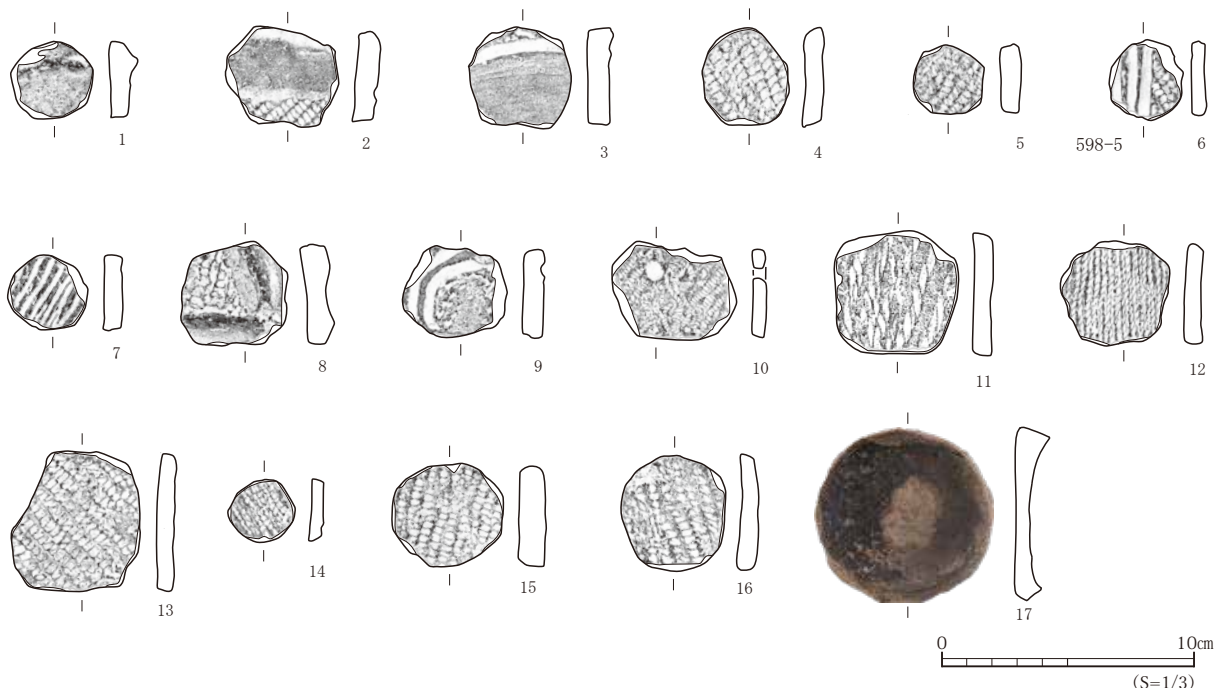
図番号	遺構・層	出土地	種別	特徴	写真	登録番号
115-1	SX120-5 層	8 区・S7	土偶	長さ 6.7cm, 幅 4.0cm, 厚さ 2.7cm, 胴体, 【正面・裏面】 刺突文・刺突列, 【側面】 沈線文 (渦巻文)	95-3	RP546
115-2	SX120-1 層	6 区・東壁	耳飾	長さ 2.4cm, 幅 3.2cm, 厚さ 3.2cm	95-7	RP547
115-3	SX120-5j 層	6 区・N 3 東壁	三角埴形土製品	長さ 6.0cm, 幅 3.2cm, 高さ 3.6cm, 全面に刺突文 (指頭列), 側面に貫通孔 (長軸方向に穿孔)	95-4	RP548
115-4	SX120-5 層	8 区・N4	三角埴形土製品	残存長 4.3cm, 残存幅 3.4cm, 残存高 2.6cm, 上部欠損, 刺突列 (縦位), 底面はナデ	95-6	RP549
115-5	SX120-5 層	6 区・N3	三角埴形土製品?	残存長 6.6cm, 幅 2.2cm, 高さ 2.5cm, 両端欠損, 上端部に斜位の刻み・刺突列, 底面はナデ	95-5	RP550
115-6	SX120-3 層	6 区・S1	スタンプ形土製品?	残存長 2.4cm, 残存幅 2.3cm, 残存高 1.3cm, 正面に沈線文 (凹線)	95-8	RP551
115-7	SX120-3e 層	6 区・東壁	土版?	残存長 3.7cm, 残存幅 6.0cm, 厚さ 1.0cm, 両面に刺突文 (正面は刺突列状)	95-9	RP552

第 115 図 SX120 遺物包含層出土土製品 (4)



図番号	遺構・層	出土地	種別	特徴	写真	登録番号
116-1	SX120-1 層	6 区・B1	円盤状土製品	最大径 4.7cm, 厚さ 0.9cm, 重量 26.06g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 縄文 (LR)	96-1	RP553
116-2	SX120-1 層	6 区・B1	円盤状土製品	最大径 3.6cm, 厚さ 0.6cm, 重量 9.78g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 縄文 (RL)	96-2	RP554
116-3	SX120-2 層	6 区・S1 東壁	円盤状土製品	最大径 3.8cm, 厚さ 0.7cm, 重量 15.43g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 網目状捺糸文	96-3	RP557
116-4	SX120-2 層	6 区・S1	円盤状土製品	最大径 5.5cm, 厚さ 0.7cm, 重量 29.24g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 条線文 (櫛歯状工具)	96-4	RP558
116-5	SX120-2 層	6 区・S1	円盤状土製品	最大径 3.0cm, 厚さ 0.8cm, 重量 9.4g, 口縁部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 縄文 (LR)	96-5	RP559
116-6	SX120-2 層	6 区・B3	円盤状土製品	最大径 4.6cm, 厚さ 0.9cm, 重量 24.12g, 口縁部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 無文 (ナデ)	96-6	RP570
116-7	SX120-2 層	6 区・N1	円盤状土製品	最大径 3.9cm, 厚さ 0.7cm, 重量 16.17g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 沈線, 縄文 (LR か)	96-7	RP572
116-8	SX120-3 層	6 区・N2N3	円盤状土製品	最大径 3.6cm, 厚さ 0.9cm, 重量 12.08g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 鎖状隆線文, 縄文 (RL)	96-8	RP555
116-9	SX120-3 層	6 区・N2N3	円盤状土製品	最大径 5.0cm, 厚さ 1.0cm, 重量 22.26g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 隆線文, 縄文 (LR)	96-9	RP556
116-10	SX120-3 層	8 区・S7	円盤状土製品	最大径 5.5cm, 厚さ 0.9cm, 重量 26.85g, 口縁部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 隆線, 沈線, 刻目文, 縄文 (RL)	96-10	RP560
116-11	SX120-3 層	6 区・B3	円盤状土製品	最大径 5.5cm, 厚さ 1.2cm, 重量 35.58g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 隆線, 刺突列, 沈線, 縄文 (LR)	96-11	RP561
116-12	SX120-3 層上部	8 区・B6	円盤状土製品	最大径 4.5cm, 厚さ 0.5cm, 重量 31.6g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, ヒレ状隆線, 縄文	96-12	RP562
116-13	SX120-3 層	8 区・S4	円盤状土製品	最大径 5.3cm, 厚さ 1.4cm, 重量 31.68g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, ヒレ状隆線, 縄文 (RL)	96-13	RP563
116-14	SX120-3 層	6 区・S1	円盤状土製品	最大径 5.4cm, 厚さ 0.8cm, 重量 28.52g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 沈線, 捺糸文 (L)	96-14	RP564
116-15	SX120-3 層	6 区・N2N3	円盤状土製品	最大径 4.0cm, 厚さ 0.9cm, 重量 13.53g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 隆線, 縄文 (RL)	96-15	RP565
116-16	SX120-3d 層	6 区・東壁	円盤状土製品	最大径 4.5cm, 厚さ 1.2cm, 重量 24.49g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 隆線, 捺糸文 (R か)	96-16	RP566
116-17	SX120-3 層	8 区・S5	円盤状土製品	最大径 4.1cm, 厚さ 0.9cm, 重量 19.59g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 沈線	96-17	RP567
116-18	SX120-3 層	6 区・S1	円盤状土製品	最大径 4.9cm, 厚さ 1.0cm, 重量 20.36g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 隆沈線, 縄文 (RL)	96-18	RP568
116-19	SX120-3 層	8 区・N4	円盤状土製品	最大径 4.1cm, 厚さ 0.9cm, 重量 16.55g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 隆線	96-19	RP569
116-20	SX120-3 層	6 区・S1	円盤状土製品	最大径 3.1cm, 厚さ 0.8cm, 重量 9.58g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 縄文 (LR か)	96-20	RP571
116-21	SX120-4 層	6 区・S3	円盤状土製品	最大径 3.8cm, 厚さ 0.9cm, 重量 15.09g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 沈線, 縄文 (LR か)	96-22	RP574
116-22	SX120-5 層	6 区・N3	円盤状土製品	最大径 4.4cm, 厚さ 0.9cm, 重量 17.75g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 隆線, 刺突列, 沈線	96-25	RP577
116-23	SX120-5 層	8 区・S8	円盤状土製品	最大径 4.3cm, 厚さ 0.9cm, 重量 16.1g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 隆線, 沈線	96-26	RP578
116-24	SX120-5o 層	8 区・N6	円盤状土製品	最大径 5.4cm, 厚さ 0.8cm, 重量 21.5g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 隆線, 沈線, 縄文 (LR 前々段多糸)	96-27	RP579
116-25	SX120-5 層	8 区・S7	円盤状土製品	最大径 5.1cm, 厚さ 0.6cm, 重量 20.09g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 沈線	96-28	RP580
116-26	SX120-5 層	6 区・N2	円盤状土製品	最大径 3.4cm, 厚さ 0.8cm, 重量 12.116g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 沈線, 縄文 (RL)	96-29	RP5116
116-27	SX120-5 層	8 区・N5	円盤状土製品	最大径 4.5cm, 厚さ 0.9cm, 重量 15.19g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 縄文 (RL)	96-30	RP582
116-28	SX120-5k 層	8 区・B4c	円盤状土製品	最大径 4.6cm, 厚さ 0.6cm, 重量 19.35g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 沈線, 縄文 (LR)	96-31	RP583
116-29	SX120-5 層	8 区・S7	円盤状土製品	最大径 3.9cm, 厚さ 0.8cm, 重量 15.68g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 沈線	96-32	RP584
116-30	SX120-5o 層	8 区・N6	円盤状土製品	最大径 3.2cm, 厚さ 0.8cm, 重量 12.0g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 沈線, 縄文 (RL)	96-33	RP585
116-31	SX120-5 層	8 区・S7	円盤状土製品	最大径 4.6cm, 厚さ 0.9cm, 重量 24.33g, 口縁部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 捺糸文 (R)	96-34	RP586
116-32	SX120-5c' 層	6 区・N3 東壁	円盤状土製品	最大径 5.4cm, 厚さ 1.1cm, 重量 44.32g, 口縁部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 網目状捺糸文	96-35	RP587
116-33	SX120-5j 層	8 区・B5	円盤状土製品	最大径 3.7cm, 厚さ 0.7cm, 重量 11.69g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 沈線, 捺糸文 (R)	96-36	RP588
116-34	SX120-5 層下部	8 区・S7	円盤状土製品	最大径 3.7cm, 厚さ 0.8cm, 重量 12.47g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 縄文 (RL)	96-37	RP589

第 116 図 SX120 遺物包含層出土土製品 (5)



図番号	遺構・層	出土地	種別	特徴	写真	登録番号
117-1	SX120-6層	6区・S3	円盤状土製品	最大径 3.4cm, 厚さ 0.8cm, 重量 11.81g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 隆線, 刺突列	96-39	RP591
117-2	SX120-6層	6区・S1 南壁	円盤状土製品	最大径 4.6cm, 厚さ 0.9cm, 重量 22.22g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 沈線, 縄文 (LR)	96-40	RP592
117-3	SX120-6層	6区・S1	円盤状土製品	最大径 4.0cm, 厚さ 0.9cm, 重量 22.1g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 沈線, 縄文 (LR か)	96-41	RP593
117-4	SX120-6層	6区・N1	円盤状土製品	最大径 3.9cm, 厚さ 0.9cm, 重量 17.41g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 縄文 (RL)	96-42	RP594
117-5	SX120-6層	6区・S3	円盤状土製品	最大径 2.8cm, 厚さ 1.0cm, 重量 10.15g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 縄文 (RLR)	96-43	RP595
117-6	SX120-6層	8区・B4c	円盤状土製品	最大径 2.8cm, 厚さ 0.6cm, 重量 7.62g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 沈線, 縄文 (RL)	96-44	RP889
117-7	SX120-6層	6区・N1	円盤状土製品	最大径 3.2cm, 厚さ 0.7cm, 重量 9.19g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 擦糸文 (R)	96-45	RP596
117-8	SX120-7層	6区・N1	円盤状土製品	最大径 4.2cm, 厚さ 1.1cm, 重量 22.33g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 隆線, 縄文 (LR)	96-46	RP597
117-9	SX120-7層	6区・S2	円盤状土製品	最大径 4.0cm, 厚さ 0.8cm, 重量 15.25g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 沈線, 縄文 (LR)	96-47	RP598
117-10	SX120-7層	8区・S8	円盤状土製品	最大径 4.8cm, 厚さ 0.7cm, 重量 12.77g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 縄文 (RL), 結節縄文 (RL)	96-48	RP599
117-11	SX120-7層	6区・S2	円盤状土製品	最大径 4.7cm, 厚さ 0.8cm, 重量 26.69g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 擦糸文 (L)	96-49	RP600
117-12	SX120-7層	6区・B1s	円盤状土製品	最大径 4.4cm, 厚さ 0.7cm, 重量 19.72g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 擦糸文 (R)	96-50	RP601
117-13	SX120-7層	6区・S1	円盤状土製品	最大径 5.5cm, 厚さ 0.9cm, 重量 33.89g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 縄文 (LR)	96-51	RP602
117-14	SX120-7層	6区・S2	円盤状土製品	最大径 2.5cm, 厚さ 0.5cm, 重量 4.19g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 擦糸文 (R)	96-52	RP603
117-15	SX120-8層	8区・S7	円盤状土製品	最大径 4.4cm, 厚さ 1.1cm, 重量 23.86g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 縄文 (LR)	96-53	RP604
117-16	SX120-9層	6区・B2s	円盤状土製品	最大径 4.4cm, 厚さ 0.8cm, 重量 21.47g, 体部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 縄文 (LR)	96-54	RP605
117-17	SX120-6層	8区・南壁	円盤状土製品	最大径 7.1cm, 厚さ 1.4cm, 底部破片利用, 打ち欠き, 研磨, 内面に黒色付着物あり	96-55	RP606

第 117 図 SX120 遺物包含層出土土製品 (6)

不明土製品とした第115図5は、断面が三角形状で三角壺形土製品の可能性があるもので、5層から出土している。側面に孔のないもので、上端部に刺突列と斜位の刻みが施されている。第115図6はスタンプ型土製品の一部とみられるもので、正面に幅広の沈線文(凹線)が施されている。第115図7は土版の一部とみられるもので、厚さ1.0cmの板状である。両面に刺突文が施されている。

円盤状土製品は295点出土しており、残存状況がよく文様があるものを中心に51点図示した(第116～117図)。大きさは最大径で2.5～7.1cmのものがある。深鉢の体部破片を利用したものが主体であるが、口縁部破片(第116図5・6・10・31・32)や底部破片(第117図17)を利用したものもある。周縁を打ち欠き、研磨して成形している。

④石器・石製品（第 118 図～159 図、第 10 表）

SX120 遺物包含層・貝層から出土した石器には、石鏃、石錐、石匙、石篋、尖頭器、楔形石器、不定形石器、打製石斧、磨製石斧、磨凹敲石類、砥石、石皿、剥片・チップ・石核があり、トウールは 914 点、全体で 1965 点出土している（第 10 表）。剥片石器は全体の形状がわかるもの、礫石器は完形品で明瞭に使用痕が残るものを中心に抽出し、68 点図示した。

石製品には石棒類、石刀類、有孔石製品、円盤状石製品、環状石製品、沈刻棒状石製品、線刻礫、その他の石製品があり、全体で 82 点出土している。石製品は全体の形状や特徴がわかるものを中心に 78 点図示した。その他に自然の営力や素材礫の特質性により孔をもつに至ったと考えられる有孔礫があり、石錘や装身具として利用された可能性があることから遺物として登録し、写真のみ掲載した。以下では層ごとに石器・石製品を図示し、その特徴を示す。

1 層から出土した石器には、石鏃（第 118 図 1～6）、石錐（第 118 図 7・8）、石篋（第 118 図 9）、楔形石器（第 118 図 10）、不定形石器（第 118 図 11～13）、打製石斧（第 119 図 1）、磨製石斧（第 119 図 2）、磨凹敲石類（第 119 図 3）、石皿（第 119 図 4）があり、石製品には沈刻棒状石製品（第 119 図 5）がある。石鏃は基部の形態が凹基のもの（第 118 図 1～3）と凸基（有茎）のもの（第 118 図 4・5）がある。石錐はつまみ部を持つものである。磨製石斧は側縁が刃部に向かってやや開くものである。沈刻棒状石製品は欠損しているものの、格子状の線刻が施されている。

2 層から出土した石器には、石鏃（第 120 図 1～6）、石匙（第 120 図 7～9）、楔形石器（第 120 図 10）、不定形石器（第 120 図 11～13）、磨製石斧（第 120 図 14）、磨凹敲石類（第 121 図 1～7）、石皿（第 122 図、第 123 図 1・2）があり、石製品には有孔石製品（第 123 図 3・4）、線刻礫（第 123 図 5）、円盤状石製品（第 123 図 6）がある。その他に有孔礫（第 123 図 7・8）が出土している。石鏃は基部の形態が凹基のもの（第 120 図 1～3）、凸基（有茎）のもの（第 120 図 4・5）、平基のもの（第 120 図 6）がある。石匙は横型（第 120 図 7）と縦型（第 120 図 8・9）がある。磨製石斧は側縁が刃部に向かってやや開くものである。石皿には皿状の小型のもの（第 122 図 1）もある。有孔石製品は孔の位置が中央のもの（第 123 図 4）とやや端に寄るもの（第 123 図 3）がある。

第 10 表 SX120 遺物包含層石器・石製品点数表

遺構・層		全石器・石製品 (2047)																		計	
		全石器 (1965)																石棒類			石製品
		全剥片石器 (1406)																			
		剥片石器 (386)						剥片類(1012)													
		定形石器 (227)				礫石器 (528)															
石鏃	石錐	石匙	尖頭器	石篋	打製石斧			異形石器	楔形石器	不定形石器	剥片	チップ	石核	磨製石斧	磨凹 敲石類	砥石	石皿				
層	7	3	0	0	1	1	0	3	11	14	0	0	4	11	0	1	0	1	57		
SX120-1 層	12	0	4	0	0	0	0	3	14	40	0	0	1	67	0	5	0	4	150		
SX120-3 層	33	4	2	0	0	0	0	8	29	182	139	0	4	63	0	4	1	18	487		
SX120-4 層	31	4	0	0	0	0	0	4	10	116	0	0	2	33	1	2	0	7	210		
SX120-5 層	61	8	4	0	0	2	1	8	40	258	0	0	10	136	3	3	1	26	561		
SX120-6 層	22	2	1	1	0	1	0	1	10	126	2	1	8	95	0	3	2	8	283		
SX120-7 層	5	0	4	0	0	7	0	8	7	63	0	3	2	91	3	3	3	9	208		
SX120-8 層	1	0	0	1	0	4	0	0	2	32	0	3	0	3	0	1	0	0	47		
SX120-9 層	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	0	0	0	7		
SX120- 層不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	2	0	0	0	0	0	0	2	37		
計	172	21	16	2	1	15	1	35	123	869	143	8	31	499	7	22	7	75	2047		

3層から出土した石器には、石鏃（第124図1～11）、石錐（第124図12～14）、石匙（第124図15・16）、楔形石器（第124図17）、不定形石器（第124図18～21、第125図1～4）、磨製石斧（第125図5～8）、磨凹敲石類（第125図9～12、第126図1～4）、石皿（第126図5・6、第127図1・2）があり、石製品には石棒類（第126図7）、有孔石製品（第127図3～15、第128図1）、円盤状石製品（第128図2）、線刻礫（第128図3）、その他の石製品（第128図4・5）がある。石鏃は基部の形態が凹基のもの（第124図1～8・10）、凸基（有茎）のもの（第124図9）、平基のもの（第124図11）がある。石錐はつまみ部を持つものである。石匙はいずれも縦型である。磨製石斧は側縁が刃部に向かってやや開くものと側縁が刃部に向かってほとんど開かない細身のものがある。石皿には小型のもの（第126図5・6）もある。石棒類は大部分が破損しており、全体の形状は不明である。有孔石製品には小型で孔の位置がやや端に寄るもの（第127図3～10）、中央に孔があるもの（第127図11～15）と、大型で十字状の袢りが施されるもの（第128図1）がある。その他の石製品としたものは、小型の礫の両面に凹面をもつ凹石状のもの（第128図4）と斧形石製品の可能性があるもの（第128図5）である。

4層から出土した石器には、石鏃（第129図1～17・20）、石錐（第129図18・19）、楔形石器（第129図25）、不定形石器（第129図21～24）、磨製石斧（第129図26）、磨凹敲石類（第130図1～8）、砥石（第130図9）、石皿（第131図）があり、石製品には有孔石製品（第132図1～3）、円盤状石製品（第132図4・5）、線刻礫（第132図6・7）がある。石鏃は基部の形態が凹基のもの（第129図1～14）、凸基（有茎）のもの（第129図15・20）、平基のもの（第129図16・17）があり、凹基のものが主体を占める。石錐はつまみ部を持つもの（第129図19）と石鏃を転用したもの（第129図18）がある。磨製石斧は小型の細身で、側縁が刃部に向かって開かないものである。有孔石製品はいずれも小型で、孔の位置がやや端に寄るもの（第132図3）と中央に孔があるもの（第132図1・2）がある。線刻礫には、板状の小型の礫を素材とし、両端に袢りをいれ、中央に横方向の線刻が巡るもの（第132図6）と、砥石の可能性があるもの（第132図7）がある。

5層から出土した石器には、石鏃（第133図1～19）、石錐（第133図20～25）、石匙（第134図1～3）、楔形石器（第134図4・5）、不定形石器（第134図6～12、第135図1～4）、異形石器（第135図5）、打製石斧（第135図6）、磨製石斧（第135図7～10、第136図1～4）、磨凹敲石類（第136図5～11、第137図、第138図1・2）、砥石（第138図3～5）、石皿（第138図6・7、第139図1）があり、石製品には石棒類（第139図2）、有孔石製品（第139図3～10、第140図1～3）、円盤状石製品（第140図4～7）、環状石製品（第140図8）、石皿形石製品（第140図9）、線刻礫（第140図10）、有孔軽石（第140図11）などがある。その他に、有孔礫（第141図9）、軽石（第141図10・11）が出土している。石鏃は基部の形態が凹基のもの（第133図1～14）、凸基（有茎）のもの（第133図15）、平基のもの（第133図16～19）があり、凹基のものが主体を占める。石錐はつまみ部を持つもの（第133図20～24）が主体で、棒状のもの（第133図25）が伴う。石匙はいずれも縦型である。異形石器としたものは、先端部は欠損しているものの、凹基で鏃身部が長い石鏃を大型化したような形態のものである。磨製石斧は側縁が刃部に向かってあまり開か

ないもの（第 135 図 7～10）、撥形のもの（第 136 図 1）、小型で細身のもの（第 136 図 2～4）がある。石皿には脚付きのもの（第 138 図 6）と小型のもの（138 図 7、第 139 図 1）がある。石棒は小型で、先端部に横位の袂りが巡るものである。有孔石製品には、小型で孔の位置がやや端に寄るもの（第 139 図 7～9）と中央に孔があるもの（第 139 図 3～5・10）、孔を 2 個有するもの（第 140 図 1・2）、中型で片面に線刻が施されるもの（第 139 図 10）、大型のもの（第 140 図 3）がある。環状石製品は破片資料であるが、中央に直径 2cm 程度の孔を有するリング形とみられる。石皿形石製品は、小型で碗状の形態である。線刻礫は板状で小型の礫を素材とし、格子状の線刻が施されている。その他の石製品としたものには、円礫に袂りを入れ両端部に凹面をもつもの（第 141 図 1）、板状で薄手の礫を素材とし側面に 5mm 程度の間隔で線刻（刻み）を施したもの（第 141 図 2）、円礫の長軸方向に溝状の袂りを入れた石錘の可能性があるもの（第 141 図 3）、片面または両面に凹面をもつもの（第 141 図 4・5）などがある。

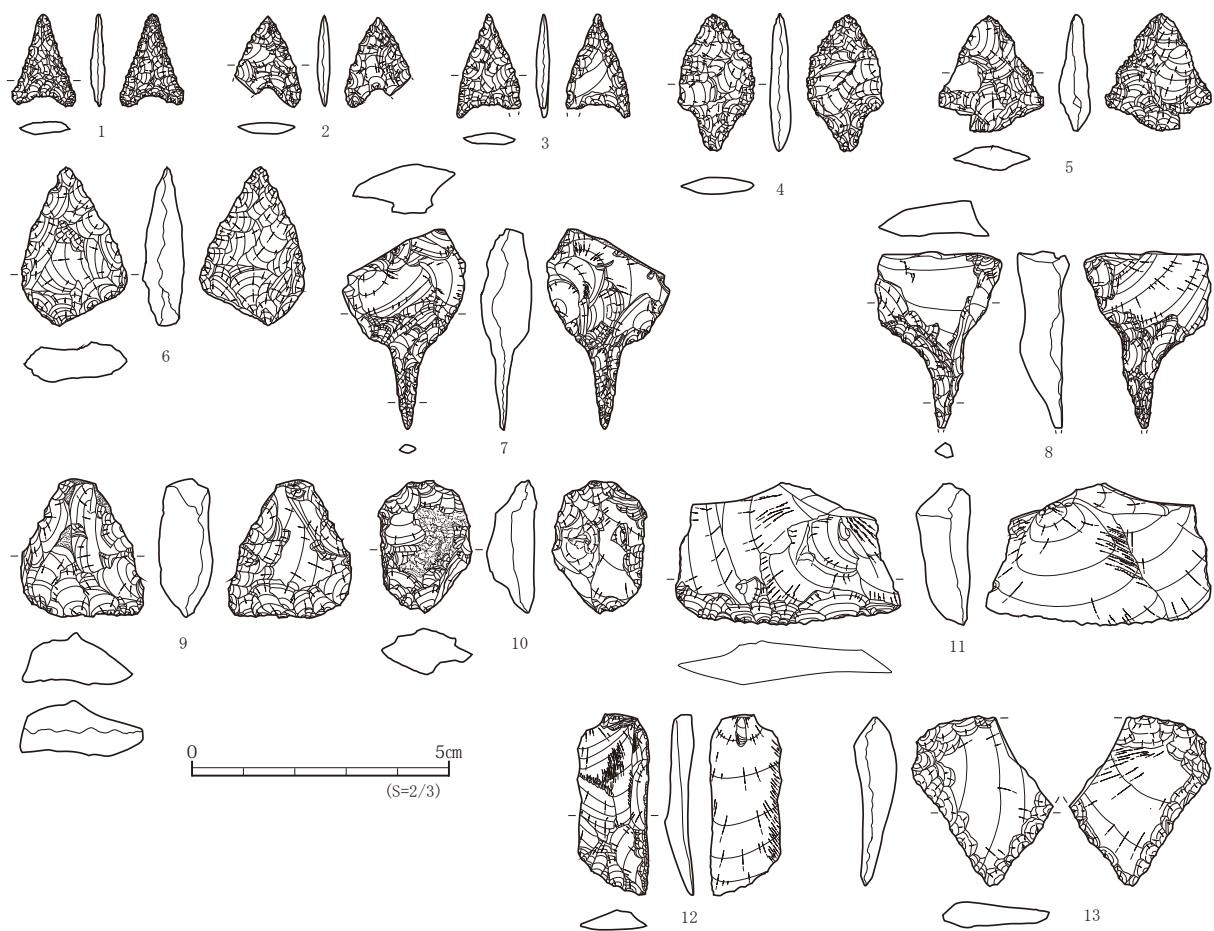
6 層から出土した石器には、石鏃（第 142 図 1～10）、石錐（第 142 図 11・12）、石匙（第 142 図 13）、尖頭器（第 142 図 14）、不定形石器（第 142 図 15～19）、打製石斧（第 143 図 1）、磨製石斧（第 143 図 2～7）、磨凹敲石類（第 144・145 図、第 146 図 1）石皿（第 146 図 2～5）があり、石製品には石棒類（第 147 図 1・2）、沈刻棒状石製品（第 147 図 3）、有孔石製品（第 147 図 4）、環状石製品（第 147 図 5）、線刻礫（第 147 図 6）、有孔軽石（第 148 図 1・2）などがある。その他に、軽石（第 148 図 5）が出土している。石鏃は基部の形態が凹基のもの（第 142 図 1～6）、平基のもの（第 142 図 7～10）がある。石錐はつまみ部を持つもの（第 142 図 11）と棒状のもの（第 142 図 12）がある。石匙は縦型である。磨製石斧は側縁が刃部に向かってやや開くものである。石皿には小型のものがある。石棒には、大部分が破損しており全体の形状が不明なもの（第 147 図 1）、小型で先端部に横位の袂りが巡るもの（第 147 図 2）がある。沈刻棒状石製品は形態は小型の石棒に類似するが、横位の袂りが両端部に巡り、片面に縦位の沈刻線が施されるものである。有孔石製品は中型で孔の位置がやや端に寄るものである。環状石製品は破片資料であるが、中央に直径 2cm 程度の孔を有するリング形とみられる。有孔軽石はいずれも孔の位置が端に寄るものである。その他の石製品としたものには、片面または両面に凹面をもつもの（第 148 図 3・4）がある。

7 層から出土した石器には、石鏃（第 149 図 1～4）、石匙（第 149 図 5～7）、楔形石器（第 149 図 8）、不定形石器（第 149 図 9・10）、打製石斧（第 149 図 11～14、第 150 図 1・2）、磨製石斧（第 150 図 3・4）、磨凹敲石類（第 150 図 5・6、第 151 図 3～7、第 152 図）、砥石（第 151 図 1・2、第 153 図）、石皿（第 154 図、第 155 図 1）があり、石製品には石棒類（第 155 図 2～4）、沈刻棒状石製品（第 156 図 1）、有孔石製品（第 156 図 2）、石皿形石製品（第 156 図 3）、有孔軽石（第 156 図 4・5、第 157 図 1）などがある。石鏃は基部の形態が凹基のものに限られる。石匙はいずれも縦型である。打製石斧は片面の全面または大部分に自然面が残るものである。磨製石斧は側縁が刃部に向かってやや開くものである。石棒類には、小型で両端に凸部を持つもの（第 155 図 2）、先端部に袂りが入るもの（第 155 図 3）、石刀の可能性があるもの（第 155 図 4）がある。沈刻棒状石製品は 2 条 1 組の沈刻線が横位に 3 組巡るものである。有孔石製品は小型で孔の位置が端に寄るものである。石皿形石

製品は椀状のものである。有孔軽石はいずれも孔の位置が端に寄るものである。その他の石製品としたものには、両面に凹面をもつものなどがある。

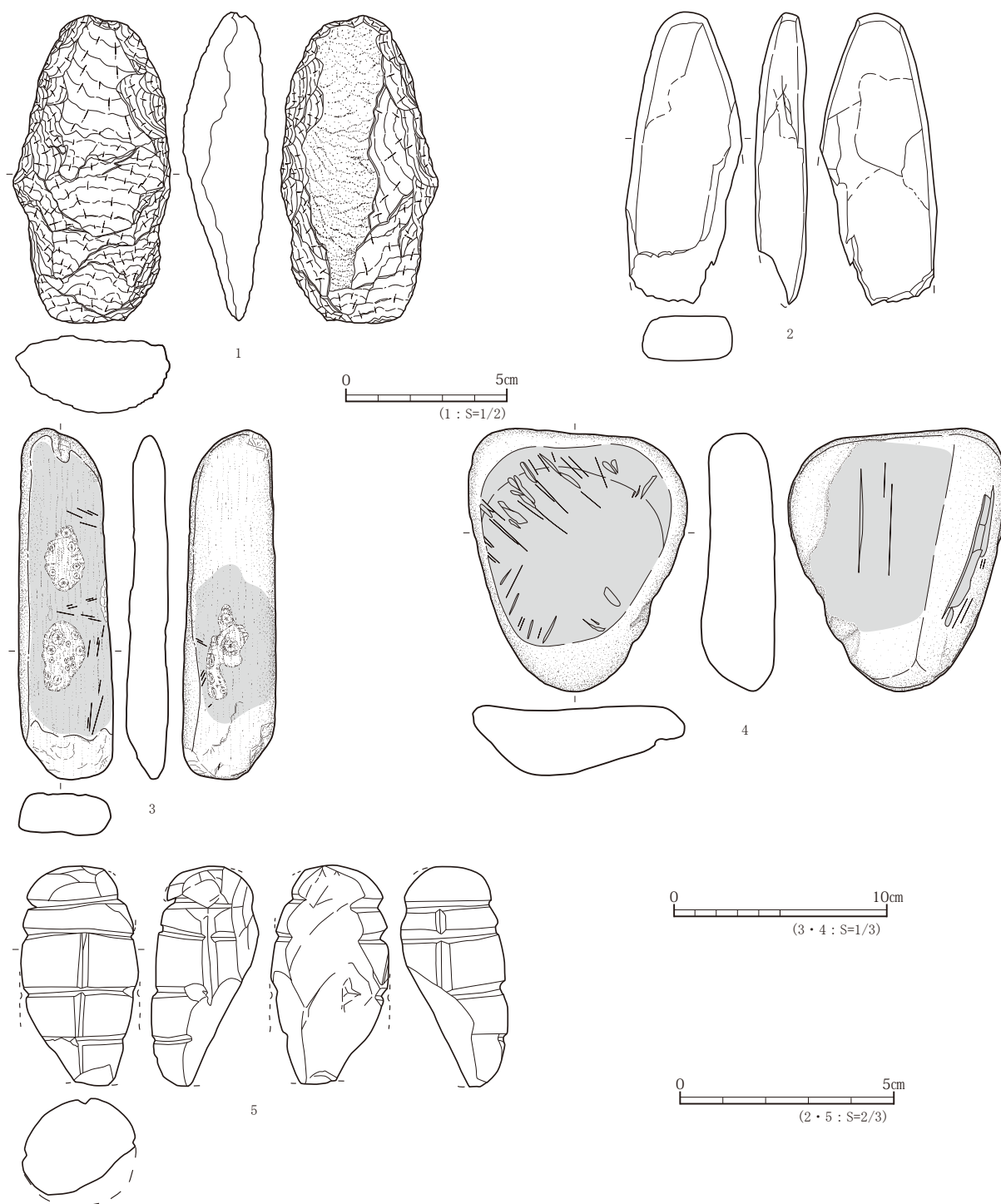
8層から出土した石器には、石鏃（第158図1）、尖頭器（第158図2）、不定形石器（第158図3・4）、打製石斧（第158図5～7）、磨凹敲石類（第158図8）、石皿（第159図1）がある。石鏃は基部の形態が凹基のものに限られる。尖頭器は柳葉形で大型のものである。打製石斧は片面の全面または大部分に自然面が残るものである。

9層からは横型の石匙（第159図2）が出土している。



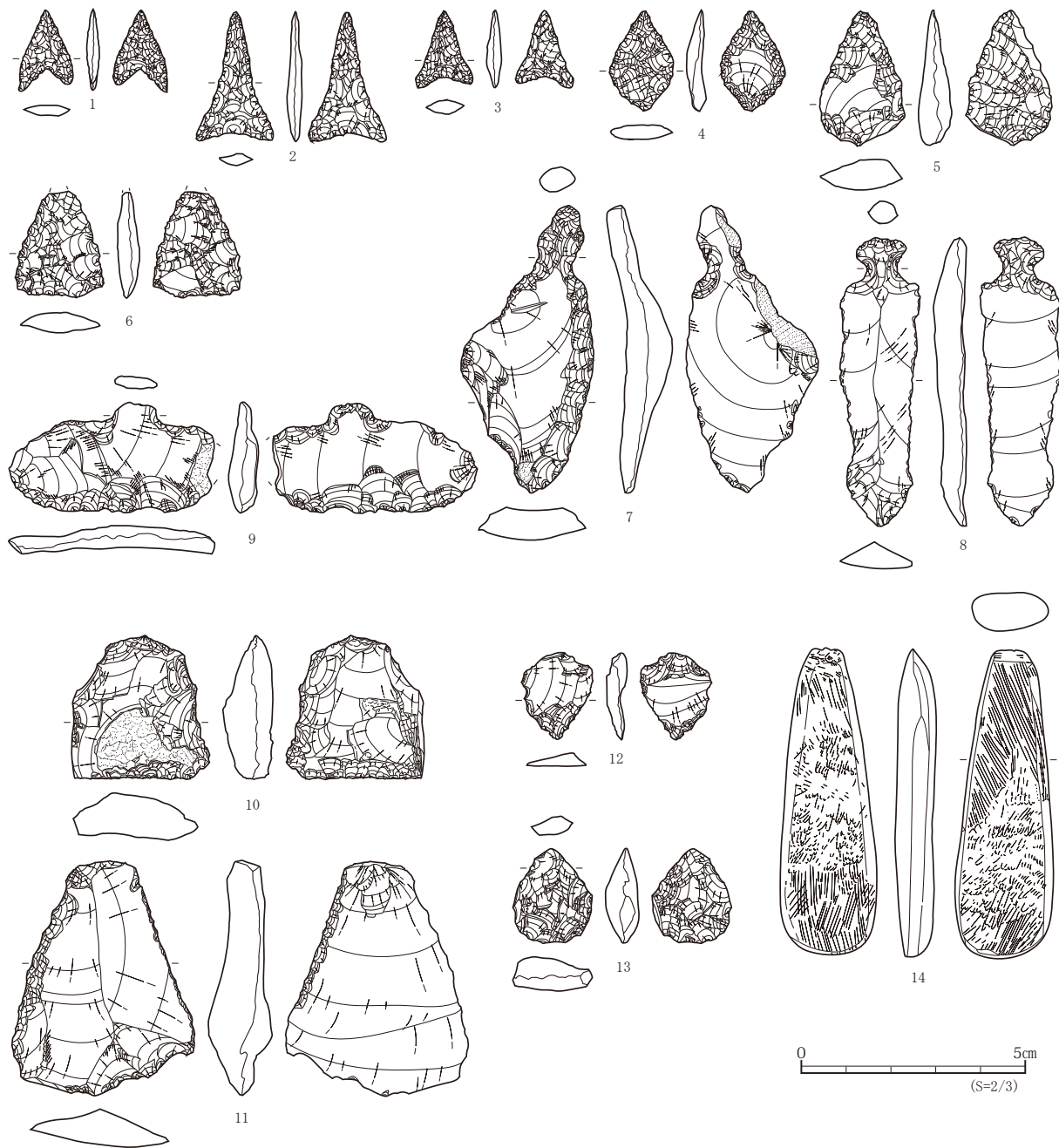
図番号	遺構・層	出土地	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
118-1	SX120-1層	6区・S1	石鏃	鏃A1	18.43	12.56	2.51	0.37	頁岩		97-1	RS5
118-2	SX120-1層	8区・B5	石鏃	鏃A2	18.13	13.23	2.36	0.41	頁岩		97-2	RS31
118-3	SX120-1層	6区・S1	石鏃	鏃A3	20.40	12.74	2.34	0.47	頁岩		97-3	RS1
118-4	SX120-1層	6区・S1	石鏃	鏃B1	27.38	15.47	3.86	1.39	頁岩		97-4	RS2
118-5	SX120-1層	6区・S3東壁	石鏃	鏃B1	23.07	20.92	5.90	1.95	変質凝灰岩		97-5	RS3
118-6	SX120-1層	6区・B3	石鏃	鏃B3	31.51	21.11	7.14	4.30	メノウ		97-6	RS4
118-7	SX120-1層	6区・S3	石鏃	鏃A1	39.49	24.46	9.83	5.18	頁岩		97-7	RS80
118-8	SX120-1層	6区・B1s	石鏃	鏃A1	35.06	25.20	10.22	5.25	頁岩		97-8	RS81
118-9	SX120-1層	6区・B3	石鏃	鏃B3	27.49	24.66	10.09	6.27	変質凝灰岩		97-9	RS118
118-10	SX120-1層	6区・B3	楔形石器	楔B	26.42	18.89	9.08	3.77	変質凝灰岩		97-10	RS120
118-11	SX120-1層	6区・S1	不定形石器	不B	28.20	44.78	9.17	10.74	頁岩		97-11	RS127
118-12	SX120-1層	8区・B5	不定形石器	不B	35.84	14.50	4.41	2.19	頁岩		97-12	RS142
118-13	SX120-1層	8区・S4	不定形石器	不B	33.95	28.30	7.75	5.27	頁岩		97-13	RS143

第118図 SX120 遺物包含層1層出土石器・石製品（1）



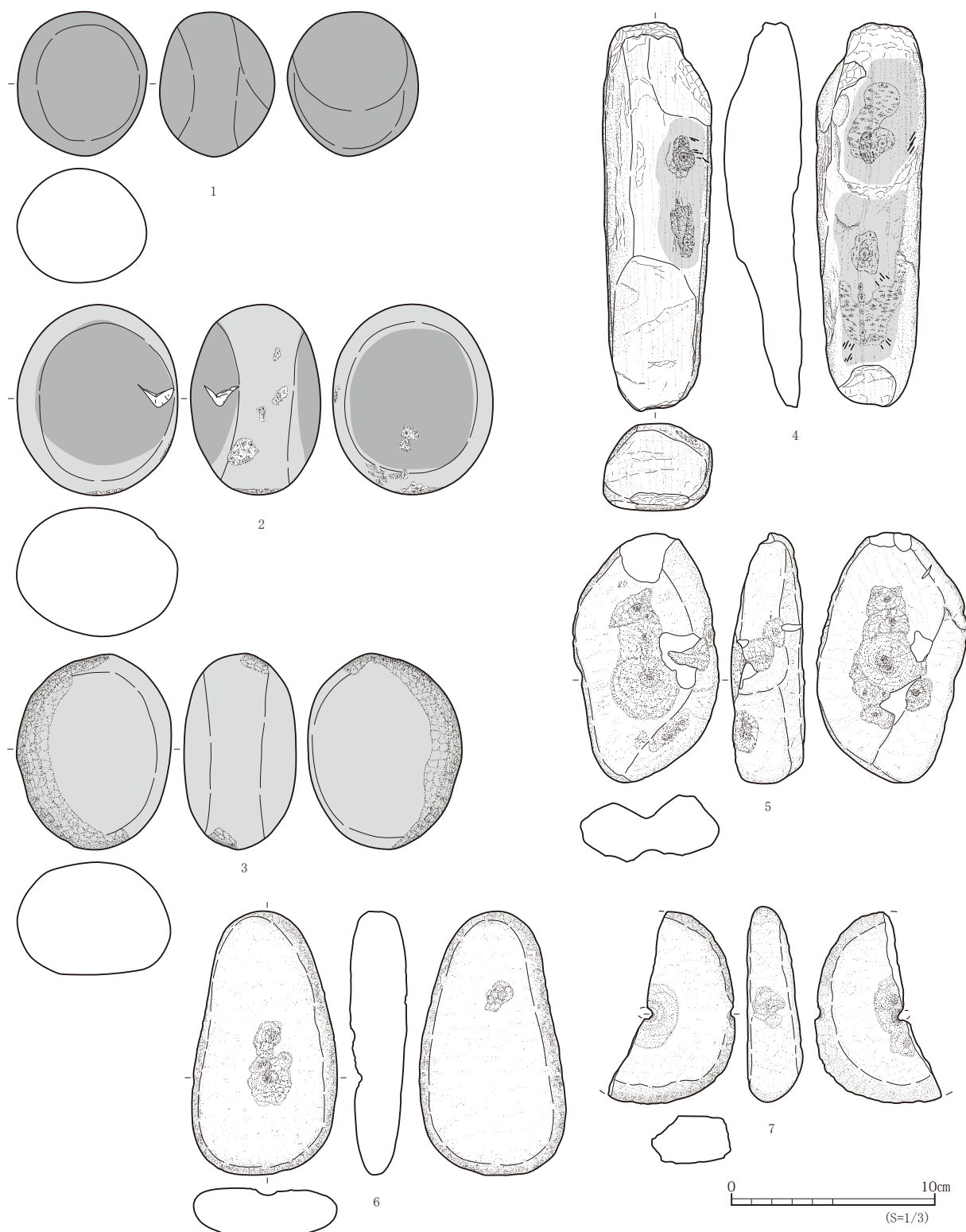
図番号	遺構・層	出土地	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
119-1	SX120-1層	6区・B3	打製石斧		97.73	50.31	26.45	148.85	千枚岩・片岩		97-14	RS168
119-2	SX120-1層	6区・N1	磨製石斧		69.34	28.00	2.27	31.94	砂岩	刃部欠損	97-15	RS181
119-3	SX120-1層	6区・B3	磨凹礫石類	磨凹石	166.20	44.67	20.06	227.40	千枚岩		97-16	RS269
119-4	SX120-1層	6区・N1	石皿	小型	125.52	103.78	34.91	481.00	砂岩		97-17	RS323
119-5	SX120-1層	6区・B1	沈刻棒状石製品		52.61	28.51	26.31	27.93	凝灰岩質砂岩		97-18	RS402

第 119 図 SX120 遺物包含層 1 層出土石器・石製品 (2)



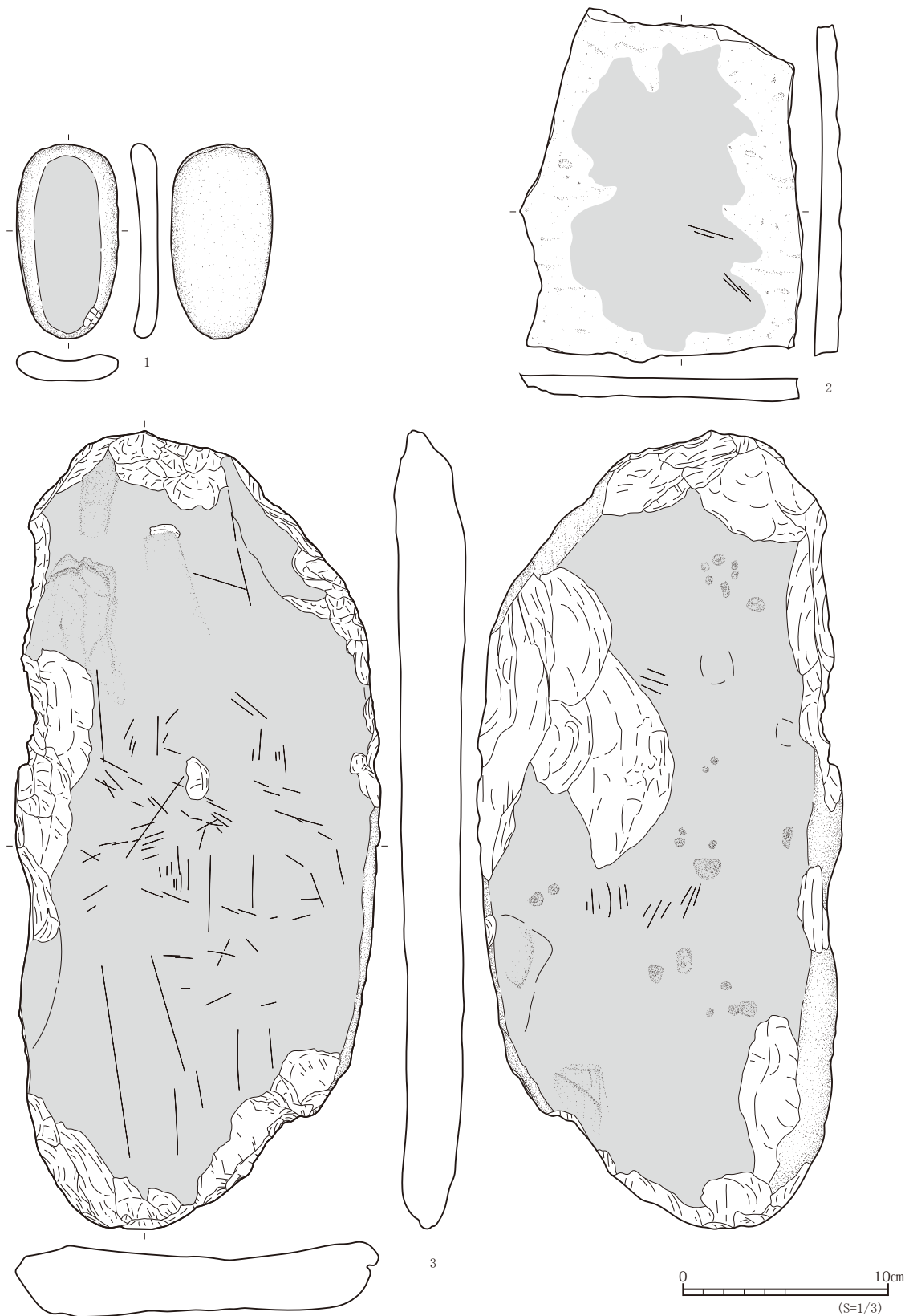
図番号	遺構・層	出土地	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
120-1	SX120-2層	6区・B3	石鏃	鏃 A2	18.61	12.55	2.62	0.39	変質凝灰岩		98-1	RS9
120-2	SX120-2層	6区・東壁	石鏃	鏃 A3	29.30	17.56	3.22	0.84	黒色頁岩		98-2	RS10
120-3	SX120-2層	6区・B1n	石鏃	鏃 A3	17.71	13.17	3.27	0.42	頁岩		98-3	RS7
120-4	SX120-2層	6区・S1	石鏃	鏃 B3	22.70	14.80	3.39	1.10	メノウ		98-4	RS6
120-5	SX120-2層	6区・B3	石鏃	鏃 B3	30.97	19.56	7.12	3.61	頁岩		98-5	RS8
120-6	SX120-2a層	8区・B4w	石鏃	鏃 C1	24.41	20.25	4.95	2.10	頁岩		98-6	RS32
120-7	SX120-2層	6区・S1	石匙	匙 A	65.49	30.12	8.55	13.31	頁岩		98-7	RS97
120-8	SX120-2a層	8区・B5	石匙	匙 A	65.76	18.13	6.48	6.87	頁岩		98-8	RS102
120-9	SX120-2層	6区・S1	石匙	匙 B	25.15	46.70	5.02	3.52	珪化凝灰岩		98-9	RS98
120-10	SX120-2層	6区・S1	楔形石器	楔 B	32.80	31.55	10.48	11.46	変質凝灰岩		98-10	RS121
120-11	SX120-2a層	8区・B5	不定形石器	不 B	53.33	41.71	14.09	20.73	頁岩		98-11	RS145
120-12	SX120-2層	8区・S6	不定形石器	不 C	19.89	16.50	4.37	1.00	頁岩		98-12	RS144
120-13	SX120-2層	6区・S1	不定形石器	不 A	21.71	18.34	7.23	2.69	頁岩		98-13	RS128
120-14	SX120-2層	6区・S2	磨製石斧		70.03	23.21	9.23	22.13	泥岩		98-14	RS205

第 120 図 SX120 遺物包含層 2 層出土石器・石製品 (1)



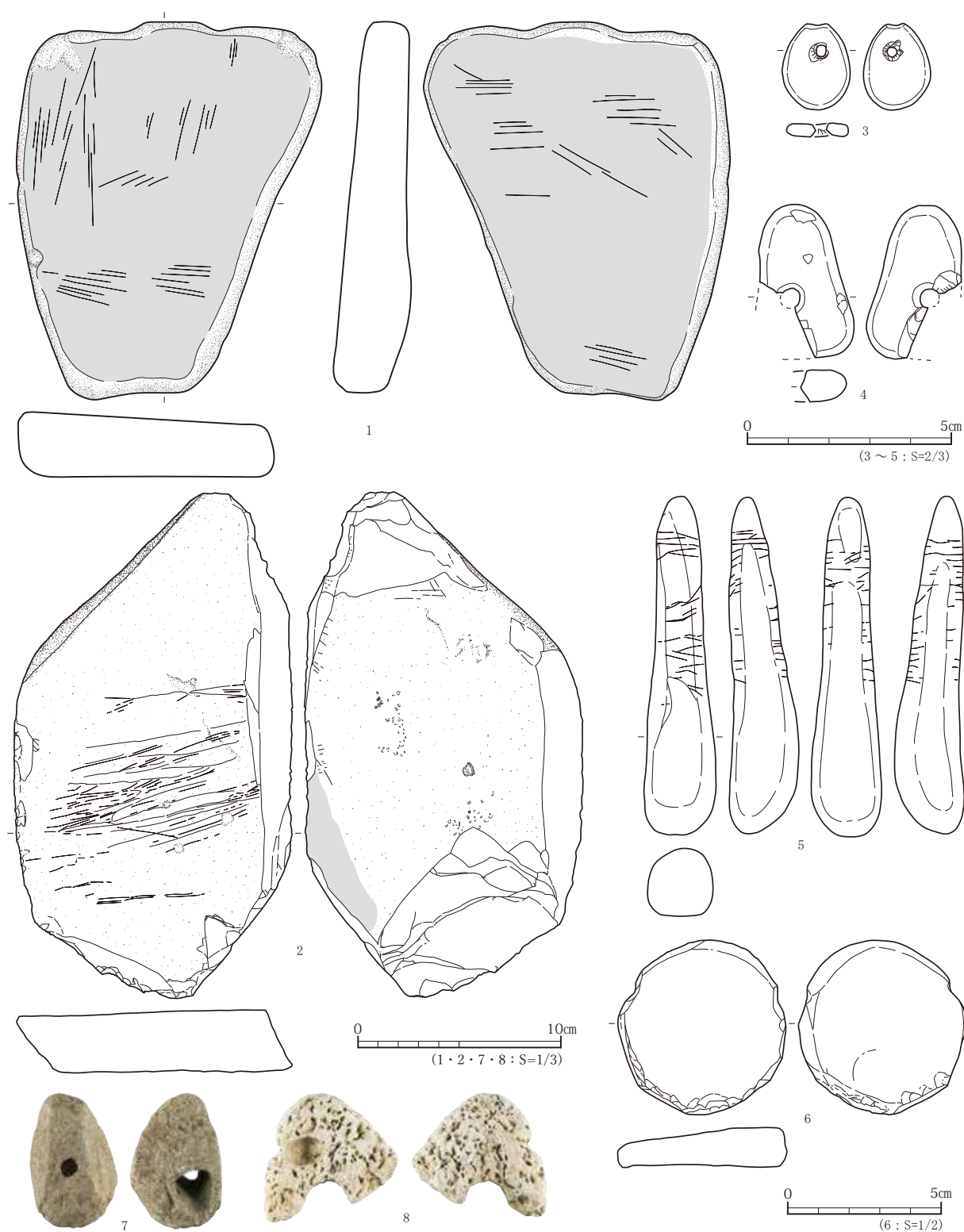
図番号	遺構・層	出土地	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
121-1	SX120-2層	6区・S1	磨凹敲石類	磨石	71.68	64.39	57.58	394.74	安山岩		98-15	RS214
121-2	SX120-2層	6区・S1	磨凹敲石類	磨敲石	94.99	79.45	64.06	743.50	閃緑岩		98-16	RS235
121-3	SX120-2層	6区・N1	磨凹敲石類	磨敲石	97.92	77.01	56.10	660.60	花崗岩		98-17	RS236
121-4	SX120-2層	6区・S1	磨凹敲石類	磨凹石	191.90	54.27	43.32	464.80	千枚岩		98-18	RS270
121-5	SX120-2層	6区・S1	磨凹敲石類	凹石	124.47	72.10	29.92	305.20	凝灰岩		98-19	RS256
121-6	SX120-2層	6区・S1	磨凹敲石類	凹石	131.40	71.61	23.59	289.30	凝灰岩		98-20	RS255
121-7	SX120-2層	6区・N2N3	磨凹敲石類	凹石	95.32	62.92	23.81	115.80	凝灰岩		98-21	RS254

第 121 図 SX120 遺物包含層 2 層出土石器・石製品 (2)



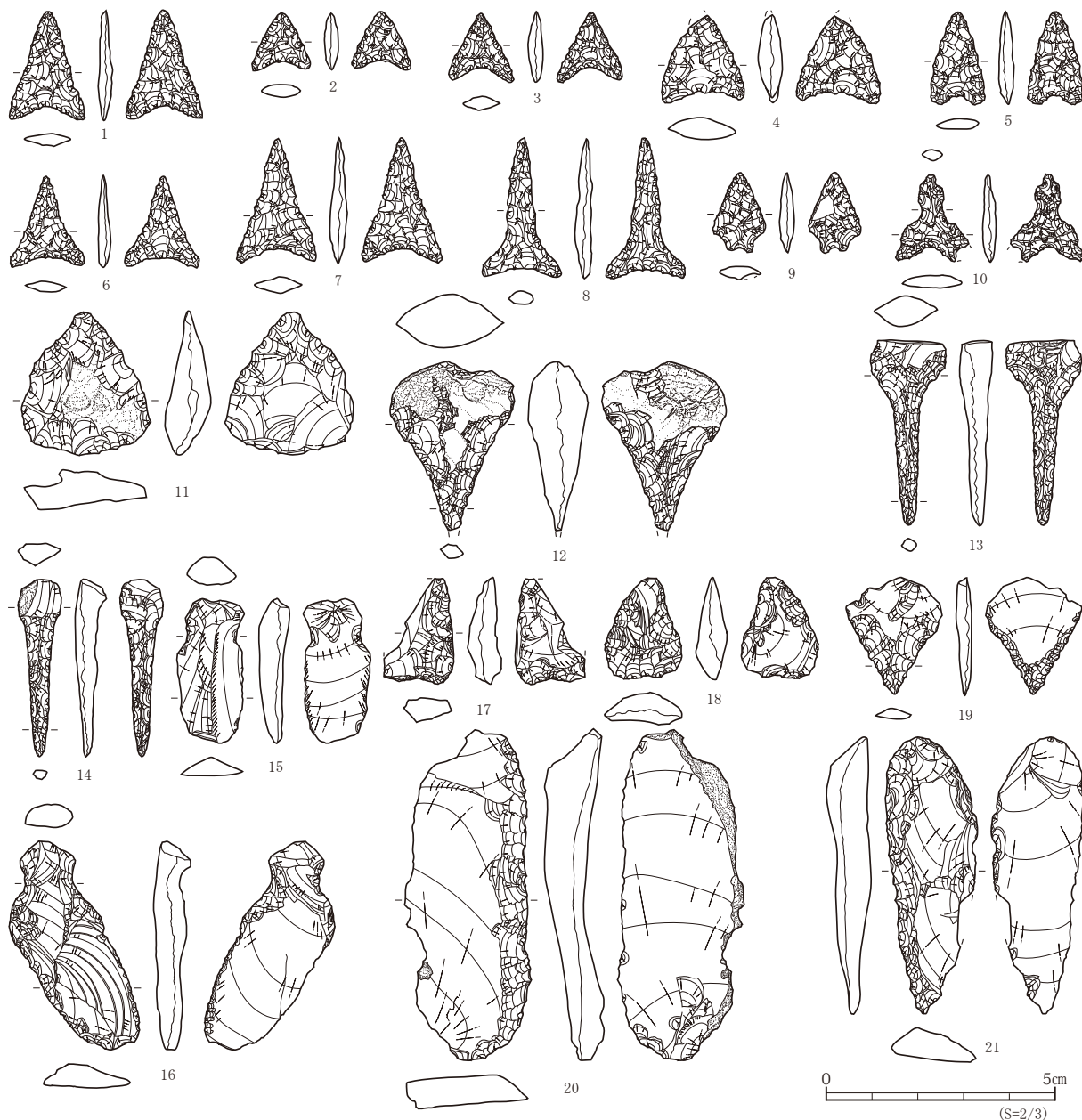
図番号	遺構・層	出土地	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
122-1	SX120-2c 層	8 区・S4	石皿	小型	95.54	50.12	12.78	80.00	砂岩		98-22	RS329
122-2	SX120-2 層	6 区・S1	石皿		170.50	137.24	12.43	589.00	凝灰岩質砂岩		99-1	RS334
122-3	SX120-2 層	6 区・S1	石皿	大型	393.10	180.20	34.48	3403.00	片岩		99-3	RS343

第 122 図 SX120 遺物包含層 2 層出土石器・石製品 (3)



図番号	遺構・層	出土地	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
123-1	SX120-2 層	6 区・S1	石皿		185.30	149.02	34.81	1457.9	砂岩		99-2	RS310
123-2	SX120-2c 層	8 区・B5	石皿		272.00	138.43	30.97	1627.70	片岩	線刻状の傷	100-5	RS414
123-3	SX120-2c 層	8 区・N4	有孔石製品		21.71	17.04	3.81	1.73	凝灰岩	孔径 2.5mm	100-1	RS367
123-4	SX120-2a 層	8 区・B4w	有孔石製品		38.38	20.45	8.46	6.15	砂岩	孔径 4.5mm	100-2	RS366
123-5	SX120-2a 層	8 区・N4	線刻磔		84.38	18.11	17.16	28.86	砂岩		100-4	RS413
123-6	SX120-2b 層	8 区・B5	円盤状石製品		58.11	56.11	13.22	50.98	砂岩		100-3	RS393
123-7	SX120-2c 層	8 区・S4	有孔磔		64.79	43.32	28.74	86.4	安山岩		100-6	RS439
123-8	SX120-2c 層	8 区・S4	有孔磔		57.17	70.17	28.67	101.4	石灰岩か		100-7	RS440

第 123 図 SX120 遺物包含層 2 層出土石器・石製品 (4)



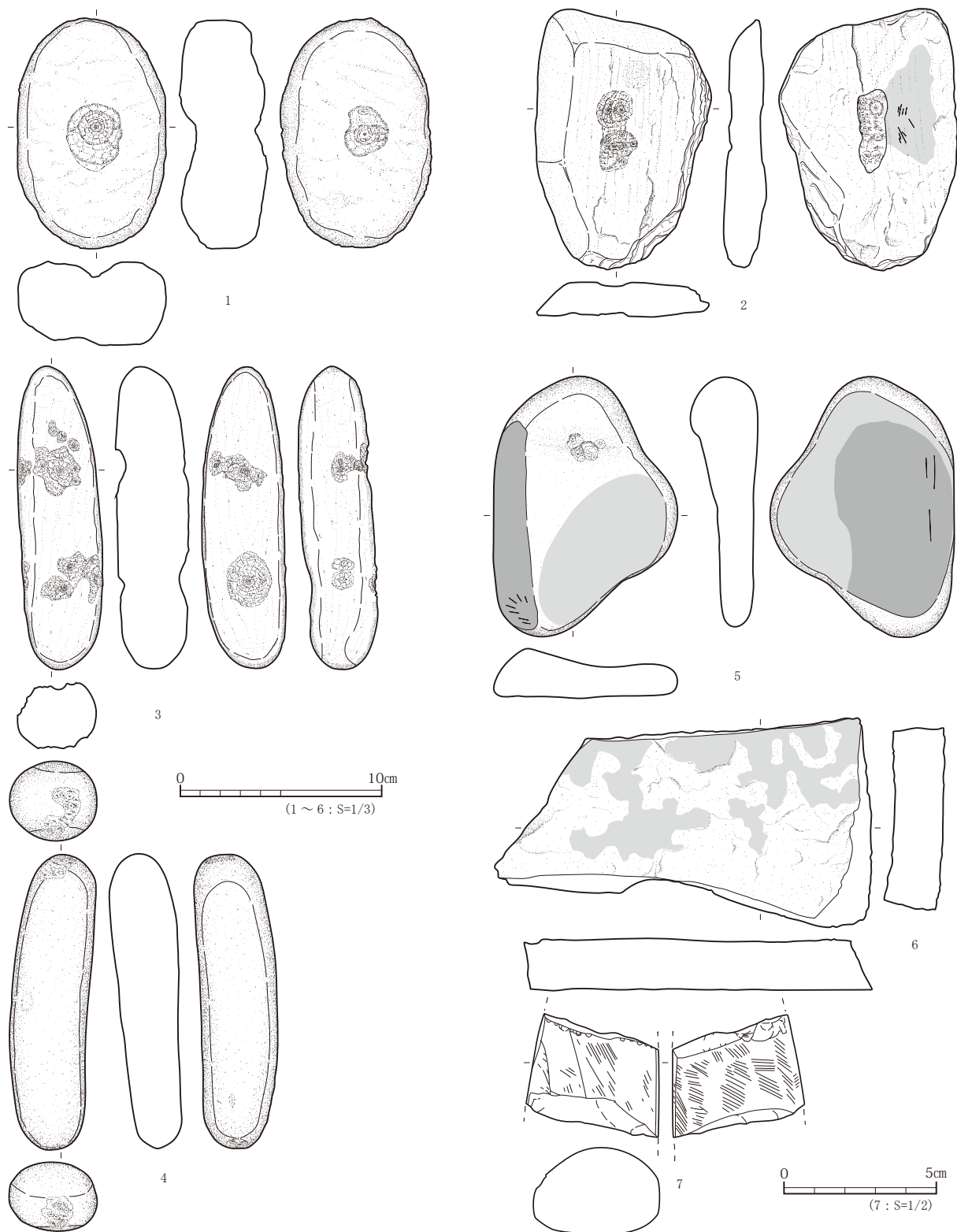
図番号	遺構・層	出土地	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
124-1	SX120-3層	6区・N3	石鏃	鏃 A1	24.02	16.81	2.91	0.72	変質凝灰岩		101-1	RS12
124-2	SX120-3層	6区・東壁	石鏃	鏃 A2	12.92	13.02	3.02	0.38	変質凝灰岩		101-2	RS11
124-3	SX120-3層	6区・N3	石鏃	鏃 A2	15.51	14.46	3.07	0.40	石英		101-3	RS13
124-4	SX120-3層	8区・B4c	石鏃	鏃 A2	19.54	18.57	4.99	1.22	黒曜石		101-4	RS35
124-5	SX120-3層	8区・S6	石鏃	鏃 A2	20.66	12.23	3.29	0.71	黒色頁岩		101-5	RS36
124-6	SX120-3層	8区・B4w	石鏃	鏃 A3	20.35	16.61	2.51	0.46	頁岩		101-6	RS34
124-7	SX120-3層	6区・B3e	石鏃	鏃 A3	27.65	17.85	3.60	0.91	変質凝灰岩		101-7	RS15
124-8	SX120-3層	6区・S1	石鏃	鏃 A3	30.87	17.71	3.46	0.87	頁岩		101-8	RS14
124-9	SX120-3層	8区・S6	石鏃	鏃 B1	17.82	11.88	3.25	0.51	頁岩		101-9	RS37
124-10	SX120-3層	8区・B6	石鏃	鏃 A4	19.25	16.48	2.91	0.54	頁岩		101-10	RS33
124-11	SX120-3層	8区・S6	石鏃	鏃 C2	31.87	29.02	8.55	6.17	変質凝灰岩	未成品か	101-11	RS38
124-12	SX120-3層	6区・S1	石錐	錐 A1	37.84	27.93	12.95	8.97	頁岩		101-12	RS82
124-13	SX120-3層	8区・B6	石錐	錐 A2	41.31	16.92	7.17	2.57	頁岩		101-13	RS85
124-14	SX120-3層	6区・S1	石錐	錐 A2	39.55	9.75	5.76	1.29	変質凝灰岩		101-14	RS83
124-15	SX120-3g層	8区・B6	石匙	匙 A	32.33	15.04	6.48	2.87	頁岩		101-16	RS103
124-16	SX120-3層	8区・S6	石匙	匙 A	46.53	29.08	6.45	6.47	頁岩		101-15	RS104
124-17	SX120-3層	8区・B4c	楔形石器	楔 B	23.66	15.76	6.56	1.92	頁岩		101-17	RS124
124-18	SX120-3層	6区・B3e	不定形石器	不 A	22.59	17.27	6.13	2.18	頁岩		101-18	RS133
124-19	SX120-3層	6区・S1	不定形石器	不 C	26.14	21.42	3.05	1.31	頁岩		101-19	RS131
124-20	SX120-3層	8区・S7	不定形石器	不 B	73.71	28.45	10.78	20.90	頁岩		101-20	RS147
124-21	SX120-3層	8区・S6	不定形石器	不 B	61.73	20.65	8.46	9.39	頁岩		101-21	RS148

第 124 図 SX120 遺物包含層 3 層出土石器・石製品 (1)



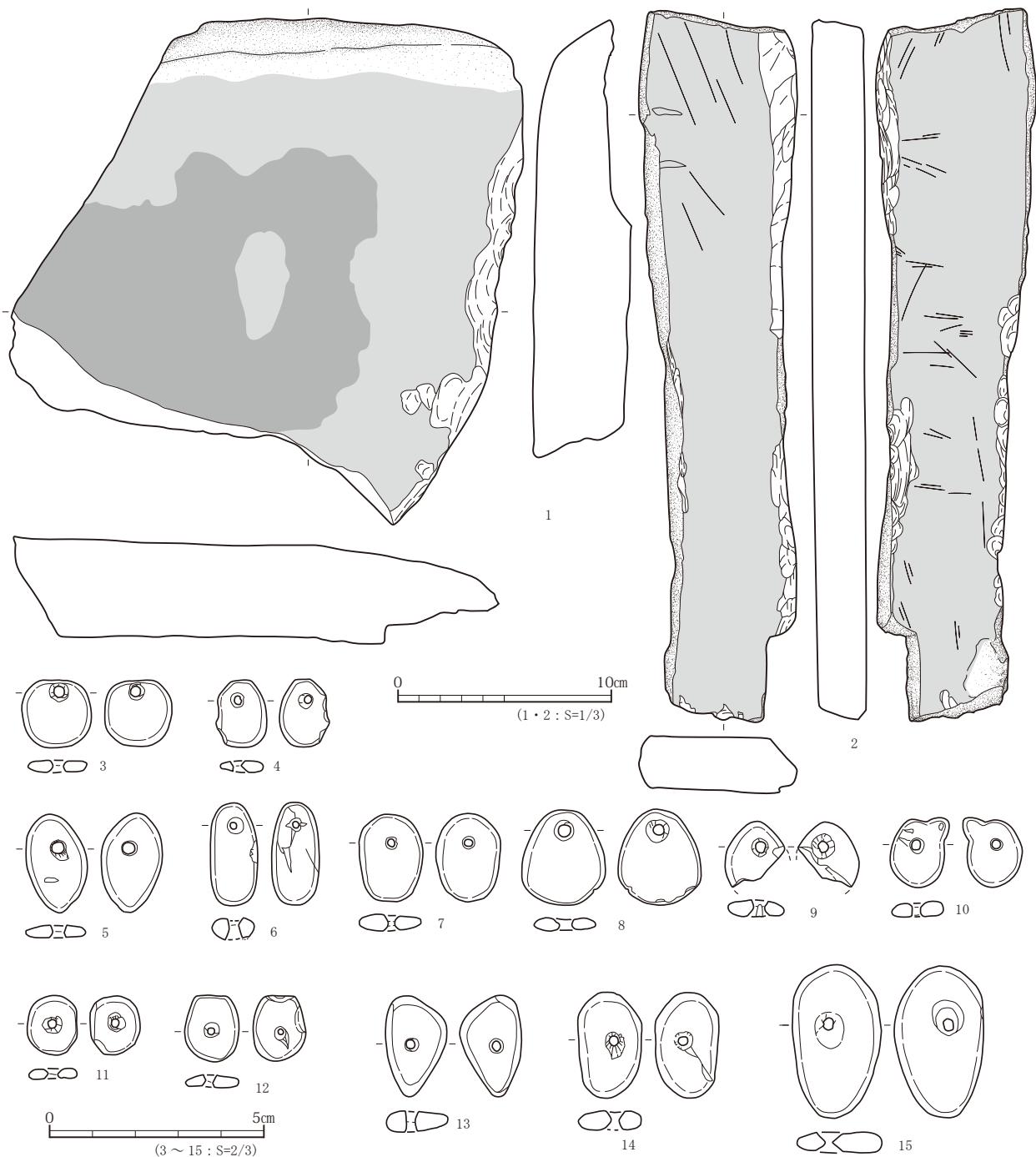
図番号	遺構・層	出土地	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
125-1	SX120-3層上部	8区・B6	不定形石器	不B	34.15	30.39	7.14	5.98	頁岩		101-22	RS146
125-2	SX120-3層	6区・S1	不定形石器	不B	53.29	25.19	4.85	7.81	頁岩		101-23	RS129
125-3	SX120-3層	6区・S1	不定形石器	不C	40.60	27.57	5.55	6.27	頁岩		101-24	RS132
125-4	SX120-3層	6区・S1	不定形石器	不B	29.55	39.90	8.85	8.33	頁岩		101-25	RS130
125-5	SX120-3層	8区・S6	磨製石斧		91.46	44.70	23.52	143.78	安山岩		101-26	RS190
125-6	SX120-3層	8区・S6	磨製石斧		58.51	9.30	3.68	3.14	シルト岩		101-27	RS192
125-7	SX120-3層	8区・S6	磨製石斧		70.36	16.40	6.40	8.99	珪質頁岩		101-28	RS191
125-8	SX120-3層	8区・B6	磨製石斧	小型	29.06	14.38	4.62	2.62	シルト岩		101-29	RS189
125-9	SX120-3層	6区・B3e	磨凹敲石類	磨石	134.92	58.01	64.85	1212.90	閃緑岩		102-2	RS215
125-10	SX120-3層	6区・東壁	磨凹敲石類	磨石	39.38	33.08	25.06	51.60	閃緑岩		102-1	RS217
125-11	SX120-3層	6区・S1s	磨凹敲石類	磨石	124.03	81.61	57.15	898.60	斑礫岩か		102-3	RS216
125-12	SX120-3層	6区・B3e	磨凹敲石類	敲石	83.85	55.67	19.54	104.70	凝灰岩		102-4	RS229

第125図 SX120遺物包含層3層出土石器・石製品(2)



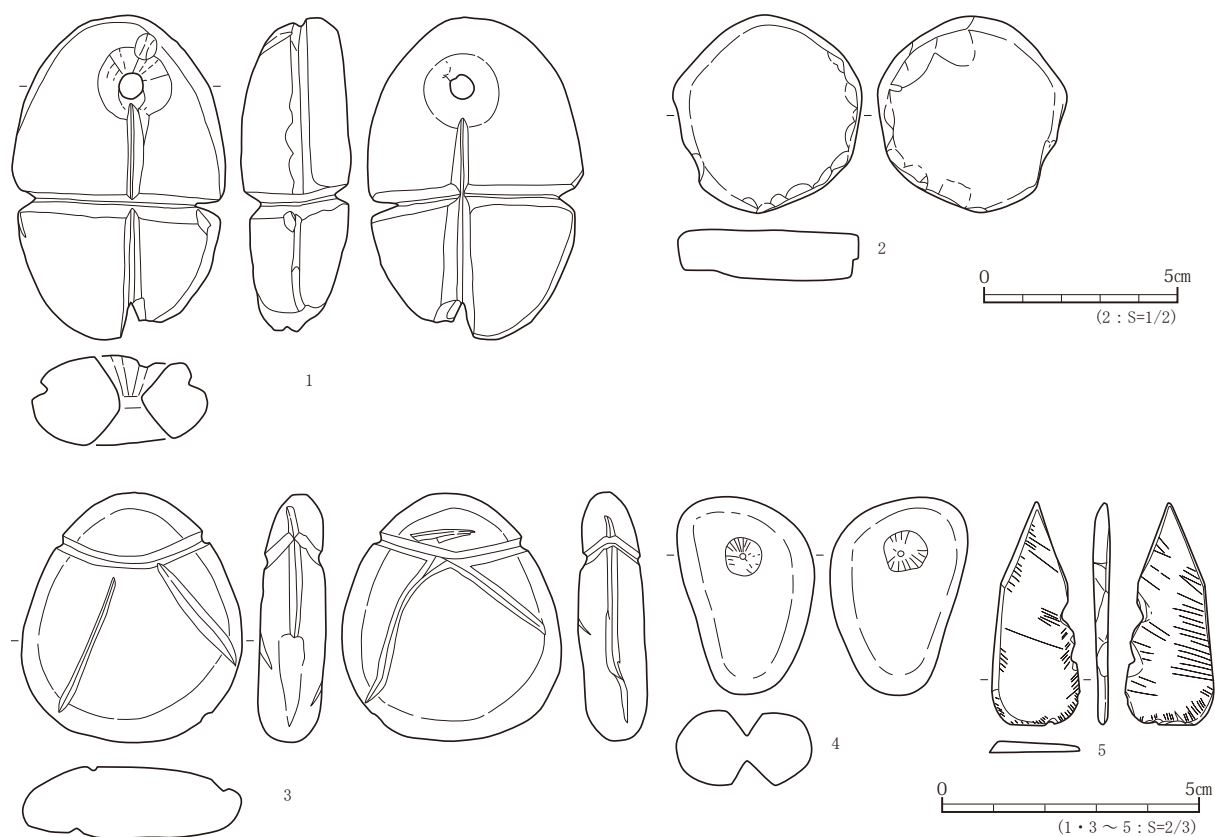
図番号	遺構・層	出土地	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
126-1	SX120-3h 層	8 区・B6	磨凹敲石類	凹石	115.45	74.61	43.06	411.10	凝灰岩		102-5	RS264
126-2	SX120-3 層	6 区・S1	磨凹敲石類	凹石	126.50	87.82	20.78	276.70	泥岩		102-6	RS271
126-3	SX120-3 層	6 区・B3c	磨凹敲石類	凹石	152.66	40.78	32.82	248.70	凝灰岩		102-7	RS257
126-4	SX120-3 層	8 区・東壁	磨凹敲石類	敲石	148.68	38.69	32.56	333.60	玄武岩（安山岩か）		102-8	RS281
126-5	SX120-3 層	6 区・B3	石皿	小型	131.01	92.48	33.89	317.00	砂岩		102-9	RS324
126-6	SX120-3 層	8 区・S6	石皿	小型	103.64	189.20	27.02	842.00	凝灰岩質砂岩		102-10	RS330
126-7	SX120-3 層	6 区・B3c	石棒類	石棒か	41.78	45.14	29.38	69.10	玄武岩（安山岩か）		102-11	RS352

第 126 図 SX120 遺物包含層 3 層出土石器・石製品 (3)



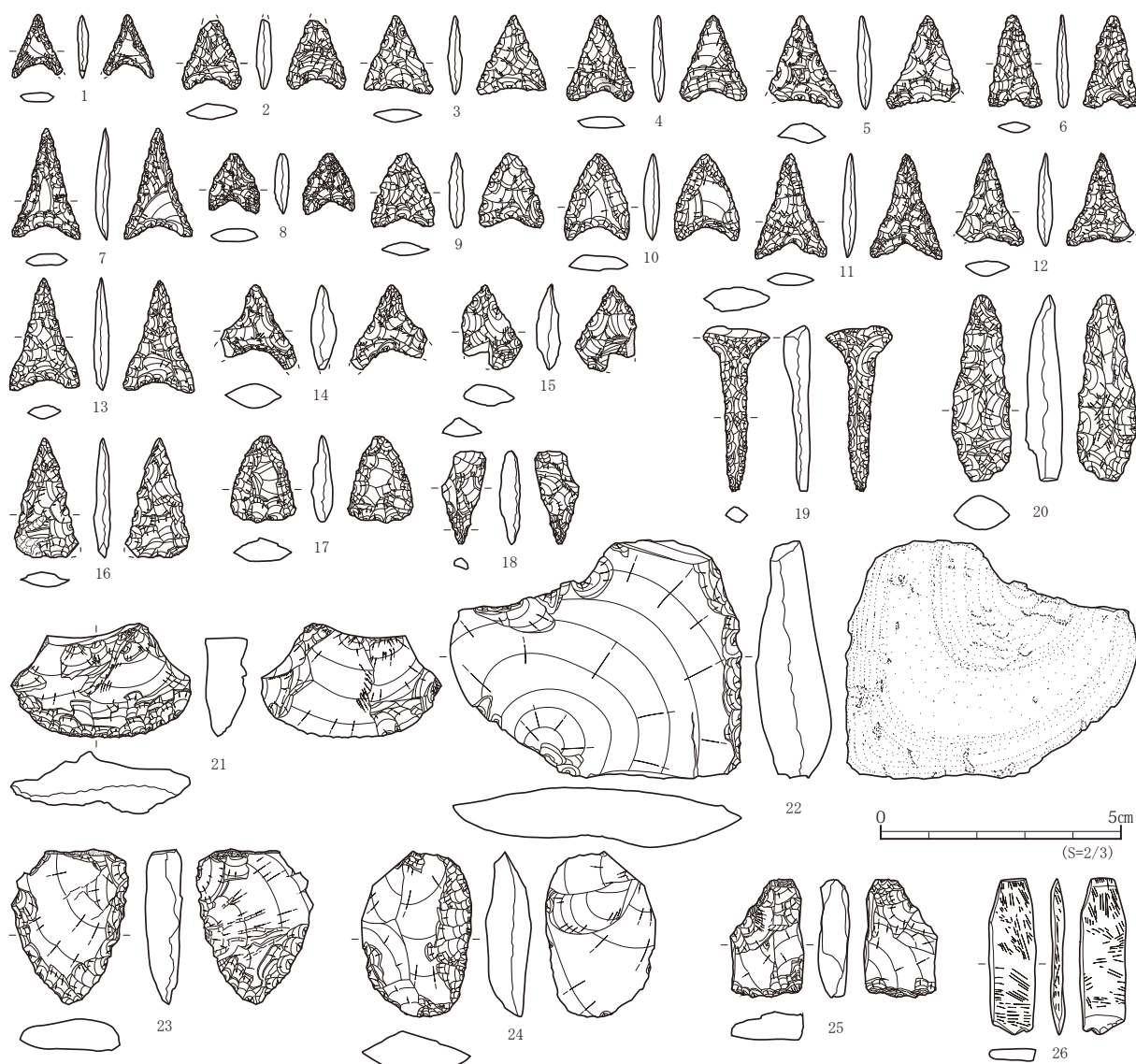
図番号	遺構・層	出土地	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
127-1	SX120-3層	6区・S2	石皿		230.30	236.20	45.32	2882.8	安山岩		103-1	RS335
127-2	SX120-3層	6区・N2N3	石皿		338.20	74.96	24.92	1226.0	頁岩（片岩か）		103-2	RS321
127-3	SX120-3層	8区・B6	有孔石製品	孔上	16.19	16.68	3.15	1.10	凝灰岩	孔径 2.5mm	103-3	RS372
127-4	SX120-3層	8区・B4c	有孔石製品	孔上	15.58	12.01	3.10	0.72	凝灰岩	孔径 2.0mm	103-4	RS388
127-5	SX120-3層	8区・B6	有孔石製品	孔上	23.34	14.66	3.13	1.11	凝灰岩	孔径 3.0mm	103-5	RS368
127-6	SX120-3層	8区・B4w	有孔石製品	孔上	24.10	11.50	5.30	2.00	凝灰岩	孔径 2.0mm	103-6	RS387
127-7	SX120-3層	8区・B4c	有孔石製品	孔上	20.78	15.44	3.97	1.74	凝灰岩	孔径 1.5mm	103-7	RS373
127-8	SX120-3層	8区・B6	有孔石製品	孔上	22.69	20.17	3.63	2.03	凝灰岩	孔径 3.0mm	103-8	RS371
127-9	SX120-3層	8区・B6	有孔石製品	孔上	15.96	14.28	4.03	0.85	凝灰岩	孔径 2.5mm	103-9	RS370
127-10	SX120-3層	6区・東壁	有孔石製品	孔上	16.67	13.53	3.71	0.88	凝灰岩	孔径 2.0mm	103-10	RS359
127-11	SX120-3層	8区・B4c	有孔石製品	孔中	14.36	11.98	2.71	0.62	凝灰岩	孔径 2.0mm	103-11	RS374
127-12	SX120-3層	8区・B6	有孔石製品	孔中	15.86	13.29	3.78	1.05	凝灰岩	孔径 2.0mm	103-12	RS389
127-13	SX120-3層	8区・B7	有孔石製品	孔中	24.07	14.85	5.62	2.96	変質凝灰岩	孔径 2.5mm	103-13	RS390
127-14	SX120-3層	8区・B6	有孔石製品	孔中	25.50	15.51	4.86	2.27	凝灰岩	孔径 2.0mm	103-14	RS369
127-15	SX120-3層	8区・S6	有孔石製品	孔中	35.47	21.50	5.41	4.74	凝灰岩	孔径 2.0mm	103-15	RS376

第 127 図 SX120 遺物包含層 3 層出土石器・石製品 (4)



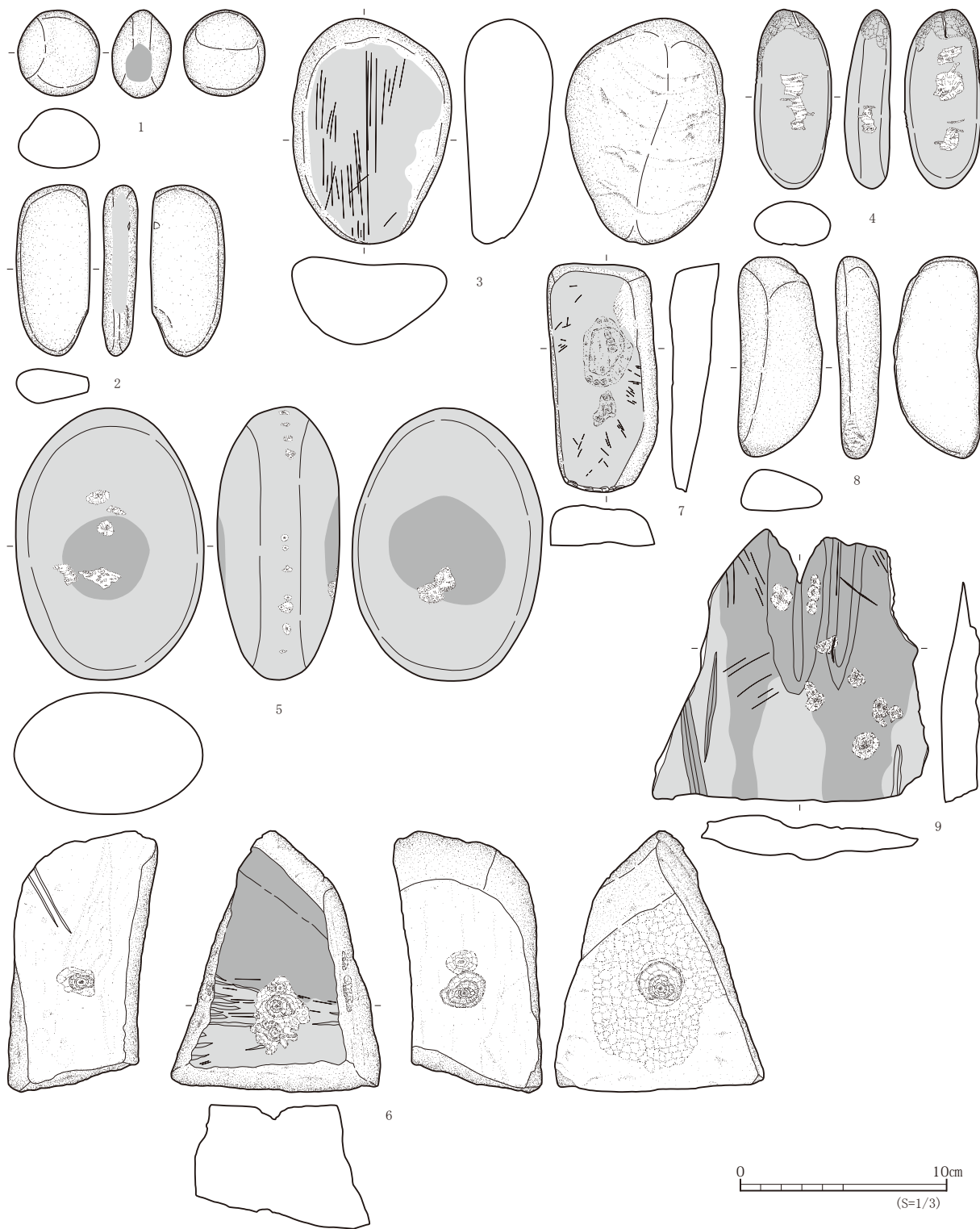
図番号	遺構・層	出土地	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
128-1	SX120-3 層	8 区・S6	有孔石製品	孔上	63.48	41.02	17.81	47.62	凝灰岩質砂岩	孔径 5.0mm	103-16	RS375
128-2	SX120-3 層	8 区・S7	円盤状石製品		52.26	50.29	13.55	46.82	砂岩		103-17	RS399
128-3	SX120-3h 層	8 区・B6	線刻礫		49.44	43.58	13.97	32.92	砂岩		103-18	RS410
128-4	SX120-3 層	8 区・B6	その他石製品		39.07	27.12	15.73	19.76	砂岩		103-19	RS428
128-5	SX120-3 層?	8 区・B4c	その他石製品	斧形か	44.12	17.13	2.65	2.60	粘板岩		103-20	RS429

第 128 図 SX120 遺物包含層 3 層出土石器・石製品 (5)



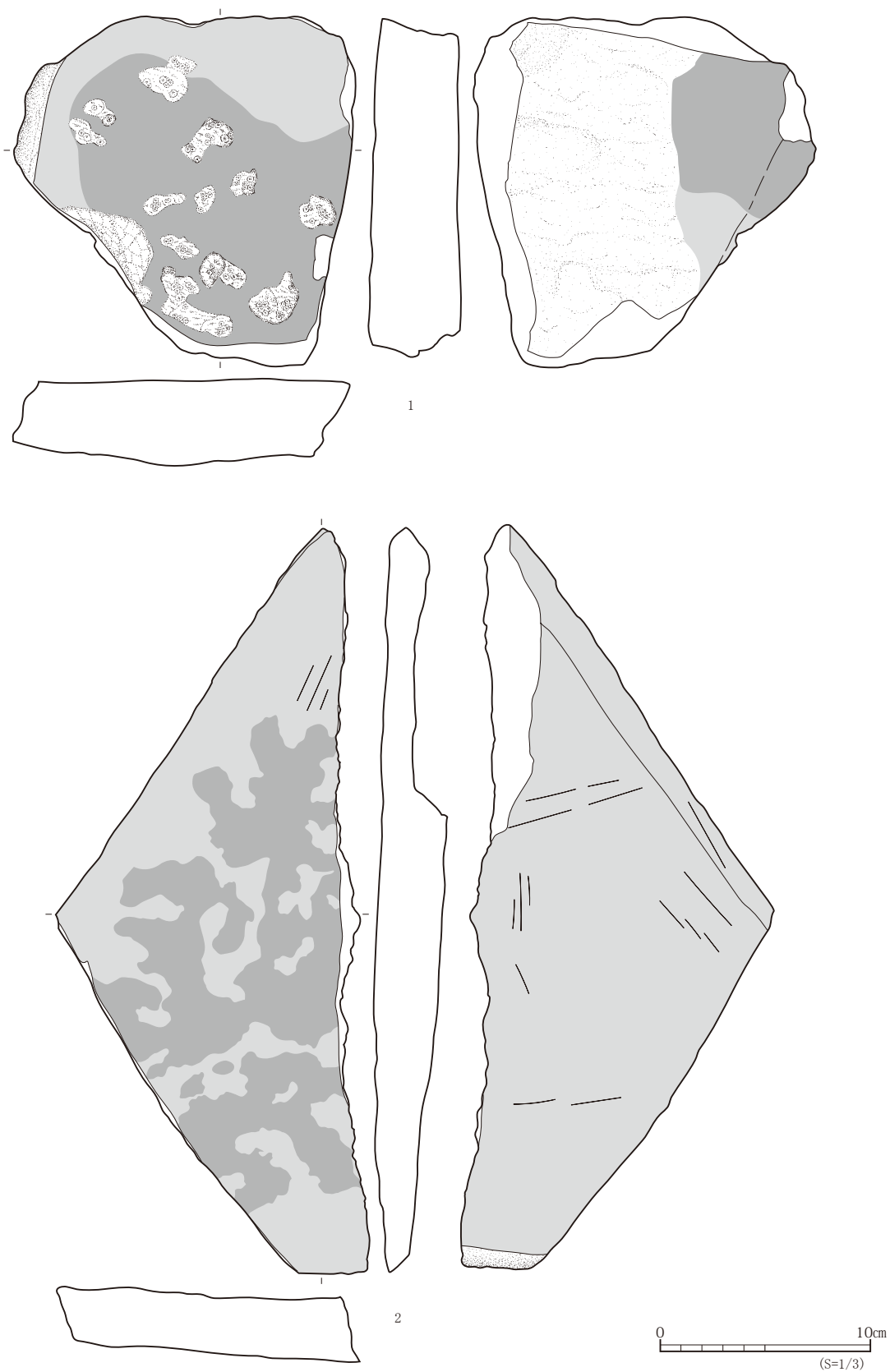
図番号	遺構・層	出土地	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
129-1	SX120-4 層	8 区・S8	石鏃	鏃 A1	13.48	10.87	2.33	0.21	頁岩		104-1	RS48
129-2	SX120-4 層	8 区・B6	石鏃	鏃 A1	14.62	12.76	3.28	0.17	珪化凝灰岩		104-2	RS46
129-3	SX120-4 層	6 区・S3	石鏃	鏃 A1	16.84	14.63	2.84	0.43	頁岩		104-3	RS17
129-4	SX120-4 層	8 区・N5	石鏃	鏃 A1	18.41	14.28	2.50	0.49	頁岩	黒色付着物あり	104-4	RS49
129-5	SX120-4 層	8 区・B6	石鏃	鏃 A1	19.51	15.62	4.30	0.79	変質凝灰岩		104-5	RS40
129-6	SX120-4 層	6 区・S3	石鏃	鏃 A1	19.61	11.32	2.41	0.36	頁岩		104-6	RS20
129-7	SX120-4 層	8 区・S7	石鏃	鏃 A1	23.61	14.50	2.78	0.59	黒色頁岩		104-7	RS43
129-8	SX120-4 層	8 区・N5	石鏃	鏃 A2	12.94	10.94	3.08	0.41	変質凝灰岩		104-8	RS42
129-9	SX120-4 層	6 区・東壁	石鏃	鏃 A2	15.90	13.51	2.85	0.52	変質凝灰岩		104-9	RS16
129-10	SX120-4 層	8 区・N5	石鏃	鏃 A2	18.45	13.78	3.26	0.79	変質凝灰岩		104-10	RS47
129-11	SX120-4 層	8 区・S7	石鏃	鏃 A3	22.51	15.31	2.84	0.59	頁岩		104-11	RS44
129-12	SX120-4 層	8 区・B6	石鏃	鏃 A3	19.62	14.24	3.28	0.50	頁岩		104-12	RS39
129-13	SX120-4 層	6 区・S3	石鏃	鏃 A3	23.87	14.91	3.21	0.68	変質凝灰岩		104-13	RS18
129-14	SX120-4 層	8 区・B6	石鏃	鏃 A3	18.07	16.14	5.37	0.92	頁岩		104-14	RS41
129-15	SX120-4 層	6 区・B2s	石鏃	鏃 B3	17.89	12.91	4.68	0.71	黒曜石		104-15	RS19
129-16	SX120-4 層	8 区・S8	石鏃	鏃 C1	25.39	13.61	3.41	0.80	頁岩		104-16	RS50
129-17	SX120-4 層	8 区・B6	石鏃	鏃 C2	18.36	13.96	5.33	1.06	頁岩		104-17	RS51
129-18	SX120-4 層	8 区・N5	石鏃	鏃 A1	19.86	9.55	3.97	0.51	黒色頁岩	平基の石鏃を転用	104-20	RS87
129-19	SX120-4 層	8 区・N5	石鏃	鏃 A2	35.30	14.31	5.61	1.25	頁岩		104-19	RS86
129-20	SX120-4 層	8 区・N6	石鏃	鏃 B	39.64	12.44	7.65	3.65	頁岩		104-18	RS45
129-21	SX120-4 層	8 区・S8	不定形石器	不 B	24.43	38.32	10.62	8.62	頁岩		104-21	RS149
129-22	SX120-4 層	8 区・N6	不定形石器	不 B	50.94	62.04	13.92	45.36	黒色頁岩		104-22	RS150
129-23	SX120-4 層	8 区・B4c	不定形石器	不 C	33.17	24.83	7.26	6.56	頁岩		104-23	RS152
129-24	SX120-4 層	8 区・S7	不定形石器	不 B	35.46	23.47	8.80	6.83	頁岩		104-24	RS151
129-25	SX120-4 層	6 区・S3	楔形石器	楔 A	24.84	15.75	6.20	2.92	頁岩		104-25	RS122
129-26	SX120-4 層	8 区・N5	磨製石斧	小型	33.01	10.15	3.02	1.51	シルト岩		104-26	RS193

第 129 図 SX120 遺物包含層 4 層出土石器・石製品 (1)



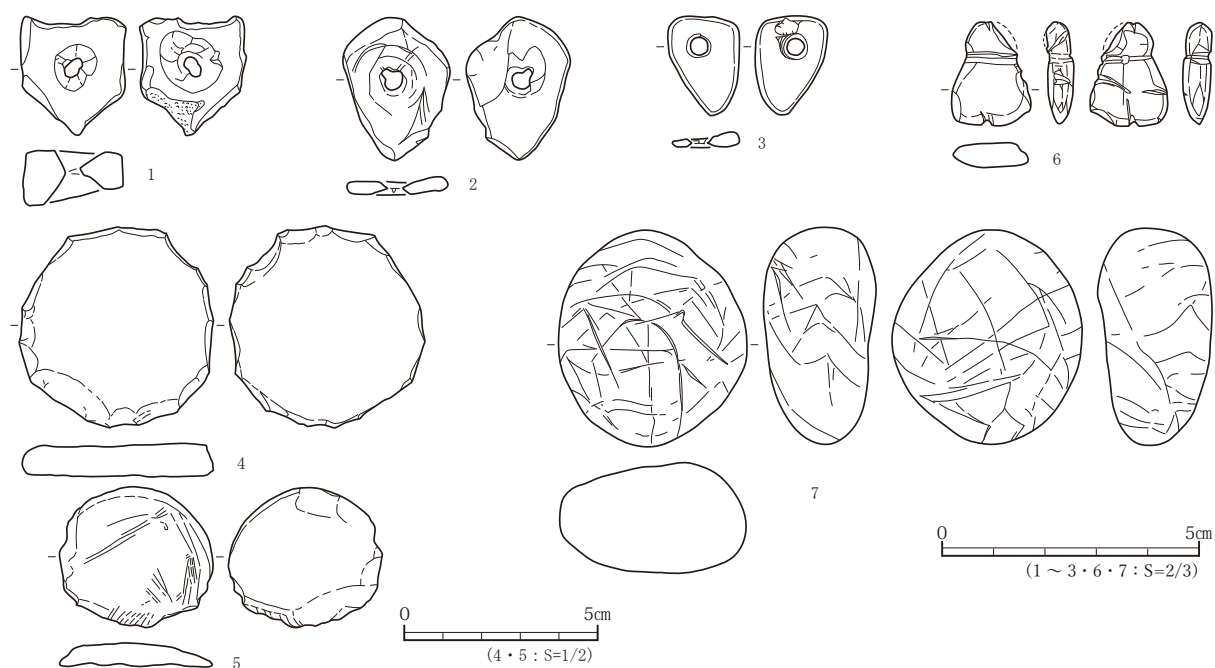
図番号	遺構・層	出土地	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
130-1	SX120-4 層	8 区・S7	磨凹敲石類	磨石	42.07	40.22	29.41	71.00	安山岩		104-27	RS222
130-2	SX120-4 層	8 区・N5	磨凹敲石類	磨石	83.57	36.29	17.34	60.30	凝灰岩		104-28	RS231
130-3	SX120-4 層	6 区・B2s	磨凹敲石類	磨石	110.68	78.08	39.86	372.50	砂岩		104-29	RS311
130-4	SX120-4 層	6 区・N3	磨凹敲石類	磨敲石	87.83	37.84	21.34	121.30	玄武岩		104-30	RS237
130-5	SX120-4 層	6 区・東壁	磨凹敲石類	磨敲石	133.98	92.84	59.71	1195.50	閃緑岩		104-31	RS238
130-6	SX120-4b 層	8 区・B6	磨凹敲石類	磨凹石	128.94	102.17	60.30	676.90	凝灰岩		104-32	RS265
130-7	SX120-4 層	8 区・N5	磨凹敲石類	磨凹石	111.37	51.83	19.94	196.80	片岩		104-33	RS274
130-8	SX120-4 層	6 区・S3	磨凹敲石類	敲石	97.73	40.31	21.18	138.00	玄武岩		104-34	RS282
130-9	SX120-4 層下部	8 区・S8	砥石		132.92	131.19	18.63	268.60	凝灰岩質砂岩		105-1	RS306

第 130 図 SX120 遺物包含層 4 層出土石器・石製品 (2)



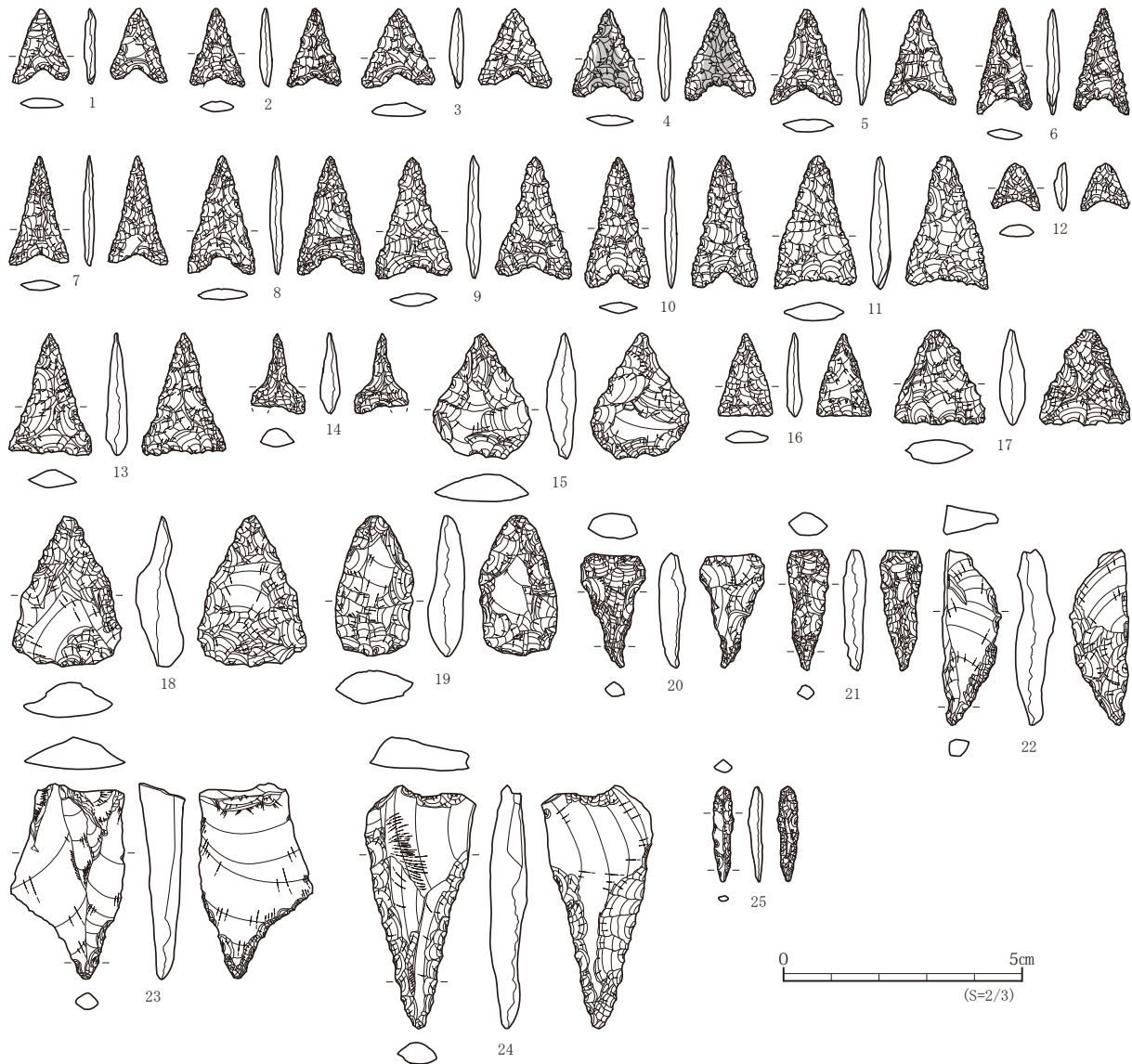
図番号	遺構・層	出土地	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
131-1	SX120-4 層	6 区・S3	石皿		168.80	164.90	41.21	1738.00	凝灰岩質砂岩		105-2	RS325
131-2	SX120-4 層	8 区・S7	石皿	大型	358.50	145.87	31.22	2099.00	玄武岩		105-3	RS344

第 131 図 SX120 遺物包含層 4 層出土石器・石製品 (3)



図番号	遺構・層	出土地	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
132-1	SX120-4b層	8区・B6	有孔石製品	孔中	23.16	20.44	11.04	4.66	凝灰岩	孔径 4.0mm	105-4	RS377
132-2	SX120-4層	8区・S7	有孔石製品	孔中	28.22	21.29	3.56	2.00	凝灰岩	孔径 5.0mm	105-5	RS379
132-3	SX120-4層	8区・N5	有孔石製品	孔上	19.84	14.75	3.18	1.00	凝灰岩	孔径 3.0mm	105-6	RS378
132-4	SX120-4層	8区・B6	円盤状石製品		52.85	51.81	8.86	39.34	砂岩		105-7	RS394
132-5	SX120-4層	8区・N5	円盤状石製品		37.19	40.55	6.60	12.61	千枚岩		105-8	RS395
132-6	SX120-4層	8区・N5	線刻礫		20.13	15.25	4.92	1.70	凝灰岩	沈刻線、抉り	105-9	RS411
132-7	SX120-4層	8区・N6w	線刻礫		42.67	37.46	21.92	33.68	安山岩		105-10	RS415

第 132 図 SX120 遺物包含層 4 層出土石器・石製品 (4)



図番号	遺構・層	出土地	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
133-1	SX120-5 層	8 区・B7	石鏃	鏃 A1	16.13	12.19	2.25	0.33	珪化凝灰岩		106-1	RS55
133-2	SX120-5 層	6 区・S3 東壁	石鏃	鏃 A1	16.93	11.85	2.52	0.30	変質凝灰岩		106-2	RS23
133-3	SX120-5 層	8 区・N6	石鏃	鏃 A1	16.95	15.80	2.96	0.53	頁岩		106-3	RS57
133-4	SX120-5 層	6 区・B1	石鏃	鏃 A1	19.68	15.08	2.46	0.48	頁岩	黒色付着物あり	106-4	RS26
133-5	SX120-5 層	8 区・B7	石鏃	鏃 A1	20.40	15.27	2.86	0.56	頁岩		106-5	RS58
133-6	SX120-5 層	6 区・N1	石鏃	鏃 A1	22.79	11.79	2.28	0.43	頁岩	黒色付着物あり	106-6	RS28
133-7	SX120-5 層	8 区・N6	石鏃	鏃 A1	23.32	12.77	2.37	0.44	変質凝灰岩		106-7	RS56
133-8	SX120-5 層	8 区・B4c	石鏃	鏃 A1	25.18	14.37	2.41	0.68	頁岩	黒色付着物あり	106-8	RS53
133-9	SX120-5 層	6 区・S3 東壁	石鏃	鏃 A1	26.07	16.43	3.02	0.75	頁岩		106-9	RS24
133-10	SX120-5 層	6 区・N2N3	石鏃	鏃 A1	27.90	14.01	2.52	0.67	頁岩		106-10	RS21
133-11	SX120-5 層	6 区・北壁	石鏃	鏃 A1	28.38	17.79	4.12	1.50	珪化凝灰岩		106-11	RS22
133-12	SX120-5 層	8 区・OSw	石鏃	鏃 A2	10.19	10.35	2.55	0.18	黒曜石		106-12	RS59
133-13	SX120-5 層	6 区・B2	石鏃	鏃 A3	26.07	17.81	4.40	1.35	頁岩		106-13	RS29
133-14	SX120-5 層	8 区・S8	石鏃	鏃 A3	17.25	11.64	4.17	0.46	頁岩		106-14	RS54
133-15	SX120-5 層	8 区・B7	石鏃	鏃 B3	26.70	20.98	6.37	2.55	頁岩	未成品か	106-15	RS52
133-16	SX120-5 層	8 区・OSw	石鏃	鏃 C1	17.85	11.75	3.10	0.54	頁岩		106-16	RS60
133-17	SX120-5 層	6 区・TrN	石鏃	鏃 C1	20.29	19.50	5.50	1.61	頁岩		106-17	RS27
133-18	SX120-5 層	6 区・N3 東壁	石鏃	鏃 C1	32.09	23.31	7.37	4.62	頁岩	未成品か	106-18	RS25
133-19	SX120-5 層	8 区・OSe	石鏃	鏃 C2	29.94	16.55	7.46	3.82	頁岩		106-19	RS61
133-20	SX120-5 層	6 区・B1	石鏃	鏃 A1	24.46	13.86	5.20	1.42	黒色頁岩		106-20	RS84
133-21	SX120-5 層	8 区・N5	石鏃	鏃 A1	25.77	9.17	4.79	1.06	頁岩		106-21	RS92
133-22	SX120-5 層	8 区・N5	石鏃	鏃 A1	37.53	12.80	7.20	3.06	変質凝灰岩		106-22	RS89
133-23	SX120-5 層	8 区・N5	石鏃	鏃 A1	41.45	24.28	7.49	5.96	頁岩		106-23	RS90
133-24	SX120-5 層	8 区・B6	石鏃	鏃 A1	51.96	23.92	6.99	7.07	黒色頁岩		106-24	RS88
133-25	SX120-5 層	8 区・N6	石鏃	鏃 B	20.40	4.62	2.81	0.22	頁岩		106-25	RS91

第 133 図 SX120 遺物包含層 5 層出土石器・石製品 (1)



図番号	遺構・層	出土地	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
134-1	SX120-5 層	8 区・N6	石匙	匙 A	50.54	23.94	4.92	3.83	頁岩		106-26	RS105
134-2	SX120-5f 層	6 区	石匙	匙 A	52.03	18.26	9.17	5.91	黒色頁岩		106-27	RS100
134-3	SX120-5 層	6 区・TrS	石匙	匙 A	57.37	29.33	6.64	9.00	頁岩		106-28	RS99
134-4	SX120-5 層	6 区・N2	楔形石器	楔 A	21.19	37.63	10.82	8.28	変質凝灰岩		106-29	RS123
134-5	SX120-5 層	8 区・S8	楔形石器	楔 A	45.87	39.40	12.40	22.65	変質凝灰岩		106-30	RS125
134-6	SX120-5 層	6 区・N2	不定形石器	不 B	28.06	29.83	8.80	7.23	頁岩		106-31	RS138
134-7	SX120-5 層	6 区・N3	不定形石器	不 B	47.03	32.33	8.25	8.43	珪化凝灰岩		106-32	RS137
134-8	SX120-5 層	8 区・N5	不定形石器	不 B	62.48	22.93	12.69	16.54	頁岩		106-33	RS156
134-9	SX120-5 層	6 区・TrS	不定形石器	不 B	67.14	31.51	14.10	21.81	珪化凝灰岩		106-34	RS139
134-10	SX120-5o 層	8 区・B6	不定形石器	不 B	68.56	29.41	9.34	14.91	頁岩		106-35	RS154
134-11	SX120-5j 層	6 区・S3 東壁	不定形石器	不 C	28.88	18.45	6.81	3.07	変質凝灰岩		106-36	RS136
134-12	SX120-5 層	8 区・N5	不定形石器	不 C	36.37	33.48	6.75	6.77	頁岩		106-37	RS155

第 134 図 SX120 遺物包含層 5 層出土石器・石製品 (2)



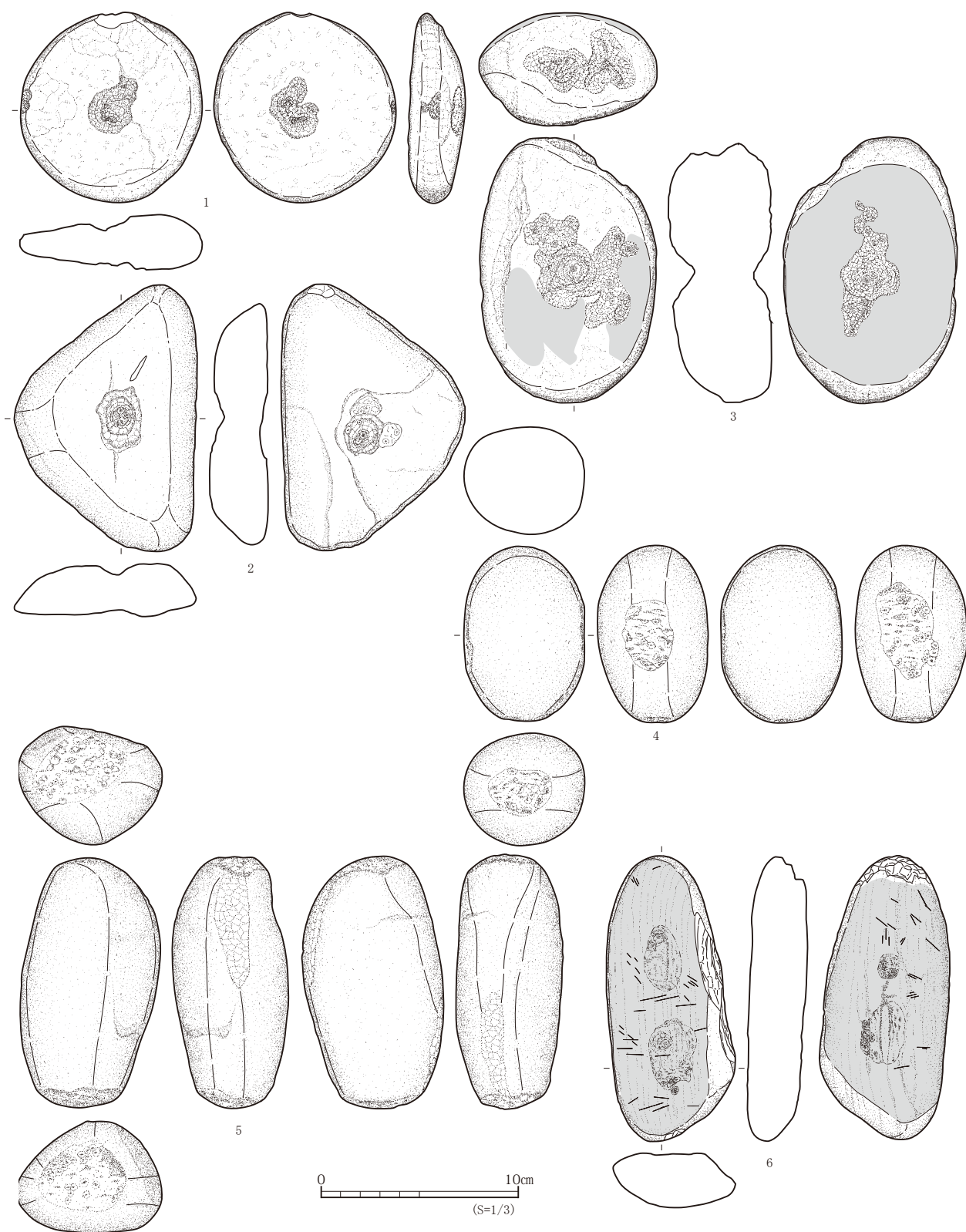
図番号	遺構・層	出土地	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
135-1	SX120-5j' 層	6 区・N3 東壁	不定形石器	不 C	49.79	21.45	8.35	7.61	頁岩		107-1	RS134
135-2	SX120-5j' 層	6 区・S3 東壁	不定形石器	不 B	61.43	40.15	10.95	22.72	頁岩		107-2	RS135
135-3	SX120-5o 層	8 区・B4c	不定形石器	不 C	18.40	12.35	1.91	0.43	頁岩		107-3	RS153
135-4	SX120-5 層	8 区・N5	不定形石器	不 B	57.39	23.96	11.75	10.97	頁岩		107-4	RS157
135-5	SX120-5 層	6 区・S3	異形石器		47.92	22.73	4.26	4.83	頁岩		107-5	RS167
135-6	SX120-5 層	8 区・S6	打製石斧		61.69	30.36	18.53	39.34	凝灰岩質砂岩		107-6	RS173
135-7	SX120-5j' 層	6 区・S3 東壁	磨製石斧		88.94	49.90	22.11	159.61	玄武岩質安山岩		107-7	RS183
135-8	SX120-5 層	6 区・TrS	磨製石斧		56.92	47.59	23.78	95.89	泥岩か玄武岩		107-8	RS184
135-9	SX120-5 層	6 区・B1	磨製石斧		79.01	50.53	15.10	121.88	泥岩・玄武岩		107-9	RS206
135-10	SX120-5 層	8 区・N5	磨製石斧		58.37	59.23	28.05	127.38	泥岩		107-10	RS196

第 135 図 SX120 遺物包含層 5 層出土石器・石製品 (3)



図番号	遺構・層	出土地	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
136-1	SX120-5 層下部	8 区・S8	磨製石斧		111.43	37.89	27.00	113.33	玄武岩		107-11	RS197
136-2	SX120-5 層	6 区・N1	磨製石斧	小型	31.81	12.71	5.33	4.09	黒色頁岩		107-12	RS182
136-3	SX120-5 層	8 区・N5	磨製石斧	小型	46.10	16.16	6.29	7.13	シルト岩・千枚岩		107-14	RS194
136-4	SX120-5 層	8 区・N6	磨製石斧	小型	29.91	10.27	3.58	1.75	シルト岩・千枚岩		107-13	RS195
136-6	SX120-5n 層	8 区・B7	磨凹敲石類	磨石	109.39	89.44	71.68	1027.40	花崗岩		107-16	RS223
136-5	SX120-5 層	6 区・N3	磨凹敲石類	磨石	63.79	52.21	45.58	207.00	泥岩		107-15	RS218
136-7	SX120-5j 層	6 区・B2	磨凹敲石類	磨石	87.52	46.27	15.09	65.10	凝灰岩		107-17	RS230
136-8	SX120-5o 層	8 区・B4c	磨凹敲石類	磨石	92.95	42.02	22.09	85.90	凝灰岩		107-18	RS232
136-9	SX120-5 層	6 区・N2	磨凹敲石類	磨石	70.65	71.76	22.07	118.80	砂岩		107-19	RS313
136-10	SX120-5 層	6 区・N2	磨凹敲石類	磨石	129.62	82.95	29.26	297.50	砂岩		107-20	RS312
136-11	SX120-5 層	8 区・N5	磨凹敲石類	磨石	124.95	81.85	72.01	1140.20	玄武岩 (安山岩)		108-1	RS244

第 136 図 SX120 遺物包含層 5 層出土石器・石製品 (4)



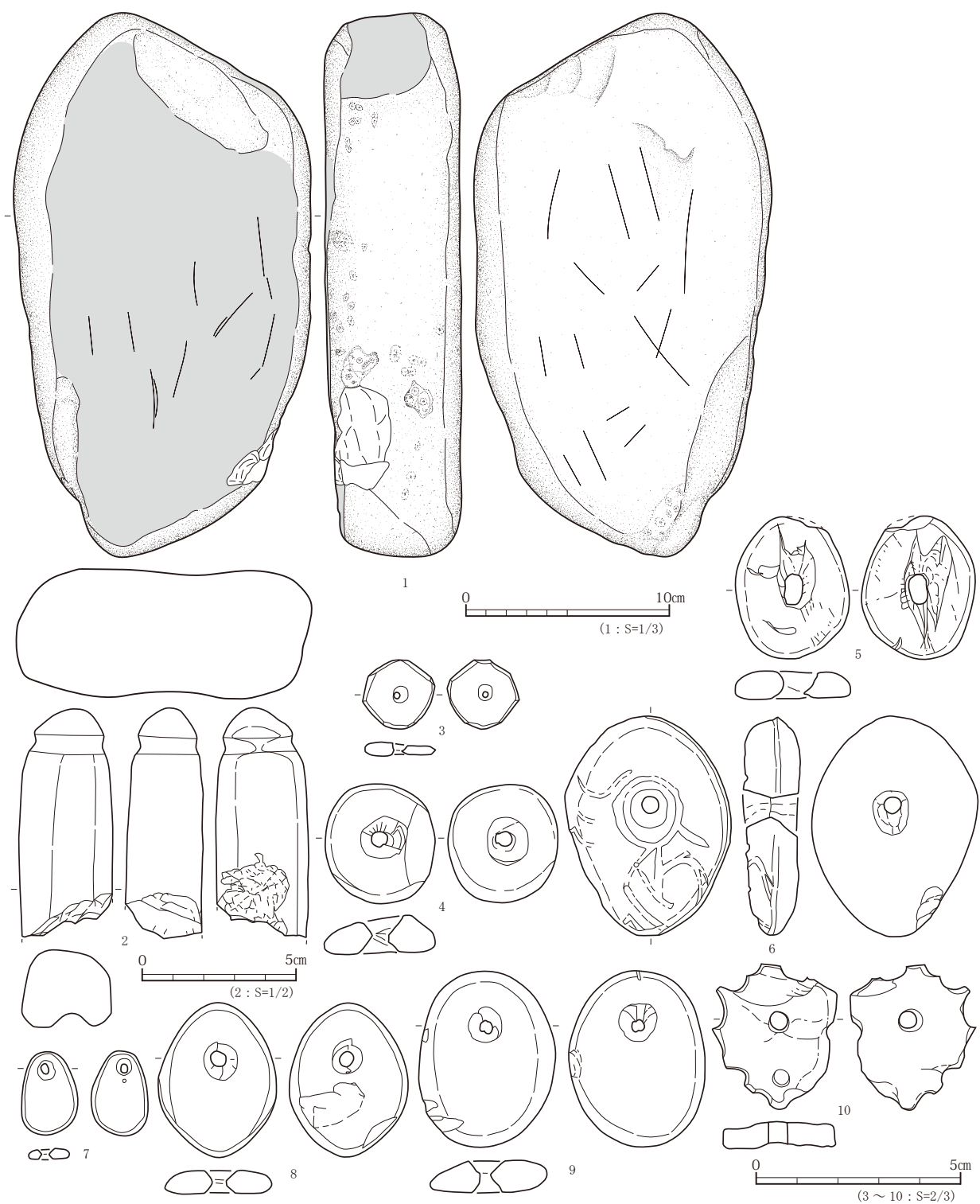
図番号	遺構・層	出土地	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
137-1	SX120-5f 層	6 区・B2	磨凹敲石類	凹石	97.19	93.12	27.97	247.20	凝灰岩		108-2	RS259
137-2	SX120-5 層	8 区・N5	磨凹敲石類	凹石	136.69	93.49	29.98	401.40	砂岩・安山岩		108-3	RS266
137-3	SX120-5 層	6 区・N2	磨凹敲石類	磨凹石	136.02	90.61	52.63	690.60	凝灰岩		108-4	RS258
137-5	SX120-5 層	6 区・N2	磨凹敲石類	敲石	90.16	62.04	56.74	468.80	閃緑岩		108-5	RS283
137-5	SX120-5 層	6 区・N1	磨凹敲石類	敲石	128.20	70.10	54.51	720.50	閃緑岩		108-6	RS284
137-6	SX120-5 層	6 区・N3	磨凹敲石類	磨凹石	146.22	62.67	27.38	386.40	泥岩		108-7	RS272

第 137 図 SX120 遺物包含層 5 層出土石器・石製品 (5)



図番号	遺構・層	出土地	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
138-1	SX120-5o 層	8 区・B6	磨凹敲石類	磨敲石	90.59	86.39	46.94	569.30	玄武岩		108-8	RS289
138-2	SX120-5o 層	8 区・B6	磨凹敲石類	磨敲石	112.28	61.13	38.07	433.40	安山岩（玄武岩）		108-9	RS290
138-3	SX120-5f 層	6 区・B1	砥石		39.20	51.59	11.47	25.50	凝灰岩		108-10	RS302
138-4	SX120-5 層	6 区・N3	砥石		69.68	52.93	19.62	61.20	凝灰岩		108-11	RS301
138-5	SX120-5o 層	8 区・B4c	砥石		44.55	20.22	4.58	8.00	凝灰岩質砂岩	赤色顔料の付着あり	108-12	RS315
138-6	SX120-5 層	6 区・N2	石皿	脚付	101.08	54.75	39.92	143.00	凝灰岩		108-13	RS326
138-7	SX120-5 層	6 区・N2	石皿	小型	174.80	87.13	32.22	665.00	砂岩		108-14	RS327

第 138 図 SX120 遺物包含層 5 層出土石器・石製品 (6)



図番号	遺構・層	出土地	種別	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石材	特徴	写真	登録 番号
139-1	SX120-5j' 層	6 区・N3 東壁	石皿		269.90	147.77	63.41	3684.00	砂岩		109-1	RS336
139-2	SX120-5o 層	8 区・B4e	石棒類	石棒	76.25	31.25	27.47	73.70	砂岩		109-2	RS348
139-3	SX120-5 層	8 区・OSw	有孔石製品	孔中	17.26	18.00	3.68	1.45	凝灰岩質砂岩	孔径 2.0mm	109-3	RS391
139-4	SX120-5 層	8 区・N5	有孔石製品	孔中	29.32	28.60	12.07	9.10	砂岩	孔径 4.0mm	109-4	RS384
139-5	SX120-5 層	6 区・N3	有孔石製品	孔中	35.41	28.45	7.36	7.77	シルト岩 (流紋岩)	孔径 7.5mm	109-5	RS360
139-6	SX120-5f 層	6 区・B1	有孔石製品	孔中	54.53	41.29	13.31	28.68	凝灰岩質砂岩	孔径 4.0mm	109-6	RS364
139-7	SX120-5o 層	8 区・B7	有孔石製品	孔上	20.40	14.80	3.04	1.10	凝灰岩	孔径 2.5mm	109-7	RS383
139-8	SX120-5n 層	8 区・B7	有孔石製品	孔上	38.45	29.83	6.01	7.80	砂岩	孔径 4.0mm	109-8	RS381
139-9	SX120-5o 層	8 区・B4c	有孔石製品	孔上	43.64	34.13	8.25	15.30	砂岩	孔径 3.0mm	109-9	RS382
139-10	SX120-5 層	6 区・N2	有孔石製品	孔中	36.21	30.59	6.51	7.05	凝灰岩	孔径 5.0mm	109-10	RS361

第 139 図 SX120 遺物包含層 5 層出土石器・石製品 (7)